

令和5年度

第6次都留市長期総合計画中期基本計画
行政評価結果の総合評価

(令和4年度決算)

令和5年12月

都留市

(1) 行政評価の概要及び本報告内容について

行政評価は、P D C A（Plan【計画】・Do【実施】・Check【点検】・Action【改善】）サイクルの「C【点検】」に位置付けられ、第6次都留市長期総合計画（計画年度：平成28年度～令和8年度）（以下、「総合計画」）の期間内における業務成果を評価し、その結果を「A【改善】」に反映させることで、行政サービスの向上につなげるための重要な業務です。

「総合計画」は、前期（平成28年度～平成30年度）、中期（令和元年度～令和4年度）、後期（令和5年度～令和8年度）において、それぞれの「基本計画」を策定しています。

また、「総合計画」は、「政策」→「施策」→「事務事業」と分野ごとに細分化しており、各課の「事務事業」は「施策」の下に位置付けられるため、事業遂行の効果は、ピラミッド式に「事務事業」→「施策」→「政策」へと集約される形となっています。

図：総合計画イメージ



行政評価は、毎年度実施するものと、「基本計画」の見直しを図る年度に実施するものがあります。令和5年度は、毎年度実施する評価として、各事務事業を対象に行う「事務事業評価」と外部有識者の意見を踏まえた「外部評価」を実施しました。

参考：評価区分等

評価区分		評価主体	方法等
行政評価	事後評価	事務事業評価	事務事業所管リーダー 評価責任者：課長 自己評価
		施策評価	事務事業所管課長 自己評価 ※基本計画見直し年度に実施
		政策評価	事務事業所管部長 自己評価 ※基本計画見直し年度に実施
	外部評価	都留市行政改革推進委員 (学識経験者、市民)	事業評価・提案会
	総合評価	事務事業評価及び外部評価等を総合的に評価し、 都留市行政改革推進本部員会議にて評価決定	

本報告は、「事務事業評価」及び「外部評価」について、それぞれの評価内容や識者の意見、並びに「総合評価」を記載したものとなります。

なお、評価の実施にあたってはスマート化やスリム化、働き方改革といった行政改革の視点から捉えることも重要といえます。

(2) - 1 「事務事業評価」の評価結果

【事務事業評価】

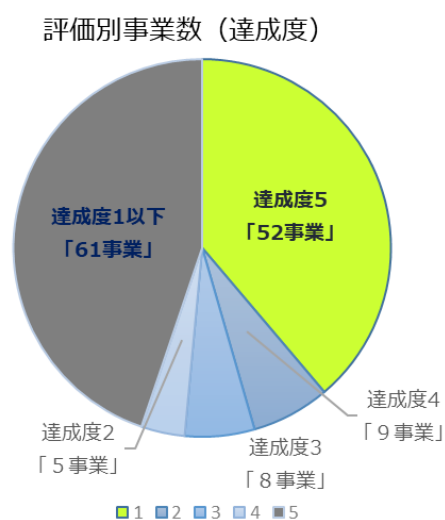
	長期総合計画：6つのまちづくり の方向	事業数	各評価結果の平均点				
			必要性	有効性	効率性	公平性	達成度
I	創ります！しごととくらしの充実したまち	32	4.6	4.3	4.3	4.2	3.3
II	育みます！優しさと元気のまち	26	4.6	4.2	4.3	4.1	2.7
III	輝かせます！学びあふれるつるのまち	34	4.6	4.5	4.2	4.1	2.2
IV	繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち	9	4.8	4.2	4.4	3.9	3.4
V	紡ぎます！人と人とのつながりのまち	20	4.5	4.0	4.1	4.4	2.8
VI	実行します！新しいステージへ	14	4.8	4.1	4.1	4.6	3.7
	合計 / 平均値	135	4.6	4.3	4.2	4.2	2.9

令和5年度に行った事務事業評価(令和4年度分)における135事業について、5段階評価における平均値は、「必要性4.6」「有効性4.3」「効率性4.2」「公平性4.2」「達成度2.9」という評価結果となりました。

特に重要と考えられる「達成度」の内訳について、5及び4評価が61事業となり、2及び1以下の評価となった事業は66事業という結果となりました。

達成度1、2に該当する事業の内、保健・福祉事業や観光振興、地域コミュニティの醸成等の対人・対外的な取組については、前年度の結果と同様に新型コロナウイルス感染症の影響によって、取組の中止や縮小が余儀なくされたものが挙げられます。一方で、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことからも、感染対策には引き続き留意しつつ、停滞していた人的交流の再開や地域経済の活性化に向けて事業を推進していくことが必要となります。

また、行政手続きのDX化や公共施設・インフラの維持管理、市民ニーズに応えた地域公共交通の整備等、市民生活の充実や利便性の向上、行財政改革の視点からも最小の費用で最大の効果が発揮できるような事業の実施と効果検証を継続して行っていくことも重要となります。



(2) - 2 「事務事業評価」の総合評価

各課から「事務事業評価（令和4年度分）」をまとめた今後の方向性における成果及びコストの結果は以下の通りとなります。

今後の成果の方向性については、拡大53、維持80、縮小1、休止・廃止1、今後のコストの方向性については、増加20、維持107、削減8となりました。

分野	事業数	今後の方向性（成果）				今後の方向性（コスト）			決算額 （千円）
		拡大	維持	縮小	休止 廃止	増加	維持	削減	
I	32	24	8	0	0	7	23	2	2,366,362
II	26	5	19	1	1	4	20	2	469,790
III	34	7	27	0	0	2	31	1	3,357,456
IV	9	6	3	0	0	5	2	2	127,221
V	20	7	13	0	0	0	19	1	137,986
VI	14	4	10	0	0	2	12	0	693,829
計	135	53	80	1	1	20	107	8	7,152,643

※決算額は各分野の合計値を繰り上げて算出しているため、決算額の合計値と積み上げ額と一致しない場合があります。

拡大：市民ニーズ、緊急性に鑑み、重点的に実施すべき事業

維持：事業成果等を同規模で継続していくものと判断されるもの

縮小：事業環境の変化等から必要性等が低下しており、縮小すべきと判断されるもの

休止・廃止：市民ニーズが低下しているものや、市の関与の必要性が薄れているもの

増加：事業成果の拡充のため、コストの増加が望ましいと判断されるもの

維持：事業費等を同規模で継続していくものと判断されるもの

削減：事業内容等の改善を行いつつも、事業費等を削減すべきと判断されるもの

各分野において成果の拡大を図っていく事業は、以下の通りです。

「分野Ⅰ 産業・基盤」においては「定住人口対策費」、「産業振興対策事業」、「高収益作物導入事業」、「富士の麓の小さな城下町振興事業」が挙げられます。定住人口の増加による人口維持や関係人口の増加、企業誘致による雇用機会の拡大、果樹栽培の普及による農家所得の向上、つる観光戦略に基づく観光振興を推進していくこととしています。

「分野Ⅱ 福祉・子育て・健康」分野においては「介護人材確保対策事業」、「母子健康づくり事業」が挙げられます。高齢化率の上昇に対応するための適切な介護人材の確保や子育てに関する情報提供、相談事業の実施、子育てアプリの充実による切れ目ない支援体制を構築します。

「分野Ⅲ 教育分野」においては「ミュージアム都留管理運営事業」が挙げられます。生涯学習の場として地域の歴史や文化を通じた人間形成の拠点と地域住民の拠り所としての運営を図っていきます。

「分野Ⅳ 生活・環境分野」においては「地域公共交通対策費」、「空家等対策推進事業」、「自然エネルギー推進事業」が挙げられます。空家対策については、所有者だけでなく相続人となり得る方も含めた周知啓発を図り、空家問題を「自分事」として考えていただくことで課題解決を図ることとしています。

「分野Ⅴ 安全・安心」においては「地域防災力強化対策事業」、「防災行政無線管理事業」が挙げられます。地区防災計画の作成支援や避難所運営リーダーの育成、無線放送の内容の伝達方法の充実等により地域の防災力強化に努めます。

「分野Ⅵ 行財政分野」においては「職員研修事業」、「情報ネットワーク管理事業」が挙げられます。人材育成計画の見直しや研修機会の充実により職員の資質の向上を図るとともに、DX化の推進による業務の効率化・行財政改革を目指します。

(3) 外部評価

令和5年10月27日に「事業評価・提案会」を開催し、有識者・市民で構成する評価者の元、「市民サービスの向上や効率的な窓口運営」、「事業のスマート化・スリム化による業務の見直し」の2テーマについて、評価者と職員の議論を通じて、評価・提案を答申にまとめました。

「市民サービスの向上や効率的な窓口運営」では、「市民サービスの向上のための窓口業務におけるデジタル技術の活用」、「効率的な窓口運営に向けた開庁時間短縮の可能性の検討」について議論いただき、次のような提言をいただきました。

- デジタル化によって市民サービスをどうしたいのか、具体的なシステム導入の話はもとより、業務の効率化によってできた時間をどういった業務に充てるのかなどの議論も必要となってくる。
- 人口減少等から事務取扱件数は少なくなっていく。開庁時間についても、DX化が進み市役所に足を運ぶ必要がなくなれば、「開庁時間を短くしても問題なかったね」というような意識に市民が変わっていくことも想定される。市民・職員双方の意識が変わるのがDX化の「X（トランスフォーメーション・変化）」の意義である。
- 市民も含めた議論の中で、市民サービスの向上や働き方改革の観点から、デジタル活用や開庁時間の短縮を検討いただきたい。

また、「事業のスマート化・スリム化による業務の見直し」では、「繁忙期等を見据えた持続的な業務改善の手法や柔軟かつ横断的な体制づくり」について議論いただき、次のような提言をいただきました。

- ワークショップなど情報・ビジョンを共有する場をつくることから、まずは小規模でもいいので有志職員による発案から始めていく。業務改善、業務の平準化ともに、そういった取組を通じた将来のビジョンを具体化することが必要。

- 組織全体として考え方を改めなければ変わっていかない。本日の提案も一職員としての課題感ではなく、組織全体の問題として認識していただけるとよい方向に変わるのではないか。
- 都留市役所の職場規模であれば、システム等ハードの導入よりもソフト面で体制を整備していくことがベストだと感じる。

今後、いただいた提言も踏まえ、既存業務の見直しや現状の分析、先進事例の研究等を通じて、全庁的に課題解決に向けた取組を推進していきます。

なお、令和3年度までは各課事業を効果検証事項とし、次年度の方向性や検証を求めていましたが、令和4年度より全庁的なテーマにおいて議論を深めることとしたため、各課への個別の効果検証は行わないこととしています。

(4) 今後の方向性

中期基本計画の計画期間（令和元年度～4年度）中は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、その取組を縮小あるいは中止せざるを得ず、取組の成果や達成度について計画との乖離が生じてしまった事業も一部にあります。

令和5年度からは、コロナ禍からの完全脱却を目指すとともに、11年間にわたる第6次都留市長期総合計画の総仕上げに当たる後期基本計画（～令和8年度）が動き出すため、更なる事業の成果の向上に向けて、前述の評価結果に基づく見直し・改善等の取組を推進していくことが必要です。

今後も事務の効率化や実効性に留意する中で、外部評価による評価・政策提言も取り入れながら、事務事業の見直しにより、予算の適正な執行や事業の精査を行い、「最小の経費で最大の効果」が見込める質の高い行政サービスの実現を図っていきます。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	職員研修事業			款項目	02-01-01	評価責任者	鬢櫛 美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	職員担当	記入者	滝口 博之
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：都留市職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 職員研修計画の策定、職員研修の開催及び研修機会の情報提供		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 職員一人ひとりがその知識・能力を伸ばし、それを最大限発揮することにより、市民サービスの向上を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,636,000円	2,636,000円	2,476,900円	2,988,000円	
	決算額[B]	2,012,740円	1,086,653円	1,410,983円	1,468,204円	
	執行率[B]/[A]	76.4%	41.2%	57.0%	49.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	職員研修講師謝礼 435,440円 職員研修特別負担金 184,660円 研修管理負担金 980,000円	職員研修特別負担金 67,493円 研修管理負担金 995,000円	職員研修講師謝礼 110,000円 研修管理負担金 1,002,000円 職員研修特別負担金 187,263円	職員研修講師謝礼 228,679円 研修管理負担金 1,017,000円 職員研修特別負担金 212,625円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,012,740円	1,086,653円	1,410,983円	1,468,204円
	財源合計[C](=[B])	2,012,740円	1,086,653円	1,410,983円	1,468,204円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,007,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修参加回数	年間研修出席者延べ人数÷4月1日職員数	回	目標値		3.0	3.3	3.6	4.0
			実績値	2.6	3.6	3.5	3.6	4.1

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.6	4.6	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民ニーズに的確に対応し、市民満足度を向上するため、職員一人ひとりの勤務能率の発揮及び増進に向け、職員研修の充実を図るとともに、職員の伸ばすべき能力や必要とする能力に沿った研修を実施する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な研修や講義が延期または中止となったため、一人当たりの参加回数が減ってしまっている。リモートでの研修や動画配信などの講義を取り入れ、受講する機会を増やす必要がある。
令和3年度	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の延期や中止があった。しばらく、この状況は続いて行くものと考えられるため、感染防止を行いながら実施していく必要がある。また、翌年度からはeラーニング関連の業務委託を予定しており、コロナの影響を受けずに受講可能となる予定である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響が徐々にではあるが、遞減されてきており平時の状態に戻りつつある。研修回数を増やしたことにより、職員一人あたりの研修参加回数は増加傾向にある。また、各自の時間の都合により参加可能なeラーニングを試験的導入し、職員のニーズにあった様々な研修を可能とした。引き続き、eラーニングを導入していくとともに職場内外の研修機会の提供を実施していく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	山梨県市町村職員研修所の階層別研修を積極的に活用するとともに、研修の受講実績を人事評価に適切に反映することにより、職員のスキルアップに対するモチベーションの向上を図る。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響を考え、今後拡大されるリモート研修に対応するよう環境整備を充実させていく。また、最新の研修動向を調査し、一度だけの受講だけではなく、継続して受ける研修などを取り入れ、職員の能力向上を図っていく。
令和5年度 予算に向けて	令和4年度から行う試験的eラーニングの実績に基づき、希望枠まで受講可能な予算措置を行う。また、民間との交流を図るため合同研修を行い、他業種の意見を知る機会を増やす。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

人材育成計画の見直しを含め、職員に応じた各種研修計画の整備を図っていく。また、eラーニングを初めとする多様な研修機会の提供を行っていく。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域防災力強化対策事業		款項目	08-01-06	評価責任者	鬢 楠 美咲	
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	鈴木 美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 地域住民、自主防災会など		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 防災訓練・防災講習会等による防災啓発及び人材育成 自主防災会資機材整備費への補助金交付など		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地域の防災活動が活性化することにより、地域の防災力が向上し、安全・安心のまちづくりの実現を目指す。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,896,000円	7,582,000円	10,350,056円	12,194,721円	
	決算額[B]	9,855,756円	6,487,333円	9,806,328円	8,460,994円	
	執行率[B]/[A]	90.5%	85.6%	94.7%	69.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・自立型ソーラースタンド設置費 (1,628,000円) ・災害用医療救急セット (1,036,800円) ・防災資機材整備費補助金 (1,197,000円)	・防災資機材整備費補助金 (1,338,300円) ・備蓄用非常食購入 (1,194,480円) ・土嚢袋購入 (677,600円)	・災害用医療救急セット (1,537,800円) ・防災資機材整備費補助金 (1,322,700円) ・備蓄用非常食購入 (1,070,582円)	・浸水害HMデータ作成業務委託 (2,035,000円) ・防災資機材整備費補助金 (1,304,600円) ・我が家の防災ハンドブック作成業務委託 (986,700円)	
	財源内訳	国庫支出金				1,200,000円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				5,615,000円
		一般財源	9,855,756円	6,487,333円	9,806,328円	1,645,994円
	財源合計[C](=[B])	9,855,756円	6,487,333円	9,806,328円	8,460,994円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	8,910,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地区防災計画策定数	自主防災会が地区防災計画を策定した数(累計)	箇所	目標値		5.0	7.0	9.0	11.0
			実績値	3.0	4.0	5.0	5.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症などの影響により、計画策定に不可欠な地域内での意識共有等が進まず、計画の取りまとめができない状況が続いた。

■全内容チェック(確認者:課長)

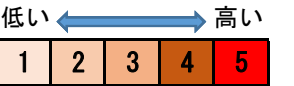
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢楠美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢楠美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢楠美咲 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	3	3	2	2
平均得点	4.4	4.4	4.0	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年、全国各地で災害が発生し、備蓄等の重要性が指摘されており、本市においても、市指定避難所の備品・食料等の確保に努めていくが、予算の平準化を図るため、数力年の計画による整備を進めていく。地区防災計画については、2地区を策定目標としたが、1地区が策定し、その他2地区は策定準備段階までとなった。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症により、避難体制の構築の難易度が増している。指定避難所での受け入れ態勢の強化に加え、市民一人ひとりの避難に対する備えの強化が不可欠となってくることから、市民への防災意識啓発活動に力を入れていく必要がある。
令和3年度	自主防災会による自主的な取組が不可欠な中、感染症まん延による集会自粛の空気が拡がり、地区防災計画策定をはじめとする地域防災力強化の動きが鈍化している。こうした状況を打破するためには、防災士や避難所運営リーダー等の人材にも協力いただき、事業を進める必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の3年間で、各地区の訓練をはじめ、防災に関する様々な取組や繋がりが減衰しつつあり、個人や家庭、地域で防災に取り組み意義などを改めて啓発していく必要がある。特に、地域での繋がりが希薄化しつつある中、早期に地域訓練を新型コロナウイルス感染症蔓延前の状態に戻す必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	・我が家の防災マニュアル作成事業											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	予算の平準化を図るため、購入年度計画に基づき、市指定避難所の備品や食料などの整備に努めていく。地区防災計画策定を増加させるため、市は積極的に、自主防災会に策定支援を行っていく。
令和4年度 予算に向けて	市の防災資機材(備蓄食等含む)の備えを維持・強化するため、購入年度計画に基づき、引き続き整備に努めていく。また、市民一人一人の危機管理意識醸成に向け、セーフコミュニティの対策委員会や自主防災会と連携し、対策を講じていく。
令和5年度 予算に向けて	風水害や地震に加え、富士山火山災害についても市民に周知し、危機管理意識を醸成し、個人や地域での対策を促していく必要がある。特に、地域防災力強化のため、自主防災会に対し、地区防災計画の策定等、事前の備えを働きかけていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

各地域にて防災活動を実施するための指針となる「地区防災計画」の作成を支援し、地区ごとの防災対策のための意識づくりや体制づくりを進める。そのためにも、防災士や避難所運営リーダーなど、地域防災の核を担う人材を育成し、それらの人材が地域で活躍できるよう、場を整えていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	防災行政無線管理事業			款項目	08-01-06	評価責任者	鬘 美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	危機管理担当	記入者	鈴木 美智也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	災害対策基本法・電波法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 防災行政無線等の整備		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 防災情報及び行政活動を迅速・的確に周知する		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	162,262,000円	212,536,100円	10,365,782円	7,510,279円	
	決算額[B]	158,756,927円	197,587,828円	10,355,253円	7,449,772円	
	執行率[B]/[A]	97.8%	93.0%	99.9%	99.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・防災行政無線デジタル化整備工事費(143,065,800円) ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費(6,930,000円) ・防災無線連携CATV放送装置設置業務委託費(6,930,000円)	・防災行政無線デジタル化整備工事費(184,976,100円) ・防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費(7,370,000円)	・防災無線設備移設業務委託(3,190,000円) ・防災情報システム保守業務委託(2,354,000円) ・防災行政無線保守点検業務委託(1,974,500円)	・防災情報システム保守業務委託(2,354,000円) ・防災行政無線保守点検業務委託(1,974,500円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	149,900,000円	192,200,000円		
		その他特定財源				
		一般財源	8,856,927円	5,387,828円	10,355,253円	7,449,772円
	財源合計[C](=[B])	158,756,927円	197,587,828円	10,355,253円	7,449,772円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	7,358,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
防災つるメールの登録者数	年度末時点の登録実績値(累計)	件	目標値		1850.0	1900.0	1950.0	2000.0
			実績値	1800.0	1880.0	2315.0	2665.0	2820.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

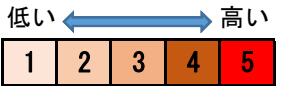
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	鬘美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬘美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬘美咲 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	5	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.8	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	防災行政無線デジタル化工事の2期目(2年目)となり、大きな予算を必要となる年度であったが、デジタル化整備工事と合わせて、難聴地域(防災行政無線が聞こえない地域)に屋外拡声子局を設置するなど、これまでの課題に対応することができた。また、多様な方法(メール・CATV等)による伝達強化を進めていく。
令和2年度	防災行政無線デジタル化工事が完了した。これに伴い、これまでとの聞こえ方の違い等から、放送が聞き取りにくいとの声も出ている。このような声に対し、情報伝達のために用意している多様な方法の説明や、機器の調整等を1つ1つ積み重ね、自民のニーズに応えていく。
令和3年度	デジタル化工事の完了に伴いアナログ放送が終了し、防災ラジオへの放送も終了したこと等により、放送が聞き取れないという指摘が多い。代替となる受信機導入に向け検討したい。また、電波等の不具合による放送トラブルが発生したが、原因究明等に時間を要している。早急な対応を働きかけたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本市の地形やデジタル波の特性などにより、無線放送の不具合の発生頻度が多い。これに関する原因究明の進捗も鈍く対応に係る人件費も多くなっている。また、建物の中では無線放送の内容を聞き取りにくいという声も多く聞かれ、以前の防災ラジオと同様に家の中で容易に情報を得られる方法が求められている。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○				○			○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	防災行政無線デジタル化整備工事費(削減) 防災行政無線デジタル化整備工事監理業務委託費(削減)						防災ラジオ貸与事業					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に防災行政無線デジタル化工事が完了することから、令和3年度については予算の大幅な減額となるが、令和3年度以降についても、限られた予算の中で、防災行政無線事業の充実を図っていく。セーフコミュニティ事業において、「防災つるメール」の登録者を増加させる取り組みを実施していく。
令和4年度予算に向けて	防災行政無線を適切に維持し、有事に確実に情報を伝達できるよう備えていく。また、「防災つるメール」等の多様な情報伝達手段を周知等、放送を聞き取りにくい方にも確実に防災関連情報を伝達できるよう、新たな手段の検討を含め、対応していく。
令和5年度予算に向けて	子局放送だけでは防災行政無線放送内容の伝達は困難になりつつある。防災ラジオの代替となる手段の導入を検討する。同時に、各個人や世帯も防災情報収集に向け備えていただける様、「防災つるメール」等の登録や、家族での情報共有等、災害時の備えを促していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

無線放送の内容を放送と同時にテキストにて受け取れる「防災つるメール」の登録者数を増やすことで、無線放送の内容を確実に伝達できるよう取り組みを進めてきた。今後も、メール登録者を増やす取り組みを進める他、LINEなど他の方法での伝達についても調査研究し、複層的に情報が得られる仕組みを整えたい。また、高齢者等、インターネットやメールを通じた方法では情報を受け取れない方も多いことから、以前の防災ラジオのような受信機の貸与についても検討、検証を進め、導入していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	国際交流事業			款項目	02-01-01	評価責任者	鬢櫛 美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	河野 淳
会計	一般会計	事業開始年度	昭和58年度	法定根拠・法令等	都留市国際交流事業補助金交付要綱		
事業実施方法	その他	←その他の場合の詳細		補助金交付事業及び直接事業			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	5	地域間連携の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 都留・ヘンダーソンビル友好委員会、一般市民・事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 アメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市との姉妹都市交流事業（小学校高学年～大人まで幅広い層での人的交流の実施）、中国四川省内江市との交流事業（令和元年度から開始）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の国際理解と国際感覚を養うとともに、今後の継続的な交流発展に寄与する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,019,000円	3,660,000円	4,651,000円	5,065,000円	
	決算額[B]	153,547円	19,000円	円	19,000円	
	執行率[B]/[A]	15.1%	0.5%	0.0%	0.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	中国四川省内江市との意向書締結にかかる物品・記念品購入 (42,747円) 中国四川省内江市との意向書締結式会場使用料 (91,800円)	山梨県国際交流協会法令外負担金 (9,000円) 都留・ヘンダーソンビル友好委員会会費 (10,000円)	予算執行なし	山梨県国際交流協会法令外負担金 (9,000円) 都留・ヘンダーソンビル友好委員会会費 (10,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	153,547円	19,000円	円	19,000円
	財源合計[C](=[B])	153,547円	19,000円	円	19,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,894,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
国際交流情報の会員への提供	交流都市や都留・ヘンダーソンビル友好委員会の情報提供（累計）	回	目標値	3	5	7	9	
			実績値	1	3	4	6	8

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響から国際間の交流が制限され、公式訪問団等の相互交流を行うことができず、友好委員会の活動自体が制限されてしまっていたことから、時候の挨拶や災害発生時における状況確認等の情報交換のみとなっていました。

■全内容チェック（確認者：課長）

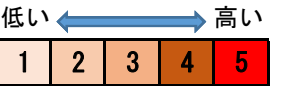
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	3
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	3	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2	2	2
達成度（目標が実現できているか）	5	4	5	5
平均得点	3.4	3.2	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公式訪問団来市の予定は、ヘンダーソンビル市側の事情により中止となった。都留興譲館高等学校の姉妹校訪問も新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。一方で、山梨県の姉妹県省である四川省の内江市との間で交流に関する意向書を締結し、将来的な交流活動への検討を開始している。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ヘンダーソンビル市の公式訪問団の来訪、四川省内江市との交流計画は、令和3年度に全て延期となった。数年先を見据えた交流計画が立っていないのが現状である。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ヘンダーソンビル市及び四川省内江市との交流計画は全て延期となり、ヘンダーソンビル市友好委員会おける会費も回収しなかった。現状、先を見据えた交流計画を立てることが難しいが、アメリカで発生した竜巻発生時に連絡を取り合う等、できる限りの交流を行っている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	中期基本計画の期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、様々な交流が制限された4年間となった。また、委員の高齢化や治安、経済状況等を踏まえ、新たな交流方法等も模索する必要がある。両市の委員会が中心となり、今の状況にあった交流事業を組み立て、市民が主体となって交流の絆を持続させていく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	姉妹都市交流となる公式訪問団の相互交流などへの金銭的・人的補助、情報提供を行い、都留・ヘンダーソンビル友好委員会の継続を促し、姉妹都市交流の継続を図っていく。また、中国四川省内江市との交流は、民間交流を基軸として様々な可能性を模索していく。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた事業計画を立て、交流が可能になった段階で速やかに相手方と協議が進められるよう必要な準備を進めていく。ヘンダーソンビルとの交流事業については、訪問及び来訪に大幅な変更が生じる可能性があるため、今後の理事会・総会で検討を行い、より良い交流を継続させていく。
令和5年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた事業計画を立て、交流が可能になった段階で速やかに相手方と協議が進められるよう必要な準備を進めていく。訪問及び来訪等の交流事業については、変更・延期等が生じる可能性が高いので、随時検討を行いより良い交流を継続させていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

【目標】	・国際交流事業への参加人数の増加
【手段手法】	・都留・ヘンダーソンビルの姉妹都市友好関係締結後40年を迎える中、現状を踏まえた使節団等の継続だけでなく、個人レベルでの交流を促す取組の検討、実施等により各種交流を活性化させ、友好関係をより深めていく。また、中国四川省内江市との交流は、民間交流を基軸として様々な分野で互助・互恵の関係を確立していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	広報発行事業			款項目	02-01-03	評価責任者	鬢櫛 美咲
担当部	総務部	担当課	総務課	担当	法制広報担当	記入者	河野 淳
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民及び市外者（都留市出身者、移住・観光など都留市に興味を持った方）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 毎月1回の広報誌発行及び市ホームページ、各種SNSの管理運営		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市の行政情報や魅力を伝えること		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,428,000円	11,199,000円	10,379,853円	10,666,000円	
	決算額[B]	9,242,066円	9,232,348円	9,810,047円	10,181,616円	
	執行率[B]/[A]	88.6%	82.4%	94.5%	95.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	広報印刷製本費(7,442,029円) 広報編集機器リース料(136,595円) ホームページシステム使用料(1,489,320円)	広報印刷製本費(6,977,171円) 広報編集機器リース料(485,760円) ホームページシステム使用料(1,475,100円)	広報印刷製本費(7,529,876円) 広報編集機器リース料(485,760円) ホームページシステム使用料(1,221,000円)	広報印刷製本費(8,256,966円) 広報編集機器リース料(485,760円) ホームページシステム使用料(1,221,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	645,146円	266,970円	371,075円	365,020円
		一般財源	8,596,920円	8,965,378円	9,438,972円	9,816,596円
	財源合計[C](=[B])	9,242,066円	9,232,348円	9,810,047円	10,181,616円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	11,173,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ホームページアクセス数	グーグルアナリティクスによるページビュー数(累計)	回	目標値		1,493,562	1,657,675	1,821,788	1,985,901
			実績値	1,329,449	1,542,155	1,919,701	1,976,996	1,800,000

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、R2・R3年度においてはイベント・行事等開催ができない中、感染症及びワクチン接種のページのアクセス数は急増した。しかし、R4年度になると感染症及びワクチン接種のページのアクセス数も落ち着きを見せ、コロナ禍以前よりイベント・行事等の情報発信も少なかったことから、達成に至らなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	鬢櫛 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	4
平均得点	5.0	5.0	5.0	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ホームページリニューアルに伴い、ウェブアクセシビリティの強化に取り組んでいるが、職員の意識はまだ低く今後も随時指導が必要。また、各課に読者重視のわかりやすい広報つるの原稿の提出を求めているが、広報誌に掲載することで各課の事業が周知できたと思ってしまう傾向があるため、職員の意識改革が必要。
令和2年度	広報つるをリニューアルし、より見やすいものとなった。要望が多くあった広報の綴じ穴は令和3年度以降に復活することとするなど、市民の声を聞きながら引き続き改善を図っていく。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、CATVなどのメディアを活用する意識が全庁的に芽生えてきた。
令和3年度	ホームページのトップ画面から新型コロナウイルス感染症の市内・県内の状況やワクチン接種関連のページをまとめ、市民の方にわかりやすい情報発信を行っており、ページビュー数は増加傾向にある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	多くの方に分かりやすい形で行政やまちづくりの情報を提供し、理解を進めていくことが重要であるが、幅広い世代の方への情報発信は、充分に行えていない。広報・ホームページ・SNS等の様々な手段を、効果的な手法により情報を提供することが必要である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に広報つるをリニューアルし、ホームページと各種SNSと連動させ、効果的な情報発信に取り組む。ホームページへのアクセス誘導ツールとしてSNSによる情報発信を開始し、徐々に効果が表れているので、今後も職員への広報活動の方法の指導を継続し、さまざまな手段での情報発信を行っていく。
令和4年度予算に向けて	広報つる、ホームページを中心とし、様々なメディアを活用した情報発信について引き続き効果的な手法を検討していく。特にSNSについては、各課が活用し情報発信しやすいような運用方法を構築し、有用な情報発信を行っていく。
令和5年度予算に向けて	令和3年度ガイドラインの見直しを行ったSNSの活用方法等の職員研修を行い、より効率的・効果的に情報を発信する。また、広報つる及びSNSからホームページへのアクセスを誘導し、詳細な情報を閲覧してもらうことで、市の情報を十分に取得できるような体制を構築する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

【目標】	・ホームページ閲覧数、SNS利用者の増加
【手段手法】	・市内外の方が興味を持たれるようなコンテンツ(イベント、行事等)について、各課情報発信が行われるよう職員への指導を行う。 ・市が情報発信を行っているツールの周知を徹底するためにも、広報つる、SNS、ホームページ等の相互間でそれぞれのツールの案内及び誘導を行い、利用者が利用しやすいツールにて効率的・効果的に情報の取得を行えるようにする。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと応援寄付金事務費			款項目	02-01-15	評価責任者	中野 一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策推進担当	記入者	高部 貴行
会計	一般会計	事業開始年度	平成20年度	法定根拠・法令等	地方税法、地方税法施行規則、総務省告示第179号		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：市民全体 対象物：まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 ふるさと納税寄附額向上のために、各ふるさと納税ポータルサイトを運用し、地場産品の掘り起こしを行う。また、本市のPRをするためにふるさと納税の各種イベントに参加し、PRを強力に行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ふるさと納税による寄附件数と寄附額を成果とし、ふるさと納税を自主財源として事業を行うことにより、賑わいと活力あるふるさとづくりに資することを目的とする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	105,433,173円	1,286,746,000円	2,256,608,000円	1,557,652,000円	
	決算額[B]	96,565,314円	1,253,015,413円	2,169,593,095円	1,390,179,347円	
	執行率[B]/[A]	91.6%	97.4%	96.1%	89.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	・ふるさと納税ポータルサイト使用料等	10,997,343円	116,906,559円	278,652,045円	91,579,892円
		・ふるさと納税事務委託料	85,023,544円	384,012,580円	761,655,438円	649,719,513円
		・ふるさと納税ポータルサイト使用料等		751,824,825円	1,128,623,233円	608,432,392円
		・ふるさと納税事務委託料				
	財源内訳	国庫支出金	1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円
		県支出金				
		地方債				
その他特定財源			17,423円	175,586円	227,924円	
一般財源		95,065,314円	1,251,497,990円	2,167,917,509円	1,452,495,062円	
財源合計[C](=[B])	96,565,314円	1,253,015,413円	2,169,593,095円	1,454,222,986円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	543,608,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ふるさと納税寄附受入額	都留市ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の単年度での寄附受入額の実績値	千円	目標値		60000.0	70000.0	80000.0	100000.0
			実績値	12427.0	203842.0	1236599.0	1826496.0	1078935.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

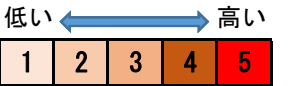
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	3	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	4.4	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各種ポータルサイトの導入や返礼品等数の増加が功を奏し、寄附額が飛躍的に向上した(前年度の16倍以上)。しかし、寄附状況を深掘すると、本市の返礼品等は寝具類など一過性の品が主であり、本市のリピーターとなるかが問題点と言える。
令和2年度	返礼品等の見せ方を強化するためのデザイン構築や露出度を上げるための広告を実施したところ、寄附件数及び寄附額が飛躍的に増加した(前年度の寄附件数は12倍以上、寄附額は約6倍)。しかし、寄附件数が増えたことにより、寄附受領証明書の遅延等、寄附者対応について多くの問題点が浮かび上がった。
令和3年度	返礼品の拡充や広告を強化した結果、寄附額の大幅な増加を達成した。ただ、これに伴う広告費の増加が事業に著しい影響を与えている。また、課題であったリピート率も約7%であり、リピーター獲得も引き続き課題と言える。寄付の増加と事業の健全化を図りつつファン獲得のため更なる情報発信に努める必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	山梨県の共通返礼品から削除された果物の影響により、寄付金額は大幅な減少となった。果物の返礼品については、都留市産果物の拡充と市町村間の協定の締結により来年度増加が見込まれるが、一昨年規模までの水準には至らない。果物に頼らない業務運営が求められるので、その他の返礼品の強化をより一層図る必要がある。事務費については、超大であった広告費を圧縮し、事務費の効率的な支出が図れた。今後も引き続き、総務省基準を順守する中で、都留市のPRと寄付金の増加に努めていく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性			○			○			○			○
具体的事業費名(増減がある場合のみ記載)	・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費など			・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費 ・ふるさと応援基金積立金など			・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費 ・ふるさと応援基金積立金など			・ふるさと納税ポータルサイト使用料等 ・ふるさと納税事務委託費 ・ふるさと応援基金積立金など		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	本市のリピーターの増加を図るため、更なる地場産品の掘り起こしを行うとともに、既に導入している電子感謝券の普及をより一層図る。また、他の自治体と連携することによる共通の返礼品等を増加させ、新たな寄附者の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	寄附者対応について自治体のホスピタリティを向上させるために、寄附受領証明書の早期発送等を行い、寄附者に満足いくサービスを提供する。また、寄附金を活用した事業を寄附者に報告することにより、都留市のファンづくりにも取り組む。
令和5年度予算に向けて	市の魅力を知ってもらうための情報発信に引き続き努めるとともに、事業の健全化に重点を置きつつ、寄付金額を増加させるための返礼品の拡充、とりわけ市内事業者の売り上げ増加を図るための事業、リピーター確保に向けた事業等を盛り込み予算を編成する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

ふるさと納税の更なる伸長のため新規事業者の開拓や新返礼品の開発支援等の事業者支援と、寄附者の利便性の向上のためワンストップのオンライン化の促進、現地納税の仕組みの構築等を図っていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公立大学法人都留文科大学関係費		款項目	09-04-01		評価責任者	中野 一成	
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	企画担当	記入者	加藤 隆	
会計	一般会計	事業開始年度	H21	法定根拠・法令等	地方独立行政法人法、定款			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち	
	政策	1	知の資源と連携したまちづくり	
	施策	2	★知の拠点である大学等と地域の魅力づくり	
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 本市が設立している公立大学法人都留文科大学に対し、地方独立行政法人法第42条第1項の規定に基づき、運営費交付金を交付する。			
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 法人の資金計画に基づき、経費の性質に応じた運営費交付金（標準運営費交付金、特定運営費交付金、施設整備等補助金）を法人に支出する。			
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公立大学法人都留文科大学の運営に支障がないように財源措置する。			

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	976,776,000円	1,717,430,000円	2,982,994,000円	2,633,586,000円	
	決算額[B]	976,776,000円	1,052,960,100円	1,583,745,844円	2,526,831,701円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	61.3%	53.1%	95.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	標準運営費交付金 976,776,000円	標準運営費交付金 800,000,000円 特定運営費交付金 (修学支援制度分) 169,266,000円 施設整備費等補助金 75,042,000円	標準運営費交付金 800,000,000円 特定運営費交付金 (修学支援制度分) 164,932,000円 施設整備費等補助金 618,813,844円	標準運営費交付金 855,410,000円 特定運営費交付金 (修学支援制度分) 170,500,200円 施設整備費等補助金 1,500,921,501円	
	財源内訳	国庫支出金			308,991,782円	597,557,151円
		県支出金				
		地方債			304,700,000円	560,000,000円
		その他特定財源		75,042,000円	5,122,062円	442,364,350円
		一般財源	976,776,000円	977,918,100円	964,932,000円	1,025,910,200円
	財源合計[C](=[B])	976,776,000円	1,052,960,100円	1,583,745,844円	2,625,831,701円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,415,732,000	円
-------	---	---------------------	---------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
法人の業務実績評価（総合評定）	各事業年度における法人の業務実績評価の総合評定 ※該当年度の評点は前年度値をもとに算出		目標値		3.7	3.8	3.9	4.0
			実績値	3.6	3.7	3.7	3.5	3.5

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ以前には達成できていた項目（学生や職員の活動の参加等）がコロナ禍により達成できなくなっている。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	3	1	1
平均得点	5.0	4.6	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在、運営費交付金は、施設整備を除き、普通交付税算定における基準財政需要額をベースとしたルールを定め、法人に交付しているが、法人における人件費の増加や目的積立金の減少等に伴い、標準運営費交付金が増加している状況にあるため、算定ルールの再検討が必要な時期となっている。
令和2年度	令和2年度については、旧南都留合同庁舎を改修する新棟整備事業の予算として、3月に6億円超の補正予算を計上した。令和3年度以降、新棟整備に加えて、個別施設計画に基づく施設の長寿命化等も本格化し、大学施設整備基金を取り崩した施設整備費等補助金の交付が増加していく見込。
令和3年度	令和3年度より新棟整備事業が2ヶ年で行われ、大学施設の改修も本格化することによる多くの財政支出が想定され、これまで以上に大学との定期的な情報交換をし、情報共有に努める必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	指標を法人の業務実績評価としており、中期計画に基づいて法人が実施している評価が低い項目を指摘しているが、市は評価するのみで、業務にまで指摘ができない立場であるので、当該指標が事業評価の指標として適切なのか疑問である。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後は、県より取得した旧南都留合同庁舎の土地・建物の利活用を含めた知のフレストキャンパス構想及び法人が策定する個別施設計画に基づく既存建物の施設改修等が控えているため、大学運営費基金の有効活用と法人への更なる経費削減を求めていく。
令和4年度 予算に向けて	新棟整備事業に拠点整備交付金を活用し、補正予算債の借り入れを行うことで、今後、起債返済額の負担を運営費交付金上にどのように反映されるかの協議が必要となる。また、生涯活躍のまち・つる事業の大学連携型施設の整備も本格化する。
令和5年度 予算に向けて	令和4年度より大学施設の改修が本格化し、施設整備費等補助金は今後も支出が増加していく見込みである。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

中期の指標が法人の業務実績のみであったが、後期については「学生」と「地域」の連携という指標を設けており、企業（事業者）も含めて、事業化していく予定。そのため、中期計画内で整備した施設を活用し、目標の達成に向け、大学と連携していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	情報ネットワーク管理事業		款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成	
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦 和也
会計	一般会計	事業開始年度	法定根拠・法令等				
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：都留市職員 対象物：通信ネットワーク、端末、プリンター、各種サーバ等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域イントラネット及び情報システムの維持管理を行うための事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市職員が効率的に業務ができる状態。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	97,139,292円	81,170,000円	102,683,000円	111,587,000円	
	決算額[B]	89,588,460円	79,868,921円	98,241,163円	90,139,582円	
	執行率[B]/[A]	92.2%	98.4%	95.7%	80.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	ネットワークシステム保守業務委託 11,580,160円 自治体情報システム強化ネットワーク運用保守 5,886,000円	都留市ネットワークシステム保守業務委託 11,686,400円 自治体情報システム強化ネットワーク運用保守 5,940,000円	都留市ネットワークシステム保守業務委託 11,686,400円 自治体情報システム強化ネットワーク運用保守 4,455,000円 本庁舎内LAN改修工事 6,545,000円	都留市ネットワークシステム保守業務委託 12,156,210円 自治体情報システム強化ネットワーク運用保守 5,940,000円	
	財源内訳	国庫支出金	165,000円		1,064,000円	
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	14,555,000円	14,134,000円	14,342,000円	14,372,000円
		一般財源	74,868,460円	65,734,921円	82,835,163円	75,767,582円
	財源合計[C](=[B])	89,588,460円	79,868,921円	98,241,163円	90,139,582円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	161,834,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
情報セキュリティインシデント	情報の機密性、完全性及び可用性が維持できない事象等ヒヤリハット数(発生件数/年)	件	目標値	2.0	1.0	1.0	0.0	0.0
			実績値	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

達成している場合は記載不要								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

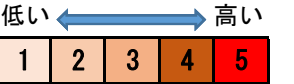
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.8	4.8	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成31年4月に本来、3階層で構成されるセキュリティポリシーにおいて、マニュアル的な位置づけとなる「実施手順」を策定し、職員を対象とした説明会を実施した。今後も説明会の開催等により、継続して情報セキュリティ意識の向上を図っていく。
令和2年度	標的型攻撃メール等の新たなる脅威に備えて、最新情報による職員への注意喚起、Eラーニングによる研修、メール訓練等を実施した。また、資産管理システムを令和3年3月に導入し、セキュリティ強化を図った。今後も研修の開催等により、継続して情報セキュリティ意識の向上を図っていく。
令和3年度	庁内無線化、テレワークの実証実験等、新たなセキュリティ対策への対応が急務となっているため、令和4年2月に「情報セキュリティポリシー」の改定を行った。今後も、全庁的な情報セキュリティ確保のため、実施手順の見直し、情報資産台帳の整備等を実施し、適切な維持、管理を図る。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	LGWAN利用系端末、132台を無線LANに対応したハイブリッド端末(コンパチブル型)に入替(部課長・リーダー職以上の端末)ペーパーレス化、業務効率化、高度化を図った。また、職員のセキュリティに対する意識やリテラシーを向上させるため、eラーニングを活用し、情報セキュリティ、個人情報保護及びマイナンバー制度に関する研修を実施した。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									○
	維持			○			○					
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	・本庁舎内LAN改修工事			・本庁舎内LAN改修工事			・本庁舎等LAN改修工事					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	庁内のネットワーク・インフラ環境のリスク対策強化及び適正なIT資産管理の運用の実現を可能とするため、IT資産管理システムを導入し、適正な管理、運用を図る。
令和4年度予算に向けて	テレワーク、リモートワーク、無線LANによる利用等の環境整備に伴い、「情報セキュリティポリシー」を改訂し、適切な維持、管理を図る。
令和5年度予算に向けて	本市が保有する情報資産を適切に管理し、情報セキュリティ対策を講じて、高度化・巧妙化するサイバー攻撃や人的な要因による個人情報の漏えい等から情報資産を守り、業務を継続するため、情報ネットワーク及び事業者による保守支援等の適正化を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

将来的なDX推進に対応できる基盤として機能させるため、今後、求められる庁内ネットワーク環境の在り方の検討から環境整備までを確実に実施していく。また、「都留市デジタル人材育成基本方針」を策定し、基本方針に基づく、研修を実施することにより、DX人材の育成に努める。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	基幹系システム管理事業			款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦 和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：都留市民 対象物：各種証明書		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 住民票、戸籍及び税証明等の各種証明書を発行する基幹系システムの維持管理を行うための事業。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民が必要な時に必要な証明書を取得できる状態。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	80,645,580円	133,462,000円	344,200,000円	78,399,000円	
	決算額[B]	79,896,842円	133,193,620円	322,784,783円	77,330,569円	
	執行率[B]/[A]	99.1%	99.8%	93.8%	98.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	基幹系システム運用保守 12,046,680円 基幹系システムソフト使用料 12,818,400円	基幹系システム運用保守 12,157,200円 基幹系システムソフト使用料 13,014,100円	次期基幹系システム更改に伴う構築業務 220,729,465円 基幹系システムデータ抽出業務 25,228,500円 基幹系システム運用保守業務 11,469,480円	都留市基幹系システム運用保守業務委託 45,877,920円	
	財源内訳	国庫支出金	2,391,000円	3,267,000円		
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源			14,342,000円	1,535,000円
		一般財源	77,505,842円	129,926,620円	308,442,783円	75,795,569円
	財源合計[C](=[B])	79,896,842円	133,193,620円	322,784,783円	77,330,569円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	89,270,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	接続不可等のエラー、不具合件数 件(発生件数/年)	件	目標値	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

達成している場合は記載不要								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	4	5
平均得点	4.6	4.8	4.8	5.0

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現行の基幹系システムは、「令和3年12月末日」に契約期間満了を迎えるため、基幹系システムの最適化を目的とした調達計画を含む「都留市ICT最適化計画」を策定した。今後、ICT最適化計画に基づき、適正なシステム選定及び、着実なシステム構築に努める。
令和2年度	基幹系システムへの確実な移行及び、今後の標準準拠システムへの移行を踏まえ、標準化を意識した更改仕様書を完成させ、システム更改に向けたプロポーザルによる事業者の選定、契約締結等のプロセスを着実に実施した。今後も、システムの確実な移行および安定した業務運用の実現に努める。
令和3年度	令和3年12月末の基幹系システム契約期間満了に伴い、本市の独自仕様等によるカスタマイズを抑制した基幹系システムに更新、令和4年1月4日に運用を開始させ、システムの確実な移行および安定した業務運用を実現させた。今後も、システムの安定稼働と業務支援に努める。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	クラウド環境を使用した新基幹系システムの安定的な稼働に努めている。標準化・共通化への移行に向けた準備に着手した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	・基幹系システム更改支援業務委託			基幹系システム運用支援及びオンライン手続き等効率化支援業務委託			基幹系システム標準化移行対応業務委託					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	次期基幹系システムの調達、構築については、将来的な自治体クラウドへの移行を見据え、カスタマイズを極力抑えるよう業務フローの見直しも実施し、費用の適正化、業務の効率化に努める。
令和4年度 予算に向けて	これまでの自庁導入型の基幹系システムからデータセンターを利用したクラウドサービス型の基幹系システムへ確実に移行するとともに、将来的な自治体クラウドへの移行に向けて業務の標準化を推進する。
令和5年度 予算に向けて	基幹系システムの標準化・共通化及び行政手続きのオンライン化に向けた取組みを推進する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和7年度までに自治体情報システム(20業務)をガバメントクラウドへ安心・安全に移行するため、標準化・共通化への取組みを推進する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各種業務システム管理事業			款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦 和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	<small>※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。</small> 対象者：都留市職員 対象物：情報系システム及び基幹系システム以外のシステム		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	<small>※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。</small> 統合型GISシステム等の維持管理を行うための事業。		
めざす 目的・成果	<small>※対象がどのような状態になることを目指すか。</small> 都留市職員が利用したいときに利用できる状態。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,383,000円	13,808,000円	13,023,000円	33,304,000円	
	決算額[B]	4,360,960円	10,220,406円	11,921,478円	30,557,798円	
	執行率[B]/[A]	99.5%	74.0%	91.5%	91.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	統合型GIS運用保守 2,138,400円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,155,000円	統合型GIS運用保守 2,178,000円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,218,000円	統合型GIS運用保守 2,178,000円 共用空間データ整備支援業務 880,000円 電子申請等システム共同化事業負担金 1,125,000円	統合型GIS運用保守 2,415,600円 共用空間データ整備支援業務 1,771,000円 都留市公式LINEアカウント活用サービス構築業務委託 15,917,000円	
	財源内訳	国庫支出金				16,190,000円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	584,000円	357,000円		
		一般財源	3,776,960円	9,863,406円	11,921,478円	14,367,798円
	財源合計[C](=[B])	4,360,960円	10,220,406円	11,921,478円	30,557,798円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	17,192,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
システム利用の拡充	GIS搭載レイヤー数（レイヤー累計数）	件	目標値		1510.0	1520.0	1530.0	1540.0
			実績値	1503.0	1511.0	1543.0	1671.0	1692.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在の統合型GISシステムの契約満了（令和2年10月末）となるため、本システムの更改に向けて、基幹系システムとの連携などについて検討する必要がある。
令和2年度	統合型GISシステムの更なる利活用を実現させる目的で更新するためには、システムとデータのベンダーロック等の問題解決を解消する必要がある。今後、「基幹系」「LG系」のネットワーク毎での取扱いに関する利用ルールの明確化を図るほか、住基情報利活用等の運用ルールの確立する必要がある。
令和3年度	現在の各GISの運用の評価や、統合型GISの抜本的見直しを含めた庁内横断的な空間データ活用体制の再構築と、共用空間データの構築を実施するための検討を行うため、共用空間データ活用検討会を設置し、問題点の整理と今後の方向性を報告書に取りまとめた。今後は、地図データの仕様書の作成、基幹系との連携等に着手する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本市における現状の各GISの運用の評価や、統合型GISの抜本的見直しを含めた庁内横断的な空間データ利活用体制の再構築と、共用空間データの構築を実施するための指針となる「共用空間データ活用基本計画」を策定した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○			○			
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	庁内全体の統合型GISシステムの利活用による業務効率化を図るため、更なる検討、研究を進め、再構築の方針を決定し、統合型GISシステムの再構築を進める。
令和4年度 予算に向けて	統合型GISシステム等で利用している家屋図、地番図等と、業務主管課の道路台帳や上下水道等の部門GISシステムで管理されている地図情報について、空間データを整備し、基盤地図データのデータ規格、フォーマットを統一した共通仕様書を作成し、システムとデータのベンダーロック等の問題解決を図る。
令和5年度 予算に向けて	空間データ統合による共用空間データの整備と利活用の実現に向けた取組みを実施するとともに統合型GISシステムの更新を推進する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

本市が所有する共用空間データである地図データ等を整備することにより、全庁的なデータ利活用を推進する。また、整備した共用空間データを「オープンデータ」として公開し、行政と市民が連携し、地域課題に向き合える空間データ連携基盤の構築などに取り組む。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	総合行政ネットワーク事業		款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成	
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦 和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都留市職員 対象物：サーバ及びネットワーク機器		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークの維持管理を行うための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地方公共団体間の円滑なコミュニケーション及び情報の共有が図れる状態。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	271,000円	271,000円	271,000円	271,000円	
	決算額[B]	270,864円	270,864円	270,864円	270,864円	
	執行率[B]/[A]	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円	第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円	第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円	第四次LGWANネットワーク機器リース料 270,864円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	270,864円	270,864円	270,864円	270,864円
	財源合計[C](=[B])	270,864円	270,864円	270,864円	270,864円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
安定稼働	常時、稼働し、利用できない状態を発生させない。等に対するヒヤリハット数（発生件数/年）	件	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/> 中野一成	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	1	1
平均得点	4.8	4.8	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまで通り、ネットワーク保守業者と連携を図る中で、ネットワーク環境の適正な運用管理に取り組む。
令和2年度	第四次LGWAN は、行政事務や情報連携、更には令和3年度に予定しているコンビニ交付など住民直結のサービスインフラとして重要性を増している。LGWANが利用できない状況に陥ると、住民に対しても影響が生ずることとなるため、安定稼働に向け、冗長化などを検討する必要がある。
令和3年度	令和4年3月からコンビニ交付が開始となり、行政手続きのオンライン化でもLGWANの活用することから、LGWANは、住民直結のサービスインフラとして重要性を増している。LGWANが利用できない状況に陥ると、住民に対しても影響が生ずることとなるため、安定稼働に向け、冗長化などを推進する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和4年3月からコンビニ交付が開始となり、行政手続きのオンライン化でもLGWANの活用することから、LGWANは、住民直結のサービスインフラとして重要性を増しているため、LGWANが利用できない状況に陥ると、住民に対しても影響が生ずることとなることから、安定稼働に向けた対策を令和5年度に講じる。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	安定稼働が原則であり、停止してしまうと他団体にも影響が及ぶため、細心の注意を払い、適正な管理を継続していく。
令和4年度 予算に向けて	LGWAN網との接続における可用性を向上させるため、アクセス回線及びLGWAN接続ルータを冗長構成等について研究、検討し、更なる安定稼働に向けた取組みを行う。
令和5年度 予算に向けて	コンビニ交付開始とともに、基幹系ネットワークの再構築を行い、基幹系ネットワークの可用性を向上させた。今後も安定稼働に向けた取組みとして、ネットワーク保守の見直しなどに着手する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市のインターネット系ネットワーク環境は、「令和5年10月末日」に契約期間満了となるため、ネットワーク環境全体の最適化を目的とした構築、運用保守の見直しにより、コスト削減はもとより、操作性、事務効率化、高度化を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会保障・税番号制度事業		款項目	02-01-09	評価責任者	中野一成	
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	情報政策担当	記入者	秦 和也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	情報ネットワークの強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：都留市民 対象物：特定個人情報（マイナンバーを含む個人情報）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 情報連携が可能な事務手続において、これまで提出する必要があった書類を省略できるようにし、都留市民の利便性を高める事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市民にとって、社会保障・税制度の効率性を高め、利便性の高い、公平・公正な社会が実現できる状態。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	445,128円	円	728,000円		
	決算額[B]	円	円	727,375円		
	執行率[B]/[A]	0.0%	#DIV/0!	99.9%		
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	※業務主管課での執行となったため、当該事業からは未執行となった		コンビニ交付対応LGWAN-ASP 接続設定業務 727,375円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源			727,375円	
	財源合計[C](=[B])	円	円	727,375円		

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用拡大	マイナポータルの利用件数 (利用件数/年)	件	目標値		100.0	200.0	250.0	300.0
			実績値	0.0	124.0	190.0	191.0	628.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	5	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	5	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	4	3	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	4	5
平均得点	4.6	4.4	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マイナンバー制度の活用により、事務手続きが簡略化し、市民の利便性を高めるため、図書館利用など行政サービスでの利用できる仕組みづくりと、公的個人認証サービス等の導入の可能性について研究、検討し、利用拡大を図る必要がある。
令和2年度	「マイナポイント手続スポット」として、マイナポータル専用端末を庁舎内に設置、職員による手続き支援等を実施したが、新型コロナウイルスへの感染拡大防止の観点から、マイナンバーカードの「出張申請受付方式」の実施見合わせなどの制約がある中での取組みとなった結果、利用者数の伸びが鈍化した。
令和3年度	「マイナポイント手続スポット」としての庁舎内に設置、職員による手続き支援等を実施したが、新型コロナウイルスへの感染拡大防止の観点から、マイナンバー制度及びデジタル活用に不安のある高齢者の方を対象とした「デジタル活用支援講座教室」の中止などの制約がある中での取組みとなった結果、利用者数の伸びが鈍化した。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本市独自の「マイナンバーカード普及促進給付金」事業により、マイナンバーカードの普及促進及び、公金受取口座への登録者増加に繋がった。今後は、マイナンバーカードの独自利用など、市民の利便性を高めるための利活用の促進や新たな行政サービスでの活用に取り組む。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	コンビニ交付対応LGWAN-ASP 接続設定業務委託											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共に、独自利用の研究、検討を行う。また、利用拡大を図るため、市内の企業や各種団体等を対象として、希望の会場に出向いてマイナンバーカードの申請を受け付ける「出張申請受付方式」を本格的に実施する。
令和4年度 予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共にマイナンバーの利用促進に関する取組みを実施する。
令和5年度 予算に向けて	今後もマイナンバー法本来の運用として、その趣旨に則った適切な運用を図ると共にマイナンバーの利用促進に関する取組みを実施する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

マイナンバーカードの独自利用など、市民の利便性を高めるための利活用の促進や新たな行政サービスでの活用に取り組む。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	生涯活躍のまち・つる事業			款項目	02-01-14	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策推進担当	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	まち・ひと・しごと創生法、地域再生法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内に立地する3大学等や民間事業者等と連携し、生涯にわたって活躍できる受け皿をソフト・ハードともに整備する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 本市に住む市民全体の豊かな暮らしの実現		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	284,758,000円	78,409,943円	789,795,000円	693,607,000円	
	決算額[B]	202,379,639円	31,003,503円	168,356,773円	554,214,561円	
	執行率[B]/[A]	71.1%	39.5%	21.3%	79.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	委託料(推進協会15,000,000円)、負担金(東京ブース5,000,000円、単独型整備19,589,479円)、補助金(推進協会15,093,069円、サ高住住宅整備補助144,000,000円)	委託料(生涯活躍のまち事業11,000,000円、複合型P実施設計48,950,000円)、補助金(生涯活躍のまち10,600,000円)、負担金(東京ブース6,000,000円)	工事請負費 75,460,000円、委託料 76,192,646円、補助金 9,600,000円、負担金 6,070,000円	工事請負費 464,245,100円、委託料 54,175,350円、備品購入費 12,518,605円、補助金 14,662,729円、負担金 6,070,000円	
	財源内訳	国庫支出金	17,365,334円	10,800,000円	47,290,008円	259,306,244円
		県支出金				
		地方債			45,200,000円	184,800,000円
		その他特定財源	2,467,050円			1,000,000円
		一般財源	198,009,008円	20,203,503円	75,866,765円	110,108,317円
	財源合計[C](=[B])	217,841,392円	31,003,503円	168,356,773円	555,214,561円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	71,290,000 円
-------	---	---------------------	--------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
生涯活躍のまち・つるに伴う移住候補者の確保	生涯活躍のまち・つる事業に伴う移住促進事業で、移住候補者名簿に登録された人数(累計)	人	目標値		836.0	871.0	906.0	941.0
			実績値	801.0	861.0	913.0	958.0	1001.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

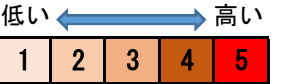
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	単独型PJについては、年度中旬にサ高住、下谷交流センターともオープンし、順調に入居・利用者が増えている。次年度は、既存の推進協会(任意団体)から法人格を有する団体が、生涯活躍のまち・つる事業全体をマネジメントする見込み。また、複合型PJについても、事業者選定などを含め本格的に事業が動き出す。
令和2年度	単独型PJについては、順調に入居・利用者が増加し、現在80戸中77戸まで入居申し込みをうけている。また、令和元年度中に設立された、地域再生推進法人が生涯活躍のまち・つる事業全体をマネジメントし各種取組みを行っている。また、複合型PJについても、現在事業者を選定中。
令和3年度	単独型PJについては、順調に入居・利用者が増加し現在全80戸で入居申し込みをうけている。また、地域再生推進法人として指定したまちのtoolboxが本事業について各種取組みを行っている。複合型PJについては、新型コロナウイルスの影響により事業者選定が完了しておらず、現在も事業者と協議をしている段階である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	単独型PJについては、9割程度の入居率で堅調に推移している。複合型PJについては、新型コロナウイルスの影響により事業者選定が完了しておらず、現在も事業者と協議をしている段階である。一方田原交流センターについては、令和4年度中に建設工事が完了し、今後の有効活用検討する必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○		○			○		
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	複合型居住プロジェクト(地域交流拠点施設の整備)			複合型居住プロジェクト(地域交流拠点施設の整備)								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	複合型PJでは、R3・4年度にかけて地域拠点施設の建設予定など、ハード面の整備を進めていくため、全体の事業費は増加見込み。また、サ高住等を整備する(民間)事業者の公募、エリア全体の統一感(景観、建物の構造等)も勘案しながら、その後の選定を適切に行い、複合型PJを推進する。
令和4年度予算に向けて	複合型PJについては、R4年度中に交流拠点が完成予定であり、整備後施設を活用するためのソフト事業などに幅広く取組み、エリア全体の活性化を図る必要がある。
令和5年度予算に向けて	R5年度に田原交流センターが供用開始となるため、指定管理者や健康子育て課と連携の上、多世代交流の拠点となるよう協議し推進する。また、エリア全体の計画についても管理し進めていく必要がある。一方令和4年でハード整備が一段落するため、コストについては削減を進める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

地域経済の循環促進と持続化、また喫緊の課題となっている人口減少の解決に向け、企業立地支援と企業誘致により、若者が住み続け、人が移り住む「ひと」集うまちの実現。地場産業や地元商店との連携体制の強化を図るとともに、生涯活躍のまち・つる事業を起因とする起業により、地域経済の底上げを図り、「まち」の賑わいを創出する

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業		款項目	02-01-08	評価責任者	中野一成	
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策推進担当	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	地域おこし協力隊推進要綱（H21総行応第38号）		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 都市部に居住する方に、本市に移住してもらい、様々な活動を通してまちづくりを進める。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 隊員の定住と新たな産業（起業）の創出		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	16,000,000円	19,360,000円	32,764,000円	44,531,000円	
	決算額[B]	13,140,998円	19,360,000円	26,665,208円	27,478,027円	
	執行率[B]/[A]	82.1%	100.0%	81.4%	61.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・報酬 498,000円 ・報酬 6,872,500円 ・委託料 2,142,661円 ・負担金 2,375,400円	・委託料19,360,000円	・共済費 419,410円 ・報酬 2,694,132円 ・委託料 23,495,266円	・共済費 59,200円 ・報酬 572,065円 ・委託料 23,837,362円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	16,000,000円	19,360,000円	26,665,208円	24,478,027円
	財源合計[C](=[B])	16,000,000円	19,360,000円	26,665,208円	24,478,027円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	26,400,000 円
-------	---	---------------------	--------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住と、起業の数	現状の隊員が任期終了後に、定住や起業した数を目標値とする。(小計)定住、起業それぞれ1カウント。	人	目標値		0.0	0.0	1.0	3.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.6	4.6	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画課では「移住・定住に向けた対応」などをミッションとする日常業務を行う為、任期中は専門・具体的な産業や事業への従事でない(生計を立てる仕事に直結していない)ので、任期終了後の定住に繋がり難い。次年度からは、まちづくり団体に所属する方を隊員として受入れ、仕事づくりを行う中で定住可能性を高めていきたい。
令和2年度	企画課所属では「移住・定住に向けた対応」などをミッションとする日常業務を行う為、任期中は専門・具体的な産業や事業への従事でない(生計を立てる仕事に直結していない)かったが、まちづくり団体に所属したことにより、各自が任期終了後の生業づくりに具体的に取組み、定住可能性を高めている。
令和3年度	各隊員が地域再生推進法人に所属し、各自が任期終了後の生業づくりに具体的に取組んでいるため、定住のための活動ができており、その成果により都留市に新たな産業の創出が図られてきている。今後は任期終了後の事業との連携も含めさらにまちづくりに関わってもらう方法の検討が必要となる。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	地域おこし協力隊の期間満了後も市内での活動を積極的に展開する元隊員もいる反面、都留市内に定着せずに市外に流出する隊員もいる。今後、隊員を募集するにあたっては、隊員期間満了後を見据えた募集形態や業務内容を十分検討していく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年4月より、地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い、市で雇用する場合には、各種手当も必要となる会計年度任用職員という身分になったが、企画課では、直接雇用はせずに、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
令和4年度 予算に向けて	令和4年度以降も原則、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、引き続き、まちづくりの取組みを推進いただく予定。
令和5年度 予算に向けて	令和5年度以降も原則、まちづくり団体に委託し当該団体に所属する者を、地域おこし協力隊として委嘱し、業務内容について明確化したうえで、引き続きまちづくりの取組みを推進する予定。また、サテライトオフィスの利用促進のための隊員も採用する予定であり、市内各所のネットワークづくりを推進していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市が直接雇用する形態ではなく外部団体等が雇用する形態を継続し、雇用先がその後の就労先となるような支援など隊員の任期後の定住に繋げるための隊員活動の支援を継続的に行う。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定住人口対策費			款項目	02-01-08	評価責任者	中野一成
担当部	総務部	担当課	企画課	担当	政策推進担当	記入者	森嶋昭人
会計	一般会計	事業開始年度	平成23年度	法定根拠・法令等	都留市移住定住促進奨励金交付要綱、都留市空き家バンク利活用事業補助金交付要綱、都留市快適遠距離通勤補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	5	★移住促進と定住支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民（転入者を含む）全体、まち全体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 本市へのU・J・Iターンを希望する移住者や、定住を望む方へ補助金等を交付し、人口減少対策につなげる。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 人口減少の克服		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	15,750,000円	24,010,000円	25,700,000円	24,736,000円	
	決算額[B]	14,390,900円	16,826,492円	10,884,730円	19,376,650円	
	執行率[B]/[A]	91.4%	70.1%	42.4%	78.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・移住定住促進奨励金 11,880,000円 ・遠距離通勤補助金 1,950,900円 ・空き家バンク利活用補助 560,000円	・移住定住促進奨励金 9,194,000円 ・遠距離通勤補助金 1,592,358円 ・空き家バンク利活用補助 3,937,000円	・移住定住促進奨励金 6,100,000円 ・遠距離通勤補助金 1,738,657円 ・遠距離通勤補助金 688,073円 ・空き家バンク利活用補助 2,358,000円	・移住定住促進奨励金 8,025,000円 ・遠距離通勤補助金 3,809,900円 ・遠距離通勤補助金 418,130円 ・空き家バンク利活用補助 1,387,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		1,450,000円	869,000円	6,104,000円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	14,390,900円	15,376,492円	10,015,730円	13,272,650円
	財源合計[C](=[B])	14,390,900円	16,826,492円	10,884,730円	19,376,650円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助事業に伴う移住・定住者数	補助事業に伴い移住及び定住につながった人数（属する世帯を含む）（累計）	人	目標値		35.0	40.0	50.0	60.0
			実績値	31.0	95.0	144.0	178.0	234.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

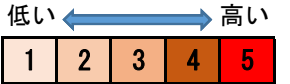
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	亀田剛 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>	中野一成 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消費増税に伴う駆込新築もあるが、令和元年度から改正し対象を拡充した移住定住促進奨励金の利用が急増した。又、当初は令和元年度末失効予定の遠距離通勤補助を、一定の定住効果があることから3年間延長した。更に次年度から、遠距離通学補助制度を新設し、大学等への進学時においても、定住を支援する制度を整備した。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、都市から地方への人の流れが発生しており、本市への移住者も増加しつつある。特に空き家への関心が高く、空き家バンク利活用補助金の利用が増加している。
令和3年度	昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、都市部の企業も働く場所にこだわらない働き方を模索しており地方への人の流れができ始めている。特に本市から通勤・通学する方向への通勤・通学補助や空き家バンク利活用補助金の利用が増加している。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	2015年と2020年の国勢調査の結果によると本市人口は302人社会増の社会増、令和4年度の住基上の社会増減は▲14人の社会減であり、社会減に対しては、一定の歯止めがかかっていることが認められるが。一方、自然は減は減少幅が拡大しつつあるため、社会増減の対策のみでは人口減少へ対策としては不十分であると思われることから、社会増減のみならず自然増減も踏まえた対策を推進する必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	遠距離通勤・通学補助については、一定距離を通勤又は通学する場合には、方面に限らず補助の対象としたので、利用者の拡大も予想される。
令和4年度 予算に向けて	今後、二地域居住等のニーズも高まる可能性があるため、これらに対応した制度を検討する。なお、通学補助については、県の補助事業がR3をもって終了する予定であることから、県の動向を踏まえ、補助の内容を見直す必要がある。
令和5年度 予算に向けて	通勤・通学の補助対象をR4年度から拡充したため、更なる利用者拡大が予想される。また、リモートワークの普及により都市圏から近い地方として本市のポテンシャルを活かせる機会となるためPRについても検討する必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

移住を検討している子育て世代が「子育てのしやすさ」を重点項目の一つと考えられることから、子育て世代に合わせた効果的な情報を積極的に発信するとともに、受け入れ体制を整備・強化し、移住促進を図る。また、子育てに必要な支援策や環境を充実させ、住み続けたい、価値のある「まち」の実現を目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地方公会計制度推進事業		款項目	02-01-04	評価責任者	亀田 剛	
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	財政担当	記入者	佐藤 知哉
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 統一的な基準に基づく財務書類の作成		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 統一的な基準に基づく財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）の作成及び指標を用いた分析		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,364,000円	3,616,000円	3,903,000円	3,913,000円	
	決算額[B]	4,713,542円	3,492,500円	3,822,500円	3,604,700円	
	執行率[B]/[A]	87.9%	96.6%	97.9%	92.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	作成支援業務委託等 5,240,871円	PPP公会計システム 年間 保守業務委 440,000円 公会計財務書類作成支援業務 委託 3,052,500円	PPP公会計システム 年間保守業務委託 440,000円 公会計財務書類作成支援 業務委託 3,382,500円	PPP公会計システム 年間保守業務委託 550,000円 公会計財務書類作成支援 業務委託 3,052,500円 書籍購入 2,200円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,713,542円	3,492,500円	3,822,500円	3,604,700円
	財源合計[C](=[B])	4,713,542円	3,492,500円	3,822,500円	3,604,700円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	3,603,000 円
-------	---	-------------------------	-------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計等に係る指標	有形固定資産減価償却率、基礎的財政収支、純資産比率等による分析	個	目標値		9.0	9.0	9.0	9.0
			実績値	9.0	9.0	9.0	9.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	4	4	4	4
平均得点	4.2	4.4	4.2	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	統一基準に基づく財務書類の作成が3年目となり、作成する内容等もある程度定まったため、助言指導等を監査法人から税理士へ変更したことに伴い、費用負担が減少し、きめ細やかで包括的な支援を受けることも可能となり、作成に要する時間も大幅に減少させることができた。
令和2年度	統一基準に基づく財務書類の作成が4年目となり、各種分析指標を基に複数年の推移を類似団体と比較するなど、国の方向性に基づいた分析ができているため、今後は固定資産台帳を活用した指標である資産老朽化比率を基に施設の維持管理の方向性を定めていく必要がある。
令和3年度	作成開始から4年ほど経過する中で、財務諸表の活用方法については国の研究会においても有効な活用方法について検討段階にあり、予算編成等への活用には至っていない。また、固定資産台帳についても、個別施設計画等の他の帳票、計画との整合性の点には疑問が残る。長寿化計画等に活用できているとは言い難い点が課題である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	財務諸表の活用方法については、国の研究会において一部の先進自治体以外まったく活用していない二極化となっていること、翌年度末までに作成している団体が多いことから、予算編成に反映がなされていないことが課題とされている。決算審査の際に資料として提出できれば理想的ではあるが、各団体の決算書も必要となることから、現実的にはそのスケジュールでの作成は難しい。財務諸表の有効活用には至っていないが、公会計に関する資格を取得し、理解を深めることはできた。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	財政状況資料集の中で類似団体比較が可能となったため、都留市の財政運営の参考指標として活用するとともに総務省に設置されている「地方公会計の推進に関する研究会」の協議内容を注視し、活用策などの方針が示された時点で適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
令和4年度 予算に向けて	類似他団体との数値の比較及び財務書類の中身についての理解を深めることで、より一層財政運営の参考指標として活用するとともに、国の研究会の動向、指標の活用方法等を注視し、制度変更等にも適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。
令和5年度 予算に向けて	作成に係る期間、スケジュールについて把握することが出来たこともあり、国が示している決算年度の翌年度末までの公表を目標とし、引き続き国の研究会の動向、指標の活用方法等を注視し、制度変更等にも適切に対応できるよう引き続き情報収集に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

活用方法については今後も「地方公会計の推進に関する研究会」の協議内容を注視し、活用策などの方針が示された時点で適切に対応できるよう引き続き情報収集に努めるものとし、担当職員については各指標などについて見識を深め、多団体との比較・検討など財務書類の理解力を高めていく。	
---	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	財産管理関係経費			款項目	02-01-06	評価責任者	亀田 剛
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	小林 克也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象物：市役所庁舎		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 庁舎の修繕・管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 庁舎の良好な状態の確保や長寿命化		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	90,048,000円	72,305,000円	47,610,000円	52,037,230円	
	決算額[B]	54,922,830円	51,984,719円	40,025,070円	44,007,935円	
	執行率[B]/[A]	61.0%	71.9%	84.1%	84.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	庁舎地下1階照明LED取替修繕 1,263,600円 北別館及び第二北別館屋根修繕 4,950,000円 都留市役所非常用発電設備設置及び幹線増設工事 13,370,000円	旧藤本旅館敷地法面改良工事設計業務委託 1,760,000円 庁舎未警戒区域消防設備設置委託業務 702,350円 庁舎1階カウンター衝立設置修繕 13,959,000円	庁舎等夜間警備業務委託 6,423千円 庁舎日常・定期清掃業務委託 5,428千円 庁舎等修繕 1,963千円	庁舎等夜間警備業務委託 6,423千円 庁舎日常・定期清掃業務委託 5,348千円 庁舎等修繕 4,323千円	
	財源内訳	国庫支出金				295,000円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	22,566,400円	23,546,000円	24,165,000円	21,203,061円
		一般財源	32,356,430円	28,438,719円	23,460,000円	22,509,873円
	財源合計[C](=[B])	54,922,830円	51,984,719円	47,625,000円	44,007,934円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	302,748,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
光熱費の削減	節電対策を行うことにより、光熱費の削減を図る	千円	目標値		3500.0	3500.0	3500.0	3500.0
			実績値	3628.0	3980.0	3891.0	4870.0	7034.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

電気料金の高騰が主な要因。使用電力量についても、節電対策を行ってきたものの、新型コロナウイルス感染症対策による換気等により冷暖房への負荷がかかったためコロナ前と比べ増加している。

■全内容チェック(確認者:課長)

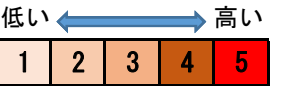
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.8	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年度、猛暑日等によるエアコン使用回数の増加等により、電気料金が増加したため、料金は正に向け、電力供給業者を入札により、株式会社関電エネルギーソリューション及び川重商事株式会社としたが、切り替えた4~5月分の電気代単価が高額になってしまった。
令和2年度	今年度5台のエアコンの入れ替えなどにより、電力の削減を図ったが、新型コロナウイルスの影響により、換気と室内温度の最適化を行うために、例年に比べエアコン使用率の増加及び設定温度の変更により、電気料金が増加してしました。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により、換気と室内温度の最適化を行ったため、エアコン使用率の増加及び設定温度の変更等により、電気料金が増加している。元気くん1号が故障により長期間稼働していなかったことが電気料金増加の一つの要因であると考え。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	昨年に続き、新型コロナウイルスの対策として、換気と室内温度の最適化を行ったため、エアコン等への負荷が生じ、電気料金が増加している。電力市場が不安定となり、電気料金そのものが高騰し、またこの状況は来年度も継続する見込みである。今後は節電対策の継続とともに、引き続き電力市場の動向を注視し有利な電気契約を行っていく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大												
維持		○			○			○			○	
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	光熱費の削減方法について検討する。また、電気料金が高くなるため、古いエアコン等の入替を順次実施する。
令和4年度 予算に向けて	今後も新型コロナウイルス対策としての設定温度の変更は致し方ないと思われるが、なるべく節電に対する周知を行いつつ、古いエアコンの入れ替えによる節電対策を実施する。また、良質で安価な電力を安定供給できるよう電力会社の見直しを行う。
令和5年度 予算に向けて	引き続き、新型コロナウイルス対策を行っていくことが想定されるが、節電の周知、古いエアコンの入れ替え等による節電対策を実施していく。また、CO2排出量を可能な限り削減させるため、良質で安価な電力供給を行える電力会社の検討を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

引き続き、節電対策並びにCO2排出量へ配慮しつつ安価な電力供給を行える電力会社の検討を行うとともに、庁舎等公共施設の再編、集約化、大規模改修を検討し、合理的な施設運営を目指す必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公用車車両管理経費		款項目	02-01-07	評価責任者	亀田 剛	
担当部	総務部	担当課	財務課	担当	管財担当	記入者	小林 克也
会計	一般会計	事業開始年度	法定根拠・法令等				
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象物：公用車		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する公用車の適正な管理及び整備、老朽化・破損による修繕、車両の買替、車検・定期点検 安全運転の徹底		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公用車の適正な配置、車両事故の減少		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	22,012,000円	16,853,000円	12,544,000円	14,853,000円	
	決算額[B]	19,942,562円	10,797,693円	11,224,729円	13,400,728円	
	執行率[B]/[A]	90.6%	64.1%	89.5%	90.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	燃料費 3,891千円 高速道路使用料 2,901千円 公用車4台購入 6,834千円	燃料費 2,895千円 高速道路使用料 1,507千円 公用車1台購入 1,250,000円	燃料費 3,494千円 高速道路使用料 1,720千円 修繕費 2,765千円	燃料費 4,026千円 高速道路使用料 2,053千円 修繕費 2,868千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	741,162円	2,277,353円	447,414円	451,112円
		一般財源	19,201,400円	8,520,340円	10,777,315円	12,949,616円
	財源合計[C](=[B])	19,942,562円	10,797,693円	11,224,729円	13,400,728円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	12,757,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故の件数	講習安全講習などを開催し、事故件数の減少を目指す。	件	目標値	26.0	24.0	22.0	20.0	
			実績値	33.0	26.0	15.0	13.0	19.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>	亀田 剛 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.8	5.0	4.8	4.8

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	公用車の事故を減らすために研修会等を実施しており、事故件数は減ってはいるが若者の車離れの影響で注意不足による事故が多い。
令和2年度	職員一人一人の意識の向上に加えて、新型コロナウイルスの影響により、市外での研修や会議等が無かったため、公用車の使用回数が少なかったことが事故件数減少の要因の一つだと思われる。今後も事故件数が大幅に増大しないよう研修会等による事故防止に向けた意識付けを行う。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により、研修等の減少、オンラインでの開催等により、公用車の使用回数が例年に比べ少なかったことが事故件数減少の主な要因と考える。今後においても安全運転研修会などの実施により職員への注意喚起を行い、事故防止に向けた意識付けを行っていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルスの影響による、出張等の減少、オンライン開催等は引き続きあるものの昨年に比べ、公用車の使用回数が増加した。この影響もあっては事故件数は若干増加、ただし、事故内容をみるとそのほとんどが、不注意による傷等である。今後はアシストブレーキ義務化後の車両への変更およびコーナーセンサー、バックモニターの導入により物理的な対応の検討が必要。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	公用車の事故を減少させるために定期的に研修会及び実技研修を実施する。
令和4年度 予算に向けて	事故件数が大幅に増加しないように、令和3年度に実施できなかった研修会等を実施する。
令和5年度 予算に向けて	職員に対し、安全運転を心掛けるよう注意喚起を行ったうえで安全運転研修会などの実施により、事故防止に向けた意識付けを行い、事故件数を減少させる。 自動ブレーキ搭載車を導入していくことで構造的な事故防止を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

研修等意識的な対策に加え、アシストブレーキ義務化後の車両への変更およびコーナーセンサー、バックモニターの導入により構造的に事故が起こらない対策を取る必要がある。また、併せて電気自動車化についても計画的に進める必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	結婚相談事業			款項目	02-01-15	評価責任者	程原 由和
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当	記入者	小口 純枝
会計	一般会計	事業開始年度	昭和61年度	法定根拠・法令等	なし		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 結婚を希望する独身者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 第2・4水曜日17時～19時市役所2階相談ブースにて結婚相談所開設し、結婚相談員が独身者の相談に応じている。また年に2回、パーティーを実施し出会いの場を提供している。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 結婚を希望する独身者からの相談を随時受け付け、紹介・引き合わせ等を行ったり、出会う機会の少ない男女の交流の場として婚活パーティーの開催など、結婚に向けての支援を図り、市の少子化対策、人口増加につなげることを目的とした。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	962,000円	772,000円	982,000円	1,182,000円	
	決算額[B]	607,175円	184,067円	245,888円	356,472円	
	執行率[B]/[A]	63.1%	23.8%	25.0%	30.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	結婚相談員謝礼 355,000円 消耗品費 31,036円 施設使用料 172,333円	結婚相談員謝礼 135,000円 通信運搬費 29,067円 連絡協議会負担金 20,000円	結婚相談員謝礼 185,000円 通信運搬費 28,688円 連絡協議会負担金 20,000円	結婚相談員謝礼 250,000円 婚活セミナー講師謝金 50,000円 通信運搬費 32,802円 連絡協議会負担金 20,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	90,000円	円		
		一般財源	517,175円	184,067円	245,888円	356,472円
	財源合計[C](=[B])	607,175円	184,067円	245,888円	356,472円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,132,000 円
-------	---	---------------------	-------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
カップル成立数	ふれあいパーティーにおけるカップル成立数（累計）	組	目標値	/	19.0	22.0	25.0	28.0
			実績値	16.0	19.0	19.0	19.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、婚活パーティーの開催ができなかったほか、外出の自粛等が影響したことにより、カップルの成立が増えなかったと思われる。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤 好男 <input checked="" type="checkbox"/>	重森 雅貴 <input checked="" type="checkbox"/>	程原 由和 <input checked="" type="checkbox"/>	程原 由和 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	3	3
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	5	3	2	1
平均得点	3.8	3.4	3.2	3.0

自己評価
担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	結婚相談所登録者数の男女比の差（令和2年1月末現在：男性51名、女性7名）や登録者の年齢構成（20代3名、30代11名、40代30名、50代10名、60代4名）に偏りがあるため、結婚相談員が紹介や引き合わせを行っても成婚につながる数が少ない。女性や若年層の登録者を増やすことが課題である。
令和2年度	ふれあいパーティーの参加者（特に男性）において、パーティー当日の女性への接し方に課題がある方が多い。今年度開催したオンライン婚活では、事前に研修会等を開催したところ、少数の参加者ながらカップル成立が多数となった。今後は事前研修会等を開催し、自己アピール方法を学んでもらうことで、より多くのカップル成立を目指していく。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度及び3年度はパーティーを開催できなかったが、その間にも8名の相談員においては、地道に登録者を集め引き合わせをおこなっており、3年度においては2組を成婚させている。引き続き、登録者を増やし、より多くの成婚を目指していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、パーティーの開催ができなかったが、登録者向け支援を考え、登録男性を対象としたセミナーを開催した。また、新型コロナウイルス感染症が5類相当に変更後に婚活イベントの開催を目指したい。今後も、感染状況により対応を変えながら、登録者を増やし、より多くの成婚を目指していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	ふれあいパーティーへの参加者は相談所登録者に限っていないため、女性や若年層の参加も多い。パーティー参加者へ相談所登録への魅力をアピール（結婚相談員が希望にそった相手に引き合わせてくれる等）し、登録者の増加へとつなげる。また、パーティーの内容を見直すことによって、カップルの成立数を増やす。
令和4年度 予算に向けて	パーティー参加者への事前研修会等を開催し、当日のカップル成立数を増やす。
令和5年度 予算に向けて	結婚を希望する人たちの出会いの場として、民間結婚相談所主催のふれあい（婚活）パーティーを開催し、カップル成立数を増やす。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考とってください。

結婚を希望する独身者の相談に応じ、紹介・引き合わせ等を行ったり、婚活イベント等を開催し、出会う機会の少ない男女の交流の場の提供など、結婚に向けての支援を図り、市内の定住を促進し、少子化対策、人口増加につなげる。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	コミュニティセンター管理事業		款項目	02-01-06	評価責任者	程原 由和	
担当部	市民部	担当課	市民課	担当	市民窓口担当(コミセン)	記入者	小口 純枝
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	コミュニティセンター条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内4地域コミュニティセンターの管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内4地域コミュニティセンターの適正な施設管理を行うことにより、地域活動の拠点として、支所業務、まちづくり事業、貸館業務等、市民サービスの提供を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民活動の拠点として、利用率の向上を目指す。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	13,009,000円	11,647,770円	350,634,000円	342,082,000円	
	決算額[B]	11,268,015円	11,029,809円	33,212,763円	318,883,645円	
	執行率[B]/[A]	86.6%	94.7%	9.5%	93.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	需用費 4,766,803円 内光熱水費 2,741,718円 内修繕費 1,026,655円 委託料 6,295,136円 内管理委託業務 2,508,000円 内機械警備 1,789,140円	需用費 4,280,418円 内光熱水費 2,390,019円 内修繕費 1,124,945円 委託料 6,283,867円 内管理委託業務 2,520,000円 内機械警備 1,805,577円	需用費 3,199,142円 内光熱水費 2,483,493円 委託料 16,936,574円 内東桂コミセン建設工事 実施設計業務委託 9,964,900円 内管理業務委託 2,532,000円	需用費 4,234,932円 内光熱水費 2,560,882円 委託料 13,701,932円 内東桂コミセン建設工事 監理業務委託 6,380,000円 工事請負費 297,673,200円 内東桂コミセン建設工事 266,456,300円	
	財源内訳	国庫支出金			5,500,000円	123,035,000円
	財源内訳	県支出金				
	財源内訳	地方債				123,000,000円
	財源内訳	その他特定財源	587,369円	597,640円	580,576円	2,011,652円
	財源内訳	一般財源	10,680,646円	10,432,169円	27,132,187円	70,836,993円
	財源合計[C](=[B])	11,268,015円	11,029,809円	33,212,763円	318,883,645円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	19,768,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
貸館利用団体数		団体	目標値		1600.0	1650.0	1655.0	1660.0
			実績値	1485.0	1593.0	777.0	914.0	1245.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、施設の利用制限を行ったこと及び活動を縮小した市民団体があったため。

■全内容チェック(確認者:課長)

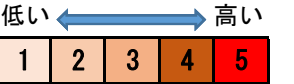
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	佐藤 好男 <input checked="" type="checkbox"/>	重森 雅貴 <input checked="" type="checkbox"/>	程原 由和 <input checked="" type="checkbox"/>	程原 由和 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.0	3.0	3.0	3.0

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	利用団体数が前年度(1,485団体)に比べ大幅に増加しており、4地域コミュニティセンターにおいて前年度と同等もしくは増加している状況である。利用者をさらに増加させるためには、安全・安心な施設の提供はもちろんのこと、利用者が利用しやすい施設とすることも重要である。
令和2年度	利用団体数が前年度(1,593団体)に比べ半減となっており、新型コロナウイルス感染予防対策として施設利用を制限したことが要因と考える。今後においても通常の施設利用がいつからできるかは目途が立っておらず、目標達成は厳しい状況であるが、利用者へ安全・安心な施設の提供を行うため、適切な維持管理を行っていく必要がある。
令和3年度	利用団体数が前年度(777団体)に比べ、やや増加したものの、目標値の半数程度である。新型コロナウイルス感染予防対策として施設利用を制限したことが要因であるが、今後、通常の施設利用がいつからできるかは目途が立っておらず、目標達成は厳しい状況である。利用者へ安全・安心な施設の提供を行うため、適切な維持管理を行ってい

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	利用団体数が前年度(914団体)に比べ、増加したものの、目標値より400団体ほど下回っている。新型コロナウイルス感染予防対策として行っていた施設利用の制限を解除したため、利用数が増加し、通常の施設利用に戻りつつある。引き続き、目標達成に向け、利用者へ安全・安心な施設の提供を行い、適切な維持管理を行っていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○						
成果の方向性	維持	○					○				○	
成果の方向性	縮小											
成果の方向性	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)				・東桂コミセン建設工事 ・東桂コミセン解体工事								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	宝コミセンを除く各施設においては老朽化による施設や設備の不具合等の状況を確認し、安全安心な施設の提供を目指し、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。また、東桂コミセンにおいては建替えによる整備計画として、基本・実施設計、解体設計を行い、計画的な施設管理を行っていく。
令和4年度 予算に向けて	東桂コミセンについては、老朽化による不具合が多数発生していることから、建替えにより施設整備を行う。また、東桂コミセンを除く各施設については、個別施設計画により計画的に施設の長寿命化を図っていく。
令和5年度 予算に向けて	市内4地域コミュニティセンターを地域活動の拠点とするため、令和4年度から東桂郵便局に証明書等の発行業務を委託したが、新たに令和5年度中に宝、盛里地区の郵便局への委託にむけ、新たな管理体制の検討を図っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

・公民連携の体制により、コミュニティセンターの運営体制を改善していく必要があり、地域コミュニティの活性化への取組を図ることが重要であり、利用率や市民ニーズを踏まえながら運用・整理を進めていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	債権回収特別対策費			款項目	02-01-16	評価責任者	中村 洋一
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	収納対策室	記入者	村松 太一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ				
	政策	1	健全な行政運営のまち				
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革				
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内住民・法人、固定資産を所有する市外住民・法人 等						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 債権回収業務に係る職員の技術向上						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 税等負担の公平性の確保と財力強化						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	7,862,060円	7,556,984円	7,554,060円	6,779,000円	
	決算額[B]	7,774,683円	7,226,775円	7,163,690円	3,349,445円	
	執行率[B]/[A]	98.9%	95.6%	94.8%	49.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	短時間勤務職員人件費7,202,268円、債権回収アドバイザー業務委託料546,000円、債権回収のための旅費7,300円	短時間勤務職員人件費7,162,984円、債権回収アドバイザー業務委託料55,000円	短時間勤務職員人件費7,108,690円、債権回収アドバイザー業務委託料55,000円	短時間勤務職員人件費3,345,403円、消耗品4,042円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,774,683円	7,226,775円	7,163,690円	3,349,445円
	財源合計[C](=[B])	7,774,683円	7,226,775円	7,163,690円	3,349,445円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択		「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	--	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市税収納率	市税の収納率	%	目標値		95.5	95.8	96.2	96.5
			実績値	95.4	95.9	93.2	96.8	97.3

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森 雅貴 <input checked="" type="checkbox"/>	重森 雅貴 <input checked="" type="checkbox"/>	中村 洋一 <input checked="" type="checkbox"/>	中村 洋一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	4	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	5	4
平均得点	4.6	3.8	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	差押件数は昨年より100件以上増加し、検索回数も増えるなど滞納処分強化により、市税収納率は県下平均を超えた。次年度以降も滞納者数をさらに減らしていく(増加させない)ため、引き続き現年分滞納者等が早期に納税するよう催告を行うとともに、分納管理を徹底していく。また、差押に至るまでの調査(事務)においては、住基ネットを利用し効率化を図るなど、スピード感をもって滞納整理を行っていく。
令和2年度	会計年度任用職員を徴税吏員として加えたことで、納税折衝が強化され、滞納整理の向上につながったが、コロナ特例猶予の影響で収納率は低下した。適時適切に差押、搜索、不動産公売等の滞納処分を行い、収納率は向上しているが、さらに早期催告、分納管理の徹底を行い、収納率の向上に努めていく。
令和3年度	債権回収特別対策本部としては、コロナ禍もあり研修を1回行ったのみであった。他課からの相談も少ない。税収では、現年度滞納者について、早期の催告・差押実施や滞納整理強化月間での滞納整理、過年度滞納者については、分納履行管理の徹底及び滞納処分の実施により収納率は向上している。今後も積極的な差押、搜索、不動産公売等を行うとともに分納履行管理を行い、収納率の向上に努めていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	債権回収特別対策本部として活動がなく、他課からの相談もない。税収では、現年度滞納者は早期の催告・差押実施や滞納整理強化月間での課員全員による滞納整理を行い、過年度滞納者については、分納履行管理の徹底及び滞納処分の実施により収納率は向上している。今後も積極的な差押及び搜索、不動産公売等を行うとともに分納履行管理を行い、収納率向上に努めていく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○			⊖			○			○	
	縮小			○								
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	滞納発生後の速やかな催促や財産調査を実施し、財産調査等を行った場合は迅速・的確な処分の執行を行う。差押えした資産については引き続き公売を行う。
令和4年度 予算に向けて	新規滞納者に対しては訪問、電話催告を実施し、過年度滞納者に対しては分納履行管理を徹底する。滞納処分について、預金・給与差押えを速やかに実施する。
令和5年度 予算に向けて	平成25年に対策本部が設置され、10年経ち各部署での処理マニュアルの確立や困難案件の指導等が一通り完了し、ここ数年は相談等がほとんどない。また、参事が2名から1名となり事務局である収納対策室も大幅な人員減で対応困難な状態である。税収では、収納率は順調に向上しているものの、差押及び公売で不納欠損を回避出来る少額案件は多数あることから、職員を増やし滞納案件を処理していく必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

差押及び搜索並びにタイヤロックを実施し、少額の案件数を減らしつつ、高額及び困難案件についてはより詳細な財産調査及び根気強く納税折衝を繰り返す。また、県税事務所のスケジュールに則り不動産公売を実施し、固定資産税の滞納及び新規課税の発生を防ぎ、新規納税者の拡大を図る。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	賦課徴収費			款項目	02-02-02	評価責任者	中村 洋一
担当部	市民部	担当課	税務課	担当	市民税担当	記入者	園田 裕也
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方税法・都留市市税条例など		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	1	健全な行政運営のまち
	施策	1	次代に向けた適切な行財政運営と改革
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内住民・法人、固定資産を所有する市外住民・法人 等		
事業内容手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市税料の賦課徴収		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市税料の賦課徴収の適正化及び事務効率化		

2. 実施結果 (DO) (第一次評価時点決算見込)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	79,328,000円	65,725,000円	65,618,000円	91,859,000円	
	決算額[B]	69,342,896円	57,530,093円	58,559,335円	78,682,628円	
	執行率[B]/[A]	87.4%	87.5%	89.2%	85.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	確定申告時などの短期事務補助員2名の賃金等727,103円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,185,039円、賦課徴収に係るシステム保守業務・固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料34,358,888円、家屋評価システム等の使用料7,541,701円	確定申告時などの短期事務補助員2名の賃金等735,762円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,450,044円、賦課徴収に係るシステム保守業務・固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料27,101,300円、家屋評価システム等の使用料8,086,502円	確定申告時などの短期事務補助員1名の賃金等449,395円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,423,602円、賦課徴収に係るシステム保守業務・固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料18,736,785円、家屋評価システム等の使用料8,406,333円	確定申告時などの短期事務補助員の賃金等964,374円、事務用品購入費や納税通知書等の印刷製本費2,723,191円、賦課徴収に係るシステム保守業務・固定資産標準宅地鑑定業務等の委託料40,577,530円、家屋評価システム等の使用料6,454,551円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	13,515,233円	15,396,423円	11,194,920円	15,526,655円
	一般財源	55,827,663円	42,133,670円	47,364,415円	63,155,973円	
	財源合計[C](=[B])	69,342,896円	57,530,093円	58,559,335円	78,682,628円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	78,841,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電子申告率	給与支払報告書電子申告率の上昇	%	目標値		35.6	39.0	42.3	45.8
			実績値	32.3	53.6	63.2	60.1	64.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	重森 雅貴 <input checked="" type="checkbox"/>	井上 佳久 <input checked="" type="checkbox"/>	井上 佳久 <input checked="" type="checkbox"/>	中村 洋一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

(第一次評価時点)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	家屋評価システムの入替により、過年度基準による評価が可能となり評価の効率・適正化が図られた。申告支援システムの運用、課税資料入力業務の外部委託化等によって、課税誤りの防止など税の公平性の確保につながっている。給与支払報告書や償却資産等の電子申告率が低い水準となっているため、引き続き利用促進の方策を講じる必要がある。
令和2年度	申告支援システムの運用、課税資料入力業務の外部委託化等により、課税誤りの防止など税の公平性の確保につながっている。給与支払報告書や償却資産等の電子申告率は増加しており、引き続き利用を促進していく。業務効率化のため、業務を見直し、外部委託可能なものについては委託し、情報技術の活用が図れるものについては積極的に取り入れていく。課題として、新型コロナウイルスの影響による確定申告期間の延長に伴い、4~5月における申告書入力作業が大幅に増加した。感染症蔓延の状況により、次年度においても申告期間が延長となることを想定し、方策を講じる必要がある。
令和3年度	賦課徴収に係る各種システムの導入・活用及び業務の外部委託化等により、事務精度が向上し、適正化が進んでいるとともに、事務の効率化が進んでいる。電子申告利用率は目標値を超える水準が続いているが、引き続き利用を促進していく。さらなる適正化、業務効率化のため、業務を見直し、外部委託可能なものについては委託し、情報技術の活用が可能なものについては積極的に取り入れていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	電子申告利用率は目標値を超える水準が続いているが、引き続き利用を促進していく。令和6年度からの森林環境税の賦課徴収、令和7年の税務を含めた全国的なシステムの標準化等、マイナポータルの活用も含め、制度改正や国政も含めた全体のデジタル化の動きに対応していく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

(第一次評価時点)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○				○			○			○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	・償却資産調査課税事務 ・電子マネー等による納付等対応費用及び手数料			・納税通知の業務委託費用 ・スマホ決済アプリによる納付手数料			・共通納税システムの改定運用費用			・税制改正、税務システムの標準化に向けたシステム改修費		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	先進地域や近隣市町村の動向を研究するなかで、ICTの活用や外部委託化の導入などについて検討し、更なる税負担の公平性の確保につなげていく。また、口座振替納付の促進、収納(納付)方法の多様化を検討・推進することで、滞納者を減少させる方策も行う。電子申告を推進し利用者を増加させることで、入力等の事務が削減、人的ミスも防止できることから、広報や説明会等を積極的に行っていく。
令和4年度 予算に向けて	事務の効率化、人的ミスの防止を図るため、令和3年度の基幹システムの入替に併せ、納税通知書の印刷・封入等の業務委託を行う。また、収納事務の効率化、納税者の利便性向上のため、市税等のスマホ決済アプリを導入する。確定申告期間の延長に伴う4~5月における、職員の申告書入力作業を低減するため、作業委託等について検討する。
令和5年度 予算に向けて	先進地域や近隣市町村の動向を研究するなかで、ICTの活用や外部委託化の導入などについて検討し、更なる賦課徴収事務の適正化、効率化につなげていく。また、口座振替納付の促進、収納方法の多様化を検討・推進することで、納税者の利便性を高めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

必要なシステムの改修、導入。電子申告、電子提出等の推進に向けた関係先への働きかけ。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全対策事業			款項目	02-01-11	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 市民、都留市交通対策推進協議会、都留市交通安全連合会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内における交通事故の減少、市民の交通安全意識の向上のため関係機関と連携をし、交通安全週間等を活用し多くの市民に啓発を実施する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における交通事故発生件数（死亡者数・負傷者数）の減少、市民の交通法規の順守		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,081,000円	3,916,000円	4,234,000円	4,899,000円	
	決算額[B]	3,705,554円	3,501,165円	4,136,191円	4,013,183円	
	執行率[B]/[A]	90.8%	89.4%	97.7%	81.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	街頭啓発活動物品 (206,987円) 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品 (830,000円) 交通安全連合会補助金 (500,000円)	街頭啓発活動物品 (110,161円) 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品 (508,000円) 交通安全連合会補助金 (500,000円)	街頭啓発活動物品 (240,951円) 高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品 (700,000円) 交通安全連合会補助金 (500,000円)	高齢者免許証自主返納支援事業贈呈品 (900,000円) 都留市高齢者安全運転支援装置設置費補助金 (600,000円) 交通安全連合会補助金 (500,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	640,000円	640,000円	640,000円	640,000円
		一般財源	3,065,554円	2,861,165円	3,447,951円	3,472,975円
	財源合計[C](=[B])	3,705,554円	3,501,165円	4,087,951円	4,112,975円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	44,889,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
交通事故負傷者数	市内における交通事故負傷者数 (小計) 年度ではなく年	人	目標値	90.0	85.0	80.0	75.0	
			実績値	95.0	74.0	47.0	58.0	66.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

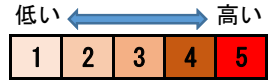
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	5	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.6	4.8	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢者免許証返納者支援事業に関して、事業開始（H25）から返納者の増加に伴い、贈呈品（公共交通回数券）の報償費は年々増加しているが、使用率は低調である（令和元年度 バス5.9%、タクシー7.1%）であるため、利用してもらう方を検討するか、回数券に代わる代替案を検討する必要がある。
令和2年度	昨年度と同様になるが、高齢者免許証返納者支援事業に関して、贈呈品（公共交通回数券）の使用率は低調（令和2年バス6.7%、タクシー14.9% 令和元年バス5.9%、タクシー7.2%）であるため、検討する必要がある。
令和3年度	高齢者免許証返納者支援事業の贈呈品の検討を地域公共交通計画策定の際に併せて検討しておく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	都留市高齢者安全運転支援装置設置費補助金については、旧年式の車体には設置できない場合や、新車にあらかじめ設置するケースが多く運用や周知に検討が必要。 高齢者免許証返納者支援事業については、デマンドタクシーの使用法や周知方法についても次年度の実証実験などに併せて検討する必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大								○			
	維持	○			○					○		
	縮小											
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	啓発が主な事業となっているので、各種団体のみならず、セーフコミュニティ交通安全対策委員会と連携し、より効果的な啓発方法を実施し、市内における交通事故発生件数等の減少を図る。
令和4年度 予算に向けて	セーフコミュニティ事業により市内の交通安全に対する課題が明確になったため、セーフコミュニティ交通安全対策委員会の取り組みを支援する予算及び行政が実施した方が効果的な事業に特化するような予算を検討していく。
令和5年度 予算に向けて	令和4年度より高齢運転者の事故防止のため、新たな補助制度を創設したことにより、コストは増加する可能性はある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

高齢者免許証返納者支援事業の贈呈品の検討を、今後の運用に併せて検討しておく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	交通安全施設設置事業			款項目	02-01-11	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	交通安全対策基本法、都留市交通安全条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	5	★交通安全対策の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民（主に運転手）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 交通事故を防止するため、交通危険箇所カーブミラー等の交通安全施設を設置する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における交通事故の減少（主に車両事故）		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,536,000円	5,895,700円	5,291,000円	5,538,732円	
	決算額[B]	3,406,985円	5,815,700円	5,252,130円	5,293,005円	
	執行率[B]/[A]	75.1%	98.6%	99.3%	95.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・カーブミラーの設置及び修繕費(1,273,420円) ・カーブミラー原材料購入(2,113,045円)	・カーブミラーの設置及び修繕費(2,420,000円) ・カーブミラー原材料購入(3,395,700円)	・カーブミラーの設置及び修繕費(2,090,000円) ・カーブミラー原材料購入(3,012,130円)	・カーブミラーの設置及び修繕費(2,250,000円) ・カーブミラー原材料購入(3,012,130円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,406,985円	5,815,700円	5,252,130円	5,293,005円
	財源合計[C](=[B])	3,406,985円	5,815,700円	5,252,130円	5,293,005円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,213,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕箇所	交通安全施設（カーブミラー）危険度調査を反映した長期修繕計画に基づく修繕（累計）	箇所	目標値	/	70.0	110.0	150.0	180.0
			実績値	35.0	70.0	110.0	185.0	247.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	GISへ交通安全施設（カーブミラー）の情報を落とし込み、従前の台帳管理と現況写真を統合することができたので、市民からの問合せに迅速に対応することが可能となり、今後の事務効率の向上が図れる。
令和2年度	令和2年度より資材については単価契約に変更し、修繕業務についても年度計画により該当箇所が明らかになっているため、一括修繕を契約に通して実施できるようにしたため、事業費の削減につながっている。
令和3年度	昨年度からの一括修繕に加え、職員による軽微な修繕も実施することとしたため、長期修繕計画を上回るペースで修繕を実施できており、このペースを維持したいが、担当職員のメンバーに左右される。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	昨年度からの一括修繕に加え、職員による軽微な修繕も実施することとしたため、長期修繕計画を上回るペースで修繕を実施できており、このペースを維持したいが、担当職員のメンバーの配置状況による。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
令和4年度 予算に向けて	令和3年同様、交通安全施設危険度調査を基に策定した長期修繕計画に沿って実施していく。
令和5年度 予算に向けて	昨年同様、長期修繕計画に沿って実施していくが、令和4年度に交通安全連合会による現地調査があり、修繕箇所が増え、予算が増額する可能性もある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

修繕および管理について、長期修繕計画に沿って実施していくが、老朽化などによる修繕箇所が増えており、管理、修繕等のペース状況も難しい。令和4年度に交通安全連合会による現地調査をするなどして、軽微な修繕箇所を確認しているものの、基礎などの調査までは難しいため、管理面、安全面の上で必ずしも十分とはいえない。この点において、目標達成のためには、手段方法についての再検討が必要。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域公共交通対策費			款項目	02-01-11	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	4	★効率的で利便性の高い公共交通の選択と整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民・公共交通事業者		
事業内容手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 路線の維持のため、公共交通事業者の赤字に対する補填。利用者増加のため市民等に実施する利用促進事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ニーズに沿った利便性の良い交通網（時刻・便数・ルート）及び市民満足度の高い公共交通の実現		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	24,944,000円	25,484,300円	30,203,000円	48,777,000円	
	決算額[B]	22,420,656円	20,002,000円	27,992,000円	48,717,000円	
	執行率[B]/[A]	89.9%	78.5%	92.7%	99.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	・生活バス路線維持費補助金 (19,671,000円) ・予約型乗合タクシー運行事業補助金 (2,466,000円)	・生活バス路線維持費補助金 (19,101,000円) ・予約型乗合タクシー運行事業補助金 (866,000円)	・生活バス路線維持費補助金 (26,121,000円) ・予約型乗合タクシー運行事業補助金 (1,841,000円)	・生活バス路線維持費補助金 (40,325,000円) ・予約型乗合タクシー運行事業補助金 (2,744,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				2,537,700円
		県支出金	106,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	22,314,656円	20,002,000円	27,992,000円	46,179,300円
	財源合計[C](=[B])	22,420,656円	20,002,000円	27,992,000円	48,717,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	38,592,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数	補助対象路線の利用者人数（路線バス・循環バス・乗合タクシー） ※補助対象期間で算定（10月～9月）小計	人	目標値	30208.0	30238.0	30268.0	30298.0	
			実績値	30178.0	29900.0	23617.0	24491.0	23887.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ感染症に伴う乗車数の低下

■全内容チェック（確認者：課長）

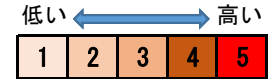
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	3	3
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.0	3.0	2.8	2.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	一部路線では促進策により乗車人数は増加しているものの、乗車人数の増加以上に人件費及び燃料費の高騰により事業費の経常経費の増加が上回っているため、補助額は年々増加している。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により利用者数は大幅に減少してしまい、公共交通の維持のため、令和3年度に事業者への補助を大幅に上げざるを得なくなり、今後は市の財政負担と市民のニーズの両面から路線の廃止と代替案の検討を本格化させていく必要がある。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により利用者数は回復傾向にはあるが、コロナ以前に回復は困難である一方、路線の維持のために補助額は増幅している。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和により利用者数は回復傾向にはあるが、コロナ以前に回復は困難である一方、路線の維持のために補助額は増幅している。来年度実証実験に向けて多面的な要望を吸い上げて具現化できるよう方策の検討を要する。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○			○			○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)							公共交通計画策定業務委託					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	第6次長期総合計画中期計画策定に向け実施した市民意識調査によると、「適切で効率的な公共交通の選択と整備」は市民が重要だと考えているが、満足度が低い項目であったため、公共交通に特化した市民意識調査の実施により、ニーズ把握をし、利用される公共交通を目指す。
令和4年度 予算に向けて	公共交通維持の費用は増加傾向にあるため、令和5年度中に「地域公共交通計画」の策定に向けた調査研究及び、地域の実情にあった交通形態の見直しを検討していくなかで、利用の少ない路線バスを廃止し、デマンド化及び循環バスの増便による、交通空白地域のカバーと利用者の利便性の両立を図る。
令和5年度 予算に向けて	令和4年度より2カ年で「都留市地域公共交通計画」の策定を実施していく。策定段階で、ニーズ調査、運行実績の詳細な分析等を実施し、抜本的な見直しを実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

「都留市地域公共交通計画」の策定を実施していく。策定段階で、ニーズ調査、運行実績の詳細な分析等を実施し、抜本的な見直しを実施していく。補助対象路線の利用者人数（路線バス・循環バス・乗合タクシー）の増加のみならず、ニーズにかなった公共交通の実現を考慮して施策に反映していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	1	★まちの担い手の発掘・育成と地域コミュニティの強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 自治会、自治会連合会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 自治会連合会を介しての市内自治会に対する助成金、地域独自の活動に対する補助金を交付することにより地域コミュニティの維持・活性化を図る。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 コミュニティ活動の維持及び活動の活性化		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	18,409,000円	19,225,000円	17,492,000円	16,753,000円	
	決算額[B]	17,325,866円	18,575,383円	16,128,947円	16,048,990円	
	執行率[B]/[A]	94.1%	96.6%	92.2%	95.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 (12,048,900円) ・自治会施設等整備事業 (1,754,800円) ・防犯灯整備事業 (2,967,000円)	まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 (11,892,887円) ・自治会施設等整備事業 (2,839,000円) ・防犯灯整備事業 (1,707,000円)	まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 (17,622,000円) ・自治会施設等整備事業 (895,100円) ・防犯灯整備事業 (1,248,000円)	まちづくり事業補助金 ・自治会活動振興事業 (11,800,000円) ・自治会施設等整備事業 (1,351,800円) ・防犯灯整備事業 (1,002,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	17,325,866円	18,575,383円		16,753,000円
	財源合計[C](=[B])	17,325,866円	18,575,383円	円	16,753,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	17,700,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自治会加入率	市内全世帯に対する自治会に加入している世帯割合	%	目標値		66.8	66.9	67.0	67.1
			実績値	66.7	65.1	64.7	63.3	63.3

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

自治会構成員の高齢化等に伴う脱退件数の増加等

■全内容チェック（確認者：課長）

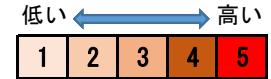
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	3	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	3	3
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.0	3.0	3.0	3.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	助成金、補助金による維持のみで活動はマンネリ化しており、高齢化によりどの自治会も活動が縮小傾向にあるため、次年度から積極的な活動及び財政支援を目的とした自治会活動保険への加入を実施する。
令和2年度	今年度より自治会の財政負担及び活動促進のため自治会活動保険に加入したが、新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの自治会で活動ができず、今後もこの状態が続くようであると地域のコミュニティ活動に支障をきたすおそれがある。
令和3年度	新型コロナウイルスの影響により、活動できない期間が長期化しており、コミュニティ内における引継ぎ等事業の継続に支障が出るおそれがある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルスの影響により滞っていた活動も徐々に再開しつつある、現状は規模縮小など工夫して行っているが、コミュニティの活性化に繋げたい。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○		○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	H30に実施した自治会アンケートの結果から、新規世帯に対する勧誘方法が分からず、不安を持っている自治会長が多いことから、令和元年度に作成した「自治会加入促進マニュアル」により、支援していく。
令和4年度 予算に向けて	自治会長の負担軽減のため市の充て職の見直し自治会活動の活性化のため他自治会の活動の紹介等をし、活性化につながる施策を行っていく。
令和5年度 予算に向けて	新型コロナウイルスの影響により、控えていた活動を可能な手段等による再開に伴い、自治会活動に係る費用等の活用を引き続き促していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

自治会の支援や活動について、地域独自の活動に対する補助金などを通して、地域の高齢化やコミュニティ活動の純化を防ぐため、加入率のみならず自治体活動のあり方について地域とともに検討していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	協働のまちづくり事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度	平成13年度	法定根拠・法令等	都留市自治基本条例第5章第4節に基づく支援		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 地域協働のまちづくり推進会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域における各種活動（文化・防災・防犯等）を企画・実践して自主的に行っている地域協働のまちづくり推進会に対し、活動の事業費を補助する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自治基本条例に規定された地域コミュニティの促進を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,300,000円	2,250,000円	2,250,000円	2,250,000円	
	決算額[B]	2,106,678円	1,068,597円	966,462円	1,242,223円	
	執行率[B]/[A]	91.6%	47.5%	43.0%	55.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	協働のまちづくり事業補助金 (東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里)	協働のまちづくり事業補助金 (東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里)	協働のまちづくり事業補助金 (東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里)	協働のまちづくり事業補助金 (東桂・谷村・禾生・宝・三吉・開地・盛里)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,106,678円	1,068,597円	2,250,000円	2,250,000円
	財源合計[C](=[B])	2,106,678円	1,068,597円	2,250,000円	2,250,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,250,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
連絡会及び研修の開催数	各地域の協働の活動の推進となるよう連絡会・研修会等を年3回以上開催する。(累計)	回	目標値		3.0	6.0	9.0	12.0
			実績値	3.0	3.0	4.0	6.0	6.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ感染症に伴う会議の縮小など

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	2	3	3
平均得点	3.6	3.8	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	自治会同様に地域の高齢化・担い手不足が深刻な問題となっている。
令和2年度	自治会同様に地域の高齢化・担い手不足に加え、新型コロナウイルスによる活動の未実施が地域コミュニティに影響を及ぼすおそれがあると懸念される。
令和3年度	昨年同様、新型コロナウイルスによる活動の自粛が地域コミュニティに影響を及ぼすおそれがあると懸念される。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルスの影響により滞っていた活動も徐々に再開しつつある、現状は規模縮小など工夫して行っているが、コミュニティの活性化に繋げたい。地域の高齢化・担い手不足が深刻な問題となっている。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に市民活動団体交流会を実施し、地域協働のまちづくり推進会を含む市内登録団体（約50団体）の横断的な連携を図り、協働のまちづくりの事業に新たな担い手を発掘していく。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの中においても活動可能な事業を実施してもらったが、この状況が続くようであると、組織全体が低下するおそれがある。
令和5年度予算に向けて	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により活動が停滞しており、この状況が続くようであると、組織全体が低下するおそれがある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

協働のまちづくりについての連絡会、研修会、日頃の活動を通して、協働のまちづくりの活動推進を行う。セーフコミュニティとの連携を含めて今後の進め方についても検討する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度	平成12年度	法定根拠・法令等	都留市男女共同参画基本条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち				
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり				
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備				
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民、事業所						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 推進計画の策定、計画に基づいた庁内及び市内各事業所に対する取組、推進委員会による各種啓発活動の実施						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 男女共同参画の推進・啓発、認知度の上昇						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	818,000円	833,000円	1,209,000円	940,000円	
	決算額[B]	389,589円	493,680円	534,946円	610,800円	
	執行率[B]/[A]	47.6%	59.3%	44.2%	65.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	男女共同参画推進委員報酬 370,000円	男女共同参画推進委員報酬 455,000円	男女共同参画推進委員報酬 500,000円	男女共同参画推進委員報酬 520,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	389,589円	493,680円	684,526円	740,800円
	財源合計[C](=[B])	389,589円	493,680円	684,526円	740,800円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	622,000	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留市男女共同参画推進フェスティバル満足度	都留市男女共同参画推進フェスティバルの参加者アンケートにおける満足度（大変良かった）	%	目標値	/	45.0	48.0	50.0	52.0
			実績値	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ感染症の影響により縮小開催

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	3	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	-	-	-	-
平均得点	3.5	3.5	3.5	3.5

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	第3期都留市男女共同参画推進計画の前期推進計画（平成28～令和3年の6年間）の目標に対する取組にバラつき（実施の有無）が生じているため、後期推進計画策定を見据え、取組を実施していく必要がある。
令和2年度	令和2年度は対外的な活動ができず、市民への周知が皆無であったため、男女共同参画が市内で後退してしまうおそれがある。
令和3年度	第3期都留市男女共同参画推進計画（後期）策定に向けた市民意識調査、推進委員会による検討の結果、次年度以降の重点項目が決定したため、優先的に取り組んでいく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルスの影響により滞っていた活動も徐々に再開しつつある、現状は規模縮小など工夫して行っているが状況をみて、委員さんの活動を活性化していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	男女共同参画推進計画の目標達成に向け、市民・事業者との連携をする上で、目標達成に向けた優先順位の確立、男女共同参画推進委員との連携を強化していく。
令和4年度 予算に向けて	令和3年度に実施する市民意識調査の結果等を踏まえ、これまでの活動の見直しを検討し、新たな事業に即した予算計上を行う。
令和5年度 予算に向けて	重点項目を実現するために、コストがかかる場合は計上する。 ・女性活躍推進のための意識改革と環境整備 ・男女がともに担う介護支援

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

男女共同参画推進の認知度について推進委員の啓発活動を通して「言葉と意味の両方を知っている人の割合」の増加を目指す。その成果をはかる手段として、都留市男女共同参画推進フェスティバルの参加者アンケートなどがあるが、その中で満足度の向上につながる取り組みをする。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	セーフコミュニティ事業			款項目	02-01-13	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	1	★地域が自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 より安全・安心なまちづくりの実現に、各種統計データ等を根拠とし、市民が中心の安全・安心活動を実施し、まちづくりに向けた取組を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における事けがの減少、市民の不安感の解消、コミュニティ活動の活性化		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,062,000円	5,521,700円	6,753,000円	4,085,000円	
	決算額[B]	1,948,123円	3,268,854円	4,828,135円	2,039,274円	
	執行率[B]/[A]	63.6%	59.2%	71.5%	49.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	推進業務委託 1,072,500円 先進地視察旅費 297,316円	推進業務委託 979,000円 事前指導業務委託 1,952,500円		推進業務委託 914,870円 活動推進コーディネーター業 460,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源			5,123,135円	1,187,000円
		一般財源	2,042,426円	3,268,854円		852,274円
	財源合計[C](=[B])	2,042,426円	3,268,854円	5,123,135円	2,039,274円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
6つの対策委員会による会議及び活動回数	活動主体である対策委員会による協議により、決定した活動を市民とともに実践していく。（累計）	回	目標値		36.0	76.0	116.0	146.0
			実績値	18.0	70.0	138.0	193.0	251.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ感染症の影響における活動回数の減少

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市開与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	5	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.6	5.0	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市における重点分野、課題の抽出を今年度行い、次年度以降は具体的取組を実践していくことになる。
令和2年度	令和3年度の認証に向け、新型コロナウイルスの影響により活動が制限される中、それぞれの委員会が可能な手段により活動を実施しており、市の事業にも取り入れられる手法もあり、見直しが図れた。
令和3年度	事業開始（H30）とともに、参加していただいている委員が認証取得を機に入替等が起きる可能性があり、継続性の観点から最小限に抑える必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	再認証に向けて、モチベーション維持や各対策委員の横連携、インターナショナルセーフスクールなどとの連携を勘案しながら、効率よく進めていく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○	○				○				
	維持									○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	現地審査、認証式典実施に伴う予算増加			再認証にむけた取組活動の継続により、活動は増えるが審査等はないため予算は減少する。								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年度の事前指導を踏まえ、活動内容の修正を行い、令和3年度の現地審査に向けていく。
令和4年度 予算に向けて	令和8年度の再認証に向けて、取組活動を継続していくが、セーフコミュニティ独自のS+PDCAサイクルによる事業評価により、活動は活発化していくため、対策委員会ごとの啓発に要する費用は増加する見込みである。
令和5年度 予算に向けて	国際認証取得というモチベーションの低下を避けるために、4年度から市民への活動報告、評価システムの確立等の年次計画を立てて事業の実施を図る。それにより、予算の増額は生じる可能性はある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

セーフコミュニティの活動として、市民意識調査における事業自体の認知度のみならず、各対策委員会の施策の効果を数値として測れるように、各データを収集分析する（再認証に向けて分析時期等は随時アドバイザー等と検討する）

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	防犯対策事業			款項目	02-01-15	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	地域振興担当	記入者	山田 宏美
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	4	★防犯対策の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 安全・安心ステーションの管理運営、防犯推進員等による防犯活動、市民、防犯団体への情報提供		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内における犯罪件数の減少、市民の犯罪に対する不安感（体感治安）の解消		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]		41,676,254円	6,292,000円	6,429,000円	
	決算額[B]		40,224,445円	6,151,743円	6,340,193円	
	執行率[B]/[A]		96.5%	97.8%	98.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	※令和2年度より行政評価の対象	安全・安心ステーション工事 28,248,000円 備品購入費(車両) 2,016,498円	安全・安心ステーション光熱 水費、市管理防犯灯電気料 324,000円	安全・安心ステーション光熱 水費、市管理防犯灯電気料 350,000円	
	財源内訳	国庫支出金		15,931,991円		
		県支出金				
		地方債		15,200,000円		
		その他特定財源		2,459,383円	2,670,700円	2,712,000円
		一般財源		6,633,071円	3,452,890円	3,717,000円
	財源合計[C](=[B])		40,224,445円	6,123,590円	6,429,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	7,169,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内犯罪件数	市内における刑法犯認知件数 (年度ではなく年)	件	目標値			110.0	105.0	100.0
			実績値			108.0	66.0	64.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	<input type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)		5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)		4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)		4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)		5	4	4
達成度(目標が実現できているか)		5	5	5
平均得点		4.6	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	
令和2年度	ハード面では次年度からの運用に向け安全・安心ステーションの整備が完了した。ソフト面では、安全ステーションを拠点とした各種施策を展開していく。
令和3年度	青パトを活用した地域の防犯活動は認知度を含め向上したが、コロナ禍で施設の利用が当初予想より大幅に少なく、活用されたとは言い難い。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	青パトを活用した地域の防犯活動や講習会などを行っていく。セーフコミュニティや国際セーフスクール事業とも協働して活動を活性化していく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	
令和4年度 予算に向けて	安全安心ステーションのより充実した活用策の検討
令和5年度 予算に向けて	セーフコミュニティ防犯対策委員会との連携による事業の効率化

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

安全安心ステーションの巡回やセーフコミュニティ防犯対策推進委員会および交通安全対策委員会との連携した啓発活動が、市内における刑法犯認知件数の減少への効果に表れるように事業の方策を推進していく。	
--	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	合併処理浄化槽設置費補助事業			款項目	004-02-80	評価責任者	矢野誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等	都留市浄化槽設置事業補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち				
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり				
	施策	1	★快適な住環境の整備				
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：下水道事業計画区域外へ合併処理浄化槽を設置する申請者 対象物：合併処理浄化槽の設置費						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 申請者に対して、補助金を交付する。						
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 合併処理浄化槽を設置することにより、水質を保全する。						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	29,370,000円	30,031,000円	33,037,300円	26,816,870円	
	決算額[B]	22,824,000円	22,386,000円	15,954,000円	14,500,500円	
	執行率[B]/[A]	77.7%	74.5%	48.3%	54.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	浄化槽設置事業補助金 (22,790,000円) ※以下の国と県の支出金の差額3,068,000円は、年度間調整における減額調整	合併処理浄化槽設置事業補助金 (22,355,000円) 山梨県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 (31,000円)	合併処理浄化槽設置事業補助金 (15,954,000円) 山梨県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 (25,000円)	合併処理浄化槽設置事業補助金 (14,464,000円) 山梨県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 (36,500円)	
	財源内訳	国庫支出金	4,528,000円	11,078,000円	7,451,000円	5,309,000円
		県支出金	7,596,000円	7,451,000円	5,309,000円	4,821,000円
		地方債				
		その他特定財源				4,334,000円
		一般財源	10,666,000円	3,857,000円	3,194,000円	36,500円
	財源合計[C](=[B])	22,790,000円	22,386,000円	15,954,000円	14,500,500円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	15,988,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
合併浄化槽の設置数	合併浄化槽の設置数（小計）	基	目標値		72.0	72.0	72.0	72.0
			実績値	38.0	62.0	58.0	42.0	37.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年から令和6年までの地域計画に基づき目標値を設定して、補助金に関する周知・啓発を実施していたが、基本的に新築やリフォームを行う市民からの申請に基づく補助金であるため実績値が伴わなかった。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	4	3	1	1
平均得点	4.2	4.2	3.8	3.8

自己評価
担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。制度については設置業者が把握しており、問い合わせや申請は事業者からである。周知は充分行われており、市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。令和2年度の要綱変更に向けて事業者へ通知している。
令和2年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。令和2年度より要綱変更に伴い、宅内配管費や入れ替えに伴う単独浄化槽の撤去費の補助を追加。市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。
令和3年度	補助金の性質上、家の新築や、浄化槽の入替等をする人だけに限られる。制度については設置業者が把握しており、問い合わせや申請は事業者からである。周知は充分行われており、市内でどれだけ浄化槽が設置されるかが件数に影響する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	補助金の性質上、家の新築やリフォームを実施する際に合併浄化槽設置を行う市民に限られる。新築やリフォームについては金額が大きいため簡単に実施件数を増やすことは難しい。周知・啓発については引き続き実施をしていく必要がある。また、今年度で補助金要綱を改正し、より幅広い方を対象とできるようにする。さらに、地域計画の目標値も修正して、実績値との乖離を減らすようにしていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									○
	維持				○			○				
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	国の要綱変更に伴い、単独処理浄化槽撤去費及び宅内配管の補助が追加された。						国の要綱改正に伴い、くみ取り槽撤去費及び宅内配管工を補助対象に追加する。地域計画を下方修正して実績との乖離を減らす。					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年から6年度までの5ヶ年計画を国へ提出済みである。合併処理浄化槽の設置はこれまでの5年間どおり毎年72基、新規補助については単独処理浄化槽の撤去費10基、宅内配管10件を想定している。広報やHPにて周知していきたい。
令和4年度 予算に向けて	令和2年から5年間の地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置事業補助金を交付している。合併処理浄化槽の設置により、市内の河川水質向上が図られることから、補助金交付事業の周知徹底を図っていきたい。
令和5年度 予算に向けて	令和2年から5年間の地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置事業補助金を交付している。合併処理浄化槽の設置により、市内の河川水質向上が図られることから、補助金交付事業の周知徹底を図っていきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民の生活に欠かすことのできない上下水道のうち下水道の代替である本事業は、市民生活の向上や河川水質保全を図るために引き続き継続していく必要がある。
後期基本計画においては設置数ではなく合併浄化槽人口の普及率を目標とし、補助金対象者への周知・啓発を拡充させ、補助金自体も国や県の動向を鑑みながら、より活用しやすいものを検討していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	環境保全対策事業			款項目	004-03-10	評価責任者	矢野誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市まちをきれいにする条例		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各種環境保全事業の実施		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 快適な住環境の保全		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	7,879,000円	3,630,585円	30,662,700円	14,794,493円	
	決算額[B]	6,863,167円	2,930,804円	30,403,155円	9,624,744円	
	執行率[B]/[A]	87.1%	80.7%	99.2%	65.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	河川水質検査 (220,000円) 自動車騒音常時監視業務 (1,188,000円) 不法投棄廃棄物処理業務 (288,680円) 除塵設備設置 (3,355,000円)	河川水質検査 (220,000円) 自動車騒音常時監視業務 (1,188,000円) 不法投棄廃棄物処理業務 (288,680円)	河川水質検査 (269,500円) 自動車騒音常時監視業務 (836,000円) 除塵機設置業務委託 (27,142,500円)	ETBE検査手数料 (2,794,000円) 猫不妊・去勢手術補助金 (1,012,820円) 四日市場除塵機における補償金 (457,446円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				2,093,000円
		地方債				
		その他特定財源				7,075,000円
		一般財源	6,863,167円	2,930,804円	30,403,155円	456,744円
	財源合計[C](=[B])	6,863,167円	2,930,804円	30,403,155円	9,624,744円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	9,714,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
浄化槽法定検査受 験指導通知	浄化槽の法定検査の未受検者に通知し 受験指導する	件	目標値		700.0	700.0	700.0	700.0
			実績値	611.0	640.0	15.0	21.0	54.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度に山梨県及び山梨県浄化槽協会へ確認したところ、未受検者から一斉に浄化槽法定検査の検査依頼が来ても、担当者不足ですべてを対応しきれないとの回答を受けて、最低限の方への通知に留めたため。

■全内容チェック (確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	自己評価
必要性 (市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4	担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。
有効性 (事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4	
効率性 (コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4	
公平性 (一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4	
達成度 (目標が実現できているか)	2	1	1	1	
平均得点	3.6	3.4	3.4	3.4	低い ← → 高い

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	不法投棄廃棄物処理業務については、不法投棄が無くなれば必要のない事業である。不法投棄防止にかかる啓蒙活動が重要である。水質も同様に浄化槽の適正な管理を促すため啓蒙活動が重要である。本年度は啓発チラシを全地区で回覧し、PR動画を放映したが、ふれあい講座等直接訴える場が、地道ではあるが効果的だと考える。
令和2年度	不法投棄廃棄物処理業務については、パトロールを強化し、警察との連携も図り実施しているが、市内各所に不法投棄され、毎年処分が必要となっている。水質については、浄化槽の適切な管理とし啓発を行っているが、今年度は県との連携により地区を絞っての未受験者への通知発送ができなかったため、実績が得られなかった。
令和3年度	不法投棄廃棄物処理業務については、パトロールを強化するとともに、四日市場地内準用河川家中川に除塵機を設置することから、河川を流れるごみの「見える化」が期待されている。水質については、今年度は県との連携により地区を絞っての未受験者への通知発送ができなかったため、実績が得られなかった。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	地域住民、美化推進指導員、山梨県、警察と連携を図り不法投棄に対する対応策・防止策を引き続き実施していく。除塵機で回収された河川ごみを「見える化」で周知を継続していきごみの減量化を図る。ETBE検出原因究明については山梨県と連携を取りながら原因究明を進めていく。猫不妊・去勢手術補助金については山梨県が延長することに伴い本市でも延長対応とするため周知を拡充して対応していく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○		○			
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	除塵機設置業務が完了したため減額となるがETBE検出原因究明に関して増額											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	自動車騒音常時監視業務等必ず実施しなければならない事業や、不法投棄廃棄物処理等、市民の心掛けで必要なくなる可能性のある事業が混在しているので、今後の啓蒙活動等でコストの削減が図れる可能性がある。ポイ捨て禁止を含めたごみの減量化のPRを積極的に行うと同時に水質向上のため、浄化槽の法定検査受験指導を行う。
令和4年度 予算に向けて	市内の環境保全に欠かせない事業であり、不法投棄廃棄物処理や河川水質検査等、継続が必要である。また、市民一人一人の心がけてコストは減少していく事業でもある。ごみの減量化の啓発を積極的に行い、河川の水質向上のため、浄化槽の法定検査未受験者への受験指導も県浄化槽協会と連携し行っていく。
令和5年度 予算に向けて	市内の環境保全に欠かせない事業であり、不法投棄廃棄物処理や河川水質検査等、継続が必要である。また、市民一人一人の心がけてコストは減少していく事業でもある。ごみの減量化の啓発を、設置した除塵機等を使って積極的に行っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
 ※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民との協働や学校教育など、あらゆる場面を通じて、環境保全意識を啓発する活動などを行うことにより、美しいまちをつくる市民意識の醸成に努める。
 後期基本計画においては浄化槽に関する内容ではなく、美化活動に参加した人数を目標とすることで、環境保全意識の醸成に繋げていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	清掃事業			款項目	004-03-60	評価責任者	矢野誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	生ごみ処理機具設置費補助金交付要綱等		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり
	施策	2	ごみの適正な処理と減量化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ごみステーションボックスの貸与、生ごみ処理機具設置事業補助金の交付		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ごみの減量化		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	34,703,463円	29,732,000円	34,819,000円	45,236,000円	
	決算額[B]	33,134,586円	28,697,211円	34,247,841円	45,038,386円	
	執行率[B]/[A]	95.5%	96.5%	98.4%	99.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	ごみステーション用ダストボックス(1,447,200円) 犬・猫等死体回収業務(717,600円) 一般廃棄物最終処分場負担金等(26,741,500円)	ごみステーション用ダストボックス(1,188,000円) 犬・猫等死体回収業務(770,000円) 一般廃棄物最終処分場負担金等(25,626,000円)	ごみステーション用ダストボックス(1,564,200円) 犬・猫等死体回収業務(562,100円) 一般廃棄物最終処分場負担金等(29,634,000円)	ごみステーション用ダストボックス(2,079,000円) 一般廃棄物最終処分場負担金等(38,942,000円) し尿処理施設統合検討業務に係る負担金(2,321,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	35,000円	17,000円	25,000円	14,000円
		一般財源	33,099,586円	28,680,211円	34,222,841円	45,024,386円
	財源合計[C](=[B])	33,134,586円	28,697,211円	34,247,841円	45,038,386円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	154,678,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
死体回収業務の減少	犬の登録の管理徹底や猫のTNR活動を通して車に轢かれる犬・猫等の減少を図る	匹	目標値		70.0	65.0	60.0	55.0
			実績値	74.0	55.0	70.0	51.0	66.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

犬の登録の管理徹底や猫のTNR活動を実施したが、タヌキ等の小動物も死体回収業務に含まれるため、目標値に届かなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	3	5	3
平均得点	4.6	4.2	4.6	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要なものである。これらのものは市民生活に直結しているため、必要であると思われる。動物の死骸は廃棄物扱いとなり、小動物死体回収業務においては年々単価が上昇していることから、犬の登録管理の徹底や猫のTNR活動を通して、車に轢かれる小動物の減少を図りたい。
令和2年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になる。動物の死体回収業務についても、道路通行上の妨げになり早めの対応が必要となることから、回収業務の必要性が高い。生ごみ処理機設置の補助についても、周知していきたい。
令和3年度	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になる。動物の死体回収業務についても、道路通行上の妨げになり早めの対応が必要となることから、回収業務の必要性が高い。生ごみ処理機設置の補助についても、ごみの減量化につながることから、幅広く周知していきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	市民生活に直結している事業のため必要性は高い。ごみの減量化は喫緊の課題となっているため、生ごみ処理機具設置費補助金の拡充を図り、周知・啓発を強化していきたい。また、ごみの減量化を進めていく中で、一般廃棄物(家庭ごみ)収集業務の実施にあたり、ごみステーションやごみの捨て方についても再検討していく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												○
拡大												
維持		○			○			○				
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)										大月都留広域事務組合から一般廃棄物(家庭ごみ)収集業務が移行され、ごみの減量化に向けて生ごみ処理機具設置費補助金の拡充を図るため		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後もごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理機具設置費補助金は設置することにより、ごみ減量化が図れることから現状維持とする。ボランティア団体と協力する中で猫のTNR活動を実施する。
令和4年度 予算に向けて	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理機具設置費補助金は設置する市民が増加傾向にあり、設置することによりごみの減量化が図れることから現状維持とする。
令和5年度 予算に向けて	ごみステーションダストボックス・ネット等については経年劣化により必要になるものであるから、現状維持とする。生ごみ処理機具設置費補助金は設置する市民が増加傾向にあり、設置することによりごみの減量化が図れることから増額したい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

持続可能なまちの実現のため、ごみの減量・再使用・再生利用への市民の関心を高めるための様々な取り組みをとおして、ごみの減量とリサイクルを推進していく。また、事業者などに対する廃棄物の適正処理の徹底や、不法投棄防止のための取り組みを強化していく。後期基本計画においては、犬猫死体回収業務に関してではなく、市民1人1日当たりのごみの排出量を目標とすることで、市民一人ひとりのごみの減量化を図っていきたい。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	空家等対策推進事業			款項目	02-01-15	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	亀田浩行
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内の空家等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 管理不全空家等の適正管理の指導、空家問題解決のための相談・啓発、利用可能空家等の活用推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内の空家等の適正管理、発生抑制、活用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,218,000円	2,467,000円	5,774,000円	5,776,000円	
	決算額[B]	150,020円	103,560円	93,560円	55,237円	
	執行率[B]/[A]	4.7%	4.2%	1.6%	1.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	空家等対策協議会委員報酬(40,000円) 空家等対策に係る実務講習会等旅費(51,110円) 空家等対策実務研修会等負担金(49,560円)	空家等対策協議会委員報酬(80,000円) 空家等対策に係る実務講習会等旅費(8,560円) 空家等対策実務講習会等負担金(15,000円)	空家等対策協議会委員報酬(40,000円) 空家相談会報償費(10,000円)	空家等対策協議会委員報酬(30,000円) 空家相談会報償費(5,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	150,020円	103,560円	93,560円	55,237円
	財源合計[C](=[B])	150,020円	103,560円	93,560円	55,237円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,776,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
相談会等の開催	空家問題の解決・啓発・相談のための相談会等の開催数(累計)	回	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

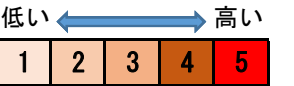
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.6	4.6	4.6	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高齢単身者や相続人となる次世代等に対し、生前から空き家をどのように処分するかを含め、空家問題に関する理解を深めるような啓発・相談会等を開催し、新たな空家発生の抑制につなげる。また、事前(苦情発生前)から管理不全空き家の所有者調査をしておくことが、苦情等の迅速な解決につながる。
令和2年度	従来、隣人同士の民・民の問題と考えられていた空家問題が、全国的にも適正管理がされない空家の増加から社会問題となっている。平成29年度創設の空き家リフォーム補助金、並びに空き家除却補助金については、制度上、予算を確保しているが、利用条件が厳しいこともあり活用されていないため、予算執行状況が低くなっている。
令和3年度	従来、隣人同士の民・民の問題と考えられていた空家問題が、全国的にも適正管理がされない空家の増加から社会問題となっている。平成29年度創設の空き家リフォーム補助金、並びに空き家除却補助金については、制度上、予算を確保しているが、利用条件が厳しいこともあり活用されていないため、予算執行状況が低くなっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	誰もが空家の相続人となり空家問題に関わってくる可能性があること、新たな空家の発生を抑制することを目的に周知・啓発や相談会を実施しており、一定数の成果が得られている。空家補助金については、本来であれば個人財産の処分のため所有者自身で処分をしてもらいたいが、相続等の問題から実施できないでいる方向けのものとなっているため活用実績はない。しかしながら、担当としては補助金を活用する前に対応をもらえるように促している。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	空家問題に関する啓発冊子を作成(職員が作成)するとともに、相談会等の開催については、「いーばしょ」なども活用しながら実施する(対面式となるので、相談会等の開催については、COVID-19の状況による)。また、空き家の除却に関する補助金要綱の内容を見直し、活用しやすくなるよう早期に検討し、実施する。
令和4年度 予算に向けて	令和2年度に作成した「空き家問題小冊子」も活用し、空き家の適正管理を周知するとともに、令和3年度からの「不良空家等解体事業費補助金」を空家の所有者に活用いただく中で、市内の不良空家の解体が進むよう取り組む。
令和5年度 予算に向けて	令和3年度からの「不良空家等解体事業費補助金」を空家の所有者に活用いただく中で、市内の不良空家の解体が進むよう取り組む。また、空家相談会を実施し、空家の現状把握に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民の快適な住環境を整備していくために、空家に対してだけでなく空家予備軍への対策も引き続き実施していく。また、所有者だけでなく相続人となり得る方にも周知・啓発を行い、すべての方が「自分事」として空家問題について考えてもらえるように周知・啓発を行っていく。後期基本計画では管理不全空家等の解決割合を目標にして、引き続き空家問題解決に向けて取り組んでいく。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	家中川小水力市民発電所管理運営事業			款項目	04-01-07		評価責任者	矢野 誠		
担当部	市民部		担当課	地域環境課		担当	環境政策室		記入者	坂田優介
会計	一般会計		事業開始年度	平成11年度		法定根拠・法令等				
事業実施方法	直接実施事業			←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち		
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり		
	施策	3	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及		
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 ・家中川小水力市民発電所「元氣くん1号、2号、3号」				
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・「元氣くん1号、2号、3号」が適切に稼働できる状態の管理（水量等）、施設の維持管理・修繕				
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市制50周年を記念して水のまち都留市のシンボルとして設置したが、水車により発電した再生可能エネルギー（電力）の庁舎利用や、環境教育の場として活用することで、脱炭素社会の実現につなげる。				

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,775,000円	1,778,000円	15,565,183円	2,676,201円	
	決算額[B]	1,632,045円	1,545,960円	15,564,343円	2,676,201円	
	執行率[B]/[A]	91.9%	86.9%	100.0%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	家中川小水力市民発電所保守点検業務委託料 (1,102,000円) ギアボックスオイル交換修繕費(165,000円)	家中川小水力市民発電所保守点検業務委託料 (973,500円) 発電所遠方監視サービス (112,860円)	「元氣くん1号」水車軸受修繕及びギアボックスオーバーホール(10,450,000円) 「元氣くん1号」羽板交換修繕(2,380,400円)	家中川小水力市民発電所保守点検業務委託料 (1,386,000円) 発電所遠方監視サービス (112,860円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	553,000円	380,818円	92,354円	516,000円
		一般財源	1,079,045円	1,165,142円	15,471,989円	2,160,201円
	財源合計[C](=[B])	1,632,045円	1,545,960円	15,564,343円	2,676,201円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,420,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
年間発電量	元氣くん1号、2号、3号の年間発電量の合計	kW	目標値		80,000	80,000	80,000	80,000
			実績値	0.0	126,078	103,943	89,598	152,730

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

達成している場合は記載不要								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	3	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	元氣くん1号の羽根板が破損したため交換した。年々、発電量が減少している。また、視察者も少なくなっている。
令和2年度	家中川小水力市民発電所「元氣くん1号、2号、3号」は、環境教育の場でもあるが、COVID-19感染防止対策のため、視察受入れは中止（但し、水車の自由見学は可能）。また、H18.4月の元氣くん1号稼働から15年が経過しており、経年劣化を含め修繕の必要性や、家中川の水量不足からの発電能力の減少が見受けられる。
令和3年度	令和3年1月に「元氣くん1号」のギアボックスが故障し、1年間の稼働がほぼ無かったことから、発電量が減少した。また、今後「元氣くん2号、3号」も経年劣化による故障が考えられる。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	降水量の低下等の自然状況の影響により河川水量が年々減少していることから、発電量が減少傾向にある。しかしながら、河川管理者（建設課）と連携を図り、停止時には速やかな復旧を実施している。経年劣化による故障等が目立ってきたので保守点検や維持管理を徹底していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				
	維持									○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	元氣くん1号における大規模修繕が完了したためコストは減少。 他の2基においても近年中に実施する予定。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	R3.1下旬に、元氣くん1号のベアリング部分が破損したため、運転中止状態となっている。現状、修繕方法や費用について見積りしている段階だが、併せて保険対応が可能か調査中である。いずれにしても、早期に修繕し、再生可能エネルギー発電の推進を図っていききたい。
令和4年度 予算に向けて	経年劣化などを含め、修繕が必要となる箇所が増えている。また、家中川の水量が少ないことから、発電量が減少している。
令和5年度 予算に向けて	経年劣化などを含め、修繕が必要となる箇所が増えている。今後も維持管理を継続し、再生可能エネルギー発電の推進を図っていききたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

地球温暖化、気候変動対策として、「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ゼロカーボンシティの実現のため、本市の特色である家中川小水力市民発電所を用いて周知・啓発し、持続可能な循環型地域づくりを推進します。 後期基本計画では庁舎への充当率を目標にすることで、発電量の増加だけでなく、職員の節電行動等による使用量の削減も推進していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然エネルギー推進事業			款項目	04-01-07	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち				
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり				
	施策	3	地球温暖化対策と自然エネルギーの普及				
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備普及促進 ・市内の一般家庭に設置等する再生可能エネルギー発電設備の安心・安全な導入						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・自立型再生可能エネルギー設備設置費に対する補助金の交付 ・再生可能エネルギー発電設備を設置する際に、各種ガイドライン等の内容を遵守するよう指導及び助言						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自立型再生可能エネルギー設備の普及により脱炭素社会の実現につなげる。また、今後の再生可能エネルギーに求められている蓄電・蓄エネを促進し、災害や停電等非常時のエネルギーの確保につなげる。						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,400,000円	1,000,000円	942,000円	2,998,000円	
	決算額[B]	609,000円	879,000円	942,000円	2,907,000円	
	執行率[B]/[A]	17.9%	87.9%	100.0%	97.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金(609,000円)	自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金(879,000円)	自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金(942,000円)	自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金(2,898,000円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	609,000円	879,000円	942,000円	2,907,000円
	財源合計[C](=[B])	609,000円	879,000円	942,000円	2,907,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,500,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助金申請件数	自立型再生可能エネルギー補助金申請件数(累計)	件	目標値	0.0	6.0	12.0	18.0	24.0
			実績値	0.0	7.0	17.0	27.0	52.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

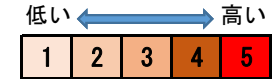
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	4.8	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	住宅用の自然エネルギー機器及び省エネ機器の導入を目的とした旧補助金(住宅用自然エネルギー及び省エネルギー機器補助金)が平成30年度末に廃止となり、次に自家消費を推進する観点(停電時も電力の自給自足が可能)から、蓄電システムの導入を必須条件とする「自立型再生可能エネルギー設備普及補助金」を平成31年4月1日に施行
令和2年度	太陽光発電により生み出した再生可能エネルギーの自家消費を推進する観点(停電時も電力の自給自足が可能)から、蓄電システムの導入を必須条件とする補助金制度を設けているが、年度後半に申請数が伸びたため、結果的に昨年度よりも件数、補助額とも実績が伸びた。
令和3年度	太陽光発電により生み出した再生可能エネルギーの自家消費を推進する観点(停電時も電力の自給自足が可能)から、蓄電システムの導入を必須条件とする補助金制度を設けているが、温室効果ガス削減のため今後もこの事業を推進していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本年度は例年に比べ急激に申請件数が増加した。家庭用の余剰売電期間が終了して自家消費を考える方が増えてきたこと、近年の災害で自家発電の重要性が認知されてきたことが原因だと考えられる。地球温暖化対策である温室効果ガス排出量削減を推進していくためにも本事業に注力していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○		○				○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金(補助制度の最終年度でもあり、増額を検討)						補助金終期を延長させ、地球温暖化対策の観点からも注力していくために事業費を増額とする。					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	平成21年度から始まった住宅用太陽光発電の余剰電力の買取期間(10年間)が、平成31年11月から順次満了を迎えているが、買取期間終了後の選択肢として、従来の単なる売電から「自家消費を促進する」ための補助金制度(H31.4施行)の周知を図り活用を促すことで、脱炭素社会の実現につなげる。
令和4年度 予算に向けて	「自立型再生可能エネルギー設備設置費補助金」の最終年度となる。令和2年度前半は4件の申請だったため、R3年度の予算額を縮小したが、同年後半に申請数が伸びてR1年度を上回る実績となった。R2年のゼロカーボンシティ宣言や、2050年カーボンニュートラルなど話題性もあることから、令和4年度は増額を検討している。
令和5年度 予算に向けて	温室効果ガス削減のために効果がある事業であり、またR2年度のゼロカーボンシティ宣言や、2050年カーボンニュートラルなどの話題性もあることから、令和5年度は増額を検討している。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

ゼロカーボンシティ宣言や2050年カーボンニュートラル達成のためにも注力していかなければならない事業であるので、周知・啓発の強化実施や補助金の拡充を検討し実施していく。 後期基本計画においても同様の目標を設定し、補助金の周知・啓発を強化していく。	
--	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地下水保全事業			款項目	04-01-07	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市地下水保全条例		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち				
	政策	1	いつまでも美しいまちづくり				
	施策	3	里地・里山・里水の保全・活用				
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 市内に井戸を設置している、又は、これから設置する者						
事業内容手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 ・市内の地下水位のモニタリングと採取の適正化のための量水器設置費の補助 ・市内に井戸を設置する際に、地下水保全条例等に基づき適切な指導等を行う						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 地下水資源の保護と採取の適正化を図り、良好で快適な生活環境を確保する						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,988,817円	5,826,000円	4,712,360円	2,707,980円	
	決算額[B]	4,360,050円	5,275,800円	4,712,360円	2,707,980円	
	執行率[B]/[A]	87.4%	90.6%	100.0%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	地下水位観測業務委託料(1,095,050円) 量水器設置費補助金(7件 3,265,000円)	地下水位観測業務委託料(8箇所 1,790,800円) 量水器設置費補助金(6件 3,485,000円)	地下水位観測業務委託料(8箇所 2,041,600円) 量水器設置費補助金(4件 2,581,000円)	地下水位観測業務委託料(8箇所 2,107,600円) 地下水位観測計修繕(600,380円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,360,050円	5,275,800円	4,712,360円	2,707,980円
	財源合計[C](=[B])	4,360,050円	5,275,800円	4,712,360円	2,707,980円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	4,114,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
量水器の設置割合	条例施行前に井戸を設置していた者の内、量水器を未設置の方(23件)が、量水器を設置する割合(累計)	%	目標値	13.0	30.0	60.0	80.0	100.0
			実績値	13.0	47.8	73.9	91.3	95.7

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

23件の内22件については実施完了となったが、残り1件については令和5年度中に実施完了となる予定である。

■全内容チェック(確認者:課長)

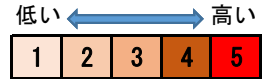
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.8	4.8	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地下水保全条例(H30.10.1施行)に基づき、施行以前からの井戸設置者は施行日から1年以内の届出が必要。その内、揚水機の吐出口の断面積が6cm ² を超える場合は、取水量の報告義務が生ずる為、一定の条件を満たせば、量水器の設置に対する補助制度を整備(条例施行後3年以内の設置に限る)。一定の要件を満たしていない者に対して、量水器の設置を働き掛ける手法が困難。
令和2年度	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たしていない者に対する「量水器の設置補助」を行う条件である協定書(災害時における地下水の提供)の締結に取組み、20件の井戸設置者と協定を締結した。また、新たに6件の量水器の設置補助を行い、次年度からの地下水利用量を把握する体制を整えている。
令和3年度	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たしていない者に対する「量水器の設置補助」を行う条件である協定書(災害時における地下水の提供)の締結に取組み、21件の井戸設置者と協定を締結した。また、新たに4件の量水器の設置補助を行い、次年度からの地下水利用量を把握する体制を整えている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	地下水保全条例に基づく量水器設置については量水器未設置の方23件のうち22件について対応が完了し設置をしていた。残りの1件については協議中である。今後は引き続き地下水位のモニタリングを実施していき、地下水利用量の把握に努めていく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○		○								○
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
	休止・廃止						○					
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)				地下水保全条例制定に係る量水器設置費補助金交付要綱は、R3年度内に終期を迎えるため						水位計を3G回線から4G回線への交換修繕をR5、R6年度で実施するため		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、量水器の設置指導を含めた取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等を行う。
令和4年度予算に向けて	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たせば「量水器の設置補助」を行う補助要綱が、R3年度内に終期を迎える。今後は、地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等並びに、市内7地点(8箇所)の地下水量のモニタリングを継続して行う。
令和5年度予算に向けて	地下水保全条例に基づき、一定の要件を満たせば「量水器の設置補助」を行う補助要綱が、R3年度内に終期を迎えた。今後は、地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等並びに、市内7地点(8箇所)の地下水量のモニタリングを継続して行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

地下水資源の保護と採取の適正化を図るため、取水量の管理並びに、新規の井戸設置者に対する適切な指導等並びに、市内7地点(8箇所)の地下水量のモニタリングを継続して行う。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	火葬場事業			款項目	04-01-08	評価責任者	矢野 誠
担当部	市民部	担当課	地域環境課	担当	環境政策室	記入者	坂田優介
会計	一般会計	事業開始年度	昭和39年度	法定根拠・法令等	都留市火葬場条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	1	信頼できる職員の育成と充足したサービス提供
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 火葬場の利用者等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留市火葬場「ゆうきゅうの丘 つる」の管理運営（管理・修繕・現場環境等の確認）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ・市民等の公衆衛生その他公共の福祉の向上 ・故人との最後の別れを安らかに迎えられる環境の整備		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	25,056,183円	17,942,000円	23,534,014円	30,324,901円	
	決算額[B]	25,056,183円	17,086,853円	23,158,011円	30,251,794円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	95.2%	98.4%	99.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	火葬場管理業務委託料 (7,734,620円) 火葬場施設修繕費 (9,801,780円) 火葬場施設消耗品購入費 (1,137,631円)	火葬場管理業務委託料 (7,122,500円) 火葬場施設修繕費 (3,183,180円) 燃料費 (2,017,675円)	火葬場管理業務委託料 (9,408,014円) 火葬場施設修繕費 (7,837,500円) 燃料費 (2,741,728円)	火葬場管理業務委託料 (8,750,500円) 火葬場施設修繕費 (5,907,000円) LED化修繕 (7,095,000円) 燃料費 (3,167,703円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	9,415,000円	8,110,000円	8,975,000円	10,122,000円
		一般財源	15,641,183円	8,976,853円	14,183,011円	20,129,794円
	財源合計[C](=[B])	25,056,183円	17,086,853円	23,158,011円	30,251,794円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	23,248,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	火葬場使用者からの苦情件数	件	目標値		1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	齊藤 浩稔 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>	矢野 誠 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	4.8	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	修繕計画による大規模修繕とともに、経年劣化による小規模な機械不良の修繕も発生している。火葬場内には、常に静寂と尊厳ある緊張感が漂い、それに見合うサービスの提供が求められることから、施設メンテナンスや修繕等を適切に行い環境の整備を図る。
令和2年度	大きな修繕はなく、保冷庫の状態が悪いなどの経年劣化等による小規模な修繕で済んだ。また、新型コロナウイルス対策のため、防護服や非透過性納袋の整備、並びに火葬場の利用方法を定め周知するなど、常に火葬場内での静寂と尊厳ある環境に見合うサービスの提供ができる体制を整えた。
令和3年度	火葬炉及び保冷庫の修繕を実施し、施設の維持管理に努めた。また、昨年に引き続き、新型コロナウイルス対策を実施し、火葬場の利用方法を定め周知するなど、常に火葬場内での静寂と尊厳ある環境に見合うサービスの提供ができる体制を維持した。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	火葬炉及び火葬場のLED化の修繕を実施し、施設の維持管理に努めた。国や県における新型コロナウイルス感染症対策が流動的に変化する中で市民のニーズを鑑みつつも火葬場でのクラスター発生を防ぐように努めた。最後の時を迎える場所という認識の下、適切なサービスが提供できる体制を維持した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)										非常用発電用蓄電池の交換修繕を実施予定のため		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図るとともに、火葬場施設の状況等の確認を行い、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しを含め、利用者に不快感を与えない施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。設備修繕に関しては、保守点検状況を踏まえて計画的に行い、施設修繕に関しては、個別施設計画により検証し、計画を立て実施する。
令和4年度 予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図り、新型コロナウイルス収束後は火葬場の利用状況等の確認を行う中で、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しなど、利用者が利用しやすい環境を整えとともに、施設の適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。
令和5年度 予算に向けて	火葬場の管理業務受託者との連携を図り、新型コロナウイルス収束後は火葬場の利用状況等の確認を行う中で、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しなど、利用者が利用しやすい環境を整えとともに、施設の修繕等を計画的に実施し、適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

火葬業務受託者、葬祭業者との連携を図り、新型コロナウイルス収束後は火葬場の利用状況等の確認を行う中で、1日の火葬回数や1回の利用時間（間隔）の適正化の見直しなど、利用者が利用しやすい環境を整えとともに、施設の修繕等を計画的に実施し、適切な管理と質の高いサービスの提供に努める。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	社会福祉関係費			款項目	03-01-01	評価責任者	小林 勝之
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	地域福祉担当	記入者	神谷 彰
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	1	★安心を提供する地域福祉の啓発と充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：社会福祉法人 都留市社会福祉協議会 対象物：事業費補助（ふれあいのまちづくり事業）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 広報紙の発行 ボランティア団体への補助		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 ボランティアの養成や広報活動により、地域における福祉の推進を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,810,000円	2,810,000円	2,810,000円	2,883,000円	
	決算額[B]	2,611,366円	1,333,553円	1,580,618円	1,744,228円	
	執行率[B]/[A]	92.9%	47.5%	56.2%	60.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	ふれあい福祉センター事業費(広報活動) 247,000円 地域生活支援事業 1,355,000円 住民参加による地域福祉事業 1,208,000円	ふれあい福祉センター事業費(広報活動) 253,000円 地域生活支援事業 570,446円 住民参加による地域福祉事業 931,926円	ふれあい福祉センター事業費(広報活動) 364,845円 地域生活支援事業 740,630円 住民参加による地域福祉事業 1,964,561円	ふれあい福祉センター事業費(広報活動) 354,402円 地域生活支援事業 828,015円 住民参加による地域福祉事業 1,811,295円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,611,366円	1,333,553円	1,580,618円	1,744,228円
	財源合計[C](=[B])	2,611,366円	1,333,553円	1,580,618円	1,744,228円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,758,000 円
-------	---	---------------------	-------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ボランティア活動へ参加した市民の割合	社会福祉協議会で実施した事業に参加した人数/総人口(10/1現在)	%	目標値		187.0	190.0	193.0	196.0
			実績値	185.6	185.1	186.7	187.2	186.7

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業が多く、ボランティア活動への参加の機会が減少したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

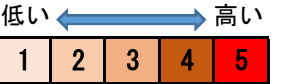
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川 宏 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	依田 博江 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	1	2	2	2
平均得点	3.0	3.2	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。令和元年度については、消費増税による補助額の増加を見込んでいる。
令和2年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。
令和3年度	事業については、住民相互の支え合い・地域住民の社会参加に寄与するため継続的な支援は必要である。財源については、市補助金・社協一般会費・共同募金配分金等で行っている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ禍の影響により、感染拡大防止のため、中止となった事業が多い。コーヒーボランティアなど趣味を生かしたボランティア活動の発掘を行っている。ボランティアの高齢化が進んでいるため、ボランティア参加のハードルを下げ、大学生などボランティアに参加したことがない層の確保が課題となってくる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。市も事業について協力を行う。
令和4年度 予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。市も事業について協力を行う。
令和5年度 予算に向けて	現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。市も事業について協力を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

現状の事業を維持しつつ、積極的な広報活動等を通して住民の社会活動への参加を引き続き促していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害者等地域生活支援事業		款項目	03-01-01	評価責任者	小林 勝之	
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当	記入者	杉本 晴美
会計	一般会計	事業開始年度	平成18年	法定根拠・法令等	障害者総合支援法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：障がい者及び障がい児		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 相談支援・成年後見制度利用支援・意思疎通支援・日常生活用具給付・移動支援・地域活動支援センター・福祉ホーム・日中一時支援・社会参加促進事業等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	38,302,000円	40,933,000円	38,703,000円	38,308,000円	
	決算額[B]	34,114,163円	34,010,566円	30,319,550円	31,543,575円	
	執行率[B]/[A]	89.1%	83.1%	78.3%	82.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	障害者相談員人件費	6,382,403円	4,782,910円	5,056,923円	4,939,061円
		委託料	22,670,273円	24,725,051円	21,165,840円	22,231,783円
		補助金	657,950円	317,000円	455,000円	329,000円
		扶助費	4,383,537円	4,059,605円	3,578,398円	4,960,930円
	財源内訳	国庫支出金	6,049,000円	6,243,000円	5,288,000円	5,174,000円
		県支出金	2,302,000円	2,181,000円	2,644,000円	2,555,000円
		地方債				
その他特定財源						
一般財源						
財源合計[C](=[B])		8,351,000円	8,424,000円	7,932,000円	7,729,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	38,308,000 円
-------	---	---------------------	--------------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
地域生活支援事業サービス利用	各種サービス利用実人数	人	目標値		165.0	166.0	167.0	168.0
			実績値	164.0	167.0	178.0	172.0	177.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

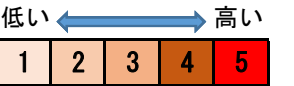
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川 宏 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	依田 博江 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。また令和2年度末までに障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、地域生活支援拠点の整備を行う必要がある。
令和2年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、東部圏域において地域生活支援拠点の整備を行い、運用について検討を行っている。
令和3年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりのため、東部圏域において地域生活支援拠点の整備を行い、運用について体制整備ができた。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談窓口の周知や地域の相談機能の強化に努めている。さらなる基幹相談支援センターの相談体制整備の強化のため、相談員の確保が課題である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○			○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の整備準備を推進し、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
令和4年度予算に向けて	障がい児者の緊急時の対応ができるよう、東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の設置および運用を行い、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。
令和5年度予算に向けて	障がい児者の緊急時の対応ができるよう、東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の周知を対象者へ行い、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

障がい児者の緊急時の対応ができるよう、東部圏域市村及び事業所と連携して地域生活支援拠点の運用を行い、障がいのある人が地域で安心した生活が送れるよう支援体制の強化を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	重度心身障害者等タクシー利用料金助成事業		款項目	03-01-01		評価責任者	小林 勝之	
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	障がい者支援担当	記入者	杉本 晴美	
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年	法定根拠・法令等	都留市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	3	障がい者の自立と社会参加の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 身体障害者手帳1・2級、療育手帳Aに該当する者（自動車税の減免及び燃料費助成対象者を除く）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱に基づき、重度心身障害者等の社会参加を促進するため、タクシー券により初乗り運賃の額を助成する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 重度心身障害者（児）の行動範囲の拡大と社会参加促進、及び経済的負担の軽減を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	599,000円	636,000円	630,000円	686,000円	
	決算額[B]	594,520円	573,890円	571,490円	552,880円	
	執行率[B]/[A]	99.3%	90.2%	90.7%	80.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	タクシー初乗運賃(扶助費) 594,520円	タクシー初乗運賃(扶助費) 573,890円	タクシー初乗運賃(扶助費) 603,300円	タクシー初乗運賃(扶助費) 552,880円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	28,615円	28,615円	14,160円	135,530円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])	28,615円	28,615円	14,160円	135,530円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	686,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
タクシー券利用状況	タクシー券利用回数	回	目標値		876.0	877.0	878.0	879.0
			実績値	875.0	878.0	846.0	895.0	818.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック(確認者:課長)				
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川 宏 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	小林 勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	依田 博江 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	1	5	1
平均得点	3.8	3.0	3.8	3.0

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。福祉タクシー等の利用者が増えているため、市単独助成額が多くなっている。
令和2年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。ドライバーの高齢化によりタクシー利用者は減少しているが、福祉タクシー等の利用者が増えているため、市単独助成額が多くなっている。
令和3年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。またタクシー会社のほか福祉タクシー等の利用も助成対象としている。福祉タクシー等の利用者および利用回数が増えているため、市単独助成額が多くなっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	県の助成対象とならない聴覚・内部障害1・2級手帳所持者についても対象としている。対象者の拡大について近隣市町村の動向を確認しながら検討していきたい。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
令和4年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。
令和5年度予算に向けて	今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

今後も継続して対象者及びタクシー会社等への周知活動を行っていくことで、重度心身障害者及び障害児の社会参加の促進を図る。	
---	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健福祉センター管理運営事業(いきいきプラザ都留照明LED化事業)		款項目	03-01-04	評価責任者	小林勝之	
担当部	福祉保健部	担当課	福祉課	担当	保健福祉センター担当	記入者	庄司一浩
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	VI	行財政分野 実行します！新しいステージへ
	政策	2	質の高い行政サービスが提供されるまち
	施策	2	公有財産の有効活用と適正な配置
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：市民（利用者）全体 対象物：都留市保健福祉センター		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保健福祉センターの施設管理・運営事業（いきいきプラザ都留照明LED化事業）		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 コストを抑制しつつ、省エネ対策として電気照明のLED化等、計画的に取り組み、電力量削減を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,147,000円	2,780,000円	1,727,440円	1,980,880円	
	決算額[B]	2,052,000円	2,585,000円	1,705,000円	1,881,000円	
	執行率[B]/[A]	95.6%	93.0%	98.7%	95.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	保健福祉センター1階照明LED化修繕 2,052,000円	保健福祉センター3階照明LED化修繕 2,585,000円	保健福祉センター2階照明LED化修繕 1,705,000円	保健福祉センター地階・屋上・別館照明LED化修繕 1,881,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,052,000円	2,585,000円	1,705,000円	1,881,000円
	財源合計[C](=[B])	2,052,000円	2,585,000円	1,705,000円	1,881,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択		「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	--	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
電気使用量の削減	施設整備計画を踏まえてLEDの導入等、電気使用量の削減を図る。	円	目標値		6684220.00	6684219.00	6684218.00	6684217.00
			実績値	6684221.00	6729403.00	6652713.00	8239411.00	9671544.00

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

施設内照明のLED化により削減を図れた部分もあったが、コロナ過による、別部屋で分散勤務や換気により、照明及び空調の使用量が増え、電気の使用量が増加した。また、令和4年度からは電気代の急激な高騰によりさらに増加した。

■全内容チェック（確認者：課長）

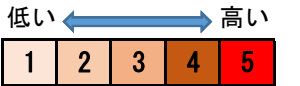
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	澄川 宏 <input checked="" type="checkbox"/>	小林勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	小林勝之 <input checked="" type="checkbox"/>	依田博江 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	3	3
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	1	5	1	1
平均得点	3.0	3.8	3.0	3.0

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	保健福祉センター1階部分の照明のLED交換を実施したが、空調の不具合や施設利用日数の増加に伴い、結果的に電気使用量の削減には至らなかった。蛍光灯の製造終了に伴い、他の階についても順次LED化を進め、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。
令和2年度	保健福祉センター3階部分の照明のLED交換を実施したが、新型コロナウイルス感染予防対策として、各課分散勤務を行い、部屋の利用頻度の増加に伴うも、結果的に電気使用量金の削減にたった。蛍光灯の製造終了に伴い、他の階についても順次LED化を進め、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。
令和3年度	保健福祉センター2階部分の照明をLEDに交換したが、1階・2階部分の改修工事や2階への都留市社会福祉協議会配置換えを実施し、結果的に電気料の削減に至らなかった。来年度は、地階・屋上・別館のLED化を実施を予定しており、コスト削減に向けた節電対策強化を図り、徹底していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	保健福祉センター地階・屋上・別館部分の照明をLEDに交換し、改修工事（第一期工事）で館内のダウンライトをLEDに交換、施設内のLED化修繕を終了した。今後、節電対策強化を図り、徹底していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○		○		○		○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、優先順位を決めて事業費予算の平準化を図り、施設整備を行っていく。
令和4年度 予算に向けて	施設の老朽化に伴う大規模改修を見据える中で、長期的な整備計画（長寿命化計画）を立て、施設整備を行っていく。【令和4年度、第一期工事：屋上防水／空調改修工事 5年度、第二期工事：外壁／窓サッシ交換改修工事 6年度、第三期工事：排水／照明設備改修工事を行う】
令和5年度 予算に向けて	令和6年度の第三期工事で施設外照明のLED化を実施し、施設照明のLED化を終える。適切に実施できるよう準備する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

職員に施設内の節電を周知徹底し、電気使用量を削減する。
PPAを活用した太陽光発電システムを検討する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	介護人材確保対策事業			款項目	03-01-02	評価責任者	笠井 貴志
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	介護保険担当	記入者	初原 健太
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市介護人材確保支援事業補助金交付要綱		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 介護保険サービス事業者、地域密着型サービス事業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内で介護サービス等に従事する人材の確保・定着および、介護人材の能力向上を目指すため介護サービス事業者等への財政的支援を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 新規介護人材の確保及び、介護サービスの質の維持・向上を目的とする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	500,000円	200,000円	200,000円	100,000円	
	決算額[B]	円	63,000円	円	円	
	執行率[B]/[A]	0.0%	31.5%	0.0%	0.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	研修費補助 100,000円×0件 未経験者等雇用補助 100,000円×0件	研修費補助 63,000円×1件 未経験者等雇用補助 0件	研修費補助 100,000円×0件 未経験者等雇用補助 100,000円×0件	研修費補助 0件 未経験者等雇用補助 0件	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	円	63,000円	円	円
	財源合計[C](=[B])	円	63,000円	円	円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	100,000	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
申請件数	当該年度中に研修費助成または、未経験者等雇用補助の補助金申請の実績値(小計)	件	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

毎年、年度当初に制度の案内を行っているものの、周知が徹底されていないことや、制度が事業所のニーズに即していないことが要因と思われる。

■全内容チェック(確認者:課長)

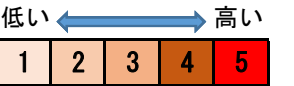
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	2	3	2	2
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	3	1	1
平均得点	3.2	3.8	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本事業を開始した平成29年度から申請実績が1件のみであったため、当年度は事業所職員が集まる連絡会等を中心に積極的な普及活動と、本事業に関するアンケートを実施したところ、令和2年度中の申請相談を1件受けており、またアンケート結果に基づく制度の変更も検討している。
令和2年度	令和元年度からの補助金制度にかかる周知によって、令和2年度は相談が3件あり、うち1件が申請まで至った。令和元年度からの検討事項に、コロナ禍における職員採用や研修方法の変化をはじめ介護保険制度改正によって生じる新たな事業所ニーズを本補助金制度に追加することが必要と考える。
令和3年度	年度当初に補助金制度にかかる周知をおこなったが、申請相談等はなかった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市内介護サービス事業所の混乱が続いていることが一因として考えられるが、引き続き周知を図るとともに、制度の追加等検討していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	年度当初に制度周知を図り申請相談は2件あったが、いずれも補助要件を満たさなかったため制度利用には至らなかった。第9期介護保険事業計画の策定に向け、本年2月に市内介護事業所あてアンケート調査を実施し、現在結果を集計中である。今後は、国や県の動向について情報収集を行いながら、調査結果をもとに本市の実情に即した制度のあり方について検討を進めていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
	休止・廃止											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	共生型サービス(介護保険と障がい福祉のサービスを一体的に提供するサービス)の普及や、高齢者福祉サービスの充実を図るため、障がい福祉サービス事業所及び、サービス付高齢者住宅事業者も補助事業の対象とするよう制度内容の拡大を図る。
令和4年度 予算に向けて	引き続き制度の周知を図るとともに、令和3年度から事業所に努力義務として追加される認知症に関する研修(令和6年度から義務となる)の受講を推進させるため、本研修にかかる県の助成の動きを注視しながら補助の拡充について検討する。
令和5年度 予算に向けて	引き続き制度の周知を図るとともに、昨年に引き続き令和3年度から事業所に努力義務として追加される認知症に関する研修(令和6年度から義務となる)の受講を推進させるため、本研修にかかる県の助成の動きを注視しながら補助の拡充について検討する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和6年から始まる第9期介護保険事業計画の策定に向け、国や県の動向について情報収集を行いながら、本市の実情に沿った介護人材の確保に向けた施策の検討を進める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	寿賀祝事業			款項目	03-01-02	評価責任者	笠井 貴志
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	原田 彩加
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市寿賀祝品支給条例		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 基準日(9月15日)に喜寿(77歳)になる者、当該年度内に100歳になる者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 喜寿対象者には5千円の商品券、100歳対象者には10万円の商品券、祝状と額を贈呈		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の生きがいづくりを支援し、健康寿命の延伸を目指す。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,995,000円	2,915,000円	3,445,000円	3,585,000円	
	決算額[B]	2,559,789円	2,311,020円	3,024,059円	3,048,830円	
	執行率[B]/[A]	85.5%	79.3%	87.8%	85.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・77歳寿賀(1,740,000円) ・100歳寿賀(800,000円) ・祝品消耗品(19,789円)	・77歳寿賀(1,590,000円) ・100歳寿賀(700,000円) ・祝品消耗品(21,020円)	・77歳寿賀(1,660,000円) ・100歳寿賀(1,200,000円) ・祝品消耗品(29,931円)	・77歳寿賀(1,310,000円) ・100歳寿賀(1,700,000円) ・祝品消耗品(38,830円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,559,789円	2,311,020円	3,024,059円	3,048,830円
	財源合計[C](=[B])	2,559,789円	2,311,020円	3,024,059円	3,048,830円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,399,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
支給対象者数	健康寿命の延伸により65歳到達者のうち寿賀祝対象となる者を増加させる。	人	目標値		358.0	680.0	1057.0	1393.0
			実績値	345.0	358.0	683.0	1027.0	1306.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

達成している場合は記載不要								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

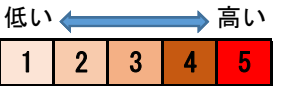
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	3	3	3
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	2	2	2	2
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	2	2	2	2
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	3.4	3.0	3.0	3.0

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	77歳の喜寿祝は、本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢について見直しを検討する必要がある。
令和2年度	人生100年時代を見据えた中で高齢者像も年々変化しており、77歳の喜寿祝は本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢の見直しについて検討していく必要がある。
令和3年度	人生100年時代を見据えた中で高齢者像も年々変化しており、77歳の喜寿祝は本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、今後、寿賀祝対象年齢の見直しについて検討していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	77歳の喜寿祝いは本市の平均寿命に満たない年齢でのお祝いとなるため、県内の状況を調査し検討した。将来的には88歳の米寿祝とする事には概ね決まったが、年齢引き上げに伴う政策について、景気の動向等を注視しながら移行事業を検討し進めることとなった。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	健康寿命の延伸により、寿賀祝の対象年齢についての妥当性が課題となっている。現在、対象となっている喜寿(77歳)祝については、単にお祝するだけではなく、健康寿命の延伸や生きがいづくりの支援に向けて活用できるよう具体的に検討する。
令和4年度 予算に向けて	寿賀祝対象年齢について引き続き検討を行い、特に市の平均寿命に満たない年齢での77歳喜寿祝については令和5年度から見直す方向で代替事業などの検討を進めて行く。
令和5年度 予算に向けて	寿賀祝対象年齢について引き続き検討を行い、特に市の平均寿命に満たない年齢での77歳喜寿祝については令和5年度から見直す方向で代替事業などの検討を進めて行く。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

健康寿命の延伸による検討の為、令和4年度の県内調査結果を元に77歳の喜寿祝いについて見直しを決めた。年齢引き上げや代替事業などの検討を進めていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老人福祉活動事業		款項目	03-01-02	評価責任者	笠井 貴志	
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	原田 彩加
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市地区敬老会補助金交付要綱		
事業実施方法	その他	←その他の場合の詳細		補助金等支出事業			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 老人クラブ月待の湯利用料助成：60歳以上高齢者、ねんりんピック参加支援：65歳以上高齢者、敬老会補助対象：70歳以上の敬老会参加者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 老人クラブ活動月待の湯の利用料助成、ねんりんピックの参加支援（参加者へ昼食の提供、バス送迎）敬老会開催への補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の閉じこもりを防止し、社会参加の機会を創出することにより、健康的でいきいきとした生活を送ることができるよう支援する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,644,000円	2,738,000円	3,300,000円	3,590,000円	
	決算額[B]	2,092,960円	1,710,171円	1,832,977円	780,610円	
	執行率[B]/[A]	79.2%	62.5%	55.5%	21.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・老人クラブ月待の湯利用料負担(835,840円) ・いきいき山梨ねんりんピック事業(108,120円) ・自治会等への敬老会補助(1,149,000円)	・自治会等への敬老会補助(1,694,965円)	・自治会等への敬老会補助(1,820,987円)	・自治会等への敬老会補助(590,380円) ・老人クラブ月待の湯利用料負担(190,230円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,092,960円	1,710,171円	1,832,977円	780,610円
	財源合計[C](=[B])	2,092,960円	1,710,171円	1,832,977円	780,610円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,842,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
敬老会開催数	敬老会を開催する自治会等の数(小計)	箇所	目標値		40.0	40.0	40.0	40.0
			実績値	39.0	35.0	50.0	52.0	12.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響で、本来の催しへ出かける事などの活動に制限があり、敬老会が開かれなかった自治会が多く、ねんりんピックなどにも個別開催など変更があり活動が減少した。

■全内容チェック(確認者:課長)

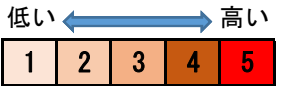
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	2	1
平均得点	3.4	3.4	3.6	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	敬老会への補助事業により、敬老会の継続開催につながっているが、自治会役員も毎年交代となり、自治会の担い手の高齢化や事務負担等の理由から継続実施が難しくなっている状況もうかがえる。
令和2年度	コロナ禍の中で、ねんりんピックや老人クラブ入浴事業は実施できない状況にあったので、敬老会については臨時的に祝品の配布に対して補助を行い、声掛けや見守りの取り組みにつなげることができた。地域での関係性が希薄している中で、外出機会の創出に加え地域のつながりづくりを支援していく必要がある。
令和3年度	コロナ禍の中で、ねんりんピックや老人クラブ入浴事業は実施できない状況にあったので、敬老会については臨時的に祝品の配布に対して補助を行い、声掛けや見守りの取り組みにつなげることができた。地域での関係性が希薄している中で、外出機会の創出に加え地域のつながりづくりを支援していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症も3年目を迎え、感染症対策を行いながら活動を推進し敬老会の補助金についても本来の主旨に添いながらの取り組みなど伝えた。賛同し実施した自治会もあったが、感染症の個々それぞれの考え方もあり、実施が進まなかった。ねんりんピック自体が、なかなか実施方法等決まらず、個別開催となり、参加者の都合等があわず参加できなかった。これからも感染対策をしながらの活動支援を続ける必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○			○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	高齢者の閉じこもりを防止し、外出の機会を確保するため、身近な場所で集える「いーばしょ」づくりをさらに推進するとともに、敬老会や老人クラブ活動についても継続して支援していく。
令和4年度 予算に向けて	喜寿(77歳)祝の見直しと並行して、敬老会への補助制度についても見直しを行い、健康寿命の延伸や高齢者の社会参加及び生きがい支援につながる事業となるよう検討を行う。
令和5年度 予算に向けて	喜寿(77歳)祝の見直しと並行して、敬老会への補助制度についても見直しを行い、健康寿命の延伸や高齢者の社会参加及び生きがい支援につながる事業をすすめる。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、敬老会補助事業など老人福祉活動について縮小や自粛など健康寿命の延伸や高齢者の社会参加および生きがい支援に大きなダメージを受けたが、感染対策を講じ何とか各事業を進めてきた。今後は感染予防を行いながら以前の各事業活動以上の推進が図れるよう検討を進める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域福祉支援事業			款項目	03-01-02	評価責任者	笠井 貴志
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	原田 彩加
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	老人福祉法		
事業実施方法				←その他の場合の詳細	一部委託、補助金等支出事業		

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 老人クラブ会員、介護保険サービス利用者で支援を要する者、在宅生活高齢者で支援を要する者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各地域の老人クラブ活動の支援、在宅独居等で支援を要する高齢者に対し寝具丸洗い等の支援、介護保険サービス利用者で支援を要する者に対し個人負担金の一部助成を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 老人クラブ活動への支援により高齢者が元気でいきいきとした生活を送ることができるよう支援するとともに、介護保険サービス利用の充実にを図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	6,470,000円	6,872,000円	6,884,000円	6,689,000円	
	決算額[B]	5,356,196円	3,858,078円	4,073,373円	3,410,104円	
	執行率[B]/[A]	82.8%	56.1%	59.2%	51.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・老人クラブ活動補助 (2,414,657円) ・布団丸洗い事業 (390,000円) ・介護保険サービス利用補助 (669,279円)	・老人クラブ活動補助 (2,497,432円) ・布団丸洗い事業 (393,361円) ・介護保険サービス利用補助 (425,068円)	・老人クラブ活動補助 (2,172,016円) ・布団丸洗い事業 (374,903円) ・介護保険サービス利用補助 (588,018円)	・老人クラブ活動補助 (2,118,808円) ・布団丸洗い事業 (418,791円) ・介護保険サービス利用補助 (872,505円)	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,028,000円	1,705,000円	1,446,000円	1,411,000円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,328,196円	2,153,078円	2,627,373円	1,999,104円
	財源合計[C](=[B])	5,356,196円	3,858,078円	4,073,373円	3,410,104円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,459,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
老人クラブ数	老人クラブ数(小計)	箇所	目標値		43.0	43.0	44.0	44.0
			実績値	42.0	42.0	41.0	37.0	37.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

老人クラブでは、役員の担い手不足や新規加入者の確保の課題に加え、新型コロナウイルス感染症の為の活動自粛など影響が老人クラブ数の休止等に繋がった。維持していくことで精一杯であった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	3	3	3	3
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.2	3.2	3.2

自己評価
担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。
低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老人クラブ会員の高齢化や新規加入者の減少により、活動の維持が困難となる恐れもある。新規会員を確保するための対策を検討する。
令和2年度	老人クラブについては、役員の担い手不足や新規加入者の確保などの課題がある。高齢者像が変化している中で、より参加しやすい環境を整えられるよう関係者と協議し、継続支援を行っていく。
令和3年度	老人クラブについては、役員の担い手不足や新規加入者の確保などの課題がある。高齢者像が変化している中で、より参加しやすい環境を整えられるよう関係者と協議し、継続支援を行っていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	老人クラブについては、役員の担い手不足や新規加入者の確保などの課題がある。高齢者像が変化している中で、愛称を募集しより参加しやすい環境を整えられるよう次年度からの更なるイメージアップを関係者と協議し、継続支援を行っていく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	老人クラブという名称に抵抗を感じている高齢者もいるため、参加しやすい名称への変更も検討しながら、継続して活動を行っていただけるよう支援する。
令和4年度 予算に向けて	老人クラブの事務局である社会福祉協議会との情報共有を図り、高齢者が参加しやすい体制づくりや、魅力ある活動内容の検討などにより、引き続き老人クラブ活動の継続支援を行う。
令和5年度 予算に向けて	老人クラブの事務局である社会福祉協議会との情報共有を図り、高齢者が参加しやすい体制づくりや、魅力ある活動内容の検討などにより、引き続き老人クラブ活動の継続支援を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

老人クラブへの新規加入者が減少しており高齢化が課題となる中、老人クラブ事務局の社会福祉協議会により愛称の募集を実施し令和5年4月から新しい呼び名で事業を進める。高齢者像や生活が変化している中で参加しやすい環境を整えられるよう今後も協議を続け継続支援を行っていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	一般介護予防事業費			款項目	04-02-01	評価責任者	笠井 貴志
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	原田 彩加
会計	介護特会	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 65歳以上の全高齢者
-----------	--

事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 「いーばしよ」事業や健康ポイント事業などを通じて、自主的に運動や介護予防に取り組む高齢者を増加させる。
------------------------	--

めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 健康づくり・介護予防事業を通じて健康寿命を延伸させる。
----------	---

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,543,899円	10,092,000円	10,146,000円	10,053,000円	
	決算額[B]	7,267,410円	5,914,446円	6,034,544円	5,994,659円	
	執行率[B]/[A]	68.9%	58.6%	59.5%	59.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・「いーばしよ」づくり補助金 (3,424,480円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金 (1,323,537円) ・介護支援ボランティア業務委託 (1,234,150円)	・「いーばしよ」づくり補助金 (1,809,940円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金 (2,087,534円) ・介護支援ボランティア業務委託 (1,124,084円)	・「いーばしよ」づくり補助金 (2,518,994円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金 (1,463,116円) ・介護支援ボランティア業務委託 (1,170,801円)	・「いーばしよ」づくり補助金 (3,773,442円) ・健康ポイント事業ポイント付与負担金 (1,045,706円) ・介護支援ボランティア業務委託 (1,175,511円)	
	財源内訳	国庫支出金	1,816,853円	1,478,612円	1,508,636円	1,498,664円
		県支出金	908,427円	739,306円	754,318円	749,332円
		地方債				
		その他特定財源	2,870,626円	2,336,205円	2,383,645円	2,367,892円
		一般財源	1,671,504円	1,360,323円	1,387,945円	1,378,771円
	財源合計[C](=[B])	7,267,410円	5,914,446円	6,034,544円	5,994,659円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	10,074,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
「いーばしよ」の延べ参加人数	「いーばしよ」として開設している場所へ参加された延べ人数	人	目標値		5400.0	5600.0	5800.0	6000.0
			実績値	5392.0	6306.0	3505.0	4062.0	5669.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）				
------------------	--	--	--	--

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	5
達成度（目標が実現できているか）	5	4	5	5
平均得点	4.6	4.4	4.6	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市内23カ所の「いーばしよ」の継続支援をおこなっており、担当制で内容や代表者の相談にのることで、継続しての開催につながっている。新規開設への支援も行う中で、市内にある自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行っていくことで、高齢者の参加の機会を増やしていく。
令和2年度	コロナ禍において、セルフケアができるよう健康ポイント手帳を郵送するとともに、自主的に介護予防に取り組めるようフレイル予防の冊子を作成し全戸配布した。「いーばしよ」事業においては、感染予防対策の下、活動支援を行った。今後は、「いーばしよ」以外の通いの場にも専門職の関与による介護予防を進めていく。また介護ボランティアの普及啓発によりリーダー育成に努めていく。
令和3年度	コロナ禍において、自宅での介護予防のため健康ポイント手帳の活用やCATVでの体操・認知症予防の啓発普及を実施。「いーばしよ」事業においては、感染予防対策のための物品配布の実施、感染症予防方法の周知徹底を行い、地域健康教育を実施することで、新たに5箇所の「いーばしよ」の立ち上げにつながり、現在27箇所となっている。感染症の状況により、活動制限があることに課題あり。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ禍において、自宅での介護予防のため健康ポイント手帳の活用やCATVでの体操・認知症予防の啓発普及を実施。「いーばしよ」事業においては、感染予防対策のための物品配布の実施、感染症予防方法の周知徹底を行い、地域健康教育を実施することで、新たな「いーばしよ」の立ち上げにつながり、現在33箇所となっている。事業を継続できるよう地域で支えていく為、チームオレンジを設立し地域の見守りを強化し、参加者の送迎など様々な課題に対し支援していく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				
	維持										○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	現在の「いーばしよ」を継続開催していけるようリーダー育成を行っていく。市内の自主的な高齢者の集いの場も情報収集し、広く高齢者の参加ができるように周知活動を行う。
令和4年度 予算に向けて	引き続き「いーばしよ」の継続支援や新規開設支援を行うとともに、ニーズのある地域へ「いーばしよ」を開設できるよう、より戦略的に事業を進めていく。また、今後「いーばしよ」の開設数が増えても持続可能な事業となるよう既存の補助制度についての見直しを行う。
令和5年度 予算に向けて	「いーばしよ」の継続・新規開設支援を行うとともに、ニーズのある地域へ「いーばしよ」を開設できるよう、「いーばしよ」の効果を分析・評価し、住民に周知することで、より戦略的に事業を進めていく。今後も「いーばしよ」が持続可能な事業となるようチームオレンジ設立と合わせ地域資源を組み合わせ支援していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。	
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。	
今後も「いーばしよ」の継続・新規開設支援を続けていくとともに、「いーばしよ」の高齢化に伴う課題を丁寧に聞き取り、埼玉県立大学研究班とともに「いーばしよ」の効果を分析・評価し、「いーばしよ」が持続可能な事業となるよう、地域資源を組み合わせ地域の見守りを強化するチームオレンジ設立と合わせ様々な支援を推進する。	

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	任意事業費			款項目	04-03-03	評価責任者	笠井 貴志
担当部	福祉保健部	担当課	長寿介護課	担当	高齢者支援室	記入者	原田 彩加
会計	介護特会	事業開始年度		法定根拠・法令等	介護保険法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	2	一人ひとりがやりがいと生きがいの持てるまちづくり
	施策	2	健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 65歳以上の虚弱な高齢者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 給食サービスや緊急通報装置の貸与など、都留市の状況に応じて様々な自立支援等に資するサービスを提供する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう支援する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	12,673,900円	12,641,000円	11,183,000円	11,228,000円	
	決算額[B]	9,330,716円	7,618,841円	8,238,645円	7,995,889円	
	執行率[B]/[A]	73.6%	60.3%	73.7%	71.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・給食サービス事業業務委託(6,350,897円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,579,146円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)	・給食サービス事業業務委託(4,862,181円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,465,652円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)	・給食サービス事業業務委託(5,130,641円) ・ふれあいペンダント業務委託(2,398,440円) ・成年後見制度後見人謝金(450,000円)	・給食サービス事業業務委託(5,606,182円) ・緊急通報システム業務委託(2,173,707円) ・成年後見制度後見人謝金(216,000円)	
	財源内訳	国庫支出金	2,496,500円	2,089,988円	2,279,564円	2,093,279円
		県支出金	1,248,250円	1,044,994円	1,139,782円	1,046,639円
		地方債				
		その他特定財源	4,094,550円	3,235,295円	3,457,482円	3,605,441円
		一般財源	1,491,416円	1,248,564円	1,361,817円	1,250,530円
	財源合計[C](=[B])	9,330,716円	7,618,841円	8,238,645円	7,995,889円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	13,309,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
自立支援サービス利用者割合	75歳以上の後期高齢者で給食サービス・ふれあいペンダント・成年後見助成制度を利用している者の割合	%	目標値		2.33	2.32	2.31	2.30
			実績値	2.34	1.93	1.53	1.85	2.32

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	天野 奥津江 <input checked="" type="checkbox"/>	笠井 貴志 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	4.8	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	独居や高齢者のみの世帯が増加しており、本事業の利用を希望する高齢者の増加も見込まれるため、本事業のサービス対象者の見直しとともに、他のサービスでの対応や、ボランティア等による地域での見守り体制についても進めていく必要がある。
令和2年度	地域共生社会に向けて今後も必要なサービスと考えられる。ハード面だけでなくソフト面での見守り体制を構築できるよう進めていく必要がある。
令和3年度	地域共生社会に向けて今後も必要なサービスと考えられ、今年度は地域ケア会議等でも高齢者の見守りについて検討した。また、新たな見守りサービスについてもニーズ調査や実証実験を行った。成年後見制度については、相談件数も年々増加しているため、中核機関との連携も図っていく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	地域共生社会に向けて今後も必要なサービスと考えられ、今年度は給食サービスの高齢者の見守りについて検討した。また、新たな見守りサービスについてもセンサーと携帯電話を利用した事業を開始した。成年後見制度については、相談件数も年々増加しているため、中核機関との連携も図っていく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○						○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	高齢者が住み慣れた自宅で継続して生活できるよう、本人の状況に応じたサービスの内容や現状のサービス対象者の見直し検討を行う。
令和4年度予算に向けて	それぞれの高齢者の状況に応じた見守りサービスを選択できるよう、既存の事業に加え、新たなサービスを実施し検証を行っていく。
令和5年度予算に向けて	それぞれの高齢者の状況に応じた見守りサービスを選択できるよう継続実施し、ハード面での見守りを引き続き精査検討を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

給食サービスについては平日や休日の配食を含め均一的なサービス(高齢者の栄養等と見守り)を継続して提供できるよう、令和5年4月より社会福祉協議会及び市内事業者による配食サービス委託から、市内介護事業所委託へ変更する。今後もそれぞれの高齢者の状況に応じた見守りサービスを選択できるようハード面での見守りを引き続き精査検討を進める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	すこやか子育て医療費助成事業			款項目	03-02-01	評価責任者	高山 竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当	記入者	後藤 孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	すこやか子育て医療費助成金支給条例等		
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子ども		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 医療保険各法の規定に基づく療養の給付を受けたとき、当該療養に係る一部負担金等を山梨県内の医療機関等については窓口無料、県外の医療機関等は償還払により助成する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 こどもの疾病の早期発見・早期治療を促進するとともに、子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、子どもの健全な育成及び安心して子どもを産み育てる環境づくりを支援する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	123,261,000円	124,211,000円	104,647,000円	115,230,000円	
	決算額[B]	116,009,192円	88,606,279円	100,698,200円	94,611,193円	
	執行率[B]/[A]	94.1%	71.3%	96.2%	82.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・窓口無料に係る現物給付 99,391,773円 ・償還払に係る現金給付 13,392,910円	・窓口無料に係る現物給付 80,690,517円 ・償還払に係る現金給付 5,577,628円	・窓口無料に係る現物給付 93,218,822円 ・償還払に係る現金給付 4,883,675円	・窓口無料に係る現物給付 89,017,860円 ・償還払に係る現金給付 3,029,084円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	21,675,131円	12,494,966円	15,343,891円	14,523,819円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	94,334,061円	76,111,313円	85,354,309円	80,087,374円
	財源合計[C](=[B])	116,009,192円	88,606,279円	100,698,200円	94,611,193円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	110,759,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事務負担の軽減	本事業に従事する職員の事務負担の軽減	人日	目標値		140.0	130.0	120.0	110.0
			実績値	190.0	140.0	100.0	120.0	110.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

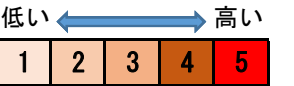
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	令和元年11月より窓口無料の対象を15歳から18歳に延伸することにより、保護者の償還払申請等に係る負担軽減を図るとともに、職員の事務作業の削減を行った。また、医療機関の適正受診やジェネリック医薬品利用を促進を行い医療費の抑制策を講じた。
令和2年度	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校部活動等が制限されたことに伴い、窓口無料の対象外である整骨院等を受診する子どもが減少したこと、家庭内・学校等での感染症対策等の徹底により、医療機関への受診者が著しく減少したことにより、職員の事務負担が大幅に減少した。
令和3年度	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが減少し、RSウイルスが流行した時期もあったことから窓口無料の医療費の助成が昨年度に比べ大幅に増加した。また、システムの入替に伴い、来年度に向けて統計作業等の事務負担の軽減を図る。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響は見られなくなったが、対象児童が減少していることにより、昨年度に比べて減少している。今後は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、医療費が増加することも懸念される。事務処理においては、給付実績等をシステムにより管理できるようになったことから、個々の給付実績の把握が容易になり、統計作業等における事務負担の軽減を図ることができた。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○			○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	窓口無料年齢の拡大により、本事業実施に費やす職員人件費の削減が可能となるが、受診が気軽にできる環境となることから、医療費増加を招かないよう適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用等を継続して周知する必要がある。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度、医療機関への受診動向に影響を及ぼすか予測できない状況ではあるが、引き続き適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用を促進する。
令和5年度 予算に向けて	対象人数は減少しており、新型コロナウイルス感染症による受診控えは減少傾向にあると推察されるが、医療機関への受診動向への影響が予測できないため、引き続き適正な医療機関受診やジェネリック医薬品の利用を促進する中で、前年度ベースの予算規模を維持する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

こどもの疾病の早期発見・早期治療を促進し、子育て世帯の経済的負担軽減を図るためにも、県内医療機関における医療費の窓口無料化を継続していく。安心して子どもを産み育てる環境を整備することで、少子化対策を図る。	
--	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子育て応援店事業費補助事業			款項目	03-02-01	評価責任者	高山 竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子育て支援担当	記入者	後藤 孝
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市子育て応援店登録事業実施要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 子どもの遊び場や授乳スペース、おむつ替えができる設備などを有する市内店舗又はそれらを新たに設置しようとする店舗		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 店舗登録：申請し、確定された店舗に「子育て応援店」の啓発用物品を交付 補助金：設備の改修、若しくは備品の購入等に対し補助金を交付		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 子育て世代が利用しやすい店舗等を増やすとともに、市民に周知することで子育て環境を整備する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	300,000円	100,000円	300,000円	170,000円	
	決算額[B]	円	25,000円	円	170,000円	
	執行率[B]/[A]	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・令和元年度は執行見込無	・子育て応援店登録件数 美容室 1件	申請無	・子育て応援店登録件数 写真館 1件	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源		25,000円		170,000円
	財源合計[C](=[B])	円	25,000円	円	170,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
登録店舗数	「子育て応援店」登録店舗数	件	目標値		10.0	10.0	11.0	12.0
			実績値	9.0	9.0	10.0	10.0	11.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

県の子育て応援カード事業と事業内容が類似しており、市の登録がなくとも子育て世帯が特典を受けられるため。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	2	2	2	2
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	1	1	1	1
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	2	3	2	2
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	1	5	3	4
平均得点	1.8	2.8	2.2	2.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登録店舗について、子育て世代に対するサービス提供を行う店舗等を対象とすること等を検討したが、県が実施する「やまなし子育て応援カード」事業と内容が重複するため見合わせることにした。これまでどおりの事業内容であれば市民ニーズは無いと判断し、令和2年度の状況により事業を廃止する予定である。
令和2年度	令和2年度は、新規開業の美容室1店舗が補助金を活用しキッズ・コーナーを設置し、応援店として登録されたが、子育て応援店への新たな登録を市内の事業所の状況を鑑みても困難である。
令和3年度	令和3年度は、新規登録申請はなかった。子どものための施設整備や子育て世帯が店舗を利用するにあたって必要な事業ではあるが、市民や事業所のニーズを把握し、実施について見直す必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和4年度は、写真館1店舗が補助金を活用してトイレにおむつ台等を設置し、応援店として登録された。子育て世帯が利用しやすい店舗環境を整備するためには有益な事業であるが、子育て応援店への新たな登録については、県の子育て応援カード事業と事業内容が類似しているため、増加する見込みは少ないと思われる。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持			○								
	縮小								○			
休止・廃止	○											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	子育て応援店事業費補助事業											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の影響により、補助率が実費の1/2であり、事業者が子どものための新たな設備投資を行うことは困難であると考えられ、補助金の在り方を検討する必要がある。
令和4年度 予算に向けて	市内登録店舗は10店舗程度であり、補助金のニーズも減少傾向にある。今後の補助金の在り方については、実績が少ないことから、予算を削減しつつ、市民ニーズを把握していく必要がある。
令和5年度 予算に向けて	市内登録店舗は11店舗程度であり、補助金のニーズも減少傾向にあることから、令和5年度においては予算措置はされていないため、申請があった際には予算流用等で対応する想定である。令和5年度中に実績がなければ、事業実施要綱の廃止に係る手続きを進める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健診・相談事業			款項目	04-01-03	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当	記入者	羽田理沙
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 妊産婦及びその家族、また、子育て中の保護者。乳幼児。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 子育て世代包括支援センター事業、妊婦乳児一般健診、乳児全戸訪問、乳幼児健診、産後健診及び事後フォロー相談、新生児聴覚検査		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 妊娠中から出産後の母親の身体的心理的安定を図ることができ、安心して子育てに臨むことができる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	34,334,168円	35,079,402円	37,677,000円	43,225,000円	
	決算額[B]	27,603,762円	26,073,987円	27,358,060円	31,852,903円	
	執行率[B]/[A]	80.4%	74.3%	72.6%	73.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	報酬 820,882円 賃金 1,278,750円 報償費 1,656,000円 委託料 18,943,076円 負担金、補助及び交付金 3,853,346円	報酬 1,061,076円 報償費 2,427,000円 委託料 16,759,085円 負担金、補助及び交付金 3,749,783円	報酬 2,655,570円 報償費 2,289,000円 委託料 15,819,270円 負担金、補助及び交付金 6,009,300円	報酬 3,221,029円 報償費 2,235,000円 委託料 388,190円 負担金、補助及び交付金 22,964,529円	
	財源内訳	国庫支出金	2,186,100円	1,382,000円	1,636,000円	5,763,000円
		県支出金	351,000円	238,000円	1,208,000円	2,534,000円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	25,066,662円	24,453,987円	24,514,060円	23,555,903円
	財源合計[C](=[B])	27,603,762円	26,073,987円	27,358,060円	31,852,903円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	48,545,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
ゆったりとした気分子どもと過ごせる割合	4か月健診の間診票からゆったりとした気分子どもと過ごせる割合	%	目標値		91.8	92.0	93.0	95.0
			実績値	91.4	87.7	87.7	90.1	95.4

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック(確認者:課長)				
評価責任者	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	5
平均得点	4.0	4.0	4.0	4.8

自己評価
担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	妊産婦健診や不妊治療への助成などにより、出産しやすい環境づくりを整備してきた。更に、令和元年度より産後ケアセンターの自己負担金を全額助成し、妊娠への周知を行ったところ、前年度実績18泊から今年度27泊(R2.1月)と利用が増え、出産後の母親の不安軽減につながった。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により一部延期となった乳幼児健診において、感染予防を徹底する中で実施し、育児相談や保護者の不安の軽減を図り子育て支援を実施してきた。5歳児健診を新規にたちあげ、保護者や保育園等との連携を図り就学に向けての準備を行った。
令和3年度	新型コロナウイルスの感染予防を徹底しながら乳幼児健診を実施し、個別指導の中で育児相談や保護者の不安の軽減を図り実施した。また、産後ケアセンターの利用も32泊と増え、産後の不安軽減につながっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和4年4月に子育て総合相談窓口「子育てほっとステーション」を設置し、相談体制を強化した。また、母子健診については、産婦乳幼児健診タクシー事業(カンガルータクシー)を開始し、健診を受けやすい環境を整備するとともに、スポットビジョンスクリーナー(屈折検査機器)を導入し、健診の充実を行った。また、産後ケアセンターの利用が92泊と大きく増加しており、適切なタイミングでの利用促進が行えており、産後の不安軽減に大きくつながっている。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性			○			○			○			○
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	妊婦健診費用の助成の拡充			視力の弱視のスクリーニング			産婦乳幼児健診タクシーに妊婦健診を追加			言語聴覚士によることばの発達検査の導入によるスクリーニングと支援の強化		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	子育てにおいては経済的な支援が必要であり、特に妊婦健康診査においては保険適用外であり自己負担金が生じているため経済的負担の軽減をはかる支援の拡充を検討していく。
令和4年度予算に向けて	不妊治療助成事業において、治療費が高額となる体外受精や顕微授精は、国が保険適応とする動向があるため、助成内容を確認する中で経済的支援の軽減が図れるよう検討していく。3歳児健診において、視力の弱視をスクリーニングするための機器導入を行い、早期発見早期治療を行っていく。
令和5年度予算に向けて	子育て総合相談窓口の周知を行い、子育て相談の充実を図る。また、産婦乳幼児健診タクシーを妊婦健診に拡充し、健診を受けやすい環境を構築する。乳幼児健診については、ことばの発達において専門的指導ができる言語聴覚士の導入を実施する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和6年度の子ども家庭センター設置に向け、オンライン相談に係る環境整備をはじめ、切れ目ない相談体制の充実を図る。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	母子健康づくり事業			款項目	04-01-03	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	子ども家庭担当	記入者	羽田理沙
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	母子保健法、児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、やまなし子ども子育て条例等		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	3	★子ども・保護者に対する健康の確保・増進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 妊産婦、子育てをしている保護者、乳幼児及び学童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 マタニティクラス、離乳食教室、子育て応援セミナー、赤ちゃん広場、すくすく教室等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 妊娠出産子育てに関する情報提供や各種体験・相談事業により、切れ目のない支援体制を構築する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,424,000円	2,394,000円	3,045,000円	2,686,000円	
	決算額[B]	1,791,878円	809,390円	1,262,128円	1,358,168円	
	執行率[B]/[A]	73.9%	33.8%	41.4%	50.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	賃金 476,000円 報償費 702,000円 委託料 262,800円 負担金、補助及び交付金 231,100円	報償費 180,000円 需用費 38,390円 負担金、補助及び交付金 195,000円	報償費 534,000円 需用費 12,828円 負担金、補助及び交付金 185,000円	報償費 660,000円 需用費 98,268円 負担金、補助及び交付金 196,000円	
	財源内訳	国庫支出金	150,000円	57,000円	45,930円	42,480円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,641,878円	752,390円	1,216,198円	1,315,688円
	財源合計[C](=[B])	1,791,878円	809,390円	1,262,128円	1,358,168円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,137,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
子育てが楽しいと思う人の割合	4か月健診の問診票から子育てが楽しいと回答した人の割合。	%	目標値		90.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	89.3	98.7	98.8	98.8	97.4

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て世代の交流する場等が制限され、子育てに係る負担の増大等が理由であると考えられる。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	4
平均得点	4.6	4.6	4.6	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	マタニティクラスや離乳食教室等においては、開催時期や回数に限られておりまた、参加者が一部の方となっている。子育てについて気軽に相談できるよう体制整備が必要である。
令和2年度	新型コロナウイルスの感染予防のため、赤ちゃん広場、離乳食教室、すくすく教室において事業を一部または全部を中止してきたため、個別に状況を確認し子育て支援を行った。
令和3年度	新型コロナウイルス感染予防しながらの実施方法を検討し、教室等は個別での対応、離乳食教室は調理を動画で視聴してもらうなど媒体を通じて指導出来るよう工夫した。また、コロナ禍にあり、各施設の親子の交流場所が中止する中で、保護者の話せる機会として1回1組に限定し、希望者に相談を行った。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響受けつつも、子育てに関するどんなことでも相談できる「ほっこりルーム」の開催等を行った。今後は、新型コロナの収束を見据え、地域子育て支援拠点の増加など親子の交流の場の創出が必要となる。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											○
	維持	○		○			○					
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)							思春期保健事業再開			オンデマンド型マタニティクラスの開始		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	各種教室に参加していない方も多いため、子育てサークル(ベピタス・ママタス、にこ研等)や子育て支援センター、愛育会や主任児童委員の地域組織との連携を図り、保護者が気軽に相談できる体制を整備していく必要がある。
令和4年度 予算に向けて	子育て世代包括支援センターの機能が充実できるよう、子育て中の保護者によりそった切れ目のない支援が行えるよう、子育ての情報の発信をアプリを通じて行っていく。
令和5年度 予算に向けて	個別だけでなく、集団支援再開も検討しながら切れ目のない相談体制の構築を継続する。また、令和5年より地域子育て支援拠点の増加を踏まえ、子育て支援に係る連携強化を図っていく必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

妊娠、出産、子育て等に関する情報提供を行うとともに、各種体験・相談事業の実施、子育てアプリの充実等により、切れ目のない支援体制を構築する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康教育・相談事業			款項目	04-01-04	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各地域、各組織等に対し、生活習慣病等および心の健康教育・相談を実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 生活習慣病の予防・心身の健康増進のために、市民一人一人が生活習慣の改善が図れるよう健康教育を通して支援する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	9,984,162円	8,959,000円	5,360,000円	5,765,000円	
	決算額[B]	8,206,287円	5,164,184円	3,705,612円	4,632,731円	
	執行率[B]/[A]	82.2%	57.6%	69.1%	80.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	委託料	4,115,864円	4,009,633円	2,581,233円	3,461,758円
		需用費	1,581,296円	543,052円	523,547円	579,199円
		賃金報酬費	1,863,915円			
		国庫支出金				
	財源内訳	県支出金	710,000円	673,000円	625,000円	625,000円
		地方債				
		その他特定財源			61,500円	81,000円
一般財源		7,496,287円	5,079,051円	3,019,112円	3,926,731円	
財源合計[C](=[B])		8,206,287円	5,752,051円	3,705,612円	4,632,731円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,509,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康教育相談回数	各種健康教育・相談の回数(年間)の増加※主要世帯の成果説明祖の集団健康教育の合計	回	目標値		45.0	47.0	50.0	52.0
			実績値	44.0	47.0	11.0	38.0	43.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響により、ふれあい講座等の健康教育の機会が減少したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

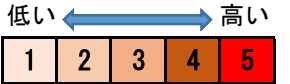
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	4	4	1
平均得点	4.4	4.0	4.0	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	健康づくり事業(委託事業)2年目で、1年目の参加者の成果が見られてきている。いきいき動かし隊においては、卒業生が市民への生活習慣改善普及員の役割を担えるような啓発に取り組んでいく必要がある。健康ポイント事業においては、利用率、ポイント還元率も低い。インセンティブ事業の工夫が必要である。
令和2年度	いきいき動かし隊においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて内容の実施をした。各々の実践への働きかけについて工夫していく必要がある。健康ポイント手帳についても市主催のイベント等が中止になる中でポイント還元率が低く、利用について工夫していく必要がある。
令和3年度	いきいき動かし隊においては、新型コロナウイルスの感染症防止対策を行いながら、予定通りの事業を実施することができた。2年の活動期間を終えた卒業生が自身で健康づくり活動を続けられるよう、どのようにアプローチしていくか検討していきたい。健康ポイント手帳についてはアプリ化するなどの検討が必要。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	通常2年間のプログラムであるいきいき動かし隊だが、令和2年度はコロナ禍でほとんど活動ができなかったことを考慮し、希望者は3年生として活動を継続した。また、活動期間を終えた卒業生が自身でも健康づくりに取り組んで行けるよう、来年度は卒業生向けのプログラムを計画している。健康ポイント手帳については、相変わらずポイント還元率が低いことが課題。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大												
維持	○			○			○			○		
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	健康ポイント事業											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	健康ポイント事業においては、令和2年度、ポイント対象項目の工夫やポイント制限の改善、また、市民への周知の強化等、取り組みを見直ししながら、実績を上げていきたい。
令和4年度予算に向けて	健康ポイント事業において、ポイント対象であるイベント等の項目の変更などを検討し、市民がより身近に実践しやすい内容にし、周知の強化を図る。
令和5年度予算に向けて	引き続き、健康づくり事業を継続していく。また、住友生命、第一生命、日本生命の3社との連携協定を活用し、事業の周知等に協力いただきながら「健康増進」という共通の目的に向けて相互に連携を図っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

いきいき動かし隊や健康ポイント事業など健康づくりへの関心を高めるためのアプローチとしてインセンティブ事業を実施し、一人でも楽しく続けられる健康づくりを推進していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康診査事業			款項目	04-01-04	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅱ	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 39歳以下の方で会社等において健康診断を受ける機会のない人		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 基本健康診査		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 法定健診の対象外である39歳以下の人に対して、個人の健康意識の向上と健康の保持増進を図るきっかけの一つとして健康診査を実施する機会を提供する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	8,923,060円	11,391,000円	16,362,000円	14,160,400円	
	決算額[B]	7,540,112円	4,409,518円	12,550,162円	10,716,369円	
	執行率[B]/[A]	84.5%	38.7%	76.7%	75.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	委託料 負担金	7,419,830円 90,900円	委託料 負担金 3,942,610円 90,900円	委託料 負担金 12,043,916円 90,900円	委託料 負担金 10,209,626円 88,200円
		国庫支出金			1,461,000円	
		県支出金	271,000円	562,000円	1,458,000円	1,387,000円
		地方債				
	財源内訳	その他特定財源				
	一般財源	7,269,112円	1,749,318円	9,631,162円	9,329,369円	
	財源合計[C](=[B])	7,540,112円	2,311,318円	12,550,162円	10,716,369円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	14,809,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
39歳以下の受診者割合	法定健診の対象外である20歳以上39歳以下の受診者が増加する。 ※39歳以下の受診者数/39歳以下の人口(3月人口ピラミッドより)	%	目標値		6.5	7.5	7.8	8.0
			実績値	5.9	7.2	0.3	1.4	1.4

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ禍による受診控えの影響が残っており、落ち込んだ受診率が戻り切っていない。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出てるか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	1	1
平均得点	5.0	5.0	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国保加入者数の状況を見ると、39歳以下の受診率は5.9%となっている。20歳代からの糖尿病予備軍対象者もいることから、若年層からの健診意識の向上を図る必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、集団での実施が予定より4分の1の日程しか実施できず、個別健康診査が実施できるように体制を整えたが、受診率が伸びなかった。今後の健康診査の在り方として、集団健診・個別健康診査も選択でき、受診率につながるよう体制を整えていく必要がある。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策として、完全予約制での実施となった。また、個別医療機関での健診や償還払いによる助成もスタートしたことで、受診機会の確保につながっていると考える。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	集団健診については令和3年度より完全予約制で実施しており、以前と比べ混雑することなくスムーズに受診できるようになった。また、個別医療機関での健診や費用を自己負担した場合の受診費用の助成も行うことで、様々な受診機会を選択できる体制を整備している。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○				○						
	維持						○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	個別健康診査											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	対象者の特性に応じて、企業や関係機関と連携する中で、周知方法等工夫する中で、受診行動の向上を図り受診者数を増加させる。
令和4年度予算に向けて	令和3年度の集団健診、個別健診の受診傾向をみながら周知方法を工夫し、受診者数の増加を図る。
令和5年度予算に向けて	特定健診の予約について、電話や申込票での予約から、より多くの方がWEB予約へと移行できるような周知についても工夫し、取り組んでいく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

各種健康診査を実施し、メタボリックシンドローム該当者及び予備群者の割合の減少につなげ健康寿命の延伸を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	がん検診事業			款項目	04-01-04	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度	10年 老人保健法から一般財源化	法定根拠・法令等	健康増進法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 20歳以上の一般市民（ただし、前立腺がん：50歳以上の男性・乳がんは30歳以上の女性・子宮は20歳以上の女性）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 胃がん、肺がん、大腸がん検診、肝がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診については、特定健診と同日にバス検診として実施 子宮がん、乳がん検診については、医療機関において実施。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 がん検診を受診することにより、早期発見・早期治療にむすびつけ、がんによる死亡率を低下させる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	34,811,778円	35,738,143円	43,110,000円	43,175,600円	
	決算額[B]	32,904,894円	19,993,561円	27,166,416円	29,757,431円	
	執行率[B]/[A]	94.5%	55.9%	63.0%	68.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	委託料	32,468,057円	19,409,640円	25,755,800円	28,467,495円
		役務費	293,354円	226,480円	892,181円	680,696円
		国庫支出金	276,000円	252,000円	274,000円	615,000円
		県支出金				
	財源内訳	地方債				
		その他特定財源				22,507,000円
		一般財源	32,628,894円	34,582,373円	26,892,416円	6,635,431円
財源合計[C](=[B])	32,904,894円	34,834,373円	27,166,416円	29,757,431円		

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	37,599,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
がん検診受診率の平均	胃、肺、大腸がん、乳がん検診、子宮がん検診の受診率※受診対象者：地域保健報告より	%	目標値		15.0	18.0	20.0	23.0
			実績値	14.6	14.4	7.5	10.8	11.3

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ禍による受診控えの影響が残っており、落ち込んだ受診率が戻り切っていない。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	3	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	4.0	3.8	4.0	4.0

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	国への報告の算定方法の変更（分母を人口とする）により受診率は下がっている。がん検診の受診率向上のため、周知を工夫していく必要がある。また、精密検査の受診率を増加させることを強化していく必要がある。国のがん検診指針に基づいた、受診者の管理および市民への周知が徹底していく。
令和2年度	集団検診が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて縮小して実施となったため、個別がん検診の選択ができるよう個別がん検診の補助が受けられるよう整備した。がん検診の精密検査受診率の向上については引き続き強化していくことが必要となる。
令和3年度	特定健診と同様、今年度から完全予約制で実施した。また、検査機関等でどこからも助成を受けずに検診を受診した場合に限り費用を助成する事業を開始したことで、今後の受診率の向上にもつながっていくと考える。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和3年度より完全予約制で実施しており、以前と比べ混雑することなくスムーズに受診できるようになった。また、費用を自己負担し検診機関等で受診した場合に限り費用を助成しているが、制度のより一層の周知が図られたこと等により申請者が大幅に増大し、受診機会の確保につながっていると考える。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○						
	維持		○					○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	個別がん検診											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	受診率向上に向け、周知方法を工夫する。また精密検査となった者への受診勧奨を検査機関と連携を図りながら、個人的な支援を入れながら徹底していく。
令和4年度 予算に向けて	がん検診の受診率向上のため、がん検診の必要性について理解を得られる周知方法等検討していく。精密検査の受診率も同様に向上するよう。個別での働きかけの強化をしていく。
令和5年度 予算に向けて	いまだ新型コロナウイルス感染症流行前の受診者数に達しておらず、感染症流行時の受診控えの影響が一部残っていると思われる。引き続き、周知方法や精検も含めた受診勧奨について工夫しながら実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

がんも生活習慣病の一種であるため、国の指針に基づきがん検診を実施することで、疾病の早期発見・重症化予防につなげていく。また、がん検診後の精密検査の必要性を周知し、精検の受診率向上を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保健衛生業務経費			款項目	04-01-02	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民及び保健師等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保健衛生業務に要する経費、保健師の資質の向上のための経費、健康科学大学入学奨励のための経費		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 保健業務の質の向上。健康科学大学入学生の増加		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
事業費	予算現額[A]	31,164,000円	34,668,922円	39,642,000円	34,206,000円				
	決算額[B]	28,245,555円	25,317,504円	33,422,738円	30,321,281円				
	執行率[B]/[A]	90.6%	73.0%	84.3%	88.6%				
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	負担金	22,335,640円	委託料	4,178,000円	委託料	24,284,000円	委託料	20,382,000円
		委託料	4,301,000円	負担金	19,036,005円	負担金	7,740,968円	負担金	8,345,528円
		補助金	1,200,000円	補助金	1,820,000円	補助金	1,050,000円	補助金	1,200,000円
		国庫支出金							
	財源内訳	県支出金	1,495,000円	1,416,000円	1,416,000円	1,416,000円			
		地方債							
		その他特定財源			250,600円	224,300円			
一般財源		26,750,555円	33,266,000円	32,006,738円	28,680,981円				
財源合計[C](=[B])	28,245,555円	34,682,000円	33,673,338円	30,321,281円					

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	34,028,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康科学大学看護学部入学奨励補助金利用者数	健科大入学生の負担を軽減し、看護師養成者数を増やし、市内医療機関の看護職員の増加を促す。	人	目標値		12.0	12.0	10.0	12.0
			実績値	11.0	4.0	8.0	2.0	3.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

年度により利用者数に差異がある。制度を知らずに利用できないことがないよう、市内の高等学校とも連携しながら制度についての周知を強化していく。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	1	1	5	1
平均得点	3.4	3.0	3.8	3.4

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	休日夜間急患診療体制については夜間の診療がなくなったが、2次医療機関の輪番制の体制が整備されている。健康科学大入学奨励補助金に対象者については、学校と連携をとることで入学者の把握が出来ている。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、小児救急利用者の激減により、負担金が倍額となり、補正対応とした。しかし、その分、小児の重症患者の増加等問題点は見れず、そもそもの小児救急の利用者が適切に利用しているかの把握が必要である。
令和3年度	今年度から輪番制病院運営事業が負担金から委託料へとシフトした。小児救急医療事業の市町村負担金については、新型コロナウイルス感染症の影響から昨年度より増額傾向にある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	引き続き、都留医師会や近隣の医療機関とも連携する中で、地域の医療体制の整備に努めていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	県の看護担当及び健康科学大学と連携を図りながら、助成制度の周知を強化し、入学希望者を募る。小児救急利用者が適切に利用できるよう、周知啓発活動を行う。
令和4年度 予算に向けて	県や大学関係者と連携を図りながら、助成制度の周知を行う。小児救急利用者が適切に利用できるよう、引き続き啓発活動を行っていく。
令和5年度 予算に向けて	健康科学大学看護学部入学奨励金の助成制度については、引き続き周知を行う。都留医師会や各医療機関、山梨県と連携し、地域の休日夜間の医療体制整備に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

都留医師会や各医療機関、山梨県と連携し、地域の医療体制整備に努める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	予防接種事業			款項目	04-01-02	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	予防接種法		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のみち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 定期予防接種対象者。大人の風しんワクチン対象者。インフルエンザ助成対象者。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 予防接種法に基づく定期予防接種の実施。任意接種として、ロタウイルスワクチン、小児インフルエンザ、大人の風しんの予防接種費用の助成。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 予防接種を実施することで、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	76,433,939円	74,817,000円	83,145,000円	95,285,200円	
	決算額[B]	67,253,099円	71,647,869円	60,899,517円	69,319,630円	
	執行率[B]/[A]	88.0%	95.8%	73.2%	72.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	賞金 557,420円 委託料 60,858,063円 負担金・補助金 4,804,169円	賞金 418,450円 委託料 64,040,221円 負担金・補助金 6,487,700円	報酬 236,132円 委託料 54,187,178円 補助金 5,595,000円	報酬278,432円 委託料 62,560,041円 補助金 4,663,649円	
	財源内訳	国庫支出金	2,490,000円	1,921,000円	1,356,000円	1,791,000円
		県支出金	130,000円			
		地方債				
		その他特定財源				58,000,000円
		一般財源	64,763,099円	72,896,000円	59,543,517円	9,528,630円
	財源合計[C](=[B])	67,383,099円	74,817,000円	60,899,517円	69,319,630円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	91,076,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
接種率	定期予防接種の接種者割合・接種期間の最終年齢より1歳上の年齢での接種率を算出	%	目標値		95.0	95.0	95.0	100.0
			実績値	91.2	91.3	93.5	93.7	95.9

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

長期入院や保護者の接種に対する考え方などにより、接種されない方が一定数は存在する。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	4	4	3
平均得点	4.2	4.8	4.8	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小学校6年生で実施する2種混合（ジフテリア・破傷風）については、接種率が84.9%であり、他の予防接種率90%代と比較して低い現状である。
令和2年度	定期接種とならない令和2年4月から令和2年7月生まれまでの保護者に対して、任意接種であるロタウイルスワクチンの費用助成を行うことによって、保護者の経済的負担の軽減を図り子育て支援を行った。
令和3年度	日本脳炎のワクチン供給量が少なかったため、今年度は小4への予防票送付を見合わせた。また、小児インフルエンザ助成の対象を今年度より高校生までとした。風しんの追加的対策の延長やHPVワクチンの積極的勧奨を令和4年度から再開することが決定された。来年度から使用する予防接種手帳を作成。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	今年度よりHPVワクチンの積極的勧奨が再開となり、キャッチアップ接種についても令和6年度を期限とし実施している。また、接種を控えていた時期に対象年齢を過ぎてしまい費用を自己負担して任意接種された方への助成事業も開始し、公正な接種機会の確保に努めてきた。令和5年度は委託料の変更やワクチンの追加が予定されているが、医療機関と連携し引き続き円滑な接種体制を整備していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○						
	維持	○						○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	予防接種手帳作成			HPVワクチンの積極的勧奨再開								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	予防接種の受診率の向上を図るため未接種者通知等による接種勧奨を積極的に行い、特に接種率の低い二種混合（小学校6年生）においては、中学校との連携を図り中学校入学式説明会において保護者へ接種勧奨をすることにより受診率の向上を目指す。
令和4年度 予算に向けて	乳幼児期において実施する予防接種は種類や回数が多く、スムーズに接種ができるようアプリの導入をすすめ、接種が滞っている保護者に関しては接種勧奨を実施していく。
令和5年度 予算に向けて	引き続き、予防接種スケジュールの適切な管理ができるよう、乳幼児健診の際に確認し、アプリの導入についても促していく。また、乳幼児健診や就学前健診においても接種確認を行い、接種スケジュールが順調に進んでいない保護者に対しては接種勧奨を実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

予防接種について正しい理解を啓発し、適切な時期に接種ができるよう接種勧奨を実施するとともに、未接種者へは指導・相談等を行うことで感染症の予防に努める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	感染症予防事業			款項目	04-01-02	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	健康づくり担当	記入者	原田和可子
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民一般及び各関係機関		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 感染症予防の普及啓発。新型インフルエンザ等対策の一環として、感染症予防医薬材料の備蓄。(新型インフルエンザ等行動計画に基づいて行動)		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 感染症のまん延を予防する。有事の際、実施体制がとれる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	522,541円	117,000円	837,000円	837,000円	
	決算額[B]	522,541円	65,340円	100,375円	832,835円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	55.8%	12.0%	99.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	需用費 522,541円	需用費65,340円	需用費88,110円	需用費813,120円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	522,541円	65,340円	100,375円	832,835円
	財源合計[C](=[B])	522,541円	65,340円	100,375円	832,835円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
感染症予防ガイドライン策定数	保育園等や放課後児童クラブや高齢者施設において感染症予防対策を策定した数(累計)	箇所	目標値	13.0	35.0	40.0	46.0	
			実績値	1.0	1.0	12.0	22.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

実績については市内保育園及び放課後児童クラブについての数値となっており、そのすべてにおいて策定している。

■全内容チェック(確認者:課長)

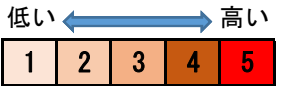
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	2	2	3
平均得点	4.2	4.4	4.4	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	これまではっきりとした備蓄計画を策定していなかったため、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクやアルコール消毒の備蓄が十分ではなく対応に苦慮した。今後は、各部署および各施設における感染症予防体制整備を図っていく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、庁内全体一丸となり感染予防対策を講じ、市民や保育園、放課後児童クラブへの周知や啓発を行った。
令和3年度	感染対策についての市民の意識も高まり、以前と比べるとマスクや手指消毒等が当たり前の日常となったように感じる。引き続き、感染症の予防対策は必要であるため、その周知や適切な備蓄品の管理に努める。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止事業として施設従事者用検査キットの配布を行った。対象は本市に所在する保育所・認定こども園、放課後児童クラブ、介護サービス事業所、福祉サービス事業所等の職員。感染症流行時にも事業継続ができるよう、従事者に感染のリスクが発生した場合等に速やかに検査を行える体制を整備した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									
	維持			○								
	縮小											
	休止・廃止						○					
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	備蓄の必要な量の把握を行い、不足分の整備。											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	有事の際に備え、庁内および関係機関との連携がスムーズ図れるよう体制整備の強化に努める。また、備蓄用品についての必要量の見直しを行い、補充に努め感染症予防の徹底を図る必要がある。市民や各課においての備蓄の必要性について周知していく必要がある。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルスの終息が見通せない中で、引き続き感染予防の徹底が図られるよう市民への周知を行い、有事の際に備えられるよう啓発を行っていく。
令和5年度 予算に向けて	

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所管理費			款項目	03-02-03	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	渡邊真由美
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野	育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり	
	施策	2	保育サービスの充実	
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 未就学児童、保護者			
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保育に欠ける未就学児に、健全な保育環境と適切な保育を提供するための、施設の管理と運営			
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 入所児が施設を安全に利用できるように、適切な施設・設備の管理を行い、健全な保育事業が行えるよう環境を整備する。			

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	11,710,319円	9,671,000円	11,042,000円	5,671,000円	
	決算額[B]	9,876,698円	6,925,643円	8,707,371円	5,329,185円	
	執行率[B]/[A]	84.3%	71.6%	78.9%	94.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	嘱託医報酬 240,000円 臨時保育士等賃金 2,897,757円 暖房機更新ほか修繕 3,019,742円 土地賃借料1,175,000円	嘱託医報酬 180,000円 臨時保育士等賃金 836,352円 給食室エアコン取替ほか修繕 1,585,240円 土地賃借料1,175,000円	嘱託医報酬 240,000円 臨時保育士等賃金903,587円 給食室排気煙突及び屋根等修繕 1,382,913円 土地賃借料1,175,000円 大型複合遊具新設2,640,000円	嘱託医報酬 240,000円 臨時保育士等報酬 1,582,824円 砂場・保育室LED取替ほか修繕 415,668円 土地賃借料 1,175,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	128,000円	75,000円	88,000円	83,000円
		地方債				
		その他特定財源	888,461円	415,475円	323,964円	275,198円
		一般財源	8,860,237円	6,435,168円	8,295,407円	4,970,987円
	財源合計[C](=[B])	9,876,698円	6,925,643円	8,707,371円	5,329,185円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,603,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
保護者の評価	保育所評価アンケート結果（A評価の割合）	%	目標値		96.5	96.7	96.7	96.7
			実績値	96.5	96.3	92.6	94.8	96.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

アンケート評価項目「自然に触れたり、地域と関わる園外活動」については、新型コロナウイルス感染拡大等計画通り実施できなかったことにより、全家庭からA評価を得られなかったことが要因だと考えられる。

■全内容チェック（確認者：課長）

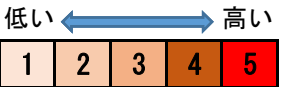
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	4.0	4.0	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	園舎建設から26年が経過し、施設、設備の老朽化が進んでいる。土地の賃貸借契約期限が迫っているので、今後の方向性について早急に結論を導き出し、保護者や関係者に説明し、周知したい。
令和2年度	施設、設備の老朽化により、大型遊具の撤去や塗装修繕、雨漏り・厨房エアコン取替修繕を行った。土地の賃貸借契約期限が次年度末で満了となるので、今後の方向性を決定し、それに伴う保育士の確保や施設整備を行うとともに、コロナ禍における保育のあり方を検討し保護者や関係者に信頼される保育環境を維持していく。
令和3年度	施設、設備の老朽化により、昨年撤去した遊具の代替となる複合遊具の新設や給食室の屋根修繕等を行った。今年度末で保育所用地の土地賃貸借契約が満了となるため、次年度新たに契約を締結するが、少子化が進む中で今後5年の間に市全体の保育のあり方や公立保育所の役割について関係機関等と協議し方向性を決定していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	施設、設備の老朽化により、砂場や誘導灯ランプ取替修繕等を行った。今年度保育所用地の土地賃貸借契約を締結し、安定的な保育所運営を維持するとともに、公立保育所の役割について、関係機関等と協議し、少子化対策としての施策展開を図る必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○			○			○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	入所児が施設を安全快適に利用できる環境整備に努める。職員定数の基準を維持できるように努める。
令和4年度 予算に向けて	コロナ感染予防対策を図り安全快適に利用できる環境を整備するとともに、職員定数の基準を維持し保育の質向上につながる人的整備に努める。
令和5年度 予算に向けて	保育の質の向上を目指し、入所児が施設を安全快適に利用できるよう感染症対策を踏まえた環境整備に努めるとともに、地域に根差した行事等を積極的に実施し、職員定数の基準を維持できるよう人員確保に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

保育における安全な環境整備に努めるとともに、保育士等の適正な人員配置に務め、保育の質の向上を図り、子どもたちの心身ともに健やかな成長を支援する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	保育所事業費			款項目	03-02-03	評価責任者	高山竜一
担当部	福祉保健部	担当課	健康子育て課	担当	宝保育所	記入者	渡邊真由美
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	都留市宝保育所条例・都留市宝保育所管理規則		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち				
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり				
	施策	2	保育サービスの充実				
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 未就学児童、保護者						
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 入所児童の保育に必要な教材の購入、安心・安全な給食の提供及び食育促進						
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 入所児童の健全な育成 安心・安全な給食の提供や食育の取り組みにより、肥満や痩せている園児の減少を図る。						

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,667,000円	5,338,000円	5,521,000円	5,034,000円	
	決算額[B]	4,001,485円	4,696,179円	4,597,107円	4,430,125円	
	執行率[B]/[A]	85.7%	88.0%	83.3%	88.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	保育用教材等 256,573円 調理用光熱水費860,843円 給食食料費 2,635,817円	保育用教材等 277,797円 調理用光熱水費844,490円 給食食料費 3,328,975円	保育用教材等 215,133円 調理用光熱水費885,685円 給食食料費 3,186,628円	保育用教材等 202,553円 調理用光熱水費972,645円 給食食料費 2,965,408円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	91,000円	52,000円	37,000円	35,000円
		地方債				
		その他特定財源	1,306,475円	2,531,328円	2,457,693円	2,250,210円
		一般財源	2,604,010円	2,112,851円	2,102,414円	2,144,915円
	財源合計[C](=[B])	4,001,485円	4,696,179円	4,597,107円	4,430,125円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	4,758,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
園児の標準的発育度の割合	カウプ指数(乳幼児の発育程度の指数)が正常値の園児の割合	%	目標値		85.5	86.0	86.0	86.0
			実績値	85.3	84.6	87.8	57.9	50.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

カウプ指数が正常値を大きく逸脱する子どもは多くなく、軽微な数値オーバーではあるが、運動する機会が少なかったなどの理由により、肥満傾向な子どもが多かったと思われる。

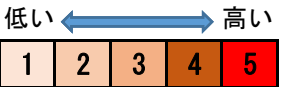
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	志村佳子 <input checked="" type="checkbox"/>	分部照美 <input checked="" type="checkbox"/>	高山竜一 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	5	1	1
平均得点	3.8	4.6	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	10月から副食費を実費徴収することになり、改めて給食の内容を見直す機会とし、食材の選択を検討し、より良い栄養価の高い安全な給食の提供ができるように努めた。
令和2年度	昨年まで別会計としていた以上児の主食費が予算に含まれたことから、食材費は昨年より増加している。アレルギー対応を踏まえた食材の選択を行い、栄養士が食事と栄養について絵本などを取り入れながら食育指導し、好き嫌いなく安心安全な給食の提供が出来るように努めた。食物アレルギーのある子のエピペン対応なども必要となる。
令和3年度	カウプ指数の判定基準が厳しくなったことにより、標準値の人数割合が低下しているが、アレルギー対応を踏まえた食材を選択し、栄養士による食育指導を行うなど安心安全な給食の提供に努めた。また、食生活に関するアンケートを実施し、家庭における食事(特に朝食)の大切さについて保護者へ周知を図っている。引続き家庭と連携し、園児の健康管理を行っていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	光熱水費、賄材料費等の物価高騰のため、適正な予算執行に努めるとともに、子どもたちの健やかな成長のため、安心・安全な給食の提供を行った。園児の月齢や身長による適正体重の増加を図るため、食生活に関するアンケートを実施、その結果から見えた本園児の「食」に関する報告を保護者あてに行った。引続き家庭と連携し、園児の健康管理に努めていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○			○			○			○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	燃料費、光熱水費は、前年度の実績と当年度の執行状況を踏まえ、適切な使用に努める。児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、給食を提供するとともに、好き嫌いをなくすよう食育についても指導することにより、標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。
令和4年度 予算に向けて	光熱水費等は、適切な使用及び削減に努める。給食については、児童の健全な育成に資するよう、アレルギー対応などの適切な食材選択に努め、食事提供するとともに、保護者と協力しながら食育について指導することにより、好き嫌いや偏食をなくし標準的発育度の園児が増えるよう取り組んでいく。
令和5年度 予算に向けて	光熱水費等の大幅な値上がりに対し適切な使用を心掛け経費削減に努めていく。アレルギー対応等の適切な食材を選択した給食の提供、及び保護者への食育についての指導を行い、園児の月齢や身長による適正体重の増加に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

子供の健全な発育に必要な栄養素が含まれた給食の提供し、適度な運動を積極的に取り入れるとともに、保護者への食育についての周知を行い、月齢や身長による適正体重の園児の増加に努めていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	金融対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内小規模企業者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 利子補給等を実施することにより、市内小規模事業者の設備投資の活性化を促す。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 設備資金等を促進し、地域経済活動の安定に資する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,200,000円	9,200,000円	6,700,000円	2,959,153円	
	決算額[B]	8,171,872円	6,300,222円	3,373,477円	1,784,105円	
	執行率[B]/[A]	80.1%	68.5%	50.4%	60.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	小規模事業者事業資金利子補給 8,098,872円 都留市創業者支援利子補給金 73,000円	小規模事業者事業資金利子補給 6,223,222円 都留市創業者支援利子補給金 77,000円	小規模事業者事業資金利子補給 3,373,477円	小規模事業者事業資金利子補給 1,779,105円 都留市創業者支援利子補給金 5,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,171,872円	6,300,222円	3,373,477円	1,784,105円
	財源合計[C](=[B])	8,171,872円	6,300,222円	3,373,477円	1,784,105円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	9,200,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利子補給金額	H30年度を基準とした小規模商工業者事業資金利子補給事業の累計補給額	千円	目標値		17000.0	24500.0	31500.0	38500.0
			実績値	9512.4	17611.3	23834.5	27208.0	28992.1

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和元年度の要綱改正により、設備投資を含む融資のみ対象としたことと、新型コロナウイルスに伴う無利子融資への借換えを行う事業者が増加したため

■全内容チェック(確認者:課長)

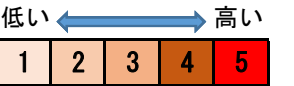
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	4
平均得点	4.4	4.6	4.6	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度は小規模商工業者事業資金利子補給金の要綱改正を行い、設備投資を含む融資のみを対象とすることとした。設備投資は将来的な経済活動に資する資金であり、設備投資が継続的に行われていることは地域経済活動が安定していると判断できる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動への影響は大きく、将来的な経済活動に資する資金である設備投資が減少したと考えられる。
令和3年度	令和2年度に新型コロナウイルスに伴う県の無利子の融資に借換えを行っていることが影響し、令和3年度の利子補給の金額が減少している。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者は積極的な設備投資を控える状況が続いている。小規模商工業者の経営安定を図るためには、利子補給を含めた総合的な支援策を講ずる必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○										
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	HPでの制度紹介のほか、商工会、金融機関等の関連団体と協力し制度周知をすすめ、市内小規模事業者が設備投資を行う場合の制度利用促進を図る。
令和4年度予算に向けて	コロナ対策の無利子融資も行われているため、今後数年は状況を注視する必要がある。
令和5年度予算に向けて	令和3年度現在、コロナ対策の無利子融資も行われているため、状況に応じて事業費等を柔軟に変更する必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたため、設備投資を積極的に行う事業者等が増えることが考えられるため、金融機関等と連携を図り、制度の周知を行い、地域経済の活力を強化する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商工業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 商工会及び商工業者の組合または団体		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地場産業等の事業者の展示会参加等を助成する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内中小事業者の販路拡大などを促し地場産業の発展を推進する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	9,969,000円	4,640,000円	5,554,000円	7,769,000円	
	決算額[B]	8,543,735円	3,717,115円	3,785,885円	7,452,000円	
	執行率[B]/[A]	85.7%	80.1%	68.2%	95.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	豊かな産業のあるまちづくり補助金 3,095,307円 ポイントシステム事業補助金 4,950,867円	豊かな産業のあるまちづくり補助金 3,281,000円	豊かな産業のあるまちづくり補助金 3,395,000円 飲食業出前等支援事業補助金 103,800円	豊かな産業のあるまちづくり補助金 7,082,000円 創業支援事業補助金 200,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		40,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,543,735円	3,677,115円	3,785,885円	7,452,000円
	財源合計[C](=[B])	8,543,735円	3,717,115円	3,785,885円	7,452,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	8,194,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内事業所数	市内に事業所を設置している法人数	事業所	目標値		834.0	836.0	838.0	840.0
			実績値	832.0	837.0	824.0	838.0	840.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	5	5
平均得点	4.6	3.8	4.6	4.6

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	創業支援事業、空き店舗・空き工場活用促進事業など、新規の企業を促す制度の活用頻度が少ない。商工会と協力し、制度の周知を進めていく必要がある。
令和2年度	商工会等関係機関との協力のもと、空き店舗・空き工場活用促進事業補助金は1件の活用があった。また、特定創業支援事業については5件の申請があったが、全体としては新型コロナの影響により事業者にとって厳しい状況であった。
令和3年度	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により創業等が厳しい状況であるが、飲食業出前等支援事業補助金などの新規補助事業により創業支援を行った。今後、さらに商工会等関係機関と連携を強化し事業を推進する必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	当事業の目的である市内中小事業者の販路拡大による地場産業の活性化を図るため、商工会との連携を強化し、創業支援や空き店舗・空き工場活用促進事業など支援策を講じてきた。新型コロナウイルス感染症の影響により大きなダメージを受ける中、すべての事業者に活用機会を見出してもらうことが課題であり、支援制度の拡充や事業の周知拡大を図り、個性的で創造的な豊かなまちづくりを推進する。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○		○		○		○	
	縮小											
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	HPでの制度周知と併せて、商工会と連携し、支援制度の周知を行う。
令和4年度 予算に向けて	引き続き、HPでの制度周知と併せて、商工会や金融機関等と連携し、支援制度の周知を行う。
令和5年度 予算に向けて	小規模企業・中小企業振興基本条例に基づき、商工会や地域経済団体等と連携を図り、支援制度の利用を促す。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

商工会や地域経済団体等と連携を図り、また空き店舗・工場の登録件数の増加と各種支援制度の周知を行い、地場産業や地元商店街の地力向上と活性化を支援する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	産業振興対策事業			款項目	06-01-02	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	4	★地場産業・商業の活性化と起業の支援
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 企業		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 異業種交流による新しい試み、発展の可能性を検討し、企業誘致を積極的に推し進める。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 企業の経営の近代化、安定化のための振興策を進め、地場産業の総合的な振興を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,537,000円	10,872,000円	21,572,000円	7,930,250円	
	決算額[B]	328,727円	6,994,700円	17,035,250円	5,710,300円	
	執行率[B]/[A]	13.0%	64.3%	79.0%	72.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	工場誘致・地場企業総合振興事業補助金 225,000円 産業アドバイザー報酬 36,000円	都留市企業立地支援(投下固定資産に係る支援金) 6,943,700円 山梨県地域経済牽引事業促進協議会負担金 51,000円	地域経済循環創造事業補助金 11,000,000円 企業立地支援(投下固定資産に係る支援金) 5,861,600円	企業立地支援(投下固定資産に係る支援金) 5,007,300円 工場誘致・地場企業総合振興事業補助金 225,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	328,727円	6,994,700円	17,035,250円	5,710,300円
	財源合計[C](=[B])	328,727円	6,994,700円	17,035,250円	5,710,300円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	9,523,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
シルバー産業等製品開発支援事業補助金累計件数	シルバー産業等製品の開発研究、試作品開発、販売促進のため補助金を活用した累計件数	件	目標値		0.0	3.0	4.0	5.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、活用件数がなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

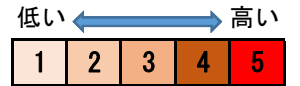
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	1	2	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	1	1	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)		1	1	1
平均得点	2.8	2.6	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	シルバー産業等製品開発支援事業補助金要綱を制定し、市内のものづくり事業者が行う新製品・新技術開発及び市場参入の支援制度が構築された。
令和2年度	新型コロナの影響もあり、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の活用はなかったが、企業立地支援条例の活用が1件あった。
令和3年度	新型コロナの影響もあり、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の活用はなかったが、地域経済循環創造事業補助金の活用が1件、企業立地支援条例による継続支援が1件あった。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナの影響もあり、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の活用はなかったが、市内事業者のSDGs宣言事業申請が30件あった。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
令和4年度 予算に向けて	引き続き、HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金の制度周知を行う。
令和5年度 予算に向けて	HP及び商工会との連携により、シルバー産業等製品開発支援事業補助金、地域経済循環創造事業補助金について周知を図る。また、一層の企業誘致と地元企業の市内存続を図るため、企業立地支援条例を改正を視野に、改正までの間、企業立地支援方針の策定により、便宜供与の拡充を図る。SDGs宣言事業により市内事業者の情報発信及び取組促進を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年3月改正により支援内容を拡充した企業立地支援条例及び県との協調助成を活用した優遇制度の創設による企業立地支援と企業誘致により、雇用機会の拡大を図り、若者が住み続け、人が移り住む「ひと」集うまちの実現を目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	労働対策事業		款項目	06-01-02	評価責任者	清水 正彦	
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	1	★生涯活躍のまち・つるを中心とした企業誘致と産業創生
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 学生・就労者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 就労機会を確保するため、学生や就労者に対する支援策を講じる。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内労働力の確保と労働環境の改善に資する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,365,000円	7,590,000円	7,690,000円	6,816,000円	
	決算額[B]	4,447,250円	5,164,887円	5,912,617円	6,216,650円	
	執行率[B]/[A]	82.9%	68.0%	76.9%	91.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	シルバー人材センター負担金 4,283,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金 144,250円	シルバー人材センター負担金 4,750,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金 89,600円	シルバー人材センター負担金 4,990,000円 高校生等就職支援資格取得費補助金 112,250円	シルバー人材センター負担金 5,076,000円 奨学金返還支援事業補助金 638,450円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,447,250円	5,164,887円	5,912,617円	6,216,650円
	財源合計[C](=[B])	4,447,250円	5,164,887円	5,912,617円	6,216,650円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,600,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
高校生等就職支援資格取得費補助金累計件数	H30年度を基準とした高校生等就職支援資格取得費補助金利用累計件数	件	目標値	35.0	70.0	105.0	140.0	175.0
			実績値	35.0	85.0	115.0	150.0	190.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出てるか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	高校生等就職支援資格取得費補助金については、都留興譲館高校の生徒を中心に、毎年度30件程度の制度活用があり、資格取得に関し効果を発揮している。
令和2年度	奨学金返還支援事業補助金は2件、高齢者継続雇用奨励金は1件の活用があり、高校生等就職支援資格取得費補助金の制度についても市内雇用の安定に効果が生まれている。
令和3年度	奨学金返還支援事業補助金は1件の活用があり、高校生等就職支援資格取得費補助金の制度についても市内雇用の安定に効果が生まれている。また、初めての試みとして、オンラインによる合同企業説明会を開催し、15企業が参加、35名の視聴があり、その後、ハローワークへの問合せもあった。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	市内学生への各種就労支援策は、制度活用状況をみると市内企業への就労に一定の成果を挙げているが、周知に関しては改善の余地が大きい。令和5年2月にハローワーク都留との協働で都留市合同就職面接会を開催し、市内15企業と52名の求職者が参加し、市内企業の雇用のマッチング強化に向けた取組みを実施した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度に創設する奨学金返還支援補助金の制度周知を徹底し、市内の若手就労人口の増加を図る。
令和4年度予算に向けて	新型コロナウイルスの影響により厳しい雇用情勢にあることを鑑み、制度の周知を図り、安定雇用に繋げていく。
令和5年度予算に向けて	令和3年度に実施したオンライン合同企業説明会は、新型コロナウイルス感染症の状況により対面による合同就職面談会を開催する。奨学金返還支援補助金等の制度についても、引き続き周知を徹底し、就労支援を推進する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

制度の周知を徹底し、労働者の生活安定及び労働条件の改善、雇用安定推進を図り、人が移り住み、次世代まで住み続けられる「まち」の実現を目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	観光宣伝事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 観光PR事業の推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市の観光資源等の知名度上昇		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	8,293,488円	13,708,000円	7,738,000円	11,353,000円	
	決算額[B]	7,267,142円	6,547,410円	4,385,222円	10,947,501円	
	執行率[B]/[A]	87.6%	47.8%	56.7%	96.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	観光協会運営事業補助金 4,500,000円	観光協会運営事業補助金 1,180,272円	観光協会事業補助金 3,698,000円	観光協会事業補助金 10,000,000円	
		高尾山・リニア地区負担金 1,655,000円	つるさんぼ増刷 1,815,000円	やまなし観光推進機構負担金 527,000円	やまなし観光推進機構負担金 544,000円	
	財源内訳	国庫支出金				2,750,000円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	7,267,142円	6,547,410円	4,385,222円	8,197,501円
財源合計[C](=[B])	7,267,142円	6,547,410円	4,385,222円	10,947,501円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	16,314,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6	983.9	989.7	1132.9

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

夏季休暇を含む7~9月にかけての新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、書き入れ時に観光客の出足が鈍かったため

■全内容チェック(確認者:課長)

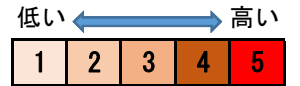
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	2
平均得点	4.6	3.8	3.8	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	道の駅つる、名勝田原の滝公園などの観光客が増加している施設はあるが、それらの施設を拠点として市内の他の観光施設への観光客誘導につながっていない。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、観光協会が関係する産業まつりや甲州軍団出陣等のイベントが中止となる等、外出を控える状況の中での観光推進は難しい状況であったが、観光協会においてアフターコロナを見据えて観光冊子「つるさんぼ」を刷新した。
令和3年度	観光協会が関係する産業まつりや甲州軍団出陣等のイベントが新型コロナウイルスの影響により中止となる等、観光推進は難しい状況であったが、観光協会においてアフターコロナを見据えてモニタリングツアー等を実施したほか、やまなし観光推進機構と連携し八王子駅等で観光PRを行った。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和元年に定めた「つる観光戦略」に則り観光推進を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響により、観光イベントや企画全般が中止となり、計画の進捗が滞った面もあった。今年度も依然収束しない中ではあるが、お祭りやイベントの復活と、戦略の見直しを行い、アフターコロナへの準備を進めた。観光消費拡大に向けた本市ならではの独自性のある観光モデルを確立することが課題であり、次年度以降も継続して取り組む。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	周遊コースの整備と観光案内事業の強化により、市内観光施設への周遊客を増加させ、市内滞在時間の延長を図る。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス収束後の観光回復に向けた観光需要の動向を注視し、イベント内容やPR方法の充実を図る。
令和5年度 予算に向けて	つる観光戦略を見直し、これまでのインバウンド観光客の誘致だけでなく、マイクロツーリズムやワーケーション、ロケツーリズムなどによる交流人口・関係人口の拡大も視野に観光PRの実施やイベントの開催により観光客誘客を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年3月に改正した「つる観光戦略」に基づき、つるのルーツプロジェクトによるWebサイトの作成や城下町ARスポットの構築等により、シビックプライドの醸成を図るとともに、体験・体感型アクティビティの発掘や観光関連団体との連携を行い、観光情報発信の強化により、観光客入込数の増加を目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	自然観光管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 自然観光施設		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 自然観光施設を維持管理することにより良好な状況を保つ。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 自然観光資源への観光客増加を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,407,000円	1,215,000円	13,183,000円	1,236,000円	
	決算額[B]	4,939,650円	946,970円	11,321,364円	906,530円	
	執行率[B]/[A]	91.4%	77.9%	85.9%	73.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	案内板設置業務委託 2,629,000円 10登山道整備業務委託 600,000円	9登山道整備業務委託 540,000円 バイオトイレ清掃業務委託 120,000円	都留アルプスパイオトイレ設置工事 8,415,000円 都留アルプス展望看板設置業務委託 1,166,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,939,650円	946,970円	11,321,364円	906,530円
	財源合計[C](=[B])	4,939,650円	946,970円	11,321,364円	906,530円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,359,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
都留アルプス登山者数	フリーハイキングイベントの平均参加者数(小計)	人	目標値	99.0	120.0	125.0	130.0	135.0
			実績値	99.0	153.0	56.0	77.0	80.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大により人数制限していた。来年度以降は制限も設けず募集を行う。

■全内容チェック(確認者:課長)

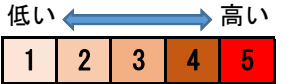
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	3	4	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	3.8	3.4	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	登山道の維持管理については地元自治会を中心に委託してきたが、自治会役員の高齢化により委託が厳しい状況が発生している。山岳愛好者を中心に、委託先の掘り起こしをしていく必要がある。
令和2年度	都市部から近く車で行き来できるため、コロナ禍においても登山客は比較的多い状況であった。都留市21秀峰をはじめとした山々は、本市において重要な観光資源であるため、良好な整備を維持する必要がある。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、3密を回避することができる登山等へのニーズは高く、コンスタントに登山客が訪れている。登山道の維持管理について、地元自治会を中心に委託してきたが、自治会役員の高齢化により委託が厳しい状況が発生していることから、今後、森林組合等への委託が必要。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、3密を回避することができる登山等へのニーズは高く、コンスタントに登山客が訪れている。来年度以降コロナの沈静化により、さらにニーズが高くなることが予想される。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	拡大											
	維持											
方向性	縮小											
	休止・廃止											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	日本トレッキング協会に加入し、トレッキング愛好家への市内各登山コースの周知を進める。
令和4年度 予算に向けて	登山前後に市内での消費活動につながるよう、情報収集及び発信を強化していくとともに、フリーハイキングイベント等の実施により来訪客の増加を図る。
令和5年度 予算に向けて	富士急行(株)との協定を基にした公民連携のイベント開催等、公民連携の観光振興事業の実施により、来訪客による市内の飲食店・土産店での消費活動を喚起する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

登山道の維持管理を行い、積極的な情報発信により登山客の増加を図り、滞在型観光の創出と振興を強化する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公園管理事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	1	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	2	計画的な土地利用
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 公園		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内公園の維持管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 安全・安心な公園の利用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	728,000円	1,188,550円	783,000円	805,000円	
	決算額[B]	415,312円	1,100,914円	523,104円	452,034円	
	執行率[B]/[A]	57.0%	92.6%	66.8%	56.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	仲町公園清掃管理業務委託 120,000円 城山公園清掃管理業務委託 120,000円	仲町公園サクラ枝打ち業務委託 440,000円 城山公園下刈り業務委託 270,948円	城山公園下刈り業務委託 157,600円 城山公園清掃管理業務委託 120,000円	城山公園下刈り業務委託 315,2000円 城山公園清掃管理業務委託 120,000円 仲町公園清掃管理業務委託 120,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	415,312円	1,100,914円	523,104円	452,034円
	財源合計[C](=[B])	415,312円	1,100,914円	523,104円	452,034円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	830,000	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
巡回回数	仲町・城山公園の累計巡回回数	回	目標値		208.0	312.0	416.0	520.0
			実績値	104.0	208.0	312.0	416.0	520.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

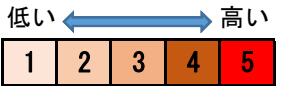
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	城山城跡を訪れる人が増加しているが、市内のその他の施設等に誘導するコース設定が整備されていないため、滞在時間の延長に結び付いていない。
令和2年度	歴史ブームの中、コロナ禍においても城山を訪れる人は比較的多い状況であり、重要な歴史文化・観光資源である勝山城跡を魅力ある歴史観光地として整備を進める必要がある。本年度より「お城山ルネサンス事業」として城山の整備と整備後の活用等の事業を開始した。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったふるさと時代まつりの代替事業として実施したスタンプラリーのポイント地点に城山を設定したほか、駅からハイキングのコース上にも設定し、市内外の方が城山の魅力に触れる機会を創出した。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により登山ニーズが高まり、城山を訪れる人が増加した。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○										
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	森林経営管理制度推進において進めている城山の歴史的価値を保全し以前の姿を再生するための事業と並行して、つる観光戦略推進班において、城があった時代を想像させる等の仕組みづくりにより、ミュージアム都留や屋台展示庫、寺町通りへとつながるモデルコースの整備をすすめ、市外からの来訪者増加を図る。
令和4年度 予算に向けて	歴史文化・観光資源として城山の環境整備を進めるとともに、歴史に主軸をおいたAR等観光コンテンツの実装に向けた検討を行う。また、城山と谷村城下町を結び、滞在時間の延長と市内での消費活動の拡大を図る。
令和5年度 予算に向けて	令和4年度から着手する富士の麓の小さな城下町デジタルプラットフォーム事業による勝山城のAR復元等により城山の魅力を発信していく。また、森林組合等へ業務委託により城山遊歩道を整備し、利用者の利便性向上を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市内の公園の維持管理や勝山城跡を魅力ある観光地として整備し、利用者の利便性向上させ、アフターコロナに向け、マイクロツーリズム観光客をターゲットとしたツアーの開発など地域観光資源の積極的な活用を進め、持続可能な都市空間の形成を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと芸能事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民・来訪者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 歴史文化的資源等の保存を支援する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 歴史文化的資源・郷土に伝わる芸能を伝承し、観光資源として来訪者増加を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	6,544,000円	6,543,000円	6,544,000円	6,544,000円	
	決算額[B]	6,473,107円	2,552,357円	867,431円	6,004,987円	
	執行率[B]/[A]	98.9%	39.0%	13.3%	91.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	ふるさと芸能継承事業補助金 5,183,753円	ふるさと芸能継承事業補助金 2,235,380円	ふるさと芸能継承事業補助金 550,223円	ふるさと時代祭り実行委員会 補助金 5,462,550円	
		交通信号機移設改良修繕 748,440円	下天神町大名行列保存事業補 助金 225,000円	下天神町大名行列保存事業補 助金 225,000円	下天神町大名行列保存事業補 助金 225,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	6,473,107円	2,552,357円	867,431円	6,004,987円
財源合計[C](=[B])	6,473,107円	2,552,357円	867,431円	6,004,987円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	8,044,000	円
-------	---	-------------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
累計観客数	ふるさと時代祭りの累計観客数	人	目標値		48000.0	74000.0	101000.0	129000.0
			実績値	23000.0	53000.0	53000.0	53000.0	64000.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2・3年度は中止、4年度は入場制限等規制をかけた開催となったため。

■全内容チェック(確認者:課長)

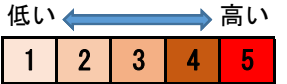
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	3	2	3
平均得点	5.0	4.6	4.4	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現在市がふるさと時代祭り実行委員会事務局を担っているが、市民が主体的に取り組むための組織構築を目指す必要がある。出演者確保のための募集方法の改善や、打上花火の協賛金・広告料等の収入の確保等、自走できる体制の構築に課題がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、ふるさと時代祭りは中止となったが、代替事業として「思い出のふるさと時代祭り」の発行や屋台展示庫のライトアップ、映画「かぐらめ」の都留CATV放送など、次年度以降に繋げる事業を実施した。
令和3年度	長引く新型コロナウイルスの影響により、ふるさと時代祭りは中止となったが、代替事業としてスタンプラリーイベントを実施したほか、都留大使白須慶子さんのメッセージと平成25年度ふるさと時代まつりを都留CATVで放送し、次年度以降に繋げる事業を実施した。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本年度に3年ぶりとなるふるさと時代祭りを開催し、本市が有するふるさと芸能継承の支援を行ったが、従事者の高齢化や出演者を含めたライフスタイルの変化による運営に関する問題も浮き彫りとなった。担当職員の負担も大きく、祭りの内容・演目の変更や、委託等運営の分業化という課題がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				○
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	他の地域にはない本市の伝統あるイベントとして「シビックプライド」の醸成を図り、歴史を継承していくとともに、観光客を意識したイベントとして、関係団体の協力のもとPR方法やイベント内容の更なる充実を図る。
令和4年度 予算に向けて	関係団体と協力し、本市の伝統・文化を伝えるイベントの歴史を継承するとともに、「シビックプライド」の醸成を図り、観光客の来訪を意識した多角的なPRに取り組む。
令和5年度 予算に向けて	ふるさと時代祭りやお茶壺道中などのお祭りにより多くの観光客が訪れるよう、富士の麓の小さな城下町デジタルプラットフォームの活用や関係団体等との連携により、参加型コンテンツなど、誘客に繋がる企画を実施する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考してください。

令和5年3月に改正した「ふるさと観光戦略」に基づき、ふるのルーツプロジェクトと連携した「ふるさと時代祭り」の開催や、体験・体感型アクティビティの発掘を行い、観光関連団体との連携や観光情報発信の強化により、シビック・プライドを醸成し、誇れるまちづくりを目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	富士の麓の小さな城下町振興事業			款項目	06-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 つる観光戦略に基づく観光事業推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光入込客数の増加を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,150,000円	19,310,000円	10,116,000円	13,416,000円	
	決算額[B]	8,194,428円	13,788,800円	8,263,500円	9,263,500円	
	執行率[B]/[A]	80.7%	71.4%	81.7%	69.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	観光振興事業業務委託 7,200,000円	観光振興事業業務委託 7,200,000円	観光振興事業業務委託 7,200,000円	観光振興事業業務委託 7,200,000円	
		都留ハイキングBOOK作成業務委託 842,400円	移動観光案内事業業務委託 2,554,200円	移動観光案内事業業務委託 1,056,000円	移動観光案内事業業務委託 1,056,000円	
	財源内訳	国庫支出金		2,333,650円	528,000円	528,000円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,194,428円	11,455,150円	7,735,500円	8,735,500円
財源合計[C](=[B])	8,194,428円	13,788,800円	8,263,500円	9,263,500円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	12,416,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
観光入込客数	各年度の観光入込客数	千人	目標値		1460.2	1510.2	1560.2	1608.6
			実績値	1400.2	1536.6	983.9	989.7	1132.9

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

夏季休暇を含む7~9月にかけての新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、書き入れ時に観光客の出足が鈍かったため。モニタリングツアーの実施等一部計画を中止したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	2
平均得点	4.6	4.0	4.0	4.2

自己評価
担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	つる観光戦略の策定により、令和4年度までのつる観光の方向性が示されたため、戦略の達成に向けた事業を実施していく必要がある。
令和2年度	移動観光案内所「つるピークル」を導入し、名勝田原の滝公園などから他の観光施設へ観光客を誘導するとともに、対面による観光案内によってリピーター獲得への体制構築を進めた。
令和3年度	富士急行(株)と締結した「SDGs推進に係る連携協定」事業の一環として、谷村町駅副駅名「谷村城下町」を導入したほか、富士の麓の小さな城下町エリアにおいてシビックプライド醸成モニタリングツアーを実施し、観光客誘致の機運醸成を図った。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	アフターコロナに向け、市内の観光資源整備等受け入れ体制を整えるとともに、SNSや観光親善大使のつるピーを使った情報発信にも力を入れてきた。一方滞在型観光を推進していくには市と観光協会と振興公社、さらに観光事業者との連携強化による土台づくりが課題としてあり、引き続き観光地としての本市の認知向上と来訪者増加に向け、内外に働きかけを行う必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	つる観光戦略を推進するため、観光振興公社と連携し、都留市の観光産業へ携わる事業者やボランティアの育成を図る。
令和4年度 予算に向けて	つる観光戦略の推進のため、大型バスツアー誘致等において観光振興公社との連携を強化するとともに、国内観光におけるマイクロツーリズムの需要の拡大をふまえた、個人客に対する情報発信の充実を図る。「つる観光戦略」推進施設整備事業補助金の交付により、「観光資源活用戦略」の振興と市民のシビックプライドの醸成を図る。
令和5年度 予算に向けて	つる観光戦略の推進のため、富士の麓の小さな城下町デジタルプラットフォームを活用し、シビックプライド醸成コンテンツの拡充を図るとともに、観光振興公社と連携しマイクロツーリズム及びインバウンド観光客をターゲットとしたツアーの開発等や観光情報の発信、独自ポイントの付与等による市内消費喚起スキーム等を構築していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年3月に改正した「つる観光戦略」に基づき、つるのルーツプロジェクトによるWebサイトの作成や城下町ARスポットの構築等により、シビックプライドの醸成を図り、観光情報発信の強化や地域観光資源の積極的な活用を行い、誇れるづくりを目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	宝の山ふれあいの里管理運営事業			款項目	06-01-04	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：利用者 対象物：宝の山いきものふれあいの里		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,031,090円	10,326,450円	5,766,000円	5,968,970円	
	決算額[B]	4,882,332円	9,606,973円	5,054,621円	5,864,631円	
	執行率[B]/[A]	97.0%	93.0%	87.7%	98.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	指定管理者委託料 2,422,222円	指定管理者委託料 2,444,444円	指定管理者委託料 3,353,000円	指定管理者委託料 3,269,000円	
		ネイチャーセンター草刈手数料 616,892円	ネイチャーセンター草刈手数料 618,800円	ネイチャーセンター草刈手数料 634,300円	ネイチャーセンター草刈手数料 618,800円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,882,332円	9,606,973円	5,054,621円	5,864,631円
財源合計[C](=[B])	4,882,332円	9,606,973円	5,054,621円	5,864,631円		

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,269,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用件数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用件数	人	目標値		537.0	787.0	1037.0	1287.0
			実績値	281.0	478.0	518.0	603.0	1017.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、制限することもあったため。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	4	3	3	4
平均得点	4.6	4.2	4.2	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	芝生広場に亀裂が生じ、当該部分を除去する緊急修繕を実施した。施設全体として老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。
令和3年度	個別施設計画に基づき、管理棟、コテージ及びネイチャーセンターは大規模改修による長寿命化は行わず、建物の寿命まで小修繕等により維持管理を行っている。グリーンロッジについては、2025年度までに解体または売却方針となっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	管理棟の男女トイレが和式便器で、使用する機会の多い小学生たちにとって抵抗があるため、洋式便器に改修修繕を行った。
-------	--

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○		○		○		○			
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、レーザーカッターの活用により、新たな体験プログラムの開発と、木材を利用した看板整備を進める。
令和4年度 予算に向けて	ウィズコロナ、アフターコロナにおけるキャンプや体験プログラム需要を見据え、指定管理者との協議のもと、施設の稼働率向上のためのコンテンツの充実を図る。また、アクティブラーニングにつなげるための新たな体験プログラムの開発を検討する。
令和5年度 予算に向けて	指定管理者である観光振興公社との連携により、ワーケーションなどの可能性も視野に多様な活用方法について検討するとともに、ネイチャーセンターではコロナ後の首都圏からの顧客獲得に向けプログラムやセールス方法などを検討する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

アフターコロナに向け、観光振興公社と連携し、情報発信の強化やマイクロツーリズム・インバウンド観光客をターゲットとしたツアーの開発など地域観光資源の積極的な活用を進め、本市独自の滞在型観光の創出と振興を強化する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	戸沢の森和みの里管理運営事業			款項目	06-01-04	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：利用者 対象物：戸沢の森和みの里		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が所有する施設の適正な管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 観光施設としての利用者の安全を守り利用者数の増加を図る		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,965,982円	4,793,000円	16,662,750円	20,627,030円	
	決算額[B]	10,536,447円	4,694,415円	15,640,693円	19,714,440円	
	執行率[B]/[A]	96.1%	97.9%	93.9%	95.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	指定管理者委託料 5,046,296円	指定管理者委託料 3,055,555円	指定管理者委託料 14,538,162円	指定管理者委託料 12,122,468円	
		ローラー滑り台 885,600円	FFヒーター機器交換修繕 678,700円	芭蕉月待ちの湯テレビ購入 235,400円	芭蕉月待ちの湯券売機 6,275,500円	
	財源内訳	国庫支出金				6,275,500円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	10,536,447円	4,694,415円	15,640,693円	13,438,940円
財源合計[C](=[B])	10,536,447円	4,694,415円	15,640,693円	19,714,440円		

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	15,144,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設累計利用客数	平成30年度を基準値とした施設の累計利用客数	人	目標値		145662.0	215662.0	285662.0	355662.0
			実績値	75662.0	149572.0	192494.0	240249.0	306240.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため。来年度以降はコロナ前の水準に戻るよう努める。

■全内容チェック（確認者：課長）

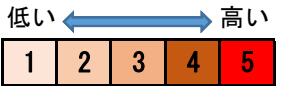
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	4	5
平均得点	4.8	5.0	4.6	4.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	施設の老朽化に伴い、緊急修繕の箇所が増加している。維持管理を計画的に行うため、修繕計画を作成する必要がある。
令和2年度	温泉換気塔の屋根改修工事や故障したヒーターの入替えを行ったが施設全体として老朽化は進んでいるため計画的に修繕を行っていく必要がある。
令和3年度	指定管理者のモニタリングとして毎月定例会を開催し、管理運営状況の確認、及び改善指示により利用者満足度の向上を図っている。新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、短縮営業の段階的な緩和を進める。わくわく広場のローラー滑り台について、保守点検の結果、大規模改修を要する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	指定管理者のモニタリングとして毎月定例会を開催し、管理運営状況の確認、及び改善指示により利用者満足度の向上を図っている。わくわく広場のローラー滑り台に落下防止ネット等の修繕を行った。
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年度に行う指定管理者の選定において、施設の稼働率を上げるための事業計画の提案など、審査項目を精査する。また、施設老朽化の対応だけでなく、指定管理者との協議により魅力ある温泉施設として観光客の滞在時間を延ばすための必要な改修を進めていく。
令和4年度 予算に向けて	コロナ禍における温泉需要を検証し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、指定管理者と協議を行う中で魅力ある温泉施設としてのブラッシュアップを図る。
令和5年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、指定管理者による施設管理運営ノウハウを活用し、芭蕉月待ちの湯、一位の宿、すいすい広場等での複合的な誘客スキームの構築を図るとともに、指定管理のモニタリングにより顧客満足度の向上に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

アフターコロナに向け、観光振興公社と連携し、情報発信の強化やマイクロツーリズム・インバウンド観光客をターゲットとしたツアーの開発など地域観光資源の積極的な活用を進め、本市独自の滞在型観光の創出と振興を強化する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	十日市場・夏狩湧水群管理運営事業		款項目	06-01-04		評価責任者	清水 正彦	
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	商工観光担当	記入者	遠山 政司	
会計	一般会計	事業開始年度			法定根拠・法令等			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	3	★着地型・滞在型観光の振興と情報発信の強化
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 十日市場・夏狩湧水群を中心とした観光資源の維持管理と活用		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 湧水群の維持管理を行いつつ、観光周遊コースとして整備し観光客の増加を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,010,440円	2,022,600円	700,250円	664,750円	
	決算額[B]	817,679円	657,671円	696,329円	638,422円	
	執行率[B]/[A]	80.9%	32.5%	99.4%	96.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円 太郎・次郎滝駐車場看板設置 業務委託 86,900円	太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円	太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円 太郎・次郎滝案内板修繕 63,250円	太郎・次郎滝駐車場賃借料 360,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	817,679円	657,671円	696,329円	638,422円
	財源合計[C](=[B])	817,679円	657,671円	696,329円	638,422円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	662000	円
-------	---	---------------------	--------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
名勝田原の滝来客者数	ツアーバスによる名勝田原の滝来客者数	人	目標値		15000.0	16000.0	17000.0	18000.0
			実績値	12632.0	21994.0	1174.0	920.0	1000.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため。来年度以降はコロナ前の水準に戻るよう努める。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.6	3.8	3.8	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	十日市場・夏狩湧水群や田原の滝公園への来訪者は増加しているが、地元の収入増加につなげられていない。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、大型バスツアーによる観光客は減少したが、コロナ禍におけるマイクロツーリズムの受け入れ先としての可能性は高い。また、名勝田原の滝ライトアップイベントにおけるイベント出店は見合わせた。移動観光案内所による情報発信により周辺飲食店等への誘導を図った。
令和3年度	令和3年度予算に観光振興イベント実施予算が確保されていないため、名勝田原の滝ライトアップイベント等を実施する場合は観光振興公社の協力のもと実施することとなるが、観光振興公社については、職員体制が現状のままでは新規イベントの実施は難しい状況である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	東桂コミュニティセンター観光案内所が完成し、来年度からは観光客の増加が見込まれる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	田原の滝ライトアップイベントの出店を市民主導で行ってもらうなど、十日市場・夏狩湧水群一帯の観光振興が地元産業の活性化と収入増をにつながる体制を構築する。
令和4年度 予算に向けて	十日市場・夏狩湧水群と名勝田原の滝を結び付け、十日市場・夏狩湧水群を時間をかけてゆっくり巡るスタイルの観光の定着に向け、情報発信の強化と環境整備を図る。
令和5年度 予算に向けて	つる観光戦略に基づいた、名勝田原の滝、十日市場・夏狩湧水群への誘客のため、観光振興公社と連携しマイクロツーリズム及びインバウンド観光客をターゲットとしたツアーの開発等を進める。東桂地域コミュニティセンターの建替工事に伴う観光案内拠点の整備として、デジタルサイネージを導入する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

アフターコロナに向け、観光振興公社と連携し、情報発信の強化やマイクロツーリズム・インバウンド観光客をターゲットとしたツアーの開発など地域観光資源の積極的な活用を進め、本市独自の滞在型観光の創出と振興を強化する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農業振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：農家、就農希望者、農業法人 対象物：農業全般		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 農家への各種補助事業等による支援、新規就農者等の掘り起こし、農地の貸借の支援による農地集積及び遊休農地対策。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農業が産業・仕事として確立され、農家の所得向上や農地の有効利用が図られること。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	28,305,452円	23,240,197円	20,755,154円	26,978,000円	
	決算額[B]	21,777,184円	20,289,468円	20,732,062円	22,649,996円	
	執行率[B]/[A]	76.9%	87.3%	99.9%	84.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	機構借受農地整備事業 1,438千円 青年就農給付金 1,500千円 やまなし農業支援事業 8,170千円 活力ある水田農業支援事業費補助金 1,797千円 地産地消補助金 1,118千円 6次産業化 825千円 多面的機能支払 4,545千円	機構借受農地整備事業 1,558千円 農業次世代人材投資資金 1,500千円 農業振興施策コーディネーター事業 5,000千円 ハウス強化緊急対策事業 1,099千円 農泊地域魅力磨き上げ事業 1,000千円 地産地消補助金 4,507千円	機構借受農地整備事業 1,504千円 農業次世代人材投資資金 5,250千円 農業振興施策コーディネーター事業 4,000千円 地産地消補助金 3,137千円 6次産業化補助金 1,358千円 多面的機能支払交付金 5,189千円	機構借受農地整備事業 1,369千円 農業次世代人材投資資金 6,000千円 農業振興施策コーディネーター事業 5,000千円 地産地消補助金 3,707千円 多面的機能支払交付金 5,157千円	
	財源内訳	国庫支出金		2,500,000円	2,000,000円	2,500,000円
		県支出金	17,197,328円	8,020,974円	10,522,468円	11,293,620円
		地方債				
		その他特定財源	210,000円	180,000円	180,000円	280,000円
		一般財源	4,369,856円	9,588,494円	8,029,594円	8,576,376円
	財源合計[C](=[B])	21,777,184円	20,289,468円	20,732,062円	22,649,996円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	26,004,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
担い手への農地集積面積	認定農業者、新規就農者、道の駅への出荷者等地域の中心となる担い手への農地集積面積	ha	目標値		78.0	80.0	82.0	84.0
			実績値	76.0	78.0	80.0	89.0	95.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

	担い手の農地利用集積状況調査(R5.3末現在)の回答より
--	------------------------------

■全内容チェック(確認者:課長)

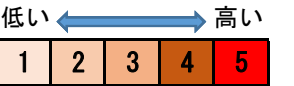
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規の担い手が増加し、農地の権利移動も活発化してきており、農業振興施策の効果が見え始めている。一方で、高齢化によるリタイア等によって担い手が減少することもあるため、新規就農者の確保や法人の農業参入など新たな担い手の確保が必要。また、道の駅においても、未だ品目数・生産量が十分ではないため、引き続き支援を行う必要がある。
令和2年度	道の駅つるのオープン以降、農家の中で農業がしごとになるという意識が醸成され始め、担い手の増加及び農地の流動化が進んできているため、今年度、新たに「農業振興施策コーディネーター」を配置し、農家の相談等にきめ細やかに対応する体制を整えた。相談者も増加傾向にあり、農業振興に向けた動きが加速化しているため、引き続き、各種の支援策を講じていく。
令和3年度	昨年度から配置した「農業振興施策コーディネーター」の精力的な活動もあって、新規就農等に係る相談は増加傾向にあり、営農相談等にも随時対応できるようになったため、農家に対する適切な支援体制が構築された。市単補助金の活用も活発化しており、農家の営農意欲の向上に資する各種支援を継続していきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和2年度からは、農業行政に精通した専門人材である「農業振興施策コーディネーター」を雇用できたことにより、新規就農者への支援体制が確立され、利用権設定による農地の流動化の推進、市及び県補助金の活用による営農規模の拡大等、農業振興に寄与している。しかし、農家の高齢化や担い手不足は顕著であり、今後も支援策を継続的に講じていくことが必要である。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	以前に比べて市民の農業に対する関心も高まってきているので、引き続き、担い手の確保、農地集積や、販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
令和4年度 予算に向けて	高収益作物を含めて、市民の農業に対する関心が高まってきているため、引き続き、担い手の確保、農地集積及び販路拡大等による高収益化・効率化による農業所得の向上を図るために農業振興施策を推進していく。
令和5年度 予算に向けて	就農相談が多くなっており、実際に新規就農者として認定する件数も増加している。就農直後は、国の支援制度を活用できるが、支給期間終了後には独り立ちする必要があるため、今まで以上にきめ細やかな支援策を講じていく必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

営農指導・農業経営等に対する支援体制の確立によって、農業が職業として選択される環境を整備し、農家の所得向上及び農地の有効活用を推進していく。(農業振興施策コーディネーター・各種補助制度・農地中間管理機構の活用等)
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	道の駅つる管理運営事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：農林産物等の生産者 対象物：農林産物直売所		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農林業従事者及び市内の商工業者等が生産した、農林産物・加工品の販売拠点となる農林産物直売所を建設しその後の運営を行う。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農林業従事者及び市内の商工業者の所得向上を目指す。また、来場者に本市の魅力を発信する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,453,000円	13,091,000円	18,293,562円	36,455,040円	
	決算額[B]	10,006,598円	11,516,624円	18,245,540円	35,499,647円	
	執行率[B]/[A]	95.7%	88.0%	99.7%	97.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	道の駅つる指定管理料 8,498千円	道の駅つる指定管理料 7,796千円 IPカメラ設置業務 550千円 喫煙所設置業務 603千円 基本計画策定業務 1,000千円	道の駅つる指定管理料 7,796千円 レストランテラス増設工事 7,810千円 冷暖房設備設置 208千円 リニア映像分配機器更改 330千円	道の駅つる指定管理料 7,796千円 Wi-Fi環境整備業務 2,750千円 POSレジシステム機器更改業 務 23,980千円	
	財源内訳	国庫支出金		500,000円	1,760,000円	26,730,000円
		県支出金			行政財産使用料(ATM看板)は未計上	
		地方債				
		その他特定財源	306,620円	300,000円	324,000円	300,000円
		一般財源	9,763,933円	10,716,624円	16,161,540円	8,469,647円
	財源合計[C](=[B])	10,070,553円	11,516,624円	18,245,540円	35,499,647円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	9,922,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
来場者数	農林産物直売所及びレストランの来場者数	万人	目標値	70.0	73.3	76.7	80.0	82.0
			実績値	70.0	70.0	50.0	54.0	65.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

オープン以降、黒字経営を継続し、来場者数も増加しつつあったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、営業規模の縮小やイベントが開催できない時期が続いてしまったため。(現在は回復傾向にある)

■全内容チェック(確認者:課長)

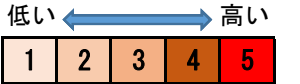
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.8	3.8	3.8	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度から売上・来場者ともに増加していたが、今年度は、台風による中央道の通行止め、リニアモーターカーの試験走行の休止、コロナウィルスの影響等マイナス要因が重なり、来場者、売上高が伸び悩んだ。今後は市外の観光客だけでなく、より多くの地域住民が来場するような仕組みが必要。
令和2年度	新型コロナウイルスの感染拡大によって、最も売り上げが期待できる時期(GW前後)に休業せざるをえない状況になり、その後も第3波等の影響により、売上及び来場者数が伸び悩むこととなった。イベントの開催等も見送ることとなり、改めて、地域住民に利用してもらえるような仕組みづくりが急務であることを痛感した。
令和3年度	コロナ禍での厳しい施設運営が続いているが、感染対策の徹底と利用スペースの確保に資するレストランテラスの増設を実施した。今後は、非接触型のキャッシュレス決済導入やWiFi環境の整備等、利用者ニーズに対応できる環境整備を計画的に実施していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ渦においても、徹底した感染防止対策を講じる中で、黒字経営は継続できており、テラス増設、キャッシュレス決済対応、Wi-Fiの全施設利用を実現することができた。指定管理者及び生産者組合と連携し、イベント等の集客が見込める企画も徐々にではあるが実施できつつあるため、今後も利用者ニーズを適切に把握することで、売上及び来場者数の増加に寄与する取り組みを推進していく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	生産者と商品の確保を進めるため、従来の補助事業や講習会の内容の拡充により生産者の支援を進める必要がある。また、リタイアした高齢者や移住者も積極的に新規就農できるよう支援を行う。また、品質の向上や、収益性の高い作物の生産振興、イベントの拡充等の取り組みが必要。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルスの影響が長引いているため、感染防止対策を徹底する中で、集客を確保できる仕組みづくりが必要である。指定管理者とも協議を行い、イベントの開催、生産者組合員への支援策等、様々な取組みを適切に実施していく。
令和5年度 予算に向けて	集客を確保できる仕組みづくりが必要であるため、指定管理者とも協議を行い、イベントの開催、生産者組合員への支援策等、様々な取組みを適切に実施していく。また、小さい子どもが快適に過ごすことができないという声が寄せられているため、敷地の一角への遊具整備を検討していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

農林漁業者及び商工業者の所得向上の実現、適切な施設管理や環境整備による利用者ニーズへの対応、指定管理者等との連携によるイベントの実施等により、売上高・来場者数の増加を目指していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中山間地域総合整備事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：計画区域内の受益者 対象物：農業生産基盤（農道・水路・ほ場等）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 県営土地改良事業により市内農業生産基盤及び農村環境の整備を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 既存農家や将来の農業の担い手が効率的に利用できる農業生産基盤の整備。また条件不利な農村住民等のくらしやすい生活環境の整備。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]	108,439,282円	90,969,163円	54,039,571円	82,075,960円
	決算額[B]	48,789,645円	87,199,971円	27,033,602円	44,728,853円
	執行率[B]/[A]	45.0%	95.9%	50.0%	54.5%
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	県営土地改良事業負担金 現年分：4,700千円 H30事故：5,100千円 H30明許：32,700千円 付帯事業委託費 5,912千円	県営土地改良事業負担金 現年分：26,750千円 H31事故：12,300千円 H31明許：46,500千円	県営土地改良事業負担金 現年分：25,500千円 鳥獣侵入防止施設修繕 598千円	県営土地改良事業負担金 現年分：15,750千円 R3明許：27,000千円 鳥獣侵入防止施設修繕 803千円
	財源内訳	地方債（公共事業債） 現年分：9,400千円 繰越分：16,200千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				25,600,000円
	その他特定財源		490,000円	18,292,501円	14,253,000円
	一般財源	48,789,645円	86,709,971円	8,741,101円	4,875,853円
財源合計[C](=[B])	48,789,645円	87,199,971円	27,033,602円	44,728,853円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	84,191,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施工済み事業費	県が施工を完了した事業費	百万円	目標値	465.3	632.0	800.0	1000.0	
			実績値	298.0	583.0	1140.0	1317.0	1602.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

前年度実績値+R4支出負担金額÷15% =1,317+(15.75+27)÷15%=1,602
--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	昨年度に引き続き、事業を行っているが、事業費が年々増加してきているため、他の業務と並行して事業の執行管理を行うことが困難になりつつある。
令和2年度	県営事業であるが、地元との調整等を市で対応しているため、苦情対応等に苦慮している。ほ場整備、道路改良等の様々な生産基盤の整備を実施しているため、業務量の増加により、執行管理が難しくなっている。
令和3年度	県営事業であるが、地元との調整等を市で対応しているため、苦情対応等に苦慮している。ほ場整備、道路改良等の様々な生産基盤の整備を実施しているため、業務量の増加により、執行管理が難しくなっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	平成29～令和7年度までの9年計画で、「都留西部地区」を対象とした各種工事を実施し、農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を進めてきたが、地元との調整や社会情勢の変化等を含めて、不測の事態もあり、事業完了の見込みが後ろ倒しになる想定である。今後、「都留東部地区」での事業実施に向けた取り組みを加速化する必要があるため、対応すべき事務作業等の増加が見込まれる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
性	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	ふるさと応援基金繰入金 現年分：5,250千円 繰越分：9,000千円 県営換地計画等業務受託収入 3,000円											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
令和4年度 予算に向けて	現在、都留西部地区で事業を実施しているが、予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。
令和5年度 予算に向けて	現在、都留西部地区で事業を実施しているが、予算の確保と並行して事業の円滑な遂行を図るため、県及び市内部の他課との情報共有及び連携を図り、事業の円滑な遂行ができる体制の整備を行う。また、都留東部地区での事業実施にあたっての準備作業等も必要になるため、適切な予算措置を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

農業生産条件等が不利な中山間地域である本市において、農業生産基盤とその機能の発揮に不可欠な農村生活環境基盤の整備を一体的に実施する。（ほ場整備・農道・水路・営農雑施設等）

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	農産物振興事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成26年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：農家等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農林産物直売所に出荷する農林産物の生産技術・販路開拓の手法や、加工品の等の出荷に必要な技術を取得するための講習会などの実施。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 独自のブランド農産物や加工品の開発		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,376,250円	1,232,000円	1,167,060円	1,192,000円	
	決算額[B]	648,718円	579,300円	1,167,060円	1,143,250円	
	執行率[B]/[A]	47.1%	47.0%	100.0%	95.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	富士湧水野菜生産振興補助金 648千円	富士湧水野菜生産振興補助金 579千円	富士湧水野菜生産振興補助金 833千円 特産品PR記事広告作成 308千円	富士湧水野菜生産振興補助金 780千円 特産品PR記事広告作成 308千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	648,718円	579,300円	1,167,060円	1,143,250円
	財源合計[C](=[B])	648,718円	579,300円	1,167,060円	1,143,250円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,250,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
農林産物直売所生産者組合員数	市内に住所を有する生産者組合員数の累計	人	目標値	/	136.0	143.0	150.0	160.0
			実績値	129.0	137.0	139.0	143.0	130.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

市内農家の高齢化は進行しており、登録者の逝去等によって減少に転じた。	道の駅生産者組合員名簿より
------------------------------------	---------------

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	3
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	5	4	4	1
平均得点	4.0	3.6	3.6	3.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	水掛菜等の富士湧水を活用した野菜は本市の特産品であるが、高齢化等により生産量が減少しているため、新規の担い手の確保等により生産を振興していく必要がある。
令和2年度	恵まれた自然環境と清らかな湧水を活用して育てられた「水掛菜」及び「わさび」は本市の特産品である。生産量及び作付面積の減少が見られていたが、今年度は、新たな担い手も増え、「クレソン」の栽培にも挑戦する予定となっており、新たな特産品として期待が寄せられている。
令和3年度	元々、富士湧水を活用した営農ができるほ場は限られており、市の特産品の出荷等を確保するため、最低でも現状維持が必要との認識であったが、クレソン栽培に取り組む農家の出現により、周辺の遊休地の活用も進んできたため、新たな特産品化が期待される。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	富士湧水を活用して栽培される「水掛菜」等の伝統野菜は地域の特産品となっており、新たに「クレソン」栽培に取り組む新規就農者も現れた。しかし、元々、富士湧水が活用できるエリアは限られており、規模拡大は現実的ではないため、最低限、現状の作付け規模を維持できるよう、補助金制度の運用を含めた支援策を講じていく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○						○			○	
拡大												
維持					○							
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	富士湧水野菜については、市の特産品として道の駅つるでも人気商品となっているため、引き続き振興を図っていく必要があり、富士湧水が活用できるエリアの遊休農地等について、希望者にあっせんする等に加えて、生産者の技術向上に資する取組も進めていく必要がある。
令和4年度 予算に向けて	湧水を活用した農産物は道の駅つるでも人気であり、市内内外に向けて更にPRを進めて行く中で、生産振興を図っていく必要がある。
令和5年度 予算に向けて	富士湧水を活用した伝統的な方法で栽培される水掛菜やわさびは本市の特産品であり、新たな地域特産品となる富士天霜ポークの商標登録も進行しているため、様々な媒体を活用した幅広いPR手法を検討していくことで露出度を高め、知名度の向上に繋げていきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

富士湧水を活用して栽培される伝統野菜の維持・継承を図る中で、新たな特産品開発・ブランド化の推進を目指していく。（補助制度の運用・各種媒体を活用したPR等）

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	有害鳥獣対策事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：有害鳥獣による被害を受けている住民及び狩猟者 対象物：有害鳥獣		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 有害鳥獣の捕獲や追い払い等による被害の軽減及び対策の担い手となる狩猟者と地域住民への啓発		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 有害鳥獣による被害の軽減		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	14,477,000円	14,115,000円	11,378,600円	13,247,000円	
	決算額[B]	12,654,779円	10,438,722円	11,195,782円	12,779,719円	
	執行率[B]/[A]	87.4%	74.0%	98.4%	96.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬 7,877千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金 3,901千円 防止柵設置・免許取得のための補助金 449千円	有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬 6,219千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金 2,990千円 防止柵設置・免許取得のための補助金 806千円	有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬 7,750千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金 2,386千円 防止柵設置・免許取得のための補助金 613千円	有害鳥獣対策実施隊員などへの報酬 8,420千円 有害鳥獣被害対策協議会補助金 2,529千円 防止柵設置・免許取得のための補助金 1,340千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	6,056,500円	5,209,500円	4,297,500円	5,437,500円
		地方債				
		その他特定財源	42,600円	33,000円	54,600円	45,800円
		一般財源	6,555,679円	5,196,222円	6,843,682円	7,296,419円
	財源合計[C](=[B])	12,654,779円	10,438,722円	11,195,782円	12,779,719円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	14,418,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
捕獲頭数	ニホンザル・ニホンジカ・イノシシの捕獲頭数の累計	頭	目標値		1058.0	1300.0	1400.0	1500.0
			実績値	837.0	1266.0	1639.0	2113.0	2745.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

前年度実績値+(R4管理捕獲+R4有害鳥獣捕獲)

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.4	4.4	4.4

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	有害鳥獣による被害は年々増加傾向にあり、捕獲頭数も増加し続けているが、実施隊員数は横ばいであるため、個々の隊員の負担増加が顕著になってきた。農地内での食害や生活被害等も報告されており、特にシカによる被害が増加傾向にある。
令和2年度	県営中山間総合整備事業の導入により、地域によっては広域的な獣害柵の整備が進み、継続して開催している「駆逐用煙火」を活用した安全講習会により、地域での追い払い体制も構築されつつある。行政、猟友会、地域住民で協力する中で、獣害に強いまちづくりを推進していきたい。
令和3年度	県営中山間総合整備事業による広域的な獣害柵の整備は進んだが、塞ぎきれない箇所もあり、被害発生個所が変化してきている。今後も、「駆逐用煙火」を活用した安全講習会を継続し、行政、猟友会、地域住民が一丸となった追い払い体制を構築することで、獣害に強いまちづくりを推進していきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	「駆逐用煙火」による住民主体の追い払い体制の構築、県営中山間地域総合整備事業による広域的な獣害柵の整備及び市単補助金制度の運用により、目指すべき「鳥獣害に強い地域づくり」が進みつつある。しかし、捕獲の担い手である猟友会員の高齢化及び担い手の不足は顕著であり、新たなスキームの構築に向けた取り組みが急務である。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	拡大											
	維持											
縮小												
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	有害鳥獣の捕獲数は大幅に増加しているものの、被害は減少していない。前年に引き続き捕獲を進めるとともに、大型捕獲檻による多頭捕獲や鳥獣害防護柵の更なる推進等といった捕獲以外の方法もさらに充実させる必要がある。また、実施隊員の確保及び負担軽減に資するためのシステム整備等も検討していく。
令和4年度 予算に向けて	現場で対応にあたる実施隊員(猟友会員)の高齢化は顕著であるが、新たに狩猟免許を取得して隊員となる若手も現れている。世代交代がうまく進んでいくことが望ましいが、根本的な対応体制を見直していく時期が近くなっているため、先進事例等を踏まえて研究していく。
令和5年度 予算に向けて	猟友会員の高齢化は顕著であり、現場対応にあたる人員は年々減少傾向にあるため、地域おこし協力隊の活用や業務委託の実施等についても検討の必要がある。また、地域資源の有効利用のために、ジビエ加工施設の設置についても、関係機関と連携する中で研究を進めていき、補助事業を活用する中で予算化していきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

捕獲や追い払いの担い手の確保・育成を図る中で、官民が連携した対応を講じるスキームを構築し、「鳥獣害に強い地域づくり」を推進していく。(補助制度の運用・駆逐用煙火保安講習会・捕獲活動・猟友会に頼みからの脱却等)

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成27年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：地域おこし協力隊員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域おこし協力隊員の活動を支援。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都市から移住した人材を活用し地域の維持・強化を図る。		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	21,000,000円	13,757,678円	6,000,000円	5,280,000円	
	決算額[B]	13,813,091円	12,284,211円	3,037,709円	4,702,969円	
	執行率[B]/[A]	65.8%	89.3%	50.6%	89.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	隊員への報酬 7,470千円 家賃補助等 2,097千円	隊員への報酬 4,450千円 家賃補助等 1,200千円 起業支援補助金 3,000千円	支援機関業務委託 2,038千円 地域おこし協力隊起業支援補助金 1,000千円	支援機関業務委託 4,703千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	13,813,091円	12,284,211円	3,037,709円	4,702,969円
	財源合計[C](=[B])	13,813,091円	12,284,211円	3,037,709円	4,702,969円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,280,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住又は起業数	隊員が任期終了後、定住や起業した数を目標値とする。任期中の起業も含め、それぞれ1カウントとする。	人	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			実績値	0.0	1.0	4.0	1.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

今年度は任期満了者が不在であったため。（起業に向けた準備は実施中）

■全内容チェック（確認者：課長）

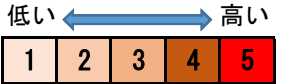
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	3	3
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	1
平均得点	4.2	4.2	4.0	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	活動のテーマを具体的に絞って募集した隊員の方が目的意識が高いので、新たな分野においても、本制度を活用して都留市の地域活性化に向けた取組みを進めたい。
令和2年度	今年度は、4名の隊員が任期満了となり、全員が定住する見込みとなっている。特に地域唯一の養豚事業の承継を行った2名については様々な問題をクリアして現在に至るため、事業が前向きに進むことを期待したい。また、地域初の果樹専業農家となる隊員についても、今後の活躍が期待される。
令和3年度	地域おこし協力隊による精力的な肥培管理により、果樹の栽培が可能であることが実証されたため、今年度、新たな展開として、「果樹大苗生産事業」を開始した。支援機関が決定し、地域おこし協力隊の委嘱も完了したため、計画的に推進していきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	未収益期間の短縮に向けた取り組みが必要であることが浮き彫りとなり、「果樹大苗生産事業」を展開することとし、支援機関の選定及び地域おこし協力隊の採用を実施し、支援機関による生産ほ場の条件整備とブドウ棚の建設等を実施してきた。果樹大苗の生育もほぼ計画通りに進んでいるため、果樹栽培に取り組む新規就農者の掘り起こしと営農に向けた支援を継続していく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○		○			○			○		
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
	休止・廃止											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	隊員の定住に向けた取組みに対し、積極的な支援を行う。
令和4年度 予算に向けて	地域おこし協力隊を活用する際には、できるだけテーマを絞り、地域に溶け込んでスムーズに定住できるように、きめ細やかな支援を積極的に行っていく。
令和5年度 予算に向けて	直営では事務処理負担が大きいと、支援機関を募集し、業務委託する方法で運用している。隊員の活動が見えにくいと、隊員本人及び支援機関と定期的に情報共有することで必要な支援を講じていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

首都圏等の地域外の人材を積極的に受け入れ、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域で抱える課題等の解決、地域力の維持・向上を目指していく。（果樹大苗生産・果樹栽培の普及啓発による地域活性化等）

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	高収益作物導入事業			款項目	05-01-03	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：農家等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市が試験圃場を開設して、果樹などの高収益作物の栽培実証を行い、その成果を農家に普及する。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高収益な作物の導入により、農家の所得向上を図るとともに、道の駅における品ぞろえを充実させる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,728,000円	12,518,820円	5,263,000円	5,649,000円	
	決算額[B]	2,077,431円	11,540,945円	5,257,133円	4,743,162円	
	執行率[B]/[A]	55.7%	92.2%	99.9%	84.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	苗木及び資材費 725千円 備品購入費 450千円 農家向け助成金 270千円	苗木及び資材費 2,004千円 ブドウ棚整備 2,530千円 果樹研究会補助金 2,380千円 農家向け助成金 4,214千円	苗木及び資材費 825千円 農家向け助成金 4,323千円	資材費 1,408千円 農家向け助成金 3,310千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		4,690,000円		
		地方債				
		その他特定財源		1,404,000円	2,000,000円	
		一般財源	2,077,431円	5,446,945円	3,257,133円	4,743,162円
	財源合計[C](=[B])	2,077,431円	11,540,945円	5,257,133円	4,743,162円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	4,248,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
果樹農家数	本事業による普及活動により果樹の栽培に取り組む農家を増やす。	件	目標値		2.0	4.0	6.0	8.0
			実績値	0.0	4.0	10.0	12.0	17.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】
 「都留市各生産者果樹栽培まとめ.xls」より
 中野清、鈴木誠、藤江重房、田川信彦、田辺伊佐夫、小林宏規、小林雅美、いきる塾、清水敏郎、杉本哲司、近藤千洋、三枝栄一、根本貞雄、清水一夫、齊藤司、渡辺明夫、前田厚

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	2	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	3.4	4.0	4.0	4.0

自己評価
 担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。
 低い ← → 高い
 1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	試験ほ場での果樹の生育は順調で、小粒ながら着果が見られ、来年には出荷が見込める状況である。また、高標高地及び中山間地域での果樹栽培については、あまり事例が無く、果樹栽培に適した土づくりや病虫害対策等の課題があるため、効果検証が必要となる。
令和2年度	試験ほ場で生育した果実については、道の駅つるに出荷できるまでに至り、本市でも果樹栽培が可能であることは実証された。今年度は、山梨県等の関係機関と連携する中で研究会を設立し、土づくり、病虫害対策等の効果検証を進めることにより「栽培マニュアル」を策定した。今後は本マニュアルを活用することで、果樹栽培に係る普及啓発を推進していきたい。
令和3年度	講習会の継続、栽培マニュアルの策定、市単補助事業の創設等により、果樹栽培農家は増加してきている。今年度、関係機関を構成員とした協議会を設立し、「果樹産地構造改革計画」を策定したため、新たな果樹の産地化及びブランド化に向けた取り組みを進めていきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	試験ほ場の役目を終えたため、公社で借り受けていた当該農地は肥培管理者である元地域おこし協力隊員が直接借り受ける形に変更した。関係機関で構成される協議会も立ち上がり、計画に基づいた国の補助事業の活用も進んでいるため、今後は地域内での果樹栽培の普及啓発に向けた取り組みを推進していく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○		○			○			○		
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	果樹等の高収益作物の栽培を市内各地へ波及させ、ブランド化や新たな担い手の確保を図る中で、儲かる農業の仕組みを構築し、「つるの葡萄林」及び「つるの桃林」が市内各地で見られるよう基盤整備についても検討していく。
令和4年度 予算に向けて	果樹栽培については、苗木の植付から収穫可能になるまで数年の期間を要し、この未収益期間の短縮が課題となっている。また、ほ場の確保に向けても10年以上の使用期間が望まれるため、貸し借りの手続きの際に地権者の抵抗感が強いことが多く、意識改革も必要となっている。これらの課題の解決に向けて、有効な手段等を検討していく。
令和5年度 予算に向けて	市が設置した試験ほ場について、果樹の栽培適正を探るという目的を達成したため、元地域おこし協力隊の田川氏に有効に活用してもらう方向としており、これによって当該事業の予算のメインは市単補助事業になってくる。果樹大苗生産事業の進展にもよるが、産地化及びブランド化の推進に資する取組みについて検討していき、予算化を図っていきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
 ※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

関係機関で構成される協議会や元地域おこし協力隊である果樹専門農家及び果樹大苗生産事業の支援機関等のステークホルダーとの連携により、高収益作物栽培の普及啓発を図ることで、農家所得の向上及び道の駅つるでの品揃え対策に貢献し、地域での果樹栽培の定着を目指していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	林業振興費			款項目	05-02-01	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：森林所有者等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内の森林情報を一元的に管理する「林地台帳」の運用、関係団体への負担金		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 森林所有者が所有山林に対する意識を持ち、適切な維持管理を継続して実施すること		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	823,000円	9,131,500円	5,069,006円	7,039,419円	
	決算額[B]	823,000円	1,592,120円	2,960,362円	5,538,966円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	17.4%	58.4%	78.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	南都留森林組合職員設置負担金 760千円	勝山城環境整備業務 759千円 南都留森林組合職員設置負担金 760千円	林地台帳システム構築業務 1,705千円 ナラ枯れ被害調査業務 426千円 南都留森林組合職員設置負担金 760千円	林地台帳システム保守管理業務 990千円 ナラ枯れ対策業務委託 現年分：1,085千円 繰越分：2,107千円 南都留森林組合職員設置負担金 760千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				2,394,256円
		地方債				
		その他特定財源				300円
		一般財源	823,000円	1,592,120円	2,960,362円	3,144,410円
	財源合計[C](=[B])	823,000円	1,592,120円	2,960,362円	5,538,966円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,893,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
活用件数	林地台帳データの提供要望に対応した件数	件	目標値		1.0	1.0	5.0	10.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和4年度の提供実績は1件だが、次年度以降、森林経営管理制度に係る意向調査が本格化するため、件数の増加が想定される。

■全内容チェック(確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	4	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.0	3.0	3.2	3.6

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	森林経営管理制度を適切に推進していくための基礎データとなる「林地台帳」の整備に向けた取組みを実施する必要がある。
令和2年度	山梨県から提供された「林地台帳原案」について、公図や課税データ等の様々な情報を活用する中で制度の向上を図るための業務委託を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて緊急事態宣言が発令され、委託業者の業務の進捗に遅れが生じることとなり、事故繰越となった。早期の完成を目指し、適切な業務の実施を図る必要がある。
令和3年度	昨年度に作成した各種データ等を搭載した「林地台帳システム」が構築されたため、林政業務全般で活用できる環境が整った。今後は適切な管理運用を図る中で、森林施策の確実な実施を進めていく。また、市内でもナラ枯れ被害が確認されており、早期防除が必要なことから、県及び林業事業者と連携する中で適切な対応を講じていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	「林地台帳システム」の運用が始まり、今後は搭載データの精度向上に向けた保守管理の継続が必須となる。森林経営管理制度に基づく森林施策も本格化していくことが想定されるため、森林組合をはじめとした林業経営体とも情報共有する中で、適切な対応を講じていく。また、「ナラ枯れ」については、県内の市町村が足並みを揃えた形での対策が求められるため、林務環境事務所との連携を密にし、情報収集等を継続していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○					○				○	
	維持			○								
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	台帳の整備及び維持管理が必要なため、必要な作業の洗い出しを進める中で、適切な運用方法を検討していく。
令和4年度 予算に向けて	台帳情報の精度向上に向けて、県や関係機関との情報共有を図る中で、必要な作業を進めていく。
令和5年度 予算に向けて	林地台帳システムについては、精度向上のため、毎年度、課税情報等との統合及び県へのデータ提供による更新等の保守管理が必要となる。県や関係部署と情報共有を図る中で、適切な運用を行っていく。ナラ枯れ対策についても、被害状況を注視しながら、必要に応じて予算化していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

森林所有者の責務(森林の経営管理)の実現に寄与する「林地台帳システム」の適切な保守管理による精度向上を図る。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	森林経営管理事業			款項目	05-02-01	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	令和1年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：森林所有者等 対象：民有林の人工林（森林法第5条森林）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 経営管理が行われていない対象森林について、市町村が主体的に経営管理を推進する		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 森林が持つ公益的機能が適切に発揮される状態、木材の利用促進及び林業に携わる担い手の増加		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	8,794,000円	18,495,000円	18,526,060円	24,246,949円	
	決算額[B]	8,703,000円	18,495,000円	18,526,060円	24,246,949円	
	執行率[B]/[A]	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	谷村城下町テスト黒塀塗炭事業業務委託 1,900千円 森の学校事業業務委 2,269千円 レーザーカッター導入 1,343千円 基金への積立 3,030千円	谷村城下町テスト黒塀塗炭事業 4,683千円 森の学校事業 3,531千円 森林経営管理制度業務 765千円 基金への積立 8,900千円	谷村城下町テスト黒塀塗炭事業 2,794千円 森の学校事業 3,718千円 経営管理意向調査全体計画(素案)策定 6,050千円 基金への積立 5,675千円	谷村城下町テスト黒塀塗炭事業 1,903千円 森の学校事業 5,885千円 経営管理意向調査全体計画策定 6,380千円 基金への積立 8,048千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金			森林環境基金利子 ※会計課収入分	
		地方債				
		その他特定財源	8,703,000円	18,496,000円	18,526,000円	24,246,000円
		一般財源			60円	949円
	財源合計[C](=[B])	8,703,000円	18,496,000円	18,526,060円	24,246,949円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	24,248,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
意向調査面積	森林所有者に対して経営管理に係る意向調査を実施した面積	ha	目標値		1.0	1.0	1.0	5.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

R3~4の2ヶ年度で意向調査全体計画が策定され、R5より意向調査を開始する。

■全内容チェック(確認者:課長)

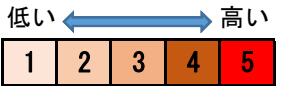
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	森林経営管理事業の創設により、市町村が主体的に経営管理を進めて行く必要があるため、担い手の確保及び木材利用の普及啓発を進めて行く必要がある。
令和2年度	担い手確保のための「森の学校事業」、木材利用促進及び意識醸成のための「黒塀塗炭事業」・「間伐材を活用した名札ケース」の開発を進めていることに加えて、市の推進方針も策定することができたため、事業は順調に進んでいる。
令和3年度	担い手確保のための「森の学校事業」、木材利用促進及び意識醸成のための「黒塀塗炭事業」を継続する中で、今年度は森林所有者への意向調査全体計画(素案)の策定までに至った。次年度、協議会での審議等を経て全体計画が策定できる予定のため、本格的な森林施業の開始に向けた準備が整いつつある。また、森林所有者等による主体的な森林整備を推進するため、新たに「民有林整備事業費補助金」を創設したため、活用が見込まれている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	基金への積立額が過多になる市町村も多い中で、本市では、担い手の育成確保、森林環境教育の推進、間伐材の利用促進に資する取り組みを継続して実施してきた。市方針の策定に加えて、意向調査全体計画の策定も完了するため、令和5年度からは森林所有者に対する意向調査に着手し、経営管理権集積計画の作成、面的にまとまった箇所からの間伐等の森林施業を計画的に実施していくことで、山地災害に強い森林づくりを目指す。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○				○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												意向調査結果に基づく森林整備(間伐)事業を森林環境譲与税を財源にして実施する。

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	意向調査を展開していくための全体計画策定が必要であるため、それに必要となる各種資料を準備するための業務を進めていく。
令和4年度予算に向けて	全体計画が策定されたあとは、計画的に意向調査を進めていき、準備が整った箇所から実際の森林施業を実施していくこととなる。林業経営体等と連携を密にすることで、円滑な作業の推進を図っていく。
令和5年度予算に向けて	令和4年度に全体計画が策定される予定であり、令和5年度からは計画的に森林所有者への意向調査を実施し、実際に森林施業に着手していくことが想定されるため、適切な予算計上を図ることで、山地災害に強い森林づくりを推進していきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

森林経営管理制度に基づく市町村主体の森林整備により、森林の持つ公益的機能が高度に発揮される環境を実現し、「山地災害に強い森林づくり」を推進していく。(森林所有者に対する意向調査・森林経営管理権集積計画の作成・間伐等の森林整備等)

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	地域おこし協力隊推進事業（産業課分）			款項目	05-02-01	評価責任者	清水 正彦
担当部	産業建設部	担当課	産業課	担当	農林振興担当	記入者	小俣 覚
会計	一般会計	事業開始年度	令和1年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：地域おこし協力隊員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域おこし協力隊員の活動を支援。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都市から移住した人材を活用し地域の維持・強化を図る。		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,300,000円	8,000,000円	9,400,000円	15,840,000円	
	決算額[B]	300,000円	6,146,783円	9,400,000円	15,840,000円	
	執行率[B]/[A]	7.0%	76.8%	100.0%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	地域おこし協力隊の募集に係る経費 300千円	支援機関業務委託料 6,147千円	支援機関業務委託料 9,400千円	支援機関業務委託料 15,840千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	300,000円	6,146,783円	9,400,000円	15,840,000円
	財源合計[C](=[B])	300,000円	6,146,783円	9,400,000円	15,840,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	10,800,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
隊員の定住又は起業数	隊員が任期終了後、定住や起業した数を目標値とする。任期中の起業も含め、それぞれ1カウントとする。	人	目標値		1.0	1.0	1.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

今年度は任期満了者が不在であったため。（起業に向けた準備は実施中（R5年度に2名予定））

■全内容チェック（確認者：課長）

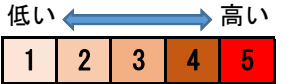
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	活動のテーマを具体的に絞って募集した隊員の方が目的意識が高いので、新たな分野においても、本制度を活用して都留市の地域活性化に向けた取組みを進めたい。
令和2年度	森林経営管理制度の創設により、地域内の森林整備が加速的に進んでいくことが想定されるが、担い手の不足が顕著であるため、南都留森林組合に2名の隊員を配置した。これから、各種の森林施業や企画の立案及び運営に携わってもらう中で、地域林業の担い手として活躍する人材に成長することを期待する。
令和3年度	森林経営管理制度の創設により、地域内の森林整備が加速的に進んでいくことが想定されるが、担い手の不足が顕著であるため、南都留森林組合に2名の隊員を配置し、各種の森林施業や企画の立案等に従事いただいている。森林サービス産業等の新たな事業推進のため、次年度は1名増員の予定であるが、既存の2名についても任期後の起業に向けた取組みを進めている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	現在、3名の隊員が活動しているが、令和5年度中に2名の隊員が任期満了を迎える。両者が協力する中で、市内に新たな法人を立ち上げ、森林サービス産業の推進にかかる事業展開を目指している。支援機関である南都留森林組合においては、新たな隊員の確保に向けた活動に着手しており、継続して隊員を受け入れ、地域林業の担い手として育成していく理想的なスキームが構築できつつある。
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○		○			○		
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												R5年度中に2名任期終了予定

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	隊員の定住に向けた取組みに対し、積極的な支援を行う。
令和4年度 予算に向けて	支援機関となっている南都留森林組合と連携を密にしていくことで、必要な対策を洗い出し、積極的な支援を検討していく。
令和5年度 予算に向けて	支援機関となっている南都留森林組合及び隊員本人と定期的に情報共有していくことで、課題等を吸い上げ、適切かつ効率的な支援を行っていくことで、林業の活性化と併せて、本市への定住に繋げていきたい。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

首都圏等の地域外の人材を積極的に受け入れ、意欲ある都市住民のニーズに応えながら 地域で抱える課題等の解決、地域力の維持・向上を目指していく。（都市農村交流の推進・森林サービス産業の推進・林業による地域活性化等）

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単道路橋梁維持補修事業			款項目	07-02-01	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	三浦 拓磨
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：道路利用者 対象物：市道、都留市法定外公共物（赤線）及び橋梁		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市道、都留市法定外公共物（赤線）及び橋梁の維持管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 道路利用者の安全で快適な道路の確保をめざす。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	54,486,000円	345,287,000円	45,496,402円	41,290,900円	
	決算額[B]	51,699,449円	242,261,128円	33,351,786円	37,113,478円	
	執行率[B]/[A]	94.9%	70.2%	73.3%	89.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	市内道路・河川管理業務委託 15,143,700円 道路修繕費 17,825,417円 道路原材料費 5,070,395円	市内道路・河川管理業務委託 14,135,000円 道路修繕費 13,638,833円 道路原材料費 3,581,231円	市内道路・河川管理業務委託 15,661,652円 道路修繕費 9,612,740円 道路原材料費 4,469,864円	市内道路・河川管理業務委託 14,410,000円 道路修繕費 15,151,114円 道路材料費等 3,641,997円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源		19,833,300円		
		一般財源	115,718,189円	222,427,828円	33,351,786円	37,113,478円
	財源合計[C](=[B])	115,718,189円	242,261,128円	33,351,786円	37,113,478円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	39,630,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事故件数	警察及び市民からの通報による道路管理者の瑕疵件数（単年度）	件	目標値	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.0	1.0	3.0	2.0	1.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

道路管理者の瑕疵がないように道路維持管理通報システム（LINE通報システム）等を活用し、事故を未然に防ぐための道路管理をおこなっているが、事故がゼロになることは非常に高い目標である。引続き事故が予見できる場合には迅速に対応していく。

■全内容チェック（確認者：課長）

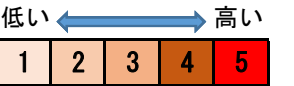
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	5
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.6	3.6	3.8	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度の事故については、1件という結果であり、その内容はグレーチングの跳ね上がりによる車両の損傷であった。今後、事故が起らないようパトロールを強化する。
令和2年度	今年度の事故については、3件という結果であり、その内容は舗装のポットホールによるパンクの損傷であった。今後、事故が起らないようパトロールを強化する。
令和3年度	市民との協働により質の高い道路管理を行うことを目的とした都留市 道路維持管理通報システム（LINE通報システム）として運用を開始している。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	市内道路・河川管理業務委託業者や職員によるパトロール、市民からの道路維持管理通報システム（LINE通報システム）や電話、窓口対応からの道路等の不具合の通報に対し迅速に対応することで、適正な道路管理をおこなっていく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性					○			○			○	
拡大												
維持		○										
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後、事故が起らないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。
令和4年度 予算に向けて	今後、事故が起らないよう道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、利用者の安全確保を図る。特に予防保全型管理に取り組む。
令和5年度 予算に向けて	市民との協働により質の高い道路管理を行うことを目的とした都留市 道路維持管理通報システム（LINE通報システム）の普及と道路河川管理業務委託及び職員によるパトロールを強化し、予防保全型管理に取り組む。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民との協働により質の高い道路管理を行うことを目的とした都留市 道路維持管理通報システム（LINE通報システム）の普及と道路河川管理業務委託業者及び職員によるパトロールを強化し、予防保全型管理に取り組む。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	除雪関係事業			款項目	07-02-01	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	三浦 拓磨
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	道路法		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：道路利用者 対象物：市道、農道、林道、都留市公共物道路（赤線）の一部		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 積雪量が15cm以上になった場合は、市道等の除雪		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 車両通行帯の確保（市民等の安全で快適な道路の確保）		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	16,079,000円	19,992,000円	19,693,000円	23,350,000円	
	決算額[B]	12,211,208円	5,090,453円	14,659,410円	11,642,571円	
	執行率[B]/[A]	75.9%	25.5%	74.4%	49.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	融雪剤散布業務委託 862,215円 除雪業務委託 9,928,060円 融雪剤購入費 1,353,264円	融雪剤散布業務委託 382,800円 除雪業務委託 4,309,250円 融雪剤購入費 167,200円	融雪剤散布用車両のレンタル 754,600円 除雪業務委託 9,106,680円 融雪剤購入費 888,030円	融雪剤等購入費 2,087,492円 融雪剤散布機等修繕料 225,336円 除雪業務委託 8,497,013円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	12,336,688円	5,090,453円	14,659,410円	11,642,571円
	財源合計[C](=[B])	12,336,688円	5,090,453円	14,659,410円	11,642,571円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	16,358,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
除雪による苦情	職員が受けた苦情件数とし、指標は単年度とする。（除雪依頼等は含まない）	件	目標値	60.0	58.0	57.0	56.0	55.0
			実績値	60.0	25.0	0.0	5.0	13.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

達成している場合は記載不要								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

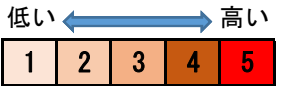
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/> 小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	除雪路線を変更したことにより、駐車場出入口や畑等に除雪した雪を押し付けてしまうケースが見受けられる。
令和2年度	除雪業者が今年度は1社辞退してしまい、今後も除雪業者が減る可能性があるが、除雪業者が減ることにより、負担が増えている可能性がある。
令和3年度	除雪業者より、除雪を実施する為に必要な人材が不足していると相談があった。人材不足は建設業界全体の問題となっているように感じられる。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	人件費等の高騰を鑑み契約単価の見直しを行っているが、契約除雪業者より、除雪を実施する為に必要な人材が不足していると相談があった。人材不足は建設業界全体の問題となっているように感じられる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○		○			○				
	維持										○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
令和4年度 予算に向けて	除雪路線を変更した場合については、降雪前に事前に数回現場確認を実施してもらい、除雪の対応をしてもらう必要がある。
令和5年度 予算に向けて	車両通行帯の確保と市民生活の安全を図る為、業者に契約条件を理解してもらい、除雪の対応をしてもらう。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度の機械除雪業務委託に於ける契約予定業者数は30社となっており、契約業者数は年々減少傾向となっている。車両通行帯の確保と市民生活の安全を図る為、限られた契約業者のなかで除雪範囲を広げてもらうなど理解してもらい、除雪の対応をしてもらっているが負担は大きい。除雪協力業者の地域貢献に対し優遇処置を考える必要があるように感じる。また、令和4年度には、国土交通省が予防的通行規制を国道139号でおこない、都留市内の道路交通網に混乱が生じたことから国との協議が必要である。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	市単土地改良事業			款項目	05-01-04	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	三浦 拓磨
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：耕作者 対象物：農業用水路及び農道		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 農業用施設の適正な維持管理・老朽箇所の修繕（業者依頼・直営）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 農繁期に支障なく施設を利用し耕作できるようにする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	32,587,266円	49,508,000円	6,773,000円	6,622,000円	
	決算額[B]	26,207,266円	46,029,892円	4,349,828円	6,371,332円	
	執行率[B]/[A]	80.4%	93.0%	64.2%	96.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	消耗品費 24,466円 修繕費 9,689,030円 原材料費 331,470円	消耗品費 3,961円 修繕費 5,818,785円 原材料費 398,208円	消耗品費 3,500円 修繕費 4,272,980円 原材料費 73,348円	修繕料 5,973,533円 使用料及び賃借料 15,400円 水路等材料費 382,399円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金		6,150,000円		
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,262,266円	39,879,892円	4,349,828円	6,371,332円
	財源合計[C](=[B])	26,262,266円	46,029,892円	4,349,828円	6,371,332円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,574,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	農業用施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値	56.0	55.0	54.0	53.0	
			実績値	58.0	53.0	27.0	24.0	37.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）				
------------------	--	--	--	--

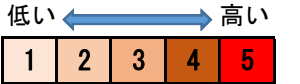
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/> 小俣 秀樹	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要か）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施しているか）	5	5	5	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.6	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
令和2年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
令和3年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならず、改修工事が必要。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○			○			
	維持									○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）	修繕料・漏水箇所が多数あり、緊急性及び優先度を考慮すると改修工事実施までの維持は不可能。			修繕対応した箇所の耐久年数は短く、再び漏水が発生してしまうので抜本的な解決方法としては改修工事が必要となる			修繕対応した箇所の耐久年数は短く、再び漏水が発生してしまうので抜本的な解決方法としては改修工事が必要となる			修繕対応した箇所の耐久年数は短く、再び漏水が発生してしまうので抜本的な解決方法としては改修工事が必要となる		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	これまでも修繕を行っているが、経年により耐用年数が経過している構造物がほとんどであるため、維持補修では追いつかない。本来は改修工事をすべきだが、箇所及び延長が多数あり追いつかないため、修繕により維持する。
令和4年度 予算に向けて	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならない。長期的な視点から職員の対応回数頻度や修繕費のライフサイクルコストを精査する。緊急性及び優先度を考慮し、交付金や補助金を利用して改修工事を実施する。
令和5年度 予算に向けて	経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならない。長期的な視点から職員の対応回数頻度や修繕費のライフサイクルコストを精査する。緊急性及び優先度を考慮し、交付金や補助金を利用して改修工事を実施する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

経年劣化により、市内各所の水路から漏水が発生している。その都度修繕を実施しているが、根本的な解決にはならない。長期的な視点から職員の対応回数頻度や修繕費のライフサイクルコストを精査する。緊急性及び優先度を考慮し、交付金や補助金及び有利な起債を活用して改修工事を実施する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	林業施設事業		款項目	05-02-02	評価責任者	小俣 秀樹	
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	三浦 拓磨
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法			←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	1	豊かな産業のあるまちづくり
	施策	2	★道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：林道利用者 対象物：林道		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市営林道の適正な維持管理・路面洗堀及び倒木処理等の修繕（業者依頼・直営）		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 山間部にある林道を安全に通行できるようにする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	8,159,000円	106,815,000円	2,937,320円	2,080,000円	
	決算額[B]	6,701,852円	79,232,260円	1,303,940円	866,998円	
	執行率[B]/[A]	82.1%	74.2%	44.4%	41.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	修繕費 1,244,986円 委託料 5,445,000円 原材料費 11,866円	修繕費 1,450,460円 使用料及び賃借料 0円 原材料費 0円	修繕費 1,284,800円 使用料及び賃借料 0円 原材料費 19,140円	修繕費 733,546円 林道等材料費 133,452円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,749,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	15,662,852円	79,232,260円	1,303,940円	866,998円
	財源合計[C](=[B])	18,411,852円	79,232,260円	1,303,940円	866,998円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,900,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
苦情件数	林業施設の修繕が必要な苦情（年度小計）	件	目標値		3.0	3.0	2.0	2.0
			実績値	4.0	6.0	2.0	5.0	2.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

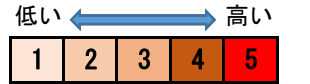
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してる）	4	4	4	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2	2	2
達成度（目標が実現できているか）	1	5	1	5
平均得点	3.0	3.8	3.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	林道は山間部にあり大部分が未舗装となっているため、台風等の荒天後は路面洗堀及び倒木が発生する。今年度は、台風19号の台風で路面洗堀及び法面崩落等の修繕が多数発生した。
令和2年度	林道は山間部にあり大部分が未舗装となっているため、台風等の荒天後は路面洗堀及び倒木が発生する。今年度は、台風が無かったため修繕が少なかった。
令和3年度	令和元年度に実施した林道橋の橋梁点検結果により、（中川原橋：菅野林道・大沢橋：細野林道・大沢二番橋：大沢林道）3橋が早期処置段階（道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に処置を構すべき状態）となっているが、市道橋に比べ利用頻度が少ないため経過観察としているが、いずれ対処が必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	台風による被災状況により修繕費が増減することから、予防保全型の対処により修繕費を低減できるようにする。しかし、林道利用者は限られていることから一部の受益者のみの整備とならなように現地を確認し、修繕方法を精査する。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○				○			○			○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）	修繕料は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。			修繕費は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。			修繕費は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持したい。			修繕費は台風の影響により年々増加傾向にある。定期的な補修を行い健全な状態を維持する。		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	なるべく被害を抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
令和4年度 予算に向けて	なるべく被害を最小限に抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、未然に防ぐため維持に努める。
令和5年度 予算に向けて	なるべく被害を最小限に抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、防災・減災対策となるような維持に努める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

なるべく被害を最小限に抑えるよう整備はしているが、近年の荒天は想定を超えることが多い。林道が被災すると復旧に掛かる経費が大きくなることから、防災・減災対策となるような予防保全型の対処に努める。	
--	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	定式関係事業			款項目	07-03-01	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	道路河川担当	記入者	三浦 拓磨
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	IV	生活・環境分野 繋がります！人と自然がいつまでも輝くまち
	政策	2	快適で潤いのある生活を送れるまちづくり
	施策	1	★快適な住環境の整備
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：利用者 対象物：農業用水路及び道路側溝		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 水路等の適正な維持管理。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 通年を通して支障なく安定した水の供給をできるようにする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,246,000円	1,246,000円	1,246,000円	1,206,000円	
	決算額[B]	1,114,436円	990,310円	1,037,778円	993,198円	
	執行率[B]/[A]	89.4%	79.5%	83.3%	82.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	役務費 6,000円 使用料及び賃借料 1,108,436円	役務費 6,000円 使用料及び賃借料 984,310円	役務費 6,000円 使用料及び賃借料 1,031,778円	役務費 12,062円 使用料及び賃借料 981,136円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,114,436円	990,310円	1,037,778円	993,198円
	財源合計[C](=[B])	1,114,436円	990,310円	1,037,778円	993,198円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,227,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加自治会数	市内定式参加自治会数（年度小計）	自治会	目標値	43.0	43.0	44.0	45.0	
			実績値	42.0	46.0	46.0	46.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要性）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施しているか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.8	4.8	4.8	4.8

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	近年は水路に蓋が多くみられ土砂浚渫箇所が減少しているが、自治会の協力を得て定式を行い機能維持に努めている。
令和2年度	近年は水路に蓋が多くみられ土砂浚渫箇所が減少しているが、自治会の協力を得て定式を行い機能維持に努めている。
令和3年度	特に、農業従事者にとって耕作に必要な水量の確保は必要であるが、防災の観点や防火用水としての機能、生活排水の洗浄など環境の面でも定式事業の継続は必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	定式事業に伴う水路の堆積土砂等の撤去及び清掃活動は、特に農業従事者にとって耕作に必要な水量の確保が必要であるが、防災の観点や防火用水としての機能、生活排水の洗浄など環境の面でも定式事業の継続は必要である。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大												
維持		○			○			○			○	
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	事業の推進を図ることにより水路等の機能維持管理が行えるため、参加していない自治会にPRを行っていく必要がある。
令和4年度 予算に向けて	水路等の機能維持管理や防災の観点などから事業の推進を図る必要があるが、コロナ禍の影響及び自治会内の高齢化による不参加等が懸念される。
令和5年度 予算に向けて	特に、農業従事者にとっては耕作に必要な水量の確保は必要であるが、防災の観点や防火用水としての機能、生活排水の洗浄など環境の面でも定式事業の継続は必要であることを広く周知する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

過年度コロナ禍であっても定式を中止することはなかったことから、今後も継続して定式事業をおこなっていく。定式による清掃活動は地区にとって非常に有益であることから参加者の高齢化等の問題はありますが、定式事業の必要性を周知し、定式事業を継続する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都市公園管理事業		款項目	07-04-02	評価責任者	小俣 秀樹	
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	都市計画担当	記入者	渡邊 貴幸
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都市計画法・都市公園法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：都市公園利用者 対象物：都市公園		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都市公園の整備及び維持管理		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 安全・安心で快適に利用ができる都市公園		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,887,000円	5,493,283円	4,979,000円	5,534,000円	
	決算額[B]	4,171,417円	4,993,524円	4,685,704円	4,904,082円	
	執行率[B]/[A]	85.4%	90.9%	94.1%	88.6%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	都市公園等清掃管理業務委託 311,557円 田原の滝公園清掃管理業務委託 558,580円 楽山風致公園桜植栽済箇所下刈業務委託 848,880円	都市公園等清掃管理業務委託 528,075円 田原の滝公園清掃管理業務委託 568,568円 楽山風致公園植栽済箇所下刈業務委託 1,020,800円	都市公園等清掃管理業務委託 565,470円 田原の滝公園清掃管理業務委託 570,570円 楽山風致公園植栽済箇所下刈業務委託 1,020,800円	都市公園等清掃管理業務委託 543,136円 田原の滝公園清掃管理業務委託 583,770円 楽山風致公園植栽済箇所下刈業務委託 1,104,400円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	4,171,417円	4,993,524円	4,685,704円	4,904,082円
	財源合計[C](=[B])	4,171,417円	4,993,524円	4,685,704円	4,904,082円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,623,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
公園管理に関する苦情件数	適切な公園管理を実施し、利用者の満足度を向上させる(苦情数を減少させる)。	件	目標値		3.0	2.0	1.0	0.0
			実績値	5.0	3.0	0.0	1.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

<p>■全内容チェック(確認者：課長)</p>									
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.4	4.4	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。
令和2年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。
令和3年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	都留市総合運動公園内の楽山球場は建設から30年以上経過しており、経年劣化や老朽化が顕著であり、計画的な維持補修の必要がある。また、職員数が限られる中、各種団体へ清掃業務などを委託するとともに、職員による遊具等の日常点検(月1回)を実施し、利用者の安全・安心を確保する。今後は、市民の公園への愛着心醸成のため、地域住民等による公園管理の機会を、より一層増加させていく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	財政状況を踏まえる中で、長寿化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
令和4年度予算に向けて	財政状況を踏まえる中で、長寿化計画に基づき楽山球場の計画的な改修を行う。また、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。
令和5年度予算に向けて	長寿化計画に基づき総合運動公園の改修を継続するとともに、子育て世代の居場所となる公園整備に向け、基本計画策定及び基本設計業務を行う。さらに、利用者が安全・安心で快適な利用ができるよう委託業務受注者と連絡を密にとるとともに、職員による遊具等の日常点検を継続的に実施する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

都市計画マスタープランに基づき都市公園を整備してきているが、公園整備の市民ニーズは依然として高い状況にあることから、財政状況を踏まえる中で、民間活力の導入を図りながら公園を整備し、令和8年度末の市民一人当たりの都市公園面積を7.9㎡(令和3年度末で7.3㎡)に向上させる。また、これまで以上に、地域住民による公園管理の機会の増加に努め、公園への愛着心の醸成及び地域コミュニティの活性化を図る。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営住宅施設管理費			款項目	07-05-01	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	井上 和洋
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	公営住宅法、都留市営住宅条例等		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	I	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市営住宅入居者、市営住宅入居希望者 対象物：市営住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市営住宅及び特定公共賃貸住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等にともなう修繕、入退去時におけるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市営住宅入居者の快適な生活		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	52,515,600円	45,876,637円	59,007,564円	71,606,713円	
	決算額[B]	41,771,484円	43,770,957円	57,499,308円	67,385,795円	
	執行率[B]/[A]	79.5%	95.4%	97.4%	94.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	市営住宅修繕費 26,014,101円	市営住宅修繕費 33,062,575円	市営住宅修繕費 41,763,869円	市営住宅修繕費 40,688,664円	
		市営住宅保守点検等業務委託 15,033,594円	市営住宅保守点検等業務委託 7,668,729円	市営住宅保守点検等業務委託 7,018,744円	市営住宅保守点検等業務委託 17,119,231円	
		市営住宅退去時室内清掃等手数料 1,075,544円	市営住宅退去時室内清掃等手数料 1,481,350円	市営住宅退去時室内清掃等手数料 1,669,250円	市営住宅退去時室内清掃等手数料 1,329,900円	
					新婚・子育て世帯家賃助成金 5,206,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
その他特定財源		41,771,484円	43,770,957円	57,499,308円	67,385,795円	
一般財源						
財源合計[C](=[B])	41,771,484円	43,770,957円	57,499,308円	67,385,795円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	63,990,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市営住宅入居率	市営住宅の年度末における入居率	%	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	89.8	86.7	86.1	85.1	81.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

入居募集・空き部屋の状況など情報発信に努めたが、入居申込件数に対し退去件数が上回ったため入居率は減少した。近年、市内にアパートや新築住宅が多く建築されているため、市営団地の需要が低くなっていることが原因と考えている。

■全内容チェック(確認者:課長)

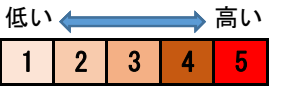
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.8	3.8	3.8	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	新規入居者に比べ退去者が多く、入居率の低下が課題となっている。令和元年度から新婚・子育て世帯家賃助成金制度が開始されたが、入居率の向上には至らなかった。入居率の動向や必要ストック数の情報収集に努め、市営住宅の有効活用を検討する。
令和2年度	新婚・子育て世帯家賃助成金制度について、ホームページ、広報、都留CATVなどで周知し、また成人式、保育園、乳幼児健診においてチラシを配布した。新規入居者数は前年度より増えたが、退去者数が増え、引き続き、入居率の低下が課題となっている。今後は、公営住宅の必要管理戸数や県の長寿命化計画を基に、都留市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。
令和3年度	効果検証のため、新婚・子育て世帯家賃助成金制度について、受給者世帯にアンケートを行い、その結果、入居案内でこの助成金を知り、契約を決めた方が大半であったことが判明したため、新規入居者数の拡大に向け、将来的に補助金予算の増額を検討していきたい。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	近年の市営住宅入居希望者は、高齢者と新婚子育て世帯(母子・父子世帯多数)の2極化が進んでいること、立地が国道139号近辺の団地に集中していることが伺える。また、市内にアパートが多数建築されており、市営団地の新規需要も減少傾向である。需要が増加するよう、募集活動を強化するとともに、職員による日常点検を実施し、利用者の安全・安心を確保する取り組みも併せて行う必要がある。まなほ、コスト管理を徹底し最大の効果が得られるよう適切な事務や管理を行う。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○		○			○	
	維持		○									
	縮小											
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	民間のストック戸数や市営住宅のニーズなど情報収集を行う。令和4年度に策定される公営住宅等長寿命化計画を見据え、市営住宅としての必要ストック戸数の把握に努める。既存ストックが必要ストック戸数に比べ多い場合には、目的外使用も含めた既存ストックの有効活用についても検討する。
令和4年度 予算に向けて	新婚・子育て世帯家賃助成金制度については、引き続き同様の周知を行う。民間のストック戸数、市営住宅のニーズ及び県の長寿命化計画を基に、都留市公営住宅等長寿命化計画の策定を行う。
令和5年度 予算に向けて	新婚・子育て世帯家賃助成金制度については、その効果が大きいことから、引き続き助成金制度の周知を行うとともに、予算の増額についても精査し、検討していく。また、令和4年度改定の都留市公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設の改修、設備の維持管理を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市営住宅入居者の快適な生活のため、引き続き適切なコストで団地の維持・管理に努めていく。需要が増加するよう、団地の情報発信についても積極的に行っていく。市内の住宅供給状況(民間)の動向も踏まえ特公賃の家賃を見直しを行い、新婚・子育て世帯家賃助成金制度の周知も継続することで、入居申し込み数の増加に努める。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ブロック塀等撤去促進事業			款項目	07-05-02	評価責任者	小俣 秀樹
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	建築住宅担当	記入者	井上 和洋
会計	一般会計	事業開始年度	平成30年度	法定根拠・法令等	都留市ブロック塀等撤去促進事業費補助金交付要綱		
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：ブロック塀等の所有者又は管理者 対象物：地震発生時において倒壊し、又は転倒する危険性のあるブロック塀等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 危険なブロック塀等の撤去を行う者に対し、補助金を交付する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 危険なブロック塀等の撤去を促進することにより、地震発生時の危険なブロック塀等の倒壊又は転倒による災害を防止する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,250,000円	1,500,000円	1,900,000円	2,500,000円	
	決算額[B]	997,000円	179,000円	549,000円	307,000円	
	執行率[B]/[A]	44.3%	11.9%	28.9%	12.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	ブロック塀等撤去促進事業 997,000円	ブロック塀等撤去促進事業 179,000円	ブロック塀等撤去促進事業 549,000円	ブロック塀等撤去促進事業 307,000円	
	財源内訳	国庫支出金	392,000円	89,000円	273,000円	153,000円
		県支出金	193,000円	44,000円	114,000円	36,000円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	412,000円		162,000円	118,000円
	財源合計[C](=[B])	997,000円	133,000円	549,000円	307,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,000,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
補助件数	年度末における補助金交付件数	件	目標値		13.0	14.0	15.0	16.0
			実績値	12.0	14.0	2.0	6.0	2.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

補助金の周知（戸別訪問・広報・HP・DM・産業まつり等のイベント時にビラ配布）を行ったが、補助金の交付実績は伸びなかった。KPI未達成の理由については、周知が足りていないと考えられるので更に周知方法を強化する必要がある。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	清水 正彦 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	1	1	1
平均得点	5.0	3.8	3.8	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度、補助金交付実績は14件、99万7千円である。今後更に補助制度の周知を図るとともに、ブロック塀等の安全点検について啓発する中で、撤去を促進し災害の防止に努める必要がある。
令和2年度	今年度、補助金交付実績は2件、17万9千円である。ブロック塀等の撤去については、ホームページ、広報、窓口などで周知していたが、目標達成には至らなかった。この事業は令和5年度まで延長され、令和3年度より建替え、改修も対象となった。また、一般路線、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）に分かれ、それぞれ補助金も増額となった。引き続き周知を図り、災害の防止に努める必要がある。
令和3年度	今年度、補助金交付実績は6件（うち、一般路線、重要路線の重複1件）、54万9千円である。ブロック塀等の撤去及び耐震改修については、ホームページ、広報、窓口などで周知していたが、目標達成には至らなかった。しかし、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）の件数が増加しているため、引き続き周知を図り、災害の予防に努めていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	補助金の周知は様々な方法で行ってきたが、利用件数はあまり伸びていない。各年度とも、ブロック塀解体補助金の問い合わせは多数あったが、補助金交付の条件に満たない（高さが足りない・道路に面していない）ことで交付に繋がらないことが数多くあったため需要は高いと分析している。令和5年度末までの事業であることから引き続き周知強化を行い交付件数の増加に努めるが、令和6年度以降も事業を継続していくか検討が必要（継続する場合は条件の変更を検討・国及び県の支出金が無くなるため単費となることも踏まえる）
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○			○			○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	都留市の補助期間が令和2年度末までの時限措置となっている。延長された場合は、補助制度の周知を図るとともに、補助限度額の見直しを検討する。
令和4年度予算に向けて	この事業は令和5年度まで延長され、建替え、改修も対象となった。また、一般路線、重要路線（緊急輸送道路、指定避難所まで至る経路）に分かれ、それぞれ補助金も増額となった。補助制度の周知を図り、災害の防止に努めるとともに、重要路線については戸別訪問し耐震改修を行うよう促す。
令和5年度予算に向けて	この事業は令和5年度までとしているが、補助実績を精査しつつ、市内の危険箇所の除去、災害への予防効果等を勘案し、市単費での継続も視野に入れて補助制度を継続していくかを検証する。安全で安心なまちづくり、都留市セーフコミュニティの形成に向けて、周知をより一層図り、ブロック塀等の除去・耐震改修を促進していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度末までの事業のため、引き続き制度の周知を強化し予算執行率100%を目指し、市内の危険なブロック塀を解消し、安心安全なまちづくり（都留市セーフコミュニティの形成）に向けて、災害発生時の1次・2次被害の防止に努める。また、令和6年度に向けて、需要・補助実績・市内の危険箇所数・予防効果・セーフコミュニティ等の関係等を総合的に勘案し、市単費での継続可否を検討する。なお、継続する場合は、補助金の条件緩和を視野に入れることとする。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	公営企業会計システム（市立病院整備事業）		款項目		評価責任者	佐藤好男	
担当部	市立病院	担当課	病院事務局	担当	総務企画担当	記入者	佐藤和哉
会計	病院事会	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 企業会計システム		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 企業会計システムの運用		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 公営企業会計処理		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	10,183,000円	6,824,000円	6,121,000円	6,823,000円	
	決算額[B]	9,311,000円	6,822,041円	6,119,854円	6,171,215円	
	執行率[B]/[A]	91.4%	100.0%	100.0%	90.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	電算機器等使用負担金 3,375千円 企業開会構築システム委託 5,336千円 企業会計保守業務 600千円	電算機器等使用負担金 4,672千円 企業会計保守業務 2,152千円	電算機器等使用負担金 3,969千円 企業会計保守業務 2,152千円	電算機器等使用負担金 4,020千円 企業会計保守業務 2,152千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,311,000円	6,822,041円	6,119,854円	6,171,215円
	財源合計[C](=[B])	9,311,000円	6,822,041円	6,119,854円	6,171,215円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,823,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
使用不可日数	障害によりシステムが使用できなかった日数	日	目標値	/	0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

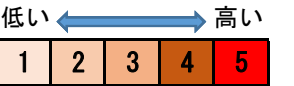
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	髯楯美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	髯楯美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	佐藤好男 <input checked="" type="checkbox"/>	佐藤好男 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企業会計稼働パソコンがWindows10に対応しておらず、パソコンの入れ替え及びシステム採用の必要であったが上下水道課との企業会計システムの相乗りが基幹系パソコンでの作業となることから5年間のランニングコストを比較し、独自の企業会計システム導入に至った。
令和2年度	独自システムを導入したことによる、既存システムとの相違点など、担当レベルで調整・再確認する必要があるが、概ね順調に進んだ。今後は各担当からシステムの改善要望などがあれば順次、対応していく。
令和3年度	入れ替え後の運用において、若干の様式等の修正があったものの、その他に関しては問題なく稼働できている。今後も安定した稼働を進めていく

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	システム入れ替え後は問題なく稼働できている。今後も安定した稼働環境整備を進めていく
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大												
維持		○			○			○			○	
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後は、独自のシステムとなったことで柔軟な仕様変更・故障や災害時対応の体制構築を築く。
令和4年度 予算に向けて	入れ替えをおこなったシステムが特に大幅な変更が必要でなければ、そのままの仕様で継続していく。大幅な変更が必要な時は、費用対効果を考慮しながら検討していく。
令和5年度 予算に向けて	大幅な仕様変更が特に必要ないため、現状の仕様で継続使用していく

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

企業会計システムの安定的な稼働を目指すため、バックアップと冗長性の確保、セキュリティ対策、定期的なメンテナンスと更新、職員のスキル向上、法令等の変更による修正等に引き続き注視していく。
指標としては、継続して使用不可日数（障害等によりシステムが使用できなかった日数）を指標として採用していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	老健施設管理事業（市立病院整備事業）		款項目		評価責任者	佐藤 好男	
担当部		担当課	介護老人保健施設「つる」	担当	老健管理担当	記入者	高山 みどり
会計	病院事会	事業開始年度	平成2年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	2	地域医療体制の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 介護老人保健施設「つる」利用者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 介護老人保健施設「つる」の施設管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 利用者が安心・安全に暮らせる施設		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	98,513,000円	77,843,965円	75,624,033円	88,459,917円	
	決算額[B]	83,256,469円	71,744,600円	64,760,192円	88,459,917円	
	執行率[B]/[A]	84.5%	92.2%	85.6%	100.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	消耗備品費	588,660円	3,622,153円	877,396円	3,109,854円
		光熱水	16,694,318円	17,269,482円	16,908,561円	26,331,893円
		燃料費	8,251,685円	9,221,700円	8,318,105円	10,260,510円
		修繕費	3,711,982円	4,104,869円	3,639,336円	4,927,670円
		委託	54,009,824円	37,526,396円	35,016,794円	43,829,990円
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
地方債						
その他特定財源						
一般財源		83,256,469円	71,744,600円	64,760,192円	88,459,917円	
財源合計[C](=[B])	83,256,469円	71,744,600円	64,760,192円	88,459,917円		

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	104,028,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設管理費の割合	老健事業費に占める施設管理費の割合	%	目標値	17.8	17.6	17.4	17.2	
			実績値	18.0	17.0	14.2	11.8	15.7

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

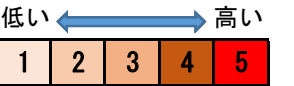
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	鬘 美咲 <input checked="" type="checkbox"/>	佐藤 好男 <input checked="" type="checkbox"/>	佐藤 好男 <input checked="" type="checkbox"/>	佐藤 好男 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	5	5	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.8	4.8	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	老朽化による施設設備や利用者の状況に合う環境整備のため修繕費が増加している。24時間・365日体制のため光熱水費・燃料費の削減は難しい。
令和2年度	新型コロナウイルス感染対策のため消耗品、備品等の購入が増加。また感染対策及び老朽化に伴う施設内整備のための修繕実施。入所者増加や感染対策のための機器使用増加による光熱水費が増加。
令和3年度	経費削減のため、施設内のLED化を3年間で計画し実施している。委託業務に係る人件費の引き上げや燃料費の高騰に伴い増加している。老朽化に伴う突発的な修繕も増えている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	施設の老朽化に伴う修繕や備品入替、新型コロナウイルス感染対策に伴う消耗品、備品購入の増加や価格高騰、燃料費の高騰による経費は大幅に増加している。利用者が安全に生活するための環境を整備し、施設の継続的な運営のため定期的な保守・点検を行い早期の修繕を行っていく。
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	施設整備計画を策定し、修繕、消耗備品の購入を行い、施設の維持管理に努める。
令和4年度 予算に向けて	感染対策を実施・継続するため施設整備を行い、利用者の安心・安全な生活を確保する。
令和5年度 予算に向けて	施設の維持管理のため定期的な点検を実施し、早急な修繕を行っていく。利用者の状況に合わせた備品購入を計画的に実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

施設が安全で継続的な使用を可能とするため、定期的な点検を行うとともに、老朽化に伴う大規模修繕については計画的に実施していく。また節電や節水についても周知し、経費削減を図っていく。	
---	--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	常備消防総務関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	庄子 昇
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	田代 壮史
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 庶務・渉外業務管理、対外行事、施設運営管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 庶務・渉外業務に係る消耗品等物品調達管理業務並びに、災害拠点である消防庁舎・施設の日常点検及び保守点検を実施し、緊急性及び必要性を判断し修繕・更新を検討。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 消防庁舎・施設の点検業務を定期的に行い維持管理に努め施設の長寿命化を目指す。また、庁舎の維持管理費を含む庶務に係る業務全般の物品調達に対し費用対効果・ランニングコスト等を考慮し経費削減を目指す。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	9,765,557円	9,186,000円	8,742,000円	10,699,394円	
	決算額[B]	8,401,754円	7,158,967円	7,868,783円	9,935,562円	
	執行率[B]/[A]	86.0%	77.9%	90.0%	92.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	光熱水費 4,510,667円 消耗品費 477,998円 修繕料 465,817円	光熱水費 3,752,169円 消耗品費 374,173円 修繕料 248,050円	光熱水費 4,380,878円 消耗品費 432,892円 委託料 1,288,221円	光熱水費 6,260,058円 消耗品費 380,868円 委託料 1,349,106円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	8,401,754円	7,158,967円	7,868,783円	9,935,562円
	財源合計[C](=[B])	8,401,754円	7,158,967円	7,868,783円	9,935,562円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	13,002,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
経費削減	光熱水費の経費削減	千円	目標値		4519.0	4473.0	4428.0	4383.0
			実績値	4565.0	4510.0	3752.0	4380.0	6260.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

職員の意識向上等により電気使用量は年々減少しているが、電気料単価の高騰によって経費が大幅に増加したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

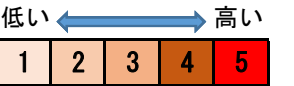
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	庄子 昇 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	1
平均得点	4.6	4.8	4.8	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	7月中に消防庁舎2階照明のLED化取替修繕を実施、令和2年度に1階照明のLED化取替修繕を計上している。職員の節電意識の徹底と併せ経費削減を進めなければならない。
令和2年度	7月から9月にかけて消防庁舎1階照明のLED化取替修繕を実施。昨年度から実施している庁舎照明LED化により光熱水費の経費削減に繋がっている。令和3年度に消防庁舎3.4階及び訓練棟のLED化取替修繕を計上しており、職員の節電意識を徹底し、更なる経費削減を進める。
令和3年度	消防庁舎3.4階及び訓練棟のLED化取替修繕を実施し、本年度でLED化修繕事業は完了となる。令和元年度からの消防庁舎照明LED化により、光熱水費削減の目標値に対し、実績値の経費削減に繋がっているが、電気料単価の増加などの要因により、コストが増加傾向にある。今後も職員の節電意識を徹底し、経費削減目標の実現を推進する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	職員の意識向上による適正な温度設定をはじめ庁舎全体の照明LED化や夏季のクールビズなどの節電対策によって、電気使用量を削減することが出来た。しかし、電気料単価の高騰などの要因から、実績値が目標値を上回る結果となった。今後も電力市場が不安定な状況が継続すると見込まれるが、引き続き職員の節電意識を徹底し、節電に努める。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○		○				○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	光熱費等の経費削減			光熱費等の経費削減								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和3年度に庁舎全体のLED化が完了する予定である。職員の節電意識を徹底し、更なる経費削減を目指す。
令和4年度 予算に向けて	令和3年度に消防庁舎全体の照明LED化が完了し一定の経費削減が見込まれる。職員の節電意識を徹底し、継続的に節電を行い、更なる削減を図る。
令和5年度 予算に向けて	消防庁舎全体の照明LED化が完了し、光熱水費の削減目標の実現は図られている。引き続き職員の節電意識を徹底し、継続的に節電を行い、コストの維持を目指す。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

引き続き、節電意識を徹底し経費削減に努めるとともに、消防庁舎施設の点検業務など適切な管理を行い施設の長寿命化を目指す。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育訓練関係費			款項目	08-01-01	評価責任者	庄子 昇
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務担当	記入者	田代 壮史
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	3	★災害対策及び消防救急の充実
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：消防職員 対象物：消防業務全般		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 消防職員の教育訓練及び各種業務に係る研修会等へ派遣		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 積極的に教育訓練、研修会に職員を派遣し、各担当業務並びに複雑多様化する災害に対応するべく、職員のスキルアップを目指し、少数精鋭で質の高い各種業務の遂行及び災害対応が出来るよう組織力を上げる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	6,027,000円	4,020,000円	5,434,836円	4,317,000円	
	決算額[B]	3,202,040円	3,040,775円	4,796,764円	3,161,529円	
	執行率[B]/[A]	53.1%	75.6%	88.3%	73.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	負担金 2,849,277円 ※初任科入校経費 1,431,000円 大型自動車免許 587,464円 ドローン検定 269,400円	負担金 2,892,274円 ※初任科入校経費 1,944,000円 中型自動車免許 329,100円 高所作業車技能講習 26,400円	負担金 4,317,423円 ※救急救命士養成研修費 2,071,360円 初任科入校経費 485,000円 中型自動車免許 329,100円	負担金 2,627,823円 ※初任科入校経費 1,326,000円 救命士管挿管実習 330,000円 指導救命士養成研修費 329,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,202,040円	3,040,775円	4,796,764円	3,161,529円
	財源合計[C](=[B])	3,202,040円	3,040,775円	4,796,764円	3,161,529円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	6,032,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
職員1人あたりの研修等参加回数	研修等参加者(年間延べ人数)÷4月1日現在の職員数	回	目標値	0.6	0.9	1.2	1.5	
			実績値	0.3	0.9	1.0	1.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

感染症の影響により、各種研修の開催が減少したことや、感染防止の観点から研修参加を見送る状況も発生したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	庄子 昇 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	3
平均得点	5.0	5.0	5.0	4.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にある。令和元年度は救命士研修出向予定者が退職、令和2年度研修の出向も中止となる。退職者、傷病休暇者が発生し、研修は見合わせ無ければならないこともあり、着実に出向できる体制を構築中である。
令和2年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にあるが、令和3年度は救急救命士養成研修への出向、また消防学校等の消防職員教育研修、車両関係の免許取得や技能講習等への出向を予定しており、職員のスキルアップを実現し、組織力の向上を図る。
令和3年度	世代交代の大量退職を回避すべく採用の分散化を計っているため、脆弱な状況にあるが、令和3年度は救急救命士養成研修での教育を実施。また、令和4年度には、消防大学校研修や指導救命士養成研修における消防職員の教育を予定しており、職員のスキルアップを実現し、組織力の向上を図る。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	感染症の影響により、研修の中止や参加を見送る状況もあったため、目標値の達成には至らなかった。しかしながら、令和4年度は、感染対策が講じられた中で実施される研修等も増えてきており、消防大学校研修や指導救命士養成研修等の消防職員教育課程に参加し、職員のスキルアップ並びに組織力の向上を図ることが出来た。今後も、積極的に必要な研修に参加し、組織力向上を図っていく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	必要性和有効性を勘案し、有用な研修に積極的に出向できる体制を作る。
令和4年度 予算に向けて	複雑多様化する災害に対応するべく、教育訓練や研修会に職員を派遣出来るよう体制を整え、積極的に参加させ職員のスキルアップを目指し、組織力の強化を図る。
令和5年度 予算に向けて	複雑多様化する災害に対応するべく、新たな教育訓練や研修会が増えている中、組織力の強化を図るため、有益な研修に職員を派遣出来るよう体制を整え、積極的に参加させ職員のスキルアップを目指す。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民の安全安心を確保していくために、複雑多様化する災害に対応するべく、今後も継続して有益な研修に職員を派遣出来るよう組織の体制を整え、新たな教育訓練や研修会等を取り入れつつ積極的に職員を育成していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都留市消防団管理運営費			款項目	08-01-03	評価責任者	庄子 昇
担当部	消防本部	担当課	消防課	担当	庶務	記入者	田代 壮史
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	消防組織法第8条		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	1	安全・安心のまちづくり「セーフコミュニティ」
	施策	2	★地域防災力・減災力の強化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 対象者：都留市消防団		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 消防団員の報酬・褒章 災害時の安全確保のための装備の充実 各種研修等での災害対応能力の向上		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 法で定められた消防団員の装備充実 消防団員の資質の向上		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	14,902,000円	14,204,000円	14,317,000円	14,660,000円	
	決算額[B]	12,736,602円	9,818,562円	10,065,573円	10,826,467円	
	執行率[B]/[A]	85.5%	69.1%	70.3%	73.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	災害出動・訓練に要する出動費 消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費	災害出動・訓練に要する出動費 消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費	災害出動・訓練に要する出動費 消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費	災害出動・訓練に要する出動費 消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費	災害出動・訓練に要する出動費 消防団員消耗品・安全装備品に係る経費 消防団車両、機械器具点検等の維持管理 共済関係掛金・負担金に要する経費
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	12,736,602円	9,818,562円	10,065,573円	10,826,467円
	財源合計[C](=[B])	12,736,602円	9,818,562円	10,065,573円	10,826,467円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	15,619,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
消防団員の装備充実	法で定められた消防団員の装備充実	%	目標値		90.0	90.0	100.0	100.0
			実績値	60.0	90.0	90.0	90.0	90.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

消防団員が活動する上で必要となる基本的な装備は、概ね配備しているが、経年劣化による更新や災害形態に応じた新規導入などを勘案し、実績値を90%としたため。

■全内容チェック(確認者:課長)

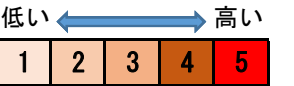
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小宮山みゆき <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	中野武夫 <input checked="" type="checkbox"/>	庄子 昇 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	4	4
平均得点	4.6	4.6	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実を図っている。また、災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められている。
令和2年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実・強化を図っている。地域に密着した消防団は従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められていることから、継続的な装備の充実・強化、また消防団員教育研修等への参加により消防団員の質の向上を図り、災害対応能力の強化が必要となる。
令和3年度	消防団員を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に順じ、消防団員の装備の充実・強化を図っている。消防団は、多様な場面で様々な役割が求められていることから、継続的な装備の充実・強化、教育研修への参加を促進する。また、社会環境の変化から団員の確保に苦慮することが見込まれるため、機能別消防団員制度を活用し、団員の安定的な確保を図る必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	災害発生時、消防団は多様な場面で様々な役割が求められており、地域防災力の要として欠かせない組織であるため、今後も消防団員の装備の充実・強化を図るとともに、教育研修への参加を促進し、災害対応能力、組織力の向上を図っていく必要がある。一方で、社会環境の変化から団員の確保に苦慮することが見込まれるため、消防団員の活動環境の整備を図り、団員の安定的な確保を図る必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要である。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
令和4年度 予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、訓練等が重要である。また、団員確保が困難な状況の中で機能別消防団員制度や学生消防団活動認定制度の導入を前向きに検討する。
令和5年度 予算に向けて	災害の多様化・大規模化において地域に密着した消防団は、従来の消火活動に加え避難誘導や避難所運営支援活動等、多様な場面で様々な役割が求められているため、消防団装備の充実・強化、教育訓練等が重要である。消防団員の安定確保のため、機能別消防団員制度の活用や学生消防団活動認定制度の導入を検討する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

災害の多様化・大規模化の傾向が見られる中、地域防災の中核を担う消防団の強化・充実を図るため、消防団員の装備の充実、教育研修への参加を促進することが重要である。また、団員確保が困難な状況の中、消防団員の活動環境の整備を図り、団員の安定的な確保を図ることが必要である。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	議会だより発行事業			款項目	01-01-01	評価責任者	小宮 文彦
担当部		担当課	議会事務局	担当		記入者	鈴木 靖恵
会計	一般会計	事業開始年度	昭和46年度	法定根拠・法令等	都留市議会基本条例第16条		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	2	市政情報提供手法の充実・多角化
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各定例会の議会活動を周知するため5月・8月・11月・2月に発行し、各自治会を通じて世帯に配布する。市のホームページでも公開している。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 開かれた議会を目指し、議会情報を積極的に提供する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,544,000円	2,913,000円	2,867,000円	3,010,000円	
	決算額[B]	2,442,711円	1,932,208円	2,302,260円	2,522,754円	
	執行率[B]/[A]	96.0%	66.3%	80.3%	83.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	カラープリンタトナー代 86,896円 議会だより印本費 2,258,939円 つる市政のあらし印本費 70,308円	カラープリンタトナー代 78,122円 議会だより印本費 1,758,218円 つる市政のあらし印本費 69,300円	カラープリンタトナー代 26,568円 議会だより印本費 2,196,964円 つる市政のあらし印本費 64,350円	カラープリンタトナー代 89,991円 議会だより印本費 2,359,742円 つる市政のあらし印本費 64,350円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,442,711円	1,932,208円	2,302,260円	2,522,754円
	財源合計[C](=[B])	2,442,711円	1,932,208円	2,302,260円	2,522,754円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,016,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民が議会活動に関心を持つ広報づくり	定例会等の情報提供だけでなく、行政視察の成果など活動報告の場である議会報告会の参加者の充実を図り、積極的に周知する。	人	目標値	282.0	285.0	287.0	290.0	
			実績値	281.0	168.0	0.0	11.0	64.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症のまん延により、議会報告会が中止となったため。

■全内容チェック (確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	長坂 文史 <input checked="" type="checkbox"/>	久保田 昌宏 <input checked="" type="checkbox"/> 小宮 文彦	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>	小宮 文彦 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性 (市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	5	5	5
有効性 (事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性 (コストを低減し無駄なく実施してるか)	2	2	3	4
公平性 (一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度 (目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.0	3.2	3.4	3.6

自己評価
担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	議会活動を市民に伝える手段の一つとして「議会だより」を発行しているが、それが市民にとって読みたいと思えるものなのか。来年度は特別号の発行予定もあるが、作り手である議会サイドが満足するのではなく、読み手をもっと意識し、より市民目線での編集が必要であると考えている。
令和2年度	今年度はコロナ禍により議会活動も様々な制約を受け、積極的な活動はできなかった。このため、発行を予定していた特別号の作成は見合わせとなったが、来年度においても発行は厳しいと思われる。
令和3年度	昨年度同様「議会報告会」は中止となったが、「市議会への手紙」と題した代替事業を実施した。また、「議会だより」に議決内容を周知するページや学生参加型企画を創設するなどして、コロナ禍であってもできる取組みを実践した。今後も「誰一人取り残さない」議会だよりの発行と議会を身近に感じてもらえる創意工夫は大いに必要であると考えている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き「議会報告会」は中止となったが、代替事業として「議会に関する市民アンケート」を実施したところ、昨年度より多くの意見を聴取することができた(前年比5.8倍)。また、アンケート結果からはホームページやSNSなど情報通信機器を利用した媒体が増えている中でも、「議会だより」から議会情報を得ている方が多くいることがわかり、広報媒体としての「議会だより」の必要性、重要性を再認識した。引き続き、開かれた議会を目指す中で、「誰一人取り残さない」議会情報を発信するため、より市民目線での編集に向け、創意工夫を重ねていく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	議会だより、ホームページ、市政のあらしにかかる予算は現状を維持する中で、よりわかりやすく読みやすくするための改善を行いながら発行していく。また、議会報告会は、感染症の影響により開催が難しいが、開かれた議会に向けた取り組みとして事業を継続する必要があるため、開催の目途がつかまでは代替事業(市議会への手紙等)を検討し実施していく。
令和4年度 予算に向けて	議会基本条例第16条において、「議会は、情報技術の発達を踏まえた多様な手段を活用することにより、市民が議会及び市政に関心を持つよう広報活動に努めるものとする。」と定められているため、感染症の状況や代替事業の効果検証を行う中、事業予算について検討していく。
令和5年度 予算に向けて	コロナ禍にあり、現在の指標は達成が困難となるのが予想されるが、令和4年度中には議会のICT化が完了するため、ウィズコロナの中にあつての議会報告会の開催方法やタブレット端末を活用した議員活動や議会広報の在り方も協議内容として加え検討を進める。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
 ※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民が必要とする情報を効果的に得られるよう、議会広報を充実させるとともに、ICTを活用した情報提供手段の拡充を図り、積極的な情報提供を行う。また、市民の意見聴取ができる事業展開を検討する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校教育事業			款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 基礎学力の定着と学力向上を目指した取組の推進 児童・生徒が安全・安心に学校生活を行える支援の推進		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	220,047,742円	236,306,000円	58,153,143円	80,688,846円	
	決算額[B]	36,998,674円	152,287,370円	54,584,723円	61,723,463円	
	執行率[B]/[A]	16.8%	64.4%	93.9%	76.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 3,082,072円 日本スポーツ振興センター保護者掛金 1,934,245円 学校医等報酬 6,702,000円	GIGAスクール構想に伴う無線LAN環境整備事業 109,266,960円(令和元年度繰越明許費) 個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 1,376,808円	外国語指導助手派遣業務委託 32,010,004円 個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 1,647,216円 日本スポーツ振興センター保護者掛金 1,842,940円	外国語指導助手派遣業務委託 31,660,200円 個性をはぐくむ学校づくり推進事業補助金 2,254,729円 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 1,769,075円	
	財源内訳	国庫支出金		44,722,000円	1,507,000円	875,000円
		県支出金	50,750円	32,050円		9,667,000円
		地方債		63,900,000円		
		その他特定財源	1,712,044円	1,375,114円	1,461,516円	257,512円
		一般財源	35,235,880円	42,258,206円	51,616,207円	50,923,951円
	財源合計[C](=[B])		36,998,674円	152,287,370円	54,584,723円	61,723,463円

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	80,388,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
事業等開催回数	地域の人が講師として開催した事業等の回数(単年)	回	目標値		120.0	130.0	140.0	150.0
			実績値	114.0	127.0	60.0	129.0	161.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出てるか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	1	3	5
平均得点	4.2	3.4	4.0	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	各学校への地域性や独自性に係る活動に対して予算的な補助をしているが、学校で地域性・独自性が失われてきており振興事業との差別化が難しくなっている。また、「個性」の形成を支援する医療等の保障についても更なる発展をしていく必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校が臨時休業となった影響で学校行事の精選や時間割編成の工夫など通常とは違った学校運営となった。そのため、地域性や独自性に係る活動も中止となり、ほとんど事業は実施できない状況であった。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できない事業もあったが、各学校で工夫しながら代替事業を実施するなど、可能な限り事業が継続できるよう対応を行った。また新型コロナウイルス感染症に係る消耗品等を定期的一括購入し配布する事で感染症対策の徹底が図られた。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内小中学校が感染症対策を行うために必要となる消毒用消耗品等を一括購入し配布したこと等により感染症対策の徹底が図られた。また令和4年度よりハラスメント防止に係る指針の策定や関連する研修、調査等を全教職員を対象に実施するなど、教職員の職場環境の改善に寄与する取り組んでいる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	個性を育む学校づくりを形成するために、地域や学校との連携を密にとり、より有意義な補助金にしていく。
令和4年度予算に向けて	地域性や独自性を主体的に取り組み各学校での個性を育む学校づくりを推進していくために、地域や学校との連携を生かしながら、学校ごとに地域の状況に合った独自の活動を展開していく。
令和5年度予算に向けて	地域性や独自性を主体的に取り組み各学校での個性を育む学校づくりを推進していくために、地域や学校との連携を生かしながら、学校ごとに地域の状況に合った独自の活動を展開していく。また新型コロナウイルス感染症の影響により先の見通せない状況であるが、対策に要する消耗品等の整備を継続しながら対応を継続していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

学力向上支援スタッフ、スクールサポートスタッフ等の多様な職員の配置による教職員の負担軽減策やメンタルヘルス対策等による職場環境の改善など、教職員の働き方改革につながる取り組みを強化していく中で教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる環境整備を推進していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育研修センター事業			款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒及び保護者、教育関係職員		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 教育関係職員の研修、児童・生徒及び保護者の教育相談、児童・生徒の各種発表会等の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 新学習指導要領に沿った創意工夫による特色ある教育活動を推進し、児童・生徒の「生きる力」を育む。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,911,934円	6,063,900円	5,873,270円	11,547,980円	
	決算額[B]	3,723,453円	953,107円	1,135,377円	7,683,872円	
	執行率[B]/[A]	95.2%	15.7%	19.3%	66.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	市内中学校演劇鑑賞会委託料 864,000円 社会科見学・演劇鑑賞会・親善音楽会バス借上げ 1,788,847円	社会科見学バス借上げ289,408円 スーパーバイザー謝金290,000円	社会科見学バス借上げ料 620,698円 吉田空襲展生徒移動用バス借上げ料 88,000円 スーパーバイザー謝金等 345,119円	市内小中学校演劇鑑賞会委託料 1,900,000円 小学校社会科副読本「わたしたちの都留市」改訂版作成業務委託 2,849,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	248,000円			552,900円
		一般財源	3,475,453円	953,107円	1,135,377円	7,130,972円
	財源合計[C](=[B])	3,723,453円	953,107円	1,135,377円	7,683,872円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	7,452,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
研修の参加率	教育関係職員の市主催研修への参加率（単年）	%	目標値		81.0	85.0	90.0	90.0
			実績値	80.0	80.0	82.0	90.0	98.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	4	4	4	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	4	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	4	5
達成度（目標が実現できているか）	1	3	5	5
平均得点	3.0	3.4	4.4	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	年間を通じて、各研究委員会においてテーマを決め教育専門職の資質向上を図るため、研究会を実施しているが、教育現場で深刻化する教員の働き方の問題も踏まえ、研修会への参加について実施方法等の工夫が必要である。
令和2年度	年間を通じて各研究委員会においてテーマを決め教育専門職の資質向上を図るため、研究会を実施している。今後はGIGAスクール構想に伴う教職員の研修なども加え、教職員がICTを活用した教育活動がスムーズに実施できるよう支援する必要がある。今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、いくつかの事業を例年どおり実施することができなかった。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響により演劇鑑賞会や親善音楽会が中止になるなど、例年どおりの事業を行うことができなかったが、感染症対策を徹底する中でGIGAスクール構想に係る教職員向けの研修会を実施するなど、可能な限り事業を実施することができた。今後はICTを活用した新しい授業の形態や小学校での英語教育、プログラミングなど喫緊の課題となっている案件を中心に新たな教育課程に対応していけるよう各研究委員会において対応方法を研究していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	一昨年からコロナ渦で実施できなかった演劇鑑賞会については、感染症対策を徹底する中で小中学校の演劇鑑賞会を実施することができたが、音楽鑑賞会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になるなど、例年どおりの事業を行うことができなかった。また感染症対策を徹底する中でハラスメント防止等に係る教職員向けの研修会や1人1台端末の持ち帰りの実施方法等を情報研究委員会において方向性を確立し、令和4年度より新たに小・中学校外国語教育研究委員会を立ち上げ、時代に対応できる英語指導のあり方を研究するなど研修事業については一定の進展を図ることができた。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○						
	維持	○					○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)				小学校社会科副読本「わたしたちの都留市」改訂版作成業務委託及び演劇鑑賞会小中学校同時開催								

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	これまで通り教員の資質の向上を図ることを目的に短期・長期研修の充実を図る。また読書感想文作品集の製本及び配布を行っていき、小学校社会科見学及び中学校演劇鑑賞会等の支援事業を実施、児童生徒及び就学前の幼児に係る教育相談を実施していく。
令和4年度 予算に向けて	1人1台端末と学校における高速通信ネットワークの整備が完了したため、教職員を対象にデジタル教科書やドリル教材など新しい教材の活用方法を研修を通して実践的に活用できるよう支援の充実を図る。また、児童生徒の問題行動・不登校が増加傾向にあるため、アウトリーチ型支援の充実を図り、関係諸機関との連携を強化していく。
令和5年度 予算に向けて	メンタルヘルス等の対策に係る教職員向けの研修会や英語指導に係る研修会など時代に即した実践的な活用に関する支援の充実を図る。また、児童生徒の問題行動・不登校が増加傾向にあるため、アウトリーチ型支援の充実を図り、関係諸機関との連携を強化していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

今後は近年の生徒指導上の課題である不登校対策など喫緊の課題となっている案件を中心に関係機関と連携する中で組織的に取り組みが行えるよう小・中学校生徒指導研究委員会において対応方法を研究していく必要がある。また教職員のメンタルヘルス対策や小学校における外国語指導、GIGAスクール構想において導入された1人1台端末を活用した効果的な学習指導など、新しい取り組みについての研究が必要となっているため、各研究委員会や専門家と連携する中で対応方法を検討していく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	障害児教育事業		款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 特別支援学級設置事業		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 障がいのある児童生徒が十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備により、特別支援教育の構築を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	14,326,431円	20,177,113円	1,063,000円	1,101,000円	
	決算額[B]	10,962,731円	19,264,774円	505,709円	594,531円	
	執行率[B]/[A]	76.5%	95.5%	47.6%	54.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	特別支援学級担当教員補助員賞金 8,730,582円 特別支援教育用教材費 388,354円	特別支援学級担当教員補助員報酬 14,128,273円 特別支援教育用教材費 55,968円	特別支援教育用消耗品費 386,318円	特別支援教育用消耗品費 348,512円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	10,962,731円	19,264,774円	505,709円	594,531円
	財源合計[C](=[B])	10,962,731円	19,264,774円	505,709円	594,531円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,200,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
特別支援学級教員補助員配置数	特別支援学級教員補助員を配置できた人数	人	目標値		6.0	6.0	7.0	7.0
			実績値	7.0	6.0	6.0	7.0	12.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	5.0	5.0	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。関係機関と連携を図り支援していくことが必要である。
令和2年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。引き続き関係機関と連携を図り支援していくことが必要である。
令和3年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。引き続き関係機関と連携を図る中で支援方法について検討していくことが必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	特別支援教育においては個別の支援計画に基づき個々の特性にあった教育環境の整備が重要であるとともに、家族支援も含めた取組が必要となる。引き続き関係機関と連携を図る中で支援方法について検討していくことが必要である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	関係機関との連携を密にし、情報の共有を図ることで支援の内容を検討し充実させていく。
令和4年度 予算に向けて	社会環境の変化により、特別支援学級を必要とする児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育においても保護者の同意の中で支援員などの協力を得ながら普通学級の中で対応することも今後増加していく可能性もあるため、個々の状況に適した環境を整えていくとともに支援内容の充実にも取り組んでいく。
令和5年度 予算に向けて	特別支援学級を必要とする児童生徒が年々増加している中で、インクルーシブ教育においても支援員などの協力を得ながら普通学級の中で対応していくことも念頭に置きながら、個々の状況に応じた環境を整えていくとともに支援内容の充実にも取り組んでいく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

個々の課題や悩みにできる限り丁寧に対応し、児童生徒が平穏で充実した生活が送れるよう、スクールカウンセラーやスーパーバイザーなどの専門家からの意見も取り入れながら教員補助員などが児童生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな対応ができるよう引き続き関係機関と連携を図り、支援方法について検討していくことが必要である。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教育課程特例校推進事業		款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育課程特例校制度		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：都留文科大学附属小学校の児童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留文科大学附属小学校を教育課程特例校の指定校とし、学習指導要領によらない小学校1年生から6年生までの一貫した英語教育を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 児童数の確保を図るとともに、低学年からの英語教育を施すことで実践力を養い、また都留文科大学との連携を強化する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,324,000円	5,362,000円	5,604,000円	5,604,000円	
	決算額[B]	5,322,791円	5,334,996円	5,366,996円	5,326,200円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	99.5%	95.8%	95.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	外国語指導助手派遣業務委託 5,286,503円	外国語指導助手派遣業務委託 5,334,996円	外国語指導助手派遣業務委託 5,334,996円	外国語指導助手派遣業務委託 5,276,700円	
				都留文科大学交流事業に係る 校外活動バス借上料 32,000円	都留文科大学交流事業に係る 校外活動バス借上料 49,500円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	5,322,791円	5,334,996円	5,366,996円	5,326,200円
財源合計[C](=[B])	5,322,791円	5,334,996円	5,366,996円	5,326,200円		

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	5,358,000	円
-------	---	-------------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
英語検定合格者	都留文科大学附属小学校の英語検定合格者人数(5級以上)	人	目標値		2.0	2.0	3.0	3.0
			実績値	0.0	2.0	1.0	3.0	1.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

英語教育を通して様々な国の方たちとコミュニケーションを図る中で外国文化に興味を持つ子どもたちの成長を教育課程特例校の特色として活動しており、検定試験では体験できない英語にかかわる様々な体験も重要な取り組みとしているため、計画最終年のKPI達成はできなかったが、今後も引き続き英語検定を英語に取り組む一つの目標として活用する児童が増加するよう取り組みを継続していく。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	3	5	2
平均得点	4.4	4.0	4.4	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	都留文科大学附属小学校に専任のALTを配置し、小学校1,2年生から英語活動に触れることができ、授業中だけでなく掃除や給食なども交流の時間があるため英語力と国際力が培われてはいるが、新学習指導要領の改正により他の学校との差別化ができなくなっている。
令和2年度	教育課程特例校に指定され6年が経過し、今年度が最終年度となる。新学習指導要領により他の小学校でも外国語が導入されているが、差別化を図るため地域の特色を生かした特別的教育課程を編成して教育を実施する必要がある。既に文部科学省へ変更申請を提出し、R3～8までの6年間を特例校としての承認を受けている。
令和3年度	令和3年度から8年度までの6年間、都留文科大学附属小学校が教育課程特例校に指定されたことに伴い、地域の特色を取り入れた特別的教育課程を編成し教育を実施していく事が決定した。令和3年度は、都留文科大学との交流事業の一環で児童が大学の教室で外国語の授業を体験するなど新たな事業を実施した。今後も引き続き特色ある教育課程の実施に向けた方策の検討を行っていく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	都留文科大学附属小学校が教育課程特例校として取り組みとして全学年で英語科の授業を行い、1,2年生は生活科の授業を英語指導の時間に振り返えるなど特別的教育課程を編成し教育を実施している。また昨年度に引き続き都留文科大学との交流事業の一環として、低学年と高学年に分かれて授業を受け、大学構内を探検するなどの活動も行っている。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和2年度末に英語特区の期間が満了することに伴い、教育課程特例校の見直しを図る必要がある。令和2年度より新学習指導要領の改正があり、英語特区としての特長を生かした学校運営を都留文科大学との連携を強化するなか進めていく。
令和4年度 予算に向けて	文部科学省から教育課程特例校の承認を受け、引き続き令和3年度から令和8年度までの6年間を教育課程特例校として進めていく。地域の特色を生かした教育課程編成として都留文科大学と連携し、特色ある外国語教育の推進していく。
令和5年度 予算に向けて	外国文化に興味を持ち、積極的に様々な国の方とコミュニケーションを図る取組みを進めていく中で地域の特色を生かした教育課程特例校として都留文科大学と連携し、外国人の教員による英語体験授業などの特色ある外国語教育を推進する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

全学年で英語科に取り組んでいることから、英語嫌いを作らないことを前提に教育課程の編成を行っており、英語学習をコミュニケーションに裏打ちされた楽しさを交えながら小学校段階で学ぶべき読み書きについて外国文化に興味を抱く手法を取り入れ自然に学習に取り組む環境を構築していく。また都留文科大学の教授陣やALT派遣元と連携し、児童が楽しく学べる状況を維持発展させていく中で教育課程特例校として特色ある外国語教育を推進する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学力向上フォローアップ事業		款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 対象者：市内小中学校児童・生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 放課後や授業の空き時間、長期休業等を活用し学力に不安のある児童の基礎学力向上を図る。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の定着を図る。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,346,000円	3,310,000円	2,799,000円	2,089,000円	
	決算額[B]	2,524,750円	666,036円	289,875円	178,000円	
	執行率[B]/[A]	75.5%	20.1%	10.4%	8.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	学習支援講師謝金 2,524,750円	学習支援講師謝金 666,000円	学習支援講師謝金 289,875円	学習支援講師謝金 178,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	682,000円			
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,842,750円	666,036円	289,875円	178,000円
	財源合計[C](=[B])	2,524,750円	666,036円	289,875円	178,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学力向上フォローアップ事業の拡大	市内小中学校すべての学校において学力向上フォローアップ事業を行う。(単年)	校	目標値	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0
			実績値	10.0	10.0	8.0	9.0	8.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

市内小中学校では、各学校で本事業費で講師を依頼する方法での対応や学校の伝統で地域の教員OBがボランティアスタッフとして、学習支援に参画している方法等があり、各学校の特色を生かしながら学力の向上対策を行っているため、フォローアップ事業としてでなく、地域支援による対応等もあるため、全校での実施には至らなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	4	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.4	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	現状、講師として大学生や地域人材を活用しているが費用面の負担が増加している。学力に不安のある児童・生徒への基礎学力の向上を担っているものの、数字等での客観的な成果が見えづらく今後取組内容等の検討が必要である。
令和2年度	令和2年度から教育補助員等が会計年度任用職員として任用されたため、長期休業期間の実施校については、教育補助員が空いている時間に配置校以外の学校で学習サポートを行うなど、学生やボランティアだけでなく、補助員のサポートも加わる中で着実に事業に関わる人の多様化が進んだ。
令和3年度	本年度は各校の教員補助員(会計年度任用職員)を中心に事業を実施し、足りない分については教員OBや学生にサポートを依頼した。授業の運用や内容については各校に一任していることから、学校により状況が疎らで、成果・実績等が把握しづらい面があるため、次年度以降については運用方法を検討していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	各校の教員補助員を中心に教員OBや学生にサポートを依頼し、学力向上支援スタッフが長期休暇期間中の対応へ新たに参画するなど、多様な人材による事業の充実を図った。授業の運用や内容については各校に一任していることから、実施回数や時間等が学校により疎らであるが、多様な人材が取り組みに参画することで一定の成果は得られているのが現状である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○										
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	会計年度任用職員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	令和2年度より、会計年度任用職員(教員補助員)の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。ただし、学力を示す数値として客観的な指標が出づらいためICT機器を用いた学習環境の構築等と併用していく必要がある。
令和4年度予算に向けて	会計年度任用職員(教員補助員)の業務の中に学力向上フォローアップ事業を盛り込むため従来に比べて費用面は抑えられる。しかし学力の向上が図られたかを示す数値として客観的な分析方法がないため、1人一台パソコンを活用した学習環境の構築等とセットで進めていく必要がある。
令和5年度予算に向けて	GIGAスクール構想の実現により1人1台端末の整備が完了しているため、端末に設定したドリル教材などのソフトウェアを活用するなど新しい学習方法を取り入れながら、積極的に学習を進めていける環境の整備を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度からは、本事業を学校教育事業へ統合し、様々な職種職員の職員が学力の向上に資する取り組みに参画するとともにきめ細かな指導ができる学習指導に係るフォローアップのあり方について、検討を進めていく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ICT環境整備事業			款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小中学校児童 対象物：市内小中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 新学習指導要領に沿った教育環境の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」を3つの柱とし、溢れる情報の中から必要な情報を主体的に選択・活用できる力を身につける。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	70,797,000円	79,521,000円	129,919,587円	142,836,020円	
	決算額[B]	63,485,016円	59,291,079円	120,015,053円	137,705,900円	
	執行率[B]/[A]	89.7%	74.6%	92.4%	96.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	PC教室用パソコン使用料(360台分) 35,986,800円 電子黒板リース料(61台分) 7,119,852円 教師用学習系端末リース料(65台分) 3,989,088円	PC教室用パソコンリース・再リース料(360台分) 29,136,418円 電子黒板リース料(61台分) 9,836,640円 教師用学習系端末リース料(65台分) 3,989,088円	PC教室用パソコン再リース料(360台分) 24,407,689円 電子黒板リース料(114台分) 14,588,640円 教師用学習系端末リース料(65台分) 3,989,088円	PC教室用パソコン再リース料(360台分) 23,785,647円 電子黒板リース料(114台分) 16,964,640円 タブレット端末追加購入費 4,722,300円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	63,485,016円	59,291,079円	120,015,053円	137,705,900円
	財源合計[C](=[B])	63,485,016円	59,291,079円	120,015,053円	137,705,900円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	119,780,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
児童・生徒1人1台ノートパソコンの整備率	児童・生徒1人1台ノートパソコンの整備を行う。	%	目標値	20.0	50.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	20.0	20.0	20.0	100.0	100.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	5	5
平均得点	3.8	3.8	5.0	5.0

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	児童・生徒の教材備品等の整備や新学習指導要領の改正に合わせたICT機器等の整備を進めている。平成30年度までにパソコン教室等へのタブレットの整備、令和元年度には電子黒板の整備をしており、引き続きICT機器の整備・拡大を目指す。
令和2年度	GIGAスクール構想の前倒しにより1人1台タブレット端末を購入し、無線LANに対応するための設定業務委託を次年度への繰越事業として早期の完成を目指す。次年度に全ての普通教室・理科室・パソコン教室へ電子黒板の整備される予定のため、設置された機器をいかに授業の中で有効に活用できるかが課題となっている。
令和3年度	GIGAスクール構想により整備された1人1台タブレット端末については、令和3年度の2学期より本格的な使用を開始したが、現状では学校での活用方法について試行錯誤しながら取り組んでいるところであるため、今後電子黒板やデジタル教科書などの機器類やソフトウェアをどのような形で有効活用できるかが課題となっている。
令和4年度	1人1台端末の持ち帰り学習が本格的に開始できる体制の構築が完了し、持ち帰り等で破損した場合の予備端末の整備など、実施に向けた取り組みを進めているが、その効果的な活用を通じた児童生徒の学びの充実を図る上で教員のICTリテラシーならびにICT活用能力の更なる向上策が喫緊の課題となっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	1人1台端末の持ち帰り学習が本格的に開始できる体制の構築が完了し、持ち帰り等で破損した場合の予備端末の整備など、実施に向けた取り組みを進めているが、その効果的な活用を通じた児童生徒の学びの充実を図る上で教員のICTリテラシーならびにICT活用能力の更なる向上策が喫緊の課題となっている。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	さらなるICT環境の整備											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	電子黒板やタブレットなどのハード面の整備と並行して、ドリル教材やデジタル教科書等のソフト面の整備を実施していく。また、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修やICT機器の準備や操作等、ICT活用技術に知見を有する専門スタッフを配置していく。
令和4年度予算に向けて	ハード面の整備は概ね整っており、学習支援ソフトやデジタル教科書等も令和3年度に導入する予定であるため、前年度に引き続き、ICT機器を積極的に活用できる環境を整えるために教員の負担軽減を考慮した研修などを実施していく。
令和5年度予算に向けて	タブレット端末の持ち帰りを試行的に実施する中で課題等の洗い出しを行い、完全実施ができる体制の構築に向けて準備を進めていく。また市内全小中学校で持ち帰りができる環境が整うことで新たな課題も生じる可能性があるため、スムーズな運用ができるよう俯瞰的な視点で全体を把握しながら情報教育研究委員会と連携しつつ対応を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

デジタル教科書や各種ソフトウェアを活用しながら、授業展開がスムーズに取り組めるよう教育研修センターとの連携による支援策や大学教員等による研修会の実施など教員への支援策を検討していく必要がある。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	教員住宅管理事業		款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細 都留市教員住宅条例、都留市教員住宅条例施行規則					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：教員住宅入居者 対象物：教員住宅		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する教員住宅の適正な管理 経年劣化・老朽化等による修繕、入退去によるリフォーム、住宅設備の保守点検等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 教員住宅入居者の快適な生活		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	970,100円	1,110,100円	1,227,000円	1,444,000円	
	決算額[B]	808,207円	1,000,705円	625,726円	681,357円	
	執行率[B]/[A]	83.3%	90.1%	51.0%	47.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	教員住宅(深田・大幡)修繕 400,000円 浄化槽清掃管理業務委託 75,900円 消防設備保守点検業務委託 83,600円	清掃業務委託(深田・大幡) 226,600円 教員住宅(深田)修繕 123,420円 浄化槽清掃管理業務委託 66,000円	浄化槽清掃業務委託(深田・大幡) 115,500円 教員住宅(深田)修繕 327,140円 消防設備保守点検業務委託 44,000円	浄化槽清掃業務委託(深田・大幡) 121,000円 教員住宅(深田・大幡)修繕 155,100円 消防設備保守点検業務委託 44,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	808,207円	1,000,705円	625,726円	681,357円
		一般財源				
	財源合計[C](=[B])	808,207円	1,000,705円	625,726円	681,357円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,450,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
修繕要望数	入居者が安心して暮らせる施設を提供するための要望に対する対応数	箇所	目標値	4.0	4.0	3.0	3.0	
			実績値	5.0	6.0	5.0	3.0	4.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	4	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	5	5	5	5
平均得点	4.4	4.2	4.4	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	教員住宅は建設からかなりの年数が経っており、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。また、大幡教員住宅については、教員住宅以外の用途の在り方を検討していかなければならない。
令和2年度	企画推進局での審議により大幡教員住宅の存続が決定したため、建築から25年以上経過し経年劣化も散見される状況の教員住宅について、次年度以降に大規模改修を計画的に進めていくことを検討していく必要がある。
令和3年度	教員住宅については、建築から25年以上を経過しており経年劣化による改修が必要な箇所も散見される状況にあるため、大規模改修の実施時期や内容などの方向性について検討していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	深田及び大幡教員住宅については、建築から25年以上が経過しており経年劣化による改修が必要な箇所も散見される状況にあるため、今後の施設のあり方や老朽化対策の方向性について検討していく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持			○			○			○		
	縮小	○										
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	大幡教員住宅について、使用用途の再検討											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	これまで通り適正な管理を行う中で、今後教員住宅の用途を多様化するニーズに合わせて変更をする必要がある。
令和4年度 予算に向けて	深田教員住宅の令和5年度工事に向けて、屋根外壁等改修工事実施設計の予算計上を予定している。
令和5年度 予算に向けて	令和5年度については、深田教員住宅屋根外壁等に係る改修の実施に向けて設計業務も同一年度での対応を予定しているため、実施時期等の検討を行うなどスムーズな対応ができるよう準備を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度の予算編成過程において、今後の教員住宅について検討することとなったため、施設の在り方や老朽化対策について検討を進めていく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校運営協議会設置推進事業		款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 対象者：市内小中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校組織全体の総合力を高める協議会の推進		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内各小学校への運営協議会の設置し、地域と連携した学校運を行う。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算現額[A]	222,000円	222,000円	220,000円	220,000円
	決算額[B]	112,856円	107,950円	90,000円	90,000円
	執行率[B]/[A]	50.8%	48.6%	40.9%	40.9%
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	学校運営協議会報酬 100,000円	学校運営協議会報酬 100,000円	学校運営協議会報酬 90,000円	学校運営協議会報酬 90,000円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他特定財源			
	一般財源	112,856円	107,950円	90,000円	90,000円
	財源合計[C](=[B])	112,856円	107,950円	90,000円	90,000円

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	146,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市内学校運営協議会設置数	市内に学校運営協議会を設置した校数(累計)	校	目標値		3.0	5.0	8.0	11.0
			実績値	1.0	1.0	1.0	1.0	

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

学校運営協議会の設置については、現在旭小学校1校となっており、各学校の考え方や地域の実情により全校設置の目標に対して結果が結びつかない状況にある。今後も引き続き地域と共に学校運営の多様化が求められているため、設置に向けた取り組みを継続する。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	3	3	3	3
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.2	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	本市での設置は、旭小学校のみとなっているが、山梨県全体の設置数も低く、文部科学省の方針により学校運営協議会の設置が努力義務から義務化する可能性もあるため導入計画を立て学校・地域と連携し、順次導入していかなければならない。
令和2年度	現在市内では小学校1校に学校運営協議会が設置され、教育目標や教育課程の編成など協議会の承認を経て学校運営を行っている。今後、学校運営協議会の設置が義務化する可能性もあるため、国の動向等を注視していく必要がある。
令和3年度	現在市内では小学校1校に学校運営協議会が設置され、教育目標や教育課程の編成など協議会の承認を経て学校運営を行っている。今後、学校運営協議会の設置が義務化する可能性もあるため、引き続き国の動向等を注視していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	現在市内では小学校1校に学校運営協議会が設置され、教育目標や教育課程の編成など協議会の承認を経て学校運営を行っている。現在学校運営協議会の設置については努力義務となっているが、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換が図れるよう学校運営に地域の声を積極的に生かすことのできる協議会の設置に向けた取り組みを推進する必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	文科省において、学校運営協議会の設置が推奨・拡大傾向にあるため。委員報酬											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を要請していく。また、すでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
令和4年度 予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を引き続き要請していくとともにすでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。
令和5年度 予算に向けて	学校運営協議会を他学校にも導入するためには、学校と地域の協力が不可欠である。行政での導入計画を明確にしたうえで学校・地域の協力を引き続き要請していくとともにすでに導入済みの学校についても更なる推進をしていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

地域と学校の連携・協働体制の構築を図ることを目的とした学校運営協議会については、令和4年度末で旭小学校が禾生第一小学校と統合することにより設置数が0となる。今後の学校や子どもたちの課題解決の場として、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持つ「当事者」として学校運営に参画し子どもたちの成長を支えることが重要となるため、学校を核とした地域の活性化に寄与する取り組みを検討していく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	適応指導教室事業			款項目	09-01-03	評価責任者	渡邊 一貴
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市適応指導教室設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 不登校児童生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 適応指導教室（スマイル教室）の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充支援や仲間との触れ合いを通じ、再登校への意欲を持たせ学校へ繋げる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	765,835円	1,537,000円	1,358,000円	1,094,869円	
	決算額[B]	708,519円	956,133円	941,734円	659,159円	
	執行率[B]/[A]	92.5%	62.2%	69.3%	60.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	適応指導教室パソコン機器構築委託料 660,000円	パソコン機器等使用料 177,396円 適応指導教室備品購入費 243,430円	学習指導要領改訂に伴う指導用教科書購入 261,542円 パソコン機器等使用料 176,191円 適応指導教室備品購入費 38,280円	パソコン機器等使用料 175,605円 適応指導教室電話等使用料 196,869円 電気料・上下水道料 169,578円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源		210,000円	280,000円	250,000円
		一般財源	708,519円	746,133円	661,734円	409,159円
	財源合計[C](=[B])	708,519円	956,133円	941,734円	659,159円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,133,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校復帰への割合	適応指導教室入室児童生徒が学校へ復帰した割合	%	目標値		0.0	20.0	30.0	40.0
			実績値	0.0	0.0	30.0	43.0	25.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2.3年度については、学校へ復帰した児童生徒の割合が多かったが、年々利用者が増加しており復帰者数は各年度と同水準であるため、結果として復帰割合が減少している。次年度以降も利用者が学校へ復帰しやすい環境づくりを推進していきます。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	4
平均得点	4.4	4.4	4.6	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	県が運営するこすもす教室が撤退するため、令和2年度から市が適応指導教室（スマイル教室）を運営するため、環境整備を行う。また、道志村からの依頼により道志村の不登校児童生徒の受入れを行う見込みである。
令和2年度	県が運営していた「こすもす教室」が令和元年度で終了となったため、令和2年度より市営の適応指導教室「スマイル教室」を不登校児童・生徒の居場所として受入を開始した。不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充援助や仲間との触れ合いを通じ、再登校へ繋げる支援を行っている。
令和3年度	スクールカウンセラーの活用を含めた教育相談体制の充実や専門的な相談・支援を受けていない児童生徒への支援が行き届く体制づくりを図るとともに、通室の際には担任等が訪問し直接指導できる機会を設けるなど、不登校児童生徒と学校が関わりを持ち続けられるような体制づくりを検討していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	教育的支援と心理的支援の両面が必要な児童生徒が増加しており、不登校問題に限定せず、学校不適応問題への解決の支援も必要となっている。現在行われている教育的支援以外に心理的支援の役割の充実や支援対象を児童とその家族だけでなく学校の担任と所属する学校自体への支援体制の構築も必要となっている。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	不登校児童生徒が低年齢化するなかで、市独自で運営することにより対象児童の年齢を下げた対応が可能となった。今後は、不登校児童生徒が増えている状況のなかで、一人でも多くの児童生徒が再登校できるよう支援に努める。
令和4年度 予算に向けて	市教育研修センターや県に配置されているチーフスクールカウンセラーと連携しながら、様々な事案に対応できる体制の構築を進めるとともに一人でも多くの児童生徒が再登校へと繋がる支援に努めていく。
令和5年度 予算に向けて	市教育研修センターや県に配置されているチーフスクールカウンセラーと連携しながら、様々な事案に対応できる体制の構築を進めるとともに一人でも多くの児童生徒が再登校へと繋がるよう支援を継続していく。またタブレット端末を活用してのドリル学習など十分な学習機会の確保に向けて検討するとともに学校も関わりを持ち続けられるような体制づくりの構築に努めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

時代に即した子どものニーズにあった組織づくりや指導方法の構築を進めるとともに不登校問題だけの活動に限定せず、学校不適応問題への解決支援を新たな対象課題として対応する必要がある。教育的支援と心理的支援の役割を並行して対応することにより、心理的な課題と登校や受験などの現実的な課題に対応できるため、指導主事や心理相談員などの専門職の力が重要となる。特に指導主事の役割が非常に重要であり、不登校児童生徒が再登校する際に学校の中に居場所を用意したり、進路指導など対象者と学校を繋ぐ非常に重要なポジションとなるため、多様な支援が行える体制の構築が求められている。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	小学校管理事業（学校教育課分）		款項目	09-02-01	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内小学校児童 対象物：市内小学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の共有する小学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 小学校児童の快適な学校生活		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	342,965,000円	148,993,790円	93,119,890円	76,871,000円	
	決算額[B]	326,847,332円	144,059,515円	85,210,416円	72,625,986円	
	執行率[B]/[A]	95.3%	96.7%	91.5%	94.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	電気料・上下水道料 30,952,834円 谷村第二小学校に係る土地購入費5,970,000円 スクールバス運行業務委託 14,348,760円	電気料・上下水道料 24,097,416円 ネットワーク分離構築（強靱化）9,039,800円 スクールバス運行業務委託 15,204,420円	電気料上下水道料30,887,333円 附属小排水路新設工事 4,442,900円 スクールバス運行業務委託 16,524,585円	電気料・上下水道料 36,500,906円 スクールバス運行業務委託 20,339,550円	
	財源内訳	国庫支出金	38,258,000円		266,000円	
		県支出金	317,192円			
		地方債				
		その他特定財源	697,560円	739,268円	6,363,558円	481,258円
		一般財源	287,574,580円	143,320,247円	78,580,858円	72,144,728円
	財源合計[C](=[B])	326,847,332円	144,059,515円	85,210,416円	72,625,986円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	85,897,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
小学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	2.0	3.0	4.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和4年度までは学校校舎や体育館の非構造部材に係る工事及び避難所として活用させる体育館のLED化やトイレの改修を優先して実施したため、校舎のトイレ改修が令和5年度からの実施となった。今後については、小中学校の校舎トイレの改修を中心に進めていく予定であるため、徐々に改善が図られることが見込まれている。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.6	3.6	3.8	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、児童が安心して安全な教育環境整備に努める。
令和2年度	各学校の老朽化が年々進んでいる中で限られた予算の範囲内で修繕に取り組んでいるが、経年劣化による対応箇所を学校からの施設修繕や施設改修の要望について状況を確認し、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。
令和3年度	経年劣化による施設の修繕や改修については、各学校からの要望を確認する中で、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。また令和4年度より東桂小学校及び禾生第一小学校の校舎トイレの改修設計を予定しており、老朽化の状況を踏まえた上で優先順位を決めながら検討する。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	経年劣化による施設の修繕や改修については、各学校からの要望を確認する中で、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。なお令和4年度に東桂小学校及び禾生第一中学校のトイレ改修に係る設計業務が完了したため、令和5年度より校舎のトイレ改修工事実施していく予定となっている。その他の学校についても各学校からの要望を確認する中で老朽化の状況を踏まえた上で計画的に改修工事を進めていく。
-------	--

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき予算との整合性を調整しつつ計画的な改修をしていく。
令和4年度 予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で改修する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
令和5年度 予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で優先順位の高い箇所から順次行うとともに費用負担の平準化を図りながらバランスよく計画的な事業実施に向けて対応を検討していく。また令和4年度に東桂小学校・禾生第一小学校におけるトイレ改修工事の詳細設計を行う中で次年度に改修工事が実施できるよう準備を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度以降は、小中学校の非構造部材の改修工事が完了したため、トイレ改修を中心に校舎の改修工事を実施していく予定となっている。計画期間については、長期総合計画実施計画で決定された計画に基づいて特定財源を取り入れながら順次改修工事を進めていく予定となっている。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	中学校管理事業（学校教育課分）		款項目	09-03-01	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当	記入者	石原 優一
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	教育基本法及び学校教育法		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 対象者：市内中学校生徒 対象物：市内中学校		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市の所有する中学校の適正な管理 経年劣化・老朽化による修繕、設備の保守点検等		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 中学校生徒の快適な学校生活		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	160,364,000円	84,760,000円	70,926,000円	53,937,000円	
	決算額[B]	154,126,072円	72,154,844円	63,105,884円	47,051,828円	
	執行率[B]/[A]	96.1%	85.1%	89.0%	87.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	都留第二中学校電車通学定期 使用料4,020,340円 スクールバス運行業務委託 20,996,540円 電気料・上下水道料 15,296,863円	都留第二中学校電車通学定期 使用料3,718,120円 スクールバス運行業務委託 20,826,960円 電気料・上下水道料 10,603,239円	スクールバス運行業務委託 20,826,960円 学習指導要領改訂に伴う指導 用教科書購入 12,884,881円 電気料・上下水道料 11,690,461円	都留第二中学校電車通学定期 使用料4,356,300円 スクールバス運行業務委託 21,265,200円 電気料・上下水道料 14,325,780円	
	財源内訳	国庫支出金	14,351,000円	11,029,000円	11,697,000円	11,390,000円
		県支出金	260,947円	37,000円	87,000円	206,000円
		地方債				
		その他特定財源	1,660,650円	1,669,422円	1,718,174円	1,583,877円
		一般財源	137,853,475円	59,419,422円	49,603,710円	33,871,951円
	財源合計[C](=[B])	154,126,072円	72,154,844円	63,105,884円	47,051,828円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	49,718,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
中学校トイレ洋式化及び乾式化	トイレの洋式化及び乾式化して整備された校数（累計）	校	目標値		1.0	1.0	2.0	2.0
			実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和4年度までは学校校舎や体育館の非構造部材に係る工事及び避難所として活用させる体育館のLED化やトイレの改修を優先して実施したため、校舎のトイレ改修が令和5年度からの実施となった。今後については、小中学校の校舎トイレの改修を中心に進めていく予定であるため、徐々に改善が図られることが見込まれている。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.6	3.8	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	学校要望における施設修繕や施設改修について状況を確認し、適切な手配を進めている。
令和2年度	各学校の老朽化が年々進んでいる中で限られた予算の範囲内で修繕に取り組んでいるが、経年劣化による対応箇所を学校からの施設修繕や施設改修の要望について状況を確認し、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、児童の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。
令和3年度	経年劣化による施設の修繕や改修については、各学校からの要望を確認する中で、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、生徒の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。また令和4年度より校舎トイレの老朽化の状況を踏まえた上で優先順位を決めながら改修に向けた対応方法を検討していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	経年劣化による施設の修繕や改修については、各学校からの要望を確認する中で、優先順位の高い箇所から順次対応を行うなど、生徒の安全・安心が確保される教育環境整備に努めている。なお令和4年度に小学校を先行して設計を行ったため、令和5年度以降に中学校についても各学校からの要望を確認する中で老朽化の状況を踏まえた上で計画的に改修工事を進めていく。
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき予算との整合性を調整しつつ計画的な改修をしていく。
令和4年度 予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で改修する部分の優先順位の明確化と費用負担の平準化をバランスよく組み込みながら計画的な改修及び修繕を進めていく。
令和5年度 予算に向けて	長期総合計画実施計画と長寿命化計画との整合性を図る中で優先順位の高い箇所から順次行くとともに費用負担の平準化を図りながらバランスよく計画的な事業実施に向けて対応を検討していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

令和5年度以降は、小中学校の非構造部材の改修工事が完了したため、トイレ改修を中心に校舎の改修工事を実施していく予定となっている。計画期間については、長期総合計画実施計画で決定された計画に基づいて特定財源を取り入れながら順次改修工事を進めていく予定となっている。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食運営事業			款項目	09-07-01	評価責任者	渡邊 一貴
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	給食センター	記入者	藤江 耕正
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 市内小中学校、児童生徒		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か、どのようなサービスを提供する事業か。 市内小中学校に統一献立・共同物質による共同調理場及び単独調理場方式による給食の提供		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	74,692,000円	84,586,000円	80,888,000円	194,454,000円	
	決算額[B]	68,132,200円	72,604,816円	75,231,185円	187,294,065円	
	執行率[B]/[A]	91.2%	85.8%	93.0%	96.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3～5つ)	各種消耗品 8,083,775円 修繕費5,87,870円、委託料 21,439,998円、備品購入費 1,378,080円	各種消耗品 8,278,787円 修繕費 10,316,534円 委託料 21,528,636円 備品購入費 1,703,781円	各種消耗品 7,932,861円 修繕費 5,788,242円 委託料 23,518,580円 備品購入費 1,230,900円	賄材料費 125,154,201円 扶助費 9,563,390円 委託料 9,793,864円 消耗品 8,496,893円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	986,850円	986,788円	3,951,000円	125,154,201円
		一般財源	67,145,350円	71,618,028円	71,280,185円	62,139,864円
	財源合計[C](=[B])	68,132,200円	72,604,816円	75,231,185円	187,294,065円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	169,463,000	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
学校給食地場産物の使用	学校給食地産地消の推進	%	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0
			実績値	12.6	12.9	9.9	10.7	11.6

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

調理員の人材不足により、じゃがいも等手の掛かる材料が使えなかった。生産者が高齢化により収穫量減っていることと、生産時期が夏休みなど使用時期が合わなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.6	3.6	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	機械設備の経年劣化に伴い、長期計画に盛り込み更新や修繕を実施し計画していく。また、センターの機械設備は特注品であり、躯体に対する付属部品の劣化等の点検を行い、長寿命化を図っていく。
令和2年度	機械設備の経年劣化に伴い、設備の修繕については長期的な計画に盛り込むなど給食調理業務等に支障が発生しないよう進めていく。また、センターの機械設備は特注品であるため、早めの部品交換などを定期的に行い、本体の故障に繋がらないようメンテナンスの強化を図っていく。
令和3年度	機械設備の経年劣化に伴い、設備の修繕等については長期的な計画に盛り込むなど、給食調理業務等に支障が発生しないよう進めて行く。また、センターの機械設備は特注品であるため、施設設備の点検、早めの部品交換などを定期的に行い、本体の故障に繋がらないようメンテナンスの強化を図っていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	給食センターの機械設備が10年を経過したことから、部品交換等のメンテナンスが増加してきている。また、禾生第二小学校の調理室については、排水の問題等があり、今後、単独校として設備整備していくのか、センターに統合するのか、方向性を検討していく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	これまでの安心安全を継続しつつ、経費削減を図ることを目的として事業の成果を上げて行く。
令和4年度 予算に向けて	給食費の管理を公会計へ移行することにより、教職員の多忙化の解消や負担軽減が図られ、児童生徒に寄り添う時間の確保が教育の改善へと繋がっていく事が期待されている。令和3年度中に公会計化に必要なシステム構築や各種手続き、例規整備等を確実にし、スムーズに公会計化が図られるよう準備を進める。
令和5年度 予算に向けて	機械設備のメンテナンスを強化し、設備については出来るだけ長く使い、経費の増加を抑える。また、給食が安定的に提供できるよう調理業務の民間委託化に向け、各種手続きを進めて行く。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

給食の安定供給の取組として令和5年度より調理・配送業務を民間委託化。民間事業者の専門性と高い技術により、アレルギー食への対応など図り、安全・安心な給食を提供する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	学校給食調理等委託事業		款項目	09-07-01	評価責任者	渡邊 一貴	
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課	担当	給食センター	記入者	藤江 耕正
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	学校教育法、学校給食法		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	2	生きる力を育む学校教育のまちづくり
	施策	1	★確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 都留市小中学校給食会		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市内小中学校の統一献立、共同物資による給食調理の運営		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 給食を安心・安全に提供することとし、身体の発育期にある児童生徒に対し、栄養バランスの取れた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	70,662,000円	71,509,000円	63,869,000円	77,185,000円	
	決算額[B]	64,983,035円	59,738,630円	61,782,092円	71,286,214円	
	執行率[B]/[A]	92.0%	83.5%	96.7%	92.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	調理従事者の給与及び賃金 58,512,008円 給食運営費 1,012,377円 給食用食材費 1,695,591円	調理従事者の給与及び賃金 54,784,521円 給食運営費 981,950円 給食用食材費 1,797,353円	調理従事者の給与及び賃金 58,249,672円 給食運営費 964,579円 給食用食材費 2,022,240円	給食会委託料 57,138,014円 配送委託料 13,980,000円 給食会退職金 7,951,155円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	64,983,035円	59,738,630円	61,782,092円	71,286,214円
	財源合計[C](=[B])	64,983,035円	59,738,630円	61,782,092円	71,286,214円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
調理従事者	就業規則に沿った調理従事者の雇用(累計)	人	目標値		28.0	28.0	28.0	28.0
			実績値	30.0	28.0	24.0	27.0	20.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

あらゆる手段を使い調理員の確保を試みたが、目標値を達成できなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	小俣 秀樹 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	高山 竜一 <input checked="" type="checkbox"/>	渡邊 一貴 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.6	3.6	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	調理員の人手不足に伴い、今後の学校給食提供に不安定な要素が見られる。引き続き調理員確保を重視した中で、専門性を有する民間事業者への委託などの検討が必要と考えられる。
令和2年度	調理員の人手不足による学校給食提供体制に不安定な要素が見られるため、引き続き調理員確保を重点的に進めていく中で、今後の給食提供体制のあり方について、民間のノウハウの導入等も含めて検討していく必要がある。
令和3年度	栄養士・調理員が不足しているため学校給食提供体制に不安定な要素が見られる。引き続き栄養士・調理員の確保を重点的に進めていく中で、今後の給食提供体制のあり方について、民間委託等の導入も併せて検討していく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	調理員の人手不足による学校給食提供体制に不安定な要素が多々見られる。いろいろな方法を活用し調理員を確保することが喫緊の課題である。令和5年度においては民間委託することが最善の方法であるとの認識の中で準備を早急に行う。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大								○			
	維持	○			○						○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)							学校給食調理及び配送等業務委託					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の現状を踏まえ、調理員の待遇及び予算の見直し等を行っていく。また、令和4年度の公会計化に向け準備を進めていく。
令和4年度 予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、調理員の退職や欠員の確保を図り、今後近隣市町村の状況を踏まえ、調理員の待遇や運営の方法など今後の方向性について総合的に検討を進めていく。
令和5年度 予算に向けて	これまでと同様に安心安全でおいしい給食を提供していくため、栄養士・調理員の確保を図って行くが、人材不足が続いているため、学校給食の民間委託に向けた準備を行う。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

給食の安定供給の取組として令和5年度より調理・配送業務を民間委託化。市内小中学校の統一献立、共同物資による給食調理の運営により、安全・安心な給食を提供する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	成人式開催事業			款項目	09-05-01	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 20歳になった新成人		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 新成人を祝い励ます成人式式典を挙げる。		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 新成人が大人としての自覚を持ち、次代の担い手として社会に貢献する意識の高揚を図ることを目的とする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	494,000円	533,000円	557,000円	520,000円	
	決算額[B]	380,781円	394,886円	296,060円	408,203円	
	執行率[B]/[A]	77.1%	74.1%	53.2%	78.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・司会者等への謝礼 50,000円 ・新成人への記念品 211,750円 ・会場周辺警備委託料 39,600円	・司会者謝礼 20,000円 ・新成人への記念品 267,575円 ・会場周辺警備委託料 41,250円	・司会者謝礼 20,000円 ・新成人への記念品 161,260円 ・会場周辺警備委託料 41,250円	・司会者・出演者への謝礼 50,000円 ・新成人への記念品 221,100円 ・会場周辺警備委託料 42,900円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	380,781円	394,886円	296,060円	408,203円
	財源合計[C](=[B])	380,781円	394,886円	296,060円	408,203円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	528,000	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
式典出席率	都留市に住居登録している新成人の式典出席率(住居登録している出席者/11.1現在の対象者)	%	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	
			実績値	43.0	44.9	35.4	41.9	34.2

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行により出席者が減少したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

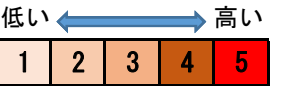
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.8	4.0	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	例年並みの予算で、トラブルもなく厳粛な式典が挙行できた。会場周辺の交通整理や駐車場の誘導、雪が降った場合の対応などが課題である。出席率は県内他市町村と比較して低く見えるが、対象者に多く含まれている都留文科大学生が地元の成人式に出席していることを考慮すれば、妥当な数字と言える。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、成人式式典開催の可否について慎重に判断し、人数制限や式典時間の短縮、3密の回避、式典後の多人数での集まりや会食を控えるよう呼びかけるなどの感染防止対策を講じて開催した。出席者の減少については、首都圏に緊急事態宣言が発出されている最中であり、やむを得ないものとする。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、昨年同様の感染防止対策に加えて、県からの要請により、出席者全員に抗原定性検査を実施し、陰性が確認された者のみ出席を可として開催し、出席者数は例年並みであった。成人式後の時期に感染者数が急増したが、式典後の集まりや会食は自粛の呼びかけしか方法がなく、対策が困難である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和4年度は時期的に新型コロナウイルス感染症の第8波のピークであったため、特に出席者が少なかったと考えられる。今後、感染症が収束に向かえば、人数制限などをなくして通常開催に戻していく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	厳粛な式典を行うため、酒類や旗等の持ち込みをしないよう立て看板などで注意を促すほか、警察へ会場周辺のパトロール強化を依頼する。また、駐車場の整理・誘導を担当する職員の事前打ち合わせを綿密に行う。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、当面は式典の規模を縮小して実施せざるを得ないとする。令和2年度は、会場入口付近が混雑したり、式典終了後に成人者が外で多人数で集まってしまう状況が見られたので、今後は誘導係を増員するなど、密を避ける対策を工夫していく。
令和5年度 予算に向けて	引き続き感染防止対策をしながら、規模を縮小して実施せざるを得ないとする。式典自体は問題ないが、終了後に外で長時間密集していた状況があったので、予め施設閉鎖時間を周知するなどの工夫をしていく。令和4年度から成年年齢が18歳に引き下げられるが、式典は20歳を対象に行うこととしており、対象者への周知を図っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催となっていたが、安全・安心に配慮しながら徐々に通常開催に戻し、出席者が多くの方に祝福・激励される中で、大人としての自覚を持つことのできる式典となるよう工夫していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	青少年健全育成事業（のびのび興譲館事業）			款項目	09-05-05	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	平成13年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 小学4年生から中学3年生で、活動日数の2分の1以上参加できる者		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 異年齢集団の中で、1年間を通して自然体験・社会体験などの体験活動を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 仲間づくりを行い、友愛の心・自立の心・郷土愛の心などを育み、協調性や忍耐、思いやりの心を養い、地域の中でリーダーシップがとれる青少年を育成する。		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,453,000円	1,366,000円	1,449,000円	2,626,000円	
	決算額[B]	870,738円	566,045円	564,426円	1,821,893円	
	執行率[B]/[A]	59.9%	41.4%	39.0%	69.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	自然、フィッシング、クッキング、発明クラブ、アートの5塾と全体キャンプ ・指導員謝金 297,000円 ・活動消耗品 220,720円 ・施設使用料等 190,494円	自然、フィッシング、クッキング、発明クラブ、アートの5塾と全体キャンプ ・指導員謝金 207,000円 ・活動消耗品 165,323円 ・保険加入料 80,050円	自然、フィッシング、クッキング、発明クラブ、アートの5塾と全体キャンプ ・指導員謝金 138,000円 ・活動消耗品 129,000円 ・施設使用料等 193,300円	自然、フィッシング、クッキング、発明クラブ、アートの6塾と全体キャンプ ・指導員謝金 183,000円 ・活動消耗品 255,535円 ・スポーツ委託料 924,000円 ・施設使用料等 188,514円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	267,300円	145,600円	176,300円	238,300円
		一般財源	603,438円	420,445円	388,126円	1,583,593円
	財源合計[C](=[B])	870,738円	566,045円	564,426円	1,821,893円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,491,780	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
のびのび興譲館塾生の修了率	全塾生のうち、各塾の活動日数の2分の1以上出席した塾生の割合	%	目標値		84.0	85.0	86.0	86.7
			実績値	80.0	83.3	93.8	94.6	84.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら計画した活動のほぼ全てを実施したが、その時の感染拡大状況により、活動への参加を控える塾生がいたため。

■全内容チェック（確認者：課長）

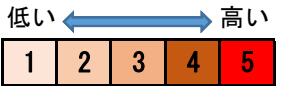
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	3
平均得点	4.6	4.6	4.6	4.4

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	限られた予算内で様々な体験活動が行えるよう、各塾の指導員が工夫を凝らしており、参加した塾生の満足度は概ね高い。定員に満たない塾もあるが、児童生徒数の減少や、土日にスポ少や習い事がある子どもが増えていることも要因と考えられる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っている宿泊を伴う活動やバス移動のある活動ができなかったりするなど活動内容に制限があったものの、塾生の出席率は非常に高かった。外出の機会やイベントなどが制限される中、のびのび興譲館の活動が子どもたちにとって貴重な体験や交流の場になっていたことが伺える。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動を中止せざるを得ない時期があり、塾によっては計画したうちの半分程度しか実施できなかったが、塾生の出席率は高く、のびのび興譲館の活動が必要とされていると感じる。今後も感染防止対策を講じながら、できるだけ子どもたちの体験活動や交流の場を確保していく工夫が必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、計画したほぼ全ての活動を実施できた。塾生の修了率は僅かに目標値に届かなかったが、塾生・保護者アンケートの回答からも、のびのび興譲館の活動が必要とされていると感じる。これまでジュニアリーダーの育成につながる活動を行う塾が少なかったが、今年度新設した「Newスポーツ塾」では探求型的手法を取り入れた活動を行い、塾生の主体性やコミュニケーション力、リーダーシップの向上が見られるなど、本事業の目的にかなった成果が見られた。
-------	---

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大											○	
維持		○			○						○	
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)										・スポーツ塾講座企画運営業務委託料		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	各塾の活動内容の広報を積極的に行い、参加者の増加に努める。アンケートにより塾生や保護者のニーズを把握し、各塾の活動内容の見直し・充実を随時行う。また、事業の目的である子どもたちの健やかな成長とジュニアリーダーの育成に合致した、新たな塾の創設も検討していく。
令和4年度 予算に向けて	コロナ禍にあっても、子どもたちの体験活動や交流の機会が奪われることのないよう、参加塾生の健康と安全を第一に考えながら、活動内容を工夫していく。塾生アンケートを踏まえ、新たな塾の創設も視野に検討していく。
令和5年度 予算に向けて	塾生アンケートでスポーツなど体を動かす活動をしたいとの希望があったことや、令和3年10月から地域活性化起業人制度によりスポーツ振興担当へ民間企業の社員が派遣されていることから、この制度を活用して新たに「スポーツ塾」を開設することとし、令和4年度当初予算に必要な経費を計上した。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

1年間を通じた自然体験・社会体験などの体験活動や異年齢の子どもたちとの交流を通して、友愛の心・自立の心・郷土愛の心などを育み、地域の中でリーダーシップのとれる青少年を育成する。Newスポーツ塾のような外部人材の活用を他の塾においても取り入れることが可能か検討していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	放課後子ども教室事業			款項目	09-05-05	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当	記入者	有賀ひとみ
会計	一般会計	事業開始年度	平成16年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	1	地域の中で子どもが健やかに育つまちづくり
	施策	1	★地域における子育て支援の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 全ての就学児童		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 地域の方々や大学生の参画を得て、遊びやスポーツ、農業、ものづくり、料理などの体験活動を行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 子どもたちが放課後や週末を安全・安心に過ごすことができ、地域の中で多様な体験活動や交流活動を通して健やかに成長することを目的とする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	4,752,000円	8,109,326円	8,485,000円	8,523,000円	
	決算額[B]	4,440,887円	7,511,424円	8,020,915円	8,003,890円	
	執行率[B]/[A]	93.5%	92.6%	94.5%	93.9%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・コーディネーター謝金 2,741,760円 ・指導員謝金 765,240円 ・活動消耗品 481,308円	・コーディネーター報酬 4,590,324円 ・子ども協育連絡協議会委員謝金 48,000円 ・放課後子ども教室事業補助金 1,175,882円	・コーディネーター報酬 4,612,620円 ・子ども協育連絡協議会委員謝金 75,000円 ・放課後子ども教室事業補助金 1,311,683円	・コーディネーター報酬 4,705,438円 ・子ども協育連絡協議会委員謝金 66,000円 ・放課後子ども教室事業補助金 1,384,180円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	2,314,000円	2,439,000円	2,644,000円	2,698,000円
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,126,887円	5,072,424円	5,376,915円	5,305,890円
	財源合計[C](=[B])	4,440,887円	7,511,424円	8,020,915円	8,003,890円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	9,034,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
「放課後子ども教室」指導者数	指導員やボランティアとして「放課後子ども教室」の活動に関わった大人の延べ人数(学生を含む)	人	目標値		1680.0	1764.0	1852.0	1944.0
			実績値	1538.0	1773.0	618.0	1267.0	1460.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行により中止となった活動が多かったため。更に、指導員の多くが重症化リスクの高い高齢者であり活動への協力依頼ができず、また学生が大学の指導により学外活動を控える傾向にあったため。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.6	3.8	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域協働のまちづくり推進会や都留文科大学生の協力を得ながら、6小学校区で放課後児童クラブと連携した放課後子ども教室を実施し、多様な体験活動を行った。活動に継続して携わっていただける地域の指導員や学生スタッフの確保が課題である。また、現在子ども教室が開設されていない小学校区が2校ある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの活動が困難であったが、子ども教室のガイドラインを作成し、これに沿ってできる範囲の活動を実施した。地域の指導員は感染リスクの高い高齢者が多いため、協力を依頼することが難しく、また、大学生も学外活動を控える傾向があったため、指導員の確保が困難であった。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動を中止せざるを得ない時期があったが、子ども教室のガイドラインに沿って、人数制限等の感染防止対策をしつつ、できる範囲の活動を実施した。地域の指導員の参加・協力も、コロナ禍以前ほどではないが昨年度よりは増加し、地域の方と子どもたちとの交流活動が実施できた。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった活動もあったが、子ども教室のガイドラインに沿って、人数制限等の感染防止対策をしつつ活動を実施した。地域の指導員や大学生の参加・協力も、目標値には届かなかったが昨年度よりは増加し、地域の方と子どもたちとの交流活動が実施できた。どの地域も指導員の高齢化が進んでおり、新たな指導員を発掘していくことが活動を継続するための課題である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○			○			○			○
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	・コーディネーター報酬 ・放課後子ども教室事業補助金 など			・コーディネーター報酬 ・放課後子ども教室事業補助金 など			・コーディネーター報酬 ・放課後子ども教室事業補助金 など			・コーディネーター報酬 ・放課後子ども教室事業補助金 など		

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	全ての就学児童を対象とした事業であり、現在子ども教室を開設していない2小学校区についても、順次開設を目指していく。そのためには地域の理解と協力が必須であるため、地域協働のまちづくり推進会へ子ども教室事業についての説明を行い、地域の実情を把握しながら、実現可能性について検討していく。
令和4年度 予算に向けて	全ての就学児童を対象とした事業であり、現在子ども教室を開設していない2小学校区についても、順次開設を目指していく。そのためには地域の理解と協力が必須であるため、地域協働のまちづくり推進会へ子ども教室事業についての説明を行い、地域の実情を把握しながら、実現可能性について検討していく。
令和5年度 予算に向けて	全ての就学児童を対象とした事業であり、現在子ども教室を開設していない2小学校区についても、順次開設を目指していく。そのためには地域の理解と協力が必須であるため、地域協働のまちづくり推進会へ子ども教室事業についての説明を行い、地域の実情を把握しながら、実現可能性について検討していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

引き続き、地域の方々や大学生の参画を得て、遊びやスポーツ、農業、ものづくり、料理などの体験活動を行う。全ての就学児童を対象とした事業であるが、現在、谷一小・附属小学校区が子ども教室未開設である。両小学校区において令和6年度の開設を目指し、谷村、開地の地域協働のまちづくり推進会へ本事業についての説明を行い、協働のまちづくりの事業として実施していただけるよう協力を依頼していく(令和5年3月中に説明を行う予定)。令和5年度上半期中にそれぞれの地域で実施場所や活動内容の検討、指導員として協力いただける地域の人材確保について検討する。令和5年度下半期中には、それぞれ実行委員会を立ち上げるとともに、両地域を担当するプレコーディネーターを確保し、具体的な活動の計画を立てていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	増田誠大賞公募展開催事業			款項目	09-05-06	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 一般市民、美術愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 郷土の画家 増田誠を広く周知し、芸術文化の振興を図る。 自ら絵画を作成するきっかけとなる絵画コンテストを開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 芸術文化の振興に務める。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	267,000円	233,000円	224,000円	227,580円	
	決算額[B]	180,323円	174,130円	180,277円	225,574円	
	執行率[B]/[A]	67.5%	74.7%	80.5%	99.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	審査員謝礼・入賞者賞賜金：45千円 入賞者記念桶・参加賞購入：102千円 チラシ印刷：43千円	審査員謝礼・入賞者賞賜金：45千円 入賞者記念桶・参加賞購入：87千円 チラシ印刷：33千円	審査員謝礼・入賞者賞賜金：35千円 入賞者記念桶・参加賞購入：86千円 チラシ印刷：33千円	審査員謝礼・入賞者賞賜金：35千円 入賞者記念桶・参加賞購入：113千円 チラシ印刷：38千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	180,323円	174,130円	180,277円	225,574円
	財源合計[C](=[B])	180,323円	174,130円	180,277円	225,574円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	260,700	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
大賞展出品件数	公募展への出品点数（一般の部、小中学生の部）	点	目標値		260.0	262.0	264.0	266.0
			実績値	256.0	271.0	373.0	445.0	675.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	3
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.0	4.0	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	小・中学生の応募者数が減少傾向にある。学校のヒアリングでは賞金よりも参加賞の方が子どもが申込み意欲が増すという回答が複数の教員からあった。
令和2年度	募集方法の周知について、チラシの方法以外にも新規にホームページ等を追加したことにより、公募展への出品点数の増加へとつながった。
令和3年度	全体の出品数が増加しているが、小中学生の部の出品数が伸びているのに対して、一般の部の出品数は横這いとなっている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	小中学生の部、一般の部ともに出品数は増加しており、特にホームページ等による告知を行って以降は県外からの出品が増加している。今後この傾向を維持できるように、出品地域の広がりに対応していきたい。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	令和元年度からは入賞者への賞金は一般の部のみとし、小中学生の部の出品者に対しては参加賞を用意した。チラシの配布先を増やしたりSNSなどインターネット上でのPRを推進する。
令和4年度 予算に向けて	引き続き、チラシの配布先を増やしたり（書店・画材店など）、SNSなどインターネット上でのPRを推進することにより、公募展への出品点数の増加に努めていく。
令和5年度 予算に向けて	全体の出品数は増加しているが、一般の部の出品数は横這いが続いているため、出品数増加を目指して、継続的に、SNSなどインターネット上でのPRを推進し、告知を図っていくとともに、小中学校等に広くこうした場を活用できるようにPRしていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

中期期間中は新型コロナウイルス感染症の影響も多少あると思うが、目標値を上回る出品が見られた。広告宣伝効果もあるが、各小中学校からの出品やこれまでの参加者が継続して出品するなど、絵画を通じた教育普及や、絵画をよりどころとするユーザーが募集しやすい体制を構築している点があり、そうした仕組みについては今後も継続していきたい。また、審査員の高齢化など、運営側の体制については課題があるため、描き手だけでなく、審査員の育成や発掘なども今後は行っていく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	芭蕉の里づくり事業			款項目	09-05-06	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成4年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 一般市民、全国俳句愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 都留市ふれあい全国俳句大会を開催し、全国各地の俳句愛好家が俳句を通じてふれあう機会を提供する。高校生・大学生部門を設け、若年層の掘り起こしと全国へ都留文科大学のPRを行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 俳句大会を通じて、俳句の振興を図るとともに、都留市が松尾芭蕉ゆかりの地であることを全国にアピールし、俳句大会だけでなく、まちづくりにも活かせるよう芭蕉の里づくりを推進する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,035,349円	3,185,000円	2,903,620円	3,194,426円	
	決算額[B]	2,897,629円	2,248,910円	2,148,537円	2,691,490円	
	執行率[B]/[A]	95.5%	70.6%	74.0%	84.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	賞金：365千円 応募句選者謝礼：1,060千円 記念講演謝礼：250千円 入賞記念品：164千円 作品集印刷：358千円 投句用紙印刷：154千円	賞金：214千円 応募句選者謝礼：1,060千円 入賞記念品：214千円 作品集印刷：337千円 投句用紙印刷：148千円	賞金：176千円 応募句選者謝礼：1,080千円 入賞記念品：95千円 作品集印刷：329千円 投句用紙印刷：148千円	賞金：270千円 応募句選者謝礼：840千円 選者・講演講師等謝礼：490千円 作品集印刷：378千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	871,000円	963,000円	1,062,000円	1,012,000円
		一般財源	2,026,629円	1,285,910円	1,086,537円	1,679,490円
	財源合計[C](=[B])	2,897,629円	2,248,910円	2,148,537円	2,691,490円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,334,103	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
応募作品の部投句数	一般部門、高校生・大学生部門の投句数を合計（年間）したもの	句	目標値		4050.0	4060.0	4070.0	4080.0
			実績値	4025.0	4642.0	4146.0	4871.0	6372.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

--	--	--	--	--	--	--	--	--

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	3
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	俳句大会の一般部門については参加者の年齢層が上がり、リタイアしていくのに反比例して、新規の参加者が増えていない。高校・大学生の部では応募する学校数が増えているのに参加者数が減少していることから、リピーターがつかないことも考えられる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度の大会は中止とした。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等を想定した大会運営が求められる。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年度も大会中止となった。応募句の部においては一般部門及び高校・大学生部門のいずれも投句数が増加した。来年度以降の大会開催について、コロナ禍に対応した運営方法について検討する必要があると思われる。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ禍の落ち着いたに伴い、感染対策を行った上で3年ぶりに大会を実施した。出席者を限定したため当日の参加者数は少なかったが、応募句の部への投句は一般部門及び高校・大学部門ともに3,000句を上回った。コロナ禍による巣ごもり需要が影響している可能性があるが、今後もこの傾向を維持できるよう大会の周知を含めた運営の検討を続けていきたい。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○				○		○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	第30回都留市ふれあい全国俳句大会（記念大会）											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	大会当日の運営の中心であった都留市俳句連盟の会員数減少と高齢化に伴い、学生アルバイトの人員を増やすなど、大会運営方法の検討をする必要がある。県内外へのPR活動を進め、投句数の増加に努める。また、大学生の投句が少ないため、大学への広報を重点的に行い、SNSでもPRも推進する。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者等が室内でもできる趣味として俳句に興味を持っていただけるような普及・啓発活動を行い、継続して県内外へのPR活動を進め、投句数の増加に努める。
令和5年度 予算に向けて	令和5年度は、記念すべき第30回都留市ふれあい全国俳句大会となる。記念大会として、一層の大会内容の充実を図るため、実行委員会をはじめ、関係者との協議を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

<p>中期期間中は新型コロナウイルス感染症の影響も多少あると思うが、目標値を上回る出品が見られた。また、当日句の取り組みは他のイベントにはあまり例のない取り組みであり、参加者の創作意欲を喚起するものとなっており、今後も継続していきたい。しかしながら、実行委員会の高齢化により、実質イベントは事務局がメインとなって動くものとなっている。俳句大会実行委員会だけでなく、都留文科大学や興譲館高校など、若い世代の担い手の育成を課題として検討していく必要がある。</p>
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	文化財保護事業			款項目	09-05-07	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	文化財保護法、都留市文化財保護条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 埋蔵文化財の調査、文化財の調査・研究・指定、指定文化財の保存・活用 文化財保護のための補助		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,687,088円	5,207,670円	10,205,000円	4,866,579円	
	決算額[B]	874,599円	2,396,947円	9,804,720円	4,857,937円	
	執行率[B]/[A]	51.8%	46.0%	96.1%	99.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	文化財審議会報酬：100千円 埋蔵文化財調査・整理作業員 賞金：588千円 試掘調査重機借上げ：950千 円	埋蔵文化財調査謝礼：287千 円 田野倉倉庫解体委託料： 1,038千円 試掘調査重機借上げ：88千円	埋蔵文化財調査発掘・整理作 業員賞金：4,259千円 埋蔵文化財調査発掘・整理調 査員謝礼：2,961千円 埋蔵文化財調査発掘・整理消 耗品：708千円 試掘調査重機借上げ：726千 円	城の礎第2遺跡・三ノ側遺跡本発掘調査 事業費(報酬、印刷製本費、報償費、費 用弁償、需用費、資料鑑定に伴う手数料 等) 3,541千円 埋蔵文化財調査立ち合い・試掘調査員謝 礼 714千円 埋蔵文化財試掘調査重機借上げ委託料 720千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金	335,000円	344,000円	532,000円	504,000円
		地方債				
		その他特定財源			7,688,000円	3,540,794円
		一般財源	539,599円	2,052,947円	1,584,720円	813,143円
	財源合計[C](=[B])	874,599円	2,396,947円	9,804,720円	4,857,937円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	2,188,484	円
-------	---	-------------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
埋蔵文化財包蔵地の照会件数	市内での開発行為の際、計画地に埋蔵文化財があるかどうかの確認が必要があり、その照会件数	件	目標値	/	455.0	460.0	465.0	470.0
			実績値	454.0	412.0	309.0	318.0	311.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

照会件数については、市内包蔵地における開発行為や不動産鑑定は是非に左右されるため、数値的な向上＝文化財理解が図られているか、といった観点は一概には判断できない。しかしながら「開発行為を行うに当たり照会行為が必要になる」ことを認知していない事業者がある場合は、照会行為が本数値から漏れてしまうことが想定されるため、担当として一層の周知を図ることは必要と考える。

■全内容チェック(確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	地域の貴重な財産である文化財を後世に引き継いで行くことが目的であるが、保存・活用には、多額の費用が必要であるので財源確保が重要である。また、文化財調査や研究には、人材の確保と育成も重要である。特に埋蔵文化財の発掘調査は、大学で専門教育を受け経験者の下で指導を受けた者が調査にあたるため、他の担当から異動してきた職員では対応することはできないので、長期的計画の上での人事配置が必要である。
令和2年度	埋蔵文化財の発掘調査は、大学で専門教育を受け経験者の下で指導を受けた者が調査にあたるため、他の担当から異動してきた職員では対応することはできないので、長期的計画の上での人事配置が必要である。特に本市においての重要な課題は、文化財調査や研究には、人材の確保と育成が重要である。
令和3年度	市内に100か所以上の埋蔵文化財包蔵地があり、開発行為に伴う確認照会が年間数百件、工事立会い・発掘調査が数十件に及ぶ。専門知識を持つ担当職員が不在のため、外部専門家及び県担当者の指導により法定業務を遂行している。市独自の文化財保護・活用による文化財行政を実行するために、専門知識を持った専任職員の育成及び採用が相当の重要性を持って必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和2年度以降専門知識を持つ担当職員が不在のため、外部専門家及び県担当者の指導により法定業務を遂行している。埋蔵文化財調査は非常に専門性が高く、大学で専門教育を受け発掘調査等の経験実績を積んだ者でなければ業務の遂行が困難であり、他の担当から異動してきた職員では原則対応できないため、長期的計画の上で、専門知識を持った専任職員の採用及び育成が必要である。また、本事業や法制度についての周知が進み、開発工事等に係る照会や問合せ等の増加により業務量が增大しているため、担当の増員等の対策が必要と思われる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
令和4年度 予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や文化、年中行事等の保存継承を進め、併せて文化財の活用についても検討していく。
令和5年度 予算に向けて	今後も、文化財の保護や調査に努め、地域の歴史や年中行事等の文化の保存継承を支援していくとともに、個々の文化財の活用についても検討していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

埋蔵文化財の日常的な照会については、GIS上に過去データを積み上げているため、既存のバックデータなども有効的に活用しながら、埋蔵文化財業務の効率化を図っていく。また、博物館職員・文化振興職員が横連携を行い埋蔵文化財業務に積極的に取り組む協力体制の構築が必要である。専門職員任せとなっている部分がこれまでの体制には見受けられるため、専門職員の知見を生かしつつ、他職員がサポートする体制を構築していく。また、埋蔵文化財における成果物をミュージアム都留事業に活用するなど、教育普及にも活かしていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	尾県郷土資料館運営事業			款項目	09-05-07	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に對しての事業か。また、何に對しての事業か。 一般市民、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 教育関係の資料館として一般公開する。(毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館) 資料館協会の協力のもと、資料館まつりを10月下旬に開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,766,100円	1,798,676円	2,706,380円	3,747,239円	
	決算額[B]	2,726,743円	1,542,030円	2,543,121円	3,649,892円	
	執行率[B]/[A]	98.6%	85.7%	94.0%	97.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	資料館まつり賃金：64千円 資料館まつり講師謝金：110千円 光熱水費：134千円 資料館まつり贈り：25千円 館長執務謝礼：1020千円 植木選定委託料：86千円	光熱水費：109千円 館長執務謝礼：1020千円 植木選定委託料：157千円	資料館まつり報償費：126千円 光熱水費：124千円 管理運営業務委託料：1,020千円 植木選定委託料：89千円 バルコニー柱修繕料：737千円	資料館まつり報償費：126千円 管理運営業務委託料：1,020千円 正面玄関及びバルコニー塗装修繕：2,024千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,726,743円	1,542,030円	2,543,121円	3,649,892円
	財源合計[C](=[B])	2,726,743円	1,542,030円	2,543,121円	3,649,892円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,976,105	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	尾県郷土資料館の年間入館者数	人	目標値		2400.0	2420.0	2460.0	2480.0
			実績値	2391.0	2309.0	2218.0	2205.0	2385.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響等もあり多少の入館者数への影響があった。しかしながら、本施設が県指定の文化財として活用されていることや、小形山協会の拠点となり、高齢者を中心に世代間の交流が図られていることから、数値指標によらないコミュニティ活動の醸成には寄与しているといえる。

■全内容チェック(確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← 高い

1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	資料館の活用という点では、来館者数を増やすことはもちろんだが、来館者の約半数は地元利用者のとくに高齢者と小学生である。現代、高齢者と小学生ともに「居場所」づくりが求められているが、資料館は「居場所」としての機能を有しているといえ、この点を強化する取組は課題である。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したため入館者数も減少した。今後は、コロナ禍の状況の中で、入館者数を増やしていく新たな仕組みづくりや取り組みが必要となる。しかし、ドラマロケ地として活用されたことにより、県外からの訪問客は例年より増えた状況であった。
令和3年度	昨年度より開館日・入館者数は回復したが、依然コロナ禍の影響により例年の水準には至らなかった。昨年度中止となった「資料館まつり」を、午後のコンサートのみの限定として開催した。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	尾県郷土資料館は、地元高齢者・小学生が利用者の半数を占める「居場所」としての役割とともに、登山客及びリアル実験センターの来館者など県外からの来訪者も多く、ドラマや旅番組等のロケ地ともなっている「観光資源」としての価値も有している施設である。ここ数年はコロナ禍により利用者が減少しているが、今後は「資料館まつり」のイベント復活など、その価値をより生かしていく方策を進めていきたい。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、SNSを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協会」とともにその方途を検討していきたい。
令和4年度 予算に向けて	来館者の増加については、従来のチラシやインターネット利用の他、SNSを活用していく。高齢者と小学生の「居場所」としての資料館づくりについては、資料館を色々な面で支えてくれる地元住民からなる「資料館協会」とともにその方途を検討していきたい。
令和5年度 予算に向けて	今後も「資料館協会」の密接な協力を仰ぎつつ、SNSを活用した告知活動や地元住民の「居場所」づくりとなる活動を推進していきたい。また、文化財建造物としての維持管理も適切に行っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

本拠点については地域住民が主体的に地域活動に参画し、またそうしたコミュニティ活動が要介護認定率の低下やフレイル対策に寄与している点は、文化財活用の在り方として適切である。今後も住民活動を行政としてサポートし、住民が主体的に活動できる環境を整備していく。また、小形山協会は担い手が不足する地域団体の中で、参加者が増えているといったデータがある。長期総合計画後期基本計画における指標である「市民学芸員として活動している人」のKPI達成に向けて、こうした地域における人材育成の成功事例を検証し、他事業にも活用していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	商家資料館運営事業			款項目	09-05-07	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成6年度	法定根拠・法令等	都留市商家資料館設置条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 一般市民、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 資料館として一般公開する。(毎週火・木・土・日曜日、祝日に開館)		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市内にある文化遺産の保護・継承		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,871,917円	19,282,984円	1,971,900円	1,448,663円	
	決算額[B]	2,868,860円	19,058,373円	1,894,992円	1,435,461円	
	執行率[B]/[A]	99.9%	98.8%	96.1%	99.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	光熱水費：42千円 館長執務謝礼：1020千円 小修繕：100千円 負担金(街灯維持)：20千円	光熱水費：35千円 館長執務謝礼：1020千円 修繕費：3,684千円 土地購入費：11,800千円	光熱水費：38千円 管理運営委託料：1,122千円 修繕費：275千円	光熱水費：36千円 管理運営委託料：1,122千円 修繕費：100千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,868,860円	19,058,373円	1,894,992円	1,435,461円
	財源合計[C](=[B])	2,868,860円	19,058,373円	1,894,992円	1,435,461円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	2,456,871	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	商家資料館の年間入館者数	人	目標値		870.0	880.0	890.0	900.0
			実績値	867.0	592.0	214.0	308.0	476.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響は多少あるものの、そもそも本施設が地域拠点として住民に幅広く活用できる運営を行っていない点が、KPIを達成できなかった要因と考えられる。

■全内容チェック(確認者：課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.2	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	平成30年度まで来館者数は増加傾向にあるが、偶発的な団体利用によって増減する傾向があるため、定常的な団体利用を促すことを検討する必要がある。また、尾県郷土資料館と比較すると地元住民の利用率は低いため、地元利用を促す方策も同時に検討する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したため、入館者数が大幅に減少した。今後は、コロナ禍の状況の中で、入館者数を増やしていく新たな仕組みづくりや取り組みが必要となる。
令和3年度	昨年度より開館日・入館者数は回復したが、依然コロナ禍の影響により例年の水準には至らなかった。整備を行った裏庭部分も含め、地元の居場所づくりに資する活用方法の検討が必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ禍の鎮静により昨年度より開館日・入館者数は回復したが、依然コロナ禍の影響により例年の水準には至らなかった。また耐震化を含めた建物の改修及び活用の計画を策定することとし、その方向性を決定する現状調査を実施するため、資金調達クラウドファンディングを実施した。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	団体利用については、学校見学のほか、他市町村の教育委員会の研修会が多いため、学校や県内教育委員会向けに資料館をPRすることを検討する。また、地元利用者の増については、魅力的なイベントを開催するなど集客に努めたい。
令和4年度予算に向けて	令和2年度に整地した商家資料館の駐車場(裏)を有効活用し、魅力的なイベントを開催するなどの工夫を行い、これまで以上に集客の増加に努めていく。
令和5年度予算に向けて	文化財建造物であるとともに公共施設として地元の居場所づくりに資する活用方法を検討し、集客の増加に努めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

R5より施設整備における調査研究を行うとともに、文化財審議会等において、当施設の運営のあり方や住民利用のあり方について検討を図っていく。特に1、2階が展示スペースとなっているが、尾県郷土資料館のように住民と場所をつなぐキーパーソンがいないことや、展示スペースとしてのみ利用され、住民が柔軟に活用できる公共スペースとしての機能を持っていない。そのため、施設整備計画と合わせて、施設利用計画を検討し、オープンスペースとしての機能やカフェ機能、「いーばしょ」への利活用といった、既存のあり方にとらわれない活用方法を計画建てし、進めていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	八朔祭屋台展示庫事業			款項目	09-05-07	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信

対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客
-----------	--

事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 八朔祭の屋台3台を保管・展示及び早馬町屋台会館の維持。
------------------------	--

めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 都留市の貴重な財産である八朔祭の屋台（市指定文化財）を保護する。
--------------	--

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	2,138,775円	2,228,000円	1,810,000円	1,818,118円	
	決算額[B]	2,128,564円	2,168,998円	1,808,759円	1,813,457円	
	執行率[B]/[A]	99.5%	97.4%	99.9%	99.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	機械警備料:239千円 正面扉ガラス清掃委託料:26千円 土地使用料(織協):1,500千円	機械警備料:239千円 正面扉ガラス清掃委託料:24千円 土地使用料(織協):1,500千円	機械警備料:241千円 正面扉ガラス清掃委託料:25千円 土地使用料(織協):1,500千円	機械警備料:241千円 正面扉ガラス清掃委託料:25千円 土地使用料(織協):1,500千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	2,128,564円	2,168,998円	1,808,759円	1,784,089円
	財源合計[C](=[B])	2,128,564円	2,168,998円	1,808,759円	1,784,089円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1,827,594	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
屋台の保管	屋台の保管	台	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】				

■全内容チェック（確認者：課長）				
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出てるか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	2	2	2	2
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	5
平均得点	4.0	4.0	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物の敷地は、谷村織協から借用している。3年に1度契約の更新を行っているが、現契約が令和4年度末に満了となるので、このまま借り続けるのか、買収することが可能か検討する必要がある。 ・早馬町屋台会館は建設から29年が経過し、今後外壁などの補修が必要になってくる
令和2年度	・建物の敷地は、谷村織協から借用している。3年に1度契約の更新を行っているが、現契約が令和4年度末に満了となるので、このまま借り続けるのか、買収することが可能か検討する必要がある。 ・早馬町屋台会館は建設から30年が経過し、今後外壁などの補修が必要になってくる
令和3年度	建物の敷地は谷村織協から借用しており、3年契約で更新を行っている。令和4年度末に現契約が満了するため、継続するか、敷地の買収が可能か検討する必要がある。 また城南公園横の早馬町屋台会館は建設から30年が経過しており、今後外壁などの補修が必要となると思われる。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	建物の敷地は谷村織協から借用しており、3年契約で更新を行っている。令和4年度末に現契約が満了するが、継続するか、敷地の買収が可能か検討する必要がある。 また城南公園横の早馬町屋台会館は建設から30年が経過しており、今後外壁などの補修が必要となると思われる。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持		○			○			○			○
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	建設から23年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。
令和4年度 予算に向けて	建設から24年が経過し、建物の補修の必要が今後考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。
令和5年度 予算に向けて	建設から25年が経過しており、今後建物の補修の必要が生じてくると考えられる。長寿命化計画の策定等も実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

屋台展示庫を日常的に資料を保管しておく場所としてではなく、商家資料館と組み合わせて市民により身近な場所となるよう、検討していく。
--

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール管理運営事業			款項目	09-05-09	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール条例		
事業実施方法				←その他の場合の詳細			

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、芸術愛好家		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 多種多様な芸術文化の鑑賞の機会を提供する。 文化活動の推進のため、貸館サービスを充実されると共に、市内外に積極的にPRを行う。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民に上質な芸術文化を鑑賞する機会を提供する。また、市民自らが創造する参加型イベントを実施し、芸術文化の振興を図るほか、独自の事業を展開することにより、都留市をPRする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	106,439,771円	119,945,670円	84,506,600円	109,258,000円	
	決算額[B]	106,434,411円	119,383,691円	84,417,959円	108,654,372円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	99.5%	99.9%	99.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3〜5つ)	中央監視システム修繕：21,384千円 大小ホール調光盤修繕：1,959千円 屋上自家発電機触媒栓式鉛蓄電池取替修繕：721千円 指定管理料：80,356千円	大ホールスピーカー修繕：29,700千円 小ホールスポットライト更新修繕：1,265,000円 高圧受電設備修繕：6,050,000円 指定管理料：79,287千円	事務室・会議室系空調室外機修繕：319千円 高架水槽配管保温修繕：658千円 立体駐車場照明LED化修繕：1,391千円 指定管理料：80,873千円	大ホールワイヤレス機器交換修繕：1,759千円 特定天井改修工事設計業務委託：9,790千円 指定管理料：80,558千円 大ホール楽屋等空調設備改修工事：11,825千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	21,084,000円	29,700,000円	1,917,110円	26,709,000円
		一般財源	85,350,411円	89,683,691円	82,500,849円	81,945,372円
	財源合計[C](=[B])	106,434,411円	119,383,691円	84,417,959円	108,654,372円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	319,307,411	円
-------	---	---------------------	-------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	大ホール・小ホールの利用率の平均値	%	目標値		64.0	64.2	64.4	64.6
			実績値	63.6	62.2	48.1	36.2	50.4

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症の影響により施設利用制限及びイベントが中止となったことが理由に挙げられる。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	4.0	4.0	4.0	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	指定管理者制度を導入し（一財）都留楽友協会に管理運営を委託している。開館から22年が経過し、建物本体や給排水設備、舞台機構、照明・音響設備等が老朽化している。毎年少しずつ修繕を行っているが、高額な設備もあるため中長期的な更新計画を作成しなければならない。建物本体や空調設備の大規模改修の基本計画は作成済みであるので、それに続く実施計画の作成を進める必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルスの影響により、昨年度より開館日が減少したことで、利用率が低下した。今後は、コロナ禍の状況の中で、利用率を増やしていくために、自主事業の開催や貸館利用の促進を指定管理者と協議していく。また、施設については経年劣化により老朽化対策への対応が必要となっている。
令和3年度	昨年度より利用率は若干回復したがコロナ禍前の水準までは至っておらず、昨年同様の方策を指定管理者と協議していく。施設については老朽化対策への対応としての計画的な大規模修繕と、個々の設備・施設の不具合に対する小規模修繕を並行して行っている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	コロナ禍からの回復傾向にあるが昨年度までと同様に利用率上昇のための方策を実施していく。また吊天井及び客席照明のLED化を皮切りに計画的な大規模修繕を行いつつ個々の施設設備の劣化による不具合等に対応した小規模修繕を並行していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大					○			○			○
	維持	○										
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	・大規模改修の実施設計、舞台機構の修繕等を長期計画に上げ、事業を推進する。 ・舞台関係の修繕を引き続き実施していく。 ・利用率を増やすような自主事業の開催や貸館利用の促進を指定管理者と協議していく。
令和4年度 予算に向けて	経年劣化による老朽化への対応や、来場者の安全確保のため、優先的に吊天井の改修を令和4年度・5年度にかけて実施していく。
令和5年度 予算に向けて	経年劣化による老朽化への対応や、来場者の安全確保のため、優先的に吊天井の改修を令和4年度・5年度にかけて実施していく。令和4年度に設計を行い、翌5年度に施工実施の予定。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

現状、当施設は指定管理により市内外のイベント開催を中心に開催している。特にいきいきフェスティバルにおける文化協会や都留文科大学の音楽サークルなどの利用は充実しているが、その他の地域イベントや貸し館としての柔軟性は低く、利用方法も限定されている。また、職員配置体制など内部の課題も見られるため、地域住民がより広く活用できる方法の検討や、指定管理事業者のあり方について検討を要するものと考えられる。また、建設時から20年以上が経過し、適格でない吊天井やLED化を要する照明、空調設備の不具合、電気設備等、各所に経年劣化の影響が見られ、設備改修なしに運営は難しいものの、収益性などを見ると、ランニングコストが現状に見合っていないため、施設のコンパクト化の検討や、適切な改修計画を設定し、時代に見合った施設運営を図っていく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	都の杜うぐいすホール事業費補助事業		款項目	09-05-09		評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	文化振興担当	記入者	知念 浩生	
会計	一般会計	事業開始年度	平成8年度	法定根拠・法令等	都の杜うぐいすホール企画事業費補助金交付要綱			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち	
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり	
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進	
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、芸術愛好家			
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 同種のイベントとしては、多くの参加者が集まる市民参加で開催される「市民第九演奏会」への補助			
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の文化意識の向上を図る。			

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,500,000円	3,500,000円	3,330,700円	4,500,000円	
	決算額[B]	3,500,000円	円	587,092円	4,100,000円	
	執行率[B]/[A]	100.0%	0.0%	17.6%	91.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	市民第九演奏会補助金：3,500千円	開催中止	開催中止 市民第九演奏会補助金：588千円	市民第九演奏会補助金：4,100千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	3,500,000円		587,092円	4,100,000円
	財源合計[C](=[B])	3,500,000円	円	587,092円	4,100,000円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,500,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民第九演奏会参加者数	入場者数	人	目標値	/	680.0	690.0	700.0	710.0
			実績値	669.0	649.0	0.0	0.0	300.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナ禍により練習が十分に行えず不参加となった団体や、また感染対策による制限のため各種イベント参加者そのものが回復途上であるため、例年より入場者は低調となった。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.8	3.8	3.6	3.6

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ←————→ 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	今年度から補助事業が市民第九演奏会単独となった。この事業については全事業費に係る市の補助割合が高いという問題点がある。
令和2年度	この事業については全事業費に係る市の補助割合が高いという問題点がある。
令和3年度	新型コロナウイルス感染拡大により2年連続で開催中止となったが、一部、練習等の補助金交付が必要となった。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	全事業費に係る市の補助割合が高いため、コロナ禍からの回復に合わせて、自主財源の増加及び他の補助金等の活用を含めた方策が必要である。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○		○		○		○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	(一財) 楽友協会に他の補助金が活用できないか働きかける必要がある。また、市民第九演奏会についても、チラシの配布先の見直しなどを行い、積極的にPRして入場者の増加を図る。
令和4年度 予算に向けて	市民第九演奏会については、PR方法等の見直しを行い、積極的に多様な方法でPRして入場者の増加を図り、自主財源の確保などに努めていく。
令和5年度 予算に向けて	コロナ禍に対応した開催方法を検討するとともに、昨年度までと同様にPR方法の検討による入場者増加や財源の確保を図っていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民参加型であるイベントへの補助については、住民の生きがい等の観点から適当であるものの、補助額に見合った費用対効果があるか、また本イベントがどの程度住民の積極性に寄与しているか、等幅広い観点から本スキームの検討をする必要がある。また、予算枠の範囲内で、「市民第9」の取り組みだけでなく、他の住民活動に対する補助など、市民活動の活発化につながる取り組みを検討していく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ振興事業			款項目	09-06-01	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：市民全般及びスポーツ指導者ほか		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 スポーツを通じた健康づくり行事の実施		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民がいつでも自分のスタイルでスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ環境の創出		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	1,565,000円	1,640,000円	5,427,000円	7,403,910円	
	決算額[B]	899,576円	99,910円	4,309,328円	6,369,274円	
	執行率[B]/[A]	57.5%	6.1%	79.4%	86.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	市民初心者子どもスケート教室に伴う大型バス等借り上げ506,750円 各種教室及び大会保険料162,400円	ロードレース大会公式ホームページサーバー使用料55,000円	地域活性化起業人制度負担金3,100,000円 スポーツタウンイベント運営業務委託 941,600円 子ども水泳教室講師謝金72,000円	地域活性化起業人制度負担金6,200,000円 各種教室及び大会保険料151,549円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	468,746円	円	27,800円	23,700円
		一般財源	430,830円	99,910円	4,281,528円	6,345,574円
	財源合計[C](=[B])	899,576円	99,910円	4,309,328円	6,369,274円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	7,205,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者の満足度	スポーツ健康教室参加者の満足度(アンケート)	%	目標値		95.2	95.5	95.8	96.1
			実績値	95.0	95.2	0.0	95.0	96.5

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

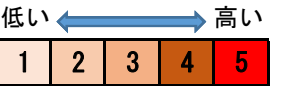
■全内容チェック(確認者:課長)								
評価責任者	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>				

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	3	3	3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	5	1	3	5
平均得点	4.0	3.2	3.6	4.0

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	スポーツ健康教室の参加者は増加(平成30年度102人→令和元年度464人)したが、市民初心者子どもスケート教室(平成30年度194人→令和元年度164人)、市民歩け歩け大会(平成30年度78人→令和元年度48人)等の参加者が減少している。スポーツ健康教室は教室の内容の変更(軽スポーツ→バドミントン・卓球)、スケート教室、歩け歩け大会は雨天が要因と考えられる。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、市民の健康や安全面を最優先に考慮し、スポーツ健康教室、市民初心者子どもスケート教室、市民歩け歩け大会を中止した。代替事業としてスポーツ推進委員により「スポーツ推進委員だより」を作成したほか、自宅で簡単にできる体操動画の作成、オリンピック・パラリンピックに関するクイズの作成などを行った。
令和3年度	新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、スポーツ健康教室、子ども水泳教室については、規模を縮小しながら開催したが子どもスケート教室、市民歩け歩け大会を中止した。また、地域活性化起業人制度により企業人を登用し、各地への出張型健康教室を行った。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	スポーツ健康教室や各種スポーツ大会(町別野球、体育祭り、水泳教室など)については、コロナウイルスの影響により開催できなかった期間もあるが、多くを再開できている。今後もニーズに合わせた内容を提供し、開催していく。市民運動会は開催できず3年間のブランクとなっているため、各地区が開催しやすい方法などについて検討する必要がある。地域活性化起業人による健康教室は、要望団体が増え、開催回数も順調に増加している。今後は事業の継承を検討していく必要がある。令和4年度に開始した新しいスポーツとしてスケートボード教室を進め、普及を図っていく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	教室等について、参加者へのアンケートの実施等により市民のニーズに応じた内容の見直しを行い、教室を契機として自主的にスポーツが行えるよう導く。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、スポーツ教室開催に向けたガイドラインを定めるなどし、当面は参加者数を制限して実施せざるを得ないとする。スマートフォンのアプリを活用した「オクトバー・ラン&ウォーク」事業の参加者数を増加させるとともに、効果検証を行っていく。
令和5年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、スポーツ教室を開催していくとともに、産学官民が連携したスポーツ振興事業、地域活性化起業人を活用した市民の健康づくり事業を行う「スポーツで人・まちを元気にするプロジェクト」を推進していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考してください。

スポーツ健康教室や各種スポーツ大会については、今後もニーズに合わせた内容を検討しながら開催していく。市民運動会は、3年間のブランクにより各地区での開催が難しくなっているため、開催しやすい方法などについて検討していく。産学官民が連携したスポーツ振興事業、地域活性化起業人を活用した市民の健康づくり事業を行う「スポーツで人・まちを元気にするプロジェクト」を推進していく。(地域活性化起業人による健康教室、オリパラレガシー事業としてのスケートボード教室)地域活性化起業人や健康ジムなどが連携したスポーツ運動の習慣化に関する取り組み。令和7年度までを実施期間とした部活動地域移行の取り組み。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育スポーツ奨励事業			款項目	09-06-01	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等			
事業実施方法	補助金等支出事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：スポーツ団体及びスポーツ大会事業等ほか		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 スポーツ大会事業等の助成など		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 スポーツ推進計画に基づいた市民スポーツの振興及び地域の活性化		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	16,730,000円	7,930,000円	7,930,000円	22,730,000円	
	決算額[B]	14,347,467円	5,370,000円	5,877,278円	14,839,663円	
	執行率[B]/[A]	85.8%	67.7%	74.1%	65.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	リニアと翔る都留ロードレース大会補助金 6,660,275円 特定非営利活動法人都留市体育協会補助金 4,705,000円	特定非営利活動法人都留市スポーツ協会補助金 4,705,000円 小中学校体育連盟都留支部補助金 500,000円	特定非営利活動法人都留市スポーツ協会補助金 4,315,000円 小中学校体育連盟都留支部補助金 500,000円	特定非営利活動法人都留市スポーツ協会補助金 4,705,000円 つる湧水の里ランフェス補助金 7,165,683円	
	財源内訳	国庫支出金				3,582,841円
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	14,347,467円	5,370,000円	5,877,278円	11,256,822円
	財源合計[C](=[B])	14,347,467円	5,370,000円	5,877,278円	14,839,663円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	23,665,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
参加者のリピーター数	リニアと翔る都留ロードレース大会の参加者のリピーター数(年度小計)	人	目標値		300	350	400	450
			実績値	287	346	0	0	176

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により、令和2~3年度の2年間は大会を延期したことが影響し、目標リピーター数を達成できなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.6	3.8	3.8	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	ロードレース大会の日程を11月としたほか、仮装ランナー賞の特別表彰を新たに設けるなどしたため、定員を上回る参加申込みがあったが、市内・県内の方が多く、今後、継続的な開催を目指すためには、近隣の関東圏からの参加者をより多く集客する必要がある。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、市民の健康や安全面を最優先に考慮し、第1回つる湧水の里ハーフマラソンを中止した。代替事業としてスマートフォンのアプリを活用したスポーツイベント「オクトーバーラン&ウォーク」を実施し、504名が参加した。人口あたりの参加率が全国1位となった。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、昨年に引き続いて第1回つる湧水の里ハーフマラソンを翌年に延期とした。代替事業としてスマートフォンのアプリを活用した「つる湧水の里ウォーク」などを実施し、アプリ年間利用者は590名となっている。2年連続で開催できていないため、コロナ状況が悪化した場合にも、オンラインによる開催を検討するなど、可能な限り開催に努めていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	新型コロナウイルスの影響により、マラソン大会をはじめ多くのスポーツ大会を開催できなかったが、スマートフォンアプリを利用した代替事業を実施するなど、できる限り運動機会の創出に努めてきた。令和4年度は、第1回つる湧水の里ランフェスとしてマラソン大会を2年ぶりに開催し、次につなげる大会となった。スポーツ協会においても同様に市制祭大会、体育祭を開催し、今後の大会実施につなげた。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	広報、インターネットへの掲載に加え、CATVへの広告掲載、公共施設へのチラシ配布等などの取組を積極的に行う。SNS等の活用も検討する。多種多様な媒体による広報活動に加え、地元特産品の販売ブースの出店など参加者の興味を引く企画を考案し、集客を図る。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の状況によるが、つる湧水の里ハーフマラソン開催に向けたガイドラインを定めるなどし、感染症防止対策を徹底した大会運営が求められる。給水エイドで地元特産品を提供するほか、カップルコースなど新たなコース設定の導入などにより一層の集客を図る工夫を継続する。
令和5年度 予算に向けて	魅力あるハーフマラソンコースを検討し、開催に向けてはガイドラインを定めるなどし、感染症防止対策を徹底した大会運営が求められる。関係団体と連携をとり一層の集客を図る一方、コロナ状況が悪化している場合にも、オンラインによる開催を検討するなど、市民の健康増進を図る。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

つる湧水の里ランフェスについては、新たな会場とハーフマラソンコースを念頭に置き、大会規模の拡大を図っていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	野球場管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市住吉球場条例		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：球場使用者 対象物：市営住吉球場・楽山球場		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 球場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 球場使用者の安全・快適な利用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	5,367,000円	4,428,010円	4,327,000円	8,416,000円	
	決算額[B]	4,332,135円	4,118,943円	2,905,199円	3,806,749円	
	執行率[B]/[A]	80.7%	93.0%	67.1%	45.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	住吉球場駐車場鉄板取付修繕 172,810円 楽山球場汚水貯留槽汚泥引抜 業務委託 509,760円	住吉球場ダッグアウト屋根修繕 755,700円 楽山球場トイレ電灯設備修繕 128,700円	楽山球場漏水関連修繕 400,295円 楽山球場扉修繕 193,820円	楽山球場漏水関連修繕 423,271円 住吉球場音響設備整備 220,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	574,550円	403,000円	530,201円	408,110円
		一般財源	3,757,585円	3,715,943円	2,374,998円	3,398,639円
	財源合計[C](=[B])	4,332,135円	4,118,943円	2,905,199円	3,806,749円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	4,336,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数(楽山・住吉)	人	目標値		12,455	12,465	12,475	12,485
			実績値	12,443	9,584	7,392	7,854	6,461

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により、令和2年度から利用者数が減少し、目標利用者数に達しなかった。しかし、コロナウイルス影響の縮小とともに、利用者数は回復傾向にある。

■全内容チェック(確認者:課長)

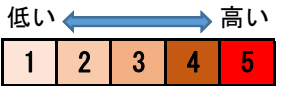
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	楽山球場は、公園施設長寿命化計画に基づき、大規模改修を実施している。住吉球場は、今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。
令和2年度	楽山球場は、公園施設長寿命化計画に基づき、大規模改修を実施しており、令和2年度はスコアボードの更新工事を施工した。住吉球場は、教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。
令和3年度	楽山球場は、引き続き大規模改修を実施しており、令和3年度は球場内フェンス更新工事を施工した。また、漏水が発見され応急処置したが、令和4年度には全体的に修繕していく必要がある。住吉球場は、教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	楽山球場は、引き続き大規模改修を実施しており、令和4年度は球場外周フェンス、ダッグアウト、ファウルポールなどを施工した。前年度から取り組んでいる漏水修繕について、応急的に対応し利用可能な状況とした。住吉球場は、施設全般にわたり老朽化が進んでおり、総合的な改修について基本計画を策定した上で対応していく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											○
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持	○		○			○					
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。住吉球場の夜間照明について、水銀灯の製造が終了したため、長寿命化計画に基づき計画的なLED化を進めるほか、バックネットが老朽化しているため、長寿命化に基づく改修を要する。
令和5年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。住吉球場の夜間照明については、他施設を含めて計画的にLED化を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

楽山球場は、引き続き大規模改修を実施しており、令和4年度は球場外周フェンス、ダッグアウト、ファウルポールなどを施工した。前年度から取り組んでいる漏水修繕について、応急的に対応し利用可能な状況とした。住吉球場は、施設全般にわたり老朽化が進んでおり、総合的な改修について基本計画を策定した上で対応していく必要がある。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	体育館管理運営事業		款項目	09-06-02	評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市民総合体育館条例		
事業実施方法	一部委託事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 対象者：体育館使用者 対象物：市民総合体育館・下谷体育館ほか		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 体育館の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 体育館使用者の安全・快適な利用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	15,281,376円	14,904,000円	14,057,633円	14,479,728円	
	決算額[B]	14,458,832円	12,039,274円	13,581,616円	14,409,433円	
	執行率[B]/[A]	94.6%	80.8%	96.6%	99.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 都留市民総合体育館網戸取付修繕 684,050円	市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 下谷体育館バスケットゴール修繕 279,400円	市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 下谷体育館バスケットゴール修繕 585,200円	市民総合体育館受付管理業務委託料 7,100,565円 下谷体育館バスケットゴール修繕 286,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	3,780,286円	2,610,810円	2,945,482円	2,799,231円
		一般財源	10,678,546円	9,428,464円	10,636,134円	11,610,202円
	財源合計[C](=[B])	14,458,832円	12,039,274円	13,581,616円	14,409,433円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	14,716,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数(民体・下谷)	人	目標値		62,000	62,010	62,020	62,030
			実績値	61,993	61,559	28,585	38,357	43,660

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により、令和2年度から利用者数が減少し、目標利用者数に達しなかった。しかし、コロナウイルス影響の縮小とともに、利用者数は回復傾向にある。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	耐震工事や改修工事を行ってはいるが、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所もある。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日開館日数が少ないため。
令和2年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日開館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛する利用者が多く、依然として低い水準にある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	施設利用者数については、コロナウイルス影響により減少したが、影響縮小とともに回復傾向にあり、高いニーズを持っている。施設改修について、市民総合体育館は、体育館外壁、サブアリーナ・武道場内装、市民プール屋根を改修する必要がある。下谷体育館は、照明のLED化が必要である。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性		○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。
令和4年度 予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。市民総合体育館は令和6年度に内装部位修繕、令和7年度に外壁修繕を実施し、下谷体育館は令和8年度以降に状況を確認し対応を検討する。
令和5年度 予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。市民総合体育館は令和6年度に内装部位修繕、令和7年度に外壁修繕を実施し、下谷体育館は令和8年度以降に状況を確認し対応を検討する。また、下谷体育館の照明LED化について、他施設を含めて計画的に実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、安心安全な利用を提供していく。施設改修について、市民総合体育館は、漏水対応、体育館外壁、サブアリーナ・武道場内装、市民プール屋根を改修する必要がある。下谷体育館は、照明のLED化、エアコン整備(避難施設としても位置付けられる)を検討していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	各体育施設管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例、都留市テニスコート条例ほか		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：社会体育施設使用者 対象物：玉川グラウンド、大輪スポーツ広場、市営テニスコート、市民プール、水沼グラウンド、各小中学校の体育館及びグラウンドの維持管理		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 社会市体育施設等の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 体育館使用者の安全・快適な利用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	14,752,342円	36,228,000円	32,701,000円	13,715,356円	
	決算額[B]	12,299,726円	10,823,881円	29,061,962円	11,910,972円	
	執行率[B]/[A]	83.4%	29.9%	88.9%	86.8%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	小中学校体育館管理人賃金 1,346,400円 玉川グラウンド夜間照明交換 修繕 950,400円 夜間照明管理委託料 690,000円	東桂中学校夜間照明灯交換修繕 1,834,000円 小中学校体育館管理人賃金 1,512,800円 夜間照明管理委託料 690,000円	テニスコート休憩施設設置工 事及び設計監理14,672,900円 ターゲットバードゴルフ場休 憩施設設置工事及び設計監理 5,027,000円	テニスコート給水管付替修繕 1,034,000円 小中学校体育館管理人賃金 1,512,800円 夜間照明管理委託料 690,000円	
	財源内訳	国庫支出金			9,635,450円	
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	6,494,130円	5,141,460円	4,796,003円	5,558,172円
		一般財源	5,805,596円	5,682,421円	14,630,509円	6,352,800円
	財源合計[C](=[B])	12,299,726円	10,823,881円	29,061,962円	11,910,972円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、 令和5年度の予算額を記載	12,415,000	円
-------	---	-------------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数(玉川・テニス・大輪・水沼)	人	目標値		49,100	49,150	49,200	49,250
			実績値	49,048	46,838	30,209	30,145	42,014

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により、令和2年度から利用者数が減少し、目標利用者数に達しなかった。しかし、コロナウイルス影響の縮小とともに、利用者数は回復傾向にある。

■全内容チェック(確認者:課長)

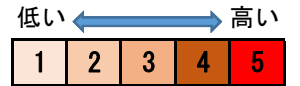
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	市民プール、水沼グラウンド、大輪スポーツ広場の利用率が低い。これは、市民プールの温水化未整備、水沼グラウンドの駐車場未整備等が要因と考えられる。夜間照明や市民プールなど、経年劣化や老朽化がかなり見受けられる。今年度策定した長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日閉館日数が少ないため。
令和2年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日閉館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出しと同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	教育施設長寿命化計画に基づき施設の改修と維持管理を実施し、施設のライフサイクルコストの最適化と建物の長寿命化を図っていく必要がある。テニスコート及びターゲットバードゴルフ場には、休憩施設を設置し、利便性の向上を図った。利用者数については、コロナウイルスの影響により活動を自粛する利用者が多いため低い水準にある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	各施設とも経年劣化・老朽化等により改修や修繕を必要としている。玉川グラウンドの人工芝については、改修目安の8年に対して11年が経過しており、張り替えを検討する必要がある。水沼グラウンド、大輪スポーツ広場は利用率が低く、効果的な利用方法を検討する必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○		○			
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。水沼グラウンドの駐車場の借り受け等を検討する。
令和4年度 予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。玉川グラウンドの人工芝の耐用年数が過ぎていることから、状況を確認し長寿命化計画に基づいた対応を検討する。
令和5年度 予算に向けて	教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行う。玉川グラウンドの人工芝の耐用年数が過ぎていることから、状況を確認し長寿命化計画に基づいた対応を検討する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

教育施設長寿命化計画に基づき施設の適切な管理を行い、経年劣化や老朽化が見受けられる箇所は計画的に修繕・改修を行っていく。各施設の照明設備のLED化については、調査実施のうえ方針を決定して計画的に実施していく。玉川グラウンドの人工芝については、平成23年度整備から11年が経過しており、耐用年数を過ぎているため、必要な補助金を利用しながら改修を計画していく。水沼グラウンド、大輪スポーツ広場は利用率が低く、効果的な利用方法を検討していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	やまびこ競技場管理運営事業		款項目	09-06-02	評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度		法定根拠・法令等	都留市都市公園条例		
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：やまびこ競技場、多目的広場使用者 対象物：やまびこ競技場、多目的広場		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 やまびこ競技場、多目的広場の適正な管理、経年劣化・老朽化等による修繕、施設設備の保守点検ほか		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 やまびこ競技場、多目的広場使用者の安全・快適な利用		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	36,254,636円	55,344,900円	48,139,000円	10,449,000円	
	決算額[B]	35,250,954円	53,890,760円	45,054,599円	9,271,807円	
	執行率[B]/[A]	97.2%	97.4%	93.6%	88.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生管理業務委託料 937,200円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 30,250,000円	施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生管理業務委託料 937,200円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 48,840,000円	施設管理業務委託料 1,774,000円 3種公認検定に伴う備品・消耗品 2,044,493円 やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事 36,300,000円	施設管理業務委託料 1,774,000円 芝生フィールド管理業務委託 937,200円 芝刈り機購入 4,125,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	22,600,000円	32,900,000円	12,200,000円	
		その他特定財源	637,420円	372,520円	20,556,179円	607,880円
		一般財源	12,013,534円	20,618,240円	12,298,420円	8,663,927円
	財源合計[C](=[B])	35,250,954円	53,890,760円	45,054,599円	9,271,807円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	5,374,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
市民利用者数	市民の年間延べ利用者数(やまびこ・多目的広場)	人	目標値		16,050	16,100	16,150	16,200
			実績値	15,999	11,182	5,999	8,010	9,762

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により、令和2年度から利用者数が減少し、目標利用者数に達しなかった。しかし、コロナウイルス影響の縮小とともに、利用者数は回復傾向にある。

■全内容チェック(確認者:課長)

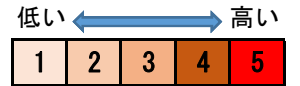
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.4	3.4	3.4	3.4

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	やまびこ競技場第3種公認競技場更新に伴う改修工事を平成29年度から5年計画で実施することから、工事期間中は、施設が使用できないことから、利用者数も減少すると考える。
令和2年度	やまびこ競技場第3種公認競技場更新に伴う改修工事を平成29年度から5年計画で実施することから、工事期間中は、施設が使用できないことから、利用者数も減少すると考える。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約90日閉館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出し同一時間帯での利用者数の制限を行っているため。
令和3年度	やまびこ競技場第3種公認競技場更新に伴う改修工事を完了し、公認検定を受けて令和4年4月29日から5年間の期間更新となった。また、老朽化した芝刈り機の更新や、効率的・効果的な芝管理を行っていく必要がある。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	平成29年度から令和3年度の5年間に於いて、必要な競技場トラック及びフィールドの改修工事を実施した。日本陸上競技連盟による第3種陸上競技場としての公認を継続更新した。(令和4年4月29日~令和9年4月28日)施設の雨漏りなど必要な修繕を行っていく。多目的広場は、利用ニーズが低いいため効果的な利用法を検討していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大		○									
	維持			○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	やまびこ競技場3種公認競技場更新に伴う改修工事											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	やまびこ競技場第3種公認競技場更新に伴う改修工事を極力短期間で完了し、市民の利用日をできるだけ多く確保する。
令和4年度 予算に向けて	やまびこ競技場第3種公認競技場更新に伴う改修工事が令和3年度末で完了することから、市民の利用日をできるだけ多く確保する。設備機器の老朽化に伴い故障が多くなっていることから、計画的な設備機器の修繕または交換を要する。
令和5年度 予算に向けて	設備機器の老朽化に伴い故障が多くなっていることから、計画的な設備機器の修繕または交換を要する。また、多目的広場の効果的な活用を含めた総合運動公園としての活用方法を検討する必要がある。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

設備機器の老朽化に伴い故障が多くなっていることから、計画的な設備機器の修繕または交換を行っていく。多目的広場の効果的な活用を含めた総合運動公園としての活用方法を検討する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	健康ジム管理運営事業			款項目	09-06-02	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度	平成29年度	法定根拠・法令等	都留市健康ジム条例		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	II	福祉・子育て・健康分野 育みます！優しさと元気のまち
	政策	3	はつらつとして暮らせるまちづくり
	施策	1	★ライフステージに応じた健康づくり
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：健康ジム利用者 対象物：健康ジム		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 指定管理による健康ジムの適正な運営管理		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 健康ジムの利用者を増やし、健康増進や介護予防を推進		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	27,412,946円	28,482,023円	29,453,367円	29,706,000円	
	決算額[B]	26,685,600円	26,930,420円	26,930,420円	26,930,420円	
	執行率[B]/[A]	97.3%	94.6%	91.4%	90.7%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	指定管理料26,685,600円	指定管理料26,930,420円	指定管理料26,930,420円	指定管理料26,930,420円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	26,930,420円	26,930,420円	26,930,420円	26,930,420円
	財源合計[C](=[B])	26,930,420円	26,930,420円	26,930,420円	26,930,420円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無				
有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	26,928,000	円

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
健康ジム利用者数	年間延べ利用者数（健康ジム）	人	目標値		31,000	31,100	31,200	31,300
			実績値	30,973	27,698	13,689	14,962	16,899

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】
 新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者数が半減して以来、利用者数回復が難しい状況が続いているが、徐々に回復傾向にある。

■全内容チェック（確認者：課長）

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中 正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.8	3.8	3.8	3.8

自己評価
 担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い
 1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	毎月、指定管理者と市担当者で定例会を開催し、利用者数の分析、設備の不具合の有無などの確認を行っている。利用者のニーズに応じて、プログラムや講座を新規開設するなど指定管理者の自主事業に工夫が必要。評価指標の利用者数が前年度より低い一因は、新型コロナウイルス感染症予防対応で約30日閉館日数が少ないため。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症予防対応で約60日閉館日数が少ないほか、県内在住者のみの貸出とし同一時間帯での利用者数の制限を行っていることなどから評価指標の利用者数が前年度より低くなっている。毎月、指定管理者と市担当者で定例会を開催し、利用者数の分析、設備の不具合の有無などの確認を行っているほか、利用者のニーズを調査し、指定管理者においてプログラムや講座の新規開設など対応を講じている。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症対策による休館に加え、コロナ前の利用者の復帰が少ないため、昨年度に続いて1日平均50人程度で推移している。スクリーン映像による体操を行うラディカルバーチャルシステムの導入など、コロナ感染症対策にも努めている。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	平成30年4月のオープンから市民に日常的な運動機会及びコミュニティの場を提供しており、令和2年度以降は、コロナウイルスの影響により入館者数が減少しているものの、令和5年1月には来館者数10万人を達成している。今後は、さらなる施設のPRを行うなど、新規利用者の拡大を図る必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
	休止・廃止											

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
令和4年度 予算に向けて	健康ジム施設まで来訪することが難しい市民を対象としたサービスの提供など利用者のニーズに合致したプログラムや講座の新規開設のほか、都留市スポーツ推進計画に基づいた幼少期・青年期から運動習慣を定着させるようなプログラムなどの提案を指定管理者に要望する。
令和5年度 予算に向けて	利用者の安心安全を第一としながら集客PRを続けるとともに、地域活性化起業者、アールビーズ、小中学校などと連携して有効的に施設を活用していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】
 ※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
 ※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。
 施設利用者数の拡大に向けて、一層の施設PRを行っていく。
 地域活性化起業者、アールビーズ、小中学校などと連携して有効的に施設を活用していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	東京オリンピック・パラリンピック関係事業		款項目	09-06-01	評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当	記入者	田中 裕二
会計	一般会計	事業開始年度	令和3年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業	←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	2	明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 対象者：市民全般及び東京オリンピック事前合宿受入国フランス代表選手等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 フランスバドミントン代表チームの事前合宿受入、オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火ビジットの実施		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を好機として、本市のスポーツ振興や地域経済の活性化を図る		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]			2,156,000円	340,000円	
	決算額[B]			419,863円	260,000円	
	執行率[B]/[A]			19.5%	76.5%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)			東京オリンピックパラリンピック関連消耗品 372,606円 東京オリンピックホストタウン事業講師報奨金 46,000円	スケートボード体験会講師謝金 80,000円 「あすチャレ！スクール」業務委託費 180,000円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源			419,863円	260,000円
	財源合計[C](=[B])			419,863円	260,000円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	無	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	円
-------	---	---------------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
スポーツイベント参加率	参加者数/都留市人口 (スポーツへの関心が高まる)	%	目標値				20.0	21.0
			実績値				7.0	14.9

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

コロナウイルスの影響により市民運動会等のスポーツイベントが開催できなかった。

■全内容チェック(確認者:課長)

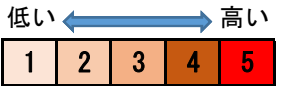
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)			4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)			3	3
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)			3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)			3	3
達成度(目標が実現できているか)			1	3
平均得点			2.8	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	
令和2年度	
令和3年度	東京オリンピックの事前合宿予定フランスバドミントンチームのホストタウンとして準備を進めていたが、コロナウイルス影響により事前合宿中止となった。聖火リレー等の実施、元オリンピック選手の講演などによりオリンピック啓発に努めた。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	東京オリンピック・パラリンピックレガシー事業として、スケートボード教室、あすチャレスクールを実施した。また、都留市出身のスポーツ選手を広く紹介し、スポーツ機運の醸成に努めた。今後も産学官民連携しながら、事業に取り組んでいく。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大				○			○				
	維持										○	
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)				東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー事業オリ・パラホストタウン事業			東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー事業体育スポーツ振興事業へ移管					

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	
令和4年度 予算に向けて	東京オリンピック・パラリンピックレガシー事業として、パラリンピックスポーツ体験や元オリンピック・パラリンピック選手のスポーツ教室などを開催していく。
令和5年度 予算に向けて	オリンピック新規スポーツ分野へのチャレンジ、東京オリンピック・パラリンピックレガシー事業など、産学官民連携により推進していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

体育スポーツ振興事業において、事業を継続していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	はつらつ鶴寿大学事業			款項目	09-05-02	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成17年度	法定根拠・法令等	都留市はつらつ鶴寿大学設置要綱		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市内高齢者（概ね60歳以上の市民）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 各種講座（福祉、俳句、短歌、歴史、陶芸、健康など）及び講演会・実地研修旅行等の開催		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 高齢者の生きがいづくり、仲間作りが達成され、卒業後も社会参加による地域活性化に寄与することにより、ひいては医療費の是正が期待される。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	905,000円	913,000円	381,428円	925,000円	
	決算額[B]	644,798円	70,133円	208,966円	241,959円	
	執行率[B]/[A]	71.2%	7.7%	54.8%	26.2%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	講師謝金：85千円 視察研修バス借上げ費：394千円 消耗品購入等：83千円	通信運搬費：20千円 火災保険料等：50千円	講師謝金：80千円 消耗品費：70千円 信運搬費：10千円 火災保険料等：50千円	講師謝金：90千円 消耗品費：77千円 信運搬費：26千円 火災保険料等：50千円	
	財源内訳	国庫支出金	165,000円			
		県支出金	68,000円			
		地方債				
		その他特定財源	98,000円		96,000円	91,000円
		一般財源	313,798円	70,133円	112,966円	150,959円
	財源合計[C](=[B])	644,798円	70,133円	208,966円	241,959円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	1032000	円
-------	---	---------------------	---------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
年度修了者数	3つの学年の修了者（開講講座の半数以上を受講）の合計	人	目標値		100.0	110.0	115.0	120.0
			実績値	99.0	97.0	中止	95.0	89.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症により社会全般的、特に高齢者が人との接触や集会等を避けられる風潮となったことを背景に、令和2年度の事業が全面休止となったこと、その後も前述の風潮や各施設の感染防止対策等により、入学者数や授業の出席率が低下したことが要因と思われる。

■全内容チェック（確認者：課長）

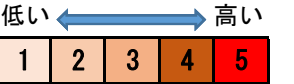
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	4	4	4	4
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	4	4	4	4
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	4	4	4	4
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	3
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.2	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	この数年は入学者数がほぼ定員を満たす程度まで増加しているが、卒業後再入学する「リピーター」が依然多いため、申込みの時期により新規入学希望者が入学できないケースが発生している。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の活動は1年間の休校とし、全学年の学生はそのまま令和3年度に移行することとした。令和3年度は新規入学者を募集しないため、令和4年度には、多くの新規入学希望者が入学できる体制づくりを進めていく。
令和3年度	引き続き新型コロナウイルスの影響で講座の回数は限られたが、ガイドラインを徹底し可能な限り実施することができた。令和4年度の入学者の募集については、新規入学者の募集時期を再入学生より先行して行うなど、より多くの市民に学びの機会を提供するための工夫をした。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	高齢者の新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、学年ごとに分けて講座を実施した。令和5年度の新規入学生の募集時期を再入学生より先行したことにより新規入学者が半数程度となり、目標は実現できてきている。新規入学者増を目指す体制づくりを今後も進めていく。令和5年度に向けて学年合同での講座開催の復活や新規内容の講座開講も計画している。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名 (増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	前年度までの方針を踏襲して内容の充実や広報活動、他組織等との連携や交流を進めるとともに、新規入学希望者を優先するための募集要項の改訂等を行う。また令和2年度より一般会計事業となったため、経費節約とともに、学費値上げ等収入増加の方策を検討していく。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、学生が高齢であることから、感染症対策に十分配慮する中で事業内容の充実、他組織等との連携や交流を進めていけるよう具体的な方策を検討していく。
令和5年度 予算に向けて	昨年同様に、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況であり、学生が高齢であることから、感染症対策に十分配慮する中で事業内容の充実、他組織等との連携や交流を進めていけるよう具体的な方策を検討していく。また、施設にWi-Fi整備が整うことにより、新たな講座を実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に対応しつつ、なお高齢者である学生の感染対策に十分配慮しながら事業を遂行していく。また「大学コンソーシアムつる」など他組織との連携講座や、Wi-fi設備等を生かし、社会状況等も反映しながら新たな講座・企画を検討する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	まちづくり交流センター管理運営事業		款項目	09-05-03		評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奈良健三	
会計	一般会計	事業開始年度	平成25年度	法定根拠・法令等	都留市まちづくり交流センター条例			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち					
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり					
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備					
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 一般市民							
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 公民館、図書館、交流室等を内包する複合施設として、市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために適切な施設管理を行ない、また学習や交流を促進するために講座・イベント等を開催する。							
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。							

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	18,476,000円	29,069,928円	35,240,656円	41,938,019円	
	決算額[B]	17,046,391円	26,077,836円	32,170,589円	40,713,960円	
	執行率[B]/[A]	92.3%	89.7%	91.3%	97.1%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	保守点検委託料：8,550千円 光熱水費：4,342千円 燃料費：1,733千円 修繕費：921千円 消耗品費：510千円	保守点検委託料：9,448千円 光熱水費：3,613千円 燃料費：1,690千円 修繕費：9,631千円 消耗品費：593千円	保守点検委託料：9,453千円 光熱水費：4,375千円 燃料費：2,006千円 修繕費：14,821千円 消耗品費：458千円	保守点検委託料：10,983千円 光熱水費：6,228千円 燃料費：1,678千円 修繕費：19,993千円 消耗品費：650千円	
	財源内訳	国庫支出金			2,073,000円	
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	716,997円	545,149円	615,178円	912,958円
		一般財源	16,329,394円	25,532,687円	29,482,411円	39,801,002円
	財源合計[C](=[B])	17,046,391円	26,077,836円	32,170,589円	40,713,960円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	45,634,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設(大ホール・会議室1~3・3階多目的ルーム)の利用率の平均	%	目標値		52.3	53.9	55.5	57.2
			実績値	50.8	52.2	33.9	41.0	45.5

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症により、特に利用者の過半を占める高齢者の文化的・社会的な各種の活動が低調となり、その場所として活用されてきた本施設も感染対策として各種の利用制限が設けられたこともあり、利用が減少したことが理由と思われる。

■全内容チェック(確認者:課長)

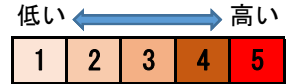
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	4	4	4	4
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	3	3	3	3
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	4	4	4	4
達成度(目標が実現できているか)	5	1	1	1
平均得点	4.0	3.2	3.2	3.2

自己評価

担当者として、左の必要性~公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・受変電設備やエレベーターなど館内設備において、経年劣化によるリスク増大等が見込まれ、機器更新や改修が必要となっている。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」において参加者数が募集人数を満たす講座が少なかった。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、利用率を上げることは難しい状況であった。当面は感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、利用率を上げることは難しい状況であった。引き続き、感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	今年度9月から各会議室等の定員の制限を緩和。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの遵守を徹底しながら施設の安心安全な利用促進に努めていく。「暮らしに役立つみんなの広場」において参加者数が募集人数を満たす講座を検討していく。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
	維持											
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	・館内設備機器について、適宜修繕等を行なっていくとともに、必要な機器更新等を計画的に実施していく。 ・「暮らしに役立つみんなの広場」を生涯学習事業の一環として位置づけ、より広い範囲の内容・講師・参加者を募っていく。
令和4年度 予算に向けて	新型コロナウイルス感染状況が良好となった場合は、ガイドラインでの利用制限を緩和し、慎重に判断をする中、徐々に利用者の拡大を図っていく。施設修繕については、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。
令和5年度 予算に向けて	昨年同様、新型コロナウイルス感染状況が良好となった場合は、ガイドラインでの利用制限を緩和し、慎重に判断をする中、徐々に利用者の拡大を図っていく。施設修繕については、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

市民の生涯学習活動の拠点として、ハード面ではWi-fiなど情報通信設備をはじめとした館内設備の整備や、経年設備の更新等を計画的に進めていくとともに、ソフト面では「暮らしに役立つみんなの広場」「スマホ教室」等の実益に資する講座教室の開催など、市民の生涯学習に対する意欲を増進する事業の開催を検討し遂行していく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ふるさと会館管理運営事業		款項目	09-05-10	評価責任者	矢嶋 亘	
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	まちづくり交流センター	記入者	奈良健三
会計	一般会計	事業開始年度	平成3年度	法定根拠・法令等	都留市ふるさと会館条例		
事業実施方法	委託（指定管理含）実施事業	←その他の場合の詳細		都留市健康ジム指定管理者が受託			

1. 事業概要（PLAN） 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	V	安全・安心、コミュニティ分野 紡ぎます！人と人のつながりのまち
	政策	2	個々の役割を持ち、だれもが必要とされるまちづくり
	施策	4	★個々の果たす役割の明確化と環境の整備
対象者および対象物	※誰に対しての事業か、また、何に対しての事業か。 一般市民		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 市民の生涯学習及び多世代交流の場を提供するために、隣接する県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ富士）及びまちづくり交流センターと連携して適切な施設管理を行なう。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民の生涯学習活動・世代間交流等を支援・促進することにより、各種文化活動の興隆を図り心豊かな市民の暮らしを実現する。		

2. 実施結果（DO）

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	8,944,000円	7,642,072円	7,233,000円	8,750,981円	
	決算額[B]	8,379,287円	5,672,980円	5,720,597円	8,054,811円	
	執行率[B]/[A]	93.7%	74.2%	79.1%	92.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	保守点検委託料：2,452千円 負担金(光熱水費等)：2,639千円 修繕費：2,678千円 使用料及び賃借料：434千円	保守点検委託料：2,695千円 負担金(光熱水費等)：2,293千円 修繕費：452千円 使用料及び賃借料：38千円	保守点検委託：2,585千円 負担金(光熱水費等)：2,570千円 修繕費：416千円 使用料及び賃借料：37千円	保守点検委託：3,089千円 負担金(光熱水費等)：3,920千円 修繕費：372千円 使用料及び賃借料：39千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	2,041,705円	1,461,935円	1,590,945円	2,573,638円
		一般財源	6,337,582円	4,211,045円	4,129,652円	5,481,173円
	財源合計[C](=[B])	8,379,287円	5,672,980円	5,720,597円	8,054,811円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	7,525,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
施設利用率	貸館施設（2階展示ホール・3階第1~4研修室）の利用率の平均	%	目標値	15.5	15.8	16.1	16.5	
			実績値	15.2	12.4	4.8	6.4	9.9

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症により、特に利用者の過半を占める高齢者の文化的・社会的な各種の活動が低調となり、その場所として活用されてきた本施設も感染対策として各種の利用制限が設けられたこともあり、利用が減少したことが理由と思われる。

■全内容チェック（確認者：課長）

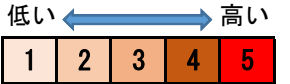
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価（CHECK）

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	3
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	3	3	3	3
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	3	3	3	3
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	4	4	4	4
達成度（目標が実現できているか）	1	1	1	1
平均得点	2.8	2.8	2.8	2.8

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	・建物本体及び内部設備に経年劣化による不具合(雨漏り等)が発生している。 ・2階及び3階へのバリアフリー対策として階段外側に手摺を追加設置した。 ・まちづくり交流センターと比較して利用率が低い。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、まちづくり交流センターと同様に、利用率を上げることは難しい状況であった。当面は感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大及び感染防止を図る観点から、施設の利用人数等の制限を行っているため、まちづくり交流センターと同様に、利用率を上げることは難しい状況であった。当面は感染防止対策を徹底する中で、施設の安心・安全な利用促進に努めていく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	今年度9月から各会議室等の定員の制限の緩和、加えて空調機を整備し、展示ホールの貸出しも再開した。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインを遵守を徹底する中で施設の安心安全な利用促進に努めていく。
-------	--

4. 今後の方向性（ACTION）

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大	○			○			○			○	
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)	維持											
	縮小											
休止・廃止												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	・長寿命化計画に基づき、経年劣化による損傷、不具合等は更新、修繕等適宜対処していく。 ・利用率の向上に向けて、館内のさらなるバリアフリー化等も含め方を検討する。
令和4年度 予算に向けて	経年劣化による損傷、不具合等が多くなっている状況であり、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。また、コロナ禍ではあるが、利用率の向上に向けて、ガイドラインを設定しながら、市民利用のために今後も対処していく。
令和5年度 予算に向けて	昨年同様、経年劣化による損傷、不具合等が多くなっている状況であり、「都留市教育施設等長寿命化計画」に基づき、予算を平準化する方法により、数カ年計画で修繕を行い、施設の維持・管理に努めていく。また、コロナ禍ではあるが、利用率の向上に向けて、ガイドラインを設定しながら、市民利用のために今後も対処していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

県より移管される旧「ぴゅあ富士」の建物と一体的な管理運営をしていくための体制を整備するとともに、市民の生涯学習活動の拠点として活用するための法整備や貸館体制、設備の更新及び整備を行っていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	図書館運営事業			款項目	09-05-04	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	志村泰宏
会計	一般会計	事業開始年度	昭和29年度	法定根拠・法令等	図書館法、都留市立図書館設置条例		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 市民等		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 図書等各種資料を収集整備し市民等利用者へ提供、館内利用・学習環境を整備し提供		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市民等の読書活動促進、教養の涵養、生涯学習に資する。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	26,707,000円	18,886,000円	18,532,000円	19,320,000円	
	決算額[B]	25,353,036円	18,071,755円	18,031,358円	18,800,654円	
	執行率[B]/[A]	94.9%	95.7%	97.3%	97.3%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・資料購入費 10,006千円 ・図書館システム更新機器構築委託料 9,900千円 ・図書館システム保守委託料 1,973千円、同機器使用料 1,425千円 ・データベース等使用料 1,007千円	・(図書・雑誌・視聴覚)資料購入費 10,267千円 ・図書館システム保守委託料 2,244千円、同機器使用料 3,802千円 ・データベース等使用料 979千円	・(図書・雑誌・視聴覚)資料購入費 10,968千円 ・図書館システム保守委託料 2,244千円、同機器使用料 3,802千円 ・データベース等使用料 799千円	・(図書・雑誌・視聴覚)資料購入費 9,917千円 ・図書館システム保守委託料 2,244千円、同機器使用料 3,802千円 ・データベース等使用料 1,040千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	25,353,036円	18,071,755円	18,031,358円	18,683,254円
	財源合計[C](=[B])	25,353,036円	18,071,755円	18,031,358円	18,683,254円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	18,985,000 円
-------	---	---------------------	--------------

■指標 ※コロナ対応による入館人数制限のため計測なし

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
利用数	入館者数(のべ人数)	人	目標値		116100.0	116200.0	116300.0	116400.0
			実績値	113522.0	98056.0	※	18551.0	53792.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来館者が減少したため。

■全内容チェック(確認者:課長)

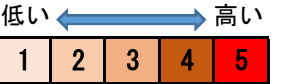
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	5	5	5	5
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	5
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	4.2	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性~達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	行事・展示等に注力し、利用の増加、新規利用者の獲得をめざし高齢者層、乳幼児の利用増が顕著であった。今後もこの需要増が見込まれ、合理化・重点化等業務見直しによる効率化だけでは対応困難な人員不足が懸念される。評価指標の入館者数が前年より低いのは、機器入替及び感染症予防対応で約40日開館日数が少ないため。
令和2年度	コロナ対策として臨時休館、利用時間・人数・サービス等の縮小、制限により、貸出冊数は前年比7割弱、貸出人数は6割強となった。多くの行事・イベントは催行できなかったが時宜に合う内容での企画を行った。今後も適切な感染予防に配慮した図書館運営が課題である。また、非来館型の貸出サービスとして電子書籍の導入を検討する。
令和3年度	昨年同様コロナ感染予防対策として、臨時休館や利用時間・人数・サービス等の縮小、制限を余儀なくされたが、市民の作品展示を第22回から第25回の計4回を開催することができ、お話し会も2回開催出来た。今後も適切な感染予防に配慮した図書館運営が課題である。また、マンパワーの分散を避ける適正な人員配置の検討が必要である。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	年度当初は昨年同様コロナ感染予防対策として、利用時間・人数・サービス等の縮小、制限を余儀なくされたが、7月以降は通常開館に戻し、火・水・木の夜間会館も再開した。また、おはなし会も当初は6組限定の予約制で行っていたが、7月以降は予約不要の人数制限のない通常開催とした。しかし、来館者数は令和元年以前の状況にはほど遠く、約半数ほどとなっている。今後は来館者数コロナ前の状況に戻すため、集客を促すイベントの開催や作品展示などを検討する必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性												
拡大												
維持		○			○			○			○	
縮小												
休止・廃止												
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	高齢社会に対応する資料整備、事業・行事用予算及び人員の確保 ニーズにそった企画・展示や図書の購入など
令和4年度 予算に向けて	・図書館専門職員の確保 ・高齢化社会に対応した事業、行事等の予算確保 ・非来館型貸出サービスとして電子書籍の導入を検討
令和5年度 予算に向けて	・利用者ニーズにあった図書等資料の購入 ・図書館職員の効果的配置の検討と、家具や資料等の移動等に要する経費の算定

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

図書館(3階)に、本棚を増設し閉架書庫にある絵本を置き、現状よりも子どもが見て選べる環境を増やす。これにより、閉架書庫のスペース確保にも繋げる。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	子ども読書活動支援事業			款項目	09-05-04	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	市立図書館	記入者	志村泰宏
会計	一般会計	事業開始年度	平成15年度	法定根拠・法令等			
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	1	★いきがいを高める生涯学習の推進
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 乳幼児及び学童（下記：①7か月乳児世帯 ②小学1年生 ③小学4年生）		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 子どもの発達段階（年齢）に即した3つの施策（①ブックスタート②セカンドブック③サードブック）による読書活動の促進する絵本、図書館バッグ、利用案内ほか利用啓発資料の配布や説明		
めざす 目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 対象者の読書活動の増進		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	381,000円	817,000円	575,000円	862,000円	
	決算額[B]	327,734円	675,806円	358,010円	581,360円	
	執行率[B]/[A]	86.0%	82.7%	62.3%	67.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	・報償費（事業実施時補助）33千円 ・消耗品費（利用啓発資料購入：絵本53千円、ブックスタートバッグ112千円、通帳ケース72千円）・消耗品費（トナ、用紙他）60千円	・消耗品費（利用啓発事業用：絵本92千円・図書館通い袋280千円・通帳ケース70千円）・消耗品費（イベント用）42千円、 ・消耗品費（書籍清拭電解水、カーブリンカー、他）198千円	・消耗品費（利用啓発事業用：通帳ケース91千円）・消耗品費（イベント用）13千円、 ・消耗品費（書籍清拭電解水、カーブリンカー、他）215千円	・消耗品費（利用啓発事業用：1年生図書館通い袋297千円）・消耗品費（イベント用）13千円、 ・消耗品費（書籍清拭電解水他）32千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	16,000円	4,000円	2,300円	3,100円
		一般財源	311,734円	671,806円	355,710円	578,260円
	財源合計[C](=[B])	327,734円	675,806円	358,010円	581,360円	

■後期基本計画（令和5年度（以降））における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	703,000 円
-------	---	---------------------	-----------

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
対象利用登録率	新規利用登録者に占める対象の割合（%）（幼児・小学生）	%	目標値	34.4	36.0	41.0	42.0	43.0
			実績値	34.4	40.3	27.7	30.6	32.6

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来館者が減少したため。

■全内容チェック（確認者：課長）

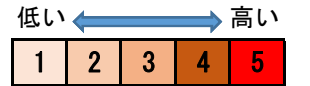
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	5	5	5	5
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	5
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	5
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	5	5	5	5
達成度（目標が実現できているか）	5	1	1	1
平均得点	5.0	4.2	4.2	4.2

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	前年度後期よりブックスタート実施方法の見直し（会場を乳児健康相談会場から図書館へ変更）を行い、乳幼児世帯の利用を伸ばした。今年度は、子どもの発達段階に即した3番目の読書支援施策として、「サードブック」（読書通帳の利用促進等）を開始し、学童の利用を喚起する取組を行った。今後は実質的な貸出を伸ばす工夫が必要。
令和2年度	コロナ対策のため変則的な事業執行となり、所期の効果は得られなかった。今後は家庭で過ごす時間が多くなる状況を踏まえ、適切な感染予防を行いつつ「貸出」に重点をおいた施策や、同様に行事等の催行がもとめられる。なお、指標による実績は見込で27.7%（前年比69%）だが、分母となる全体の登録数は前年比で25%増加している。（利用登録者のみに入館制限したため）
令和3年度	コロナ感染予防対策のため、乳児健康相談会場に出向き、参加者にブックスタートのグッズ配布やおはなし会の開催等が出来なくなり、例月の郵送対応となってしまった。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	前年同様乳児健康相談会場でのブックスタートのグッズ配布やおはなし会の開催は出来なかった。しかし、令和5年4月からは、生後7カ月の親子に図書館3階の「お話しコーナー」に集ってもらい、こぶたの会による「おはなし会」とグッズ配布を実施する計画となった。幼い頃から本に接し、読書の習慣を身に着けることが出来るよう積極的に実施する。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大											
	維持	○		○			○			○		
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名（増減がある場合のみ記載）												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
令和4年度 予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。
令和5年度 予算に向けて	読書通帳の利用促進を含め、子ども読書活動推進イベント等開催のための経費（報償費、消耗品費等）を確保する。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

新型コロナウイルス感染症の影響により郵送対応を実施してきたが、令和5年度より通常開催に戻し、実際に読み聞かせを聞いて、絵本を選んでもらい、家読（うちどく）を推進する。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留管理運営事業			款項目	09-05-08	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	←その他の場合の詳細						

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対する事業か、また、何に対する事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 資料の収集・保管及び利用者に対して、必要な説明・助言・指導等を行う。また資料に関する案内書、解説書、調査研究報告書の作成を行う。都留市の歴史や文化等に関する講演会・講習会・研修会等を開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 考古・民俗・美術・その他の資料を収集、保管、展示を行い、併せてこれらの博物館資料の調査研究を行い、市民の学術文化の向上に役立てる。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	13,783,835円	27,884,155円	15,692,210円	27,539,260円	
	決算額[B]	13,477,912円	26,147,828円	14,607,121円	26,164,199円	
	執行率[B]/[A]	97.8%	93.8%	93.1%	95.0%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	光熱水費：4,399千円 修繕料：1,970千円 保守点検委託料：5,918千円	光熱水費：3,258千円 修繕料：13,027千円 保守点検委託料：8,046千円	光熱水費：4,322千円 修繕料：2,809千円 保守点検委託料：6,399千円	光熱水費：8,389千円 修繕料：2,485千円 委託料：13,095千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	5,469,654円	6,000,384円	6,601,202円	823,812円
		一般財源	8,008,258円	20,147,444円	8,005,919円	25,340,387円
	財源合計[C](=[B])	13,477,912円	26,147,828円	14,607,121円	26,164,199円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	14,994,000	円
-------	---	---------------------	------------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
入館者数	常設展・企画展、図書情報室、エントランスホールの利用者の合計	人	目標値		9500.0	9900.0	10200.0	10500.0
			実績値	9376.0	7820.0	5081.0	3793.0	5500.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症における集客の伸び悩みがあったことに加えて、本施設における企画展以外の「地域」の活用が減少していることがKPIを達成できていない理由と考えられる。以前は、地域住民や各団体が本施設を生涯学習施設やコミュニティ創造の場として活用していたが、本施設の地域の拠点としての役割が、企画展の地域性の乖離などを理由に減少したことが理由として想定できる。

■全内容チェック(確認者：課長)

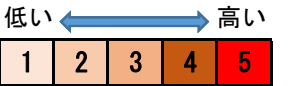
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	5	5	5	5
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	5	5	5	4
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	4.0	4.0	4.0	3.8

自己評価

担当者として、左の必要性～達成度までの項目ごとに5段階で評価をしてください。



■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	開館から20年が経過し、館内の各種設備の老朽化に伴う故障が増えてきている。すべての機器を更新するためには多額の費用が必要である。増田誠美術館を統合したが利用者が思ったほど増加しておらず、常設展示と同様に一度見ているため繰り返し見たいと思わせる資料が展示できていない状況にある。常設展示のリニューアルも今後検討していかなければならない課題である。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入館者数が減少したが、コロナ禍にあっても、入館者を増やすために企画展等の工夫が必要となる。また、施設は開館から21年が経過し、館内の各種設備の老朽化に伴う故障が増えてきている。すべての機器を更新するためには多額の費用が必要である。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入館者数が減少したが、コロナ禍にあっても、入館者を増やすために企画展等の工夫が必要となる。また、施設は開館から22年が経過し、施設の老朽化に伴い修繕を必要とする設備が増加している。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	突発的な修繕業務があり、当初予算を上限する形での決算となった。教育委員会全体の教育普及業務のあり方などを踏まえながら施設の改修や整理を図っていく必要がある。また、日常的な館の運営にあたっては、空調使用やその他の使用度合いなどを考慮し館の運営を図っていくとともに、施設のLED化や再エネ設備の導入といった機能向上や機能効率化を進めていく必要がある。
-------	---

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか○を1つつけてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大										○	
	維持	○		○			○					
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度 予算に向けて	・保守点検結果に基づいた修繕を実施し、今後必要となる設備更新のための計画を作成していく。 ・常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったPR活動を実施していく。
令和4年度 予算に向けて	・「都留市長寿命化計画」に基づき、予算の平準化を図る中、計画的に施設の改修に努めていく。 ・常設展示や企画展開催により、多くの人に来館してもらうための新聞広告やホームページを使ったPR活動を実施していく。
令和5年度 予算に向けて	・今後の大きな課題として、施設の大規模改修を進めていく必要があり、「都留市長寿命化計画」に基づき、予算の平準化を図る中、計画的に施設の改修に努めていく。 ・常設展示や企画展を充実させ、多くの人に来館してもらうためSNSなどを利用したPR活動を実施していく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。

※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

集客力にかかわらず、本施設が生涯学習の場として地域住民のよりどころとして広く活用できるよう、市民に促しを図っていく。また、企画展内容についても、そもそも本施設は「外から稼ぐ」施設ではなく、生涯学習を行う施設であるため、企画展内容についても見直しを図り、地域の歴史や文化の掘り起こし、シビックプライドの情勢、ひいては「市民学芸員」の醸成など、人間形成の「拠点」としての施設としての運用の検討を図っていく。

第6次都留市長期総合計画中期基本計画行政評価シート

事業名	ミュージアム都留企画展等開催事業			款項目	09-05-08	評価責任者	矢嶋 亘
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当	ミュージアム都留	記入者	知念 浩生
会計	一般会計	事業開始年度	平成11年度	法定根拠・法令等	博物館法、ミュージアム都留条例		
事業実施方法	直接実施事業		←その他の場合の詳細				

1. 事業概要 (PLAN) 施策に★がついている事業は、中期基本計画でリーディング・プロジェクトに位置づけられている事業

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	Ⅲ	教育分野 輝かせます！学びあふれるつるのまち
	政策	3	地域の教育力を高める生涯学習のまちづくり
	施策	3	★魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
対象者および対象物	※誰に対しての事業か。また、何に対しての事業か。 一般市民、歴史文化・芸術文化の研究者・愛好家、観光客		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 企画展、特別展(5年に1回程度開催)の開催により、広く市民に都留の歴史や文化を紹介する。展示に合わせた関連イベントも開催する。また、夏休み期間中は子供向けの展示会を開催する。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 中世の小山田氏、近世の秋元氏の業績、天和3年に谷村を訪れた松尾芭蕉、八朔祭の屋台や飾り幕などの都留市の特色ある歴史や文化に対し、市民が関心をもち、誇りに思えるようにする。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算現額[A]	3,324,165円	10,528,845円	3,865,380円	5,830,000円	
	決算額[B]	2,984,114円	6,787,497円	2,058,717円	3,639,421円	
	執行率[B]/[A]	89.8%	64.5%	53.3%	62.4%	
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	イベント講師謝礼:122千円 ポスター・チラシ印刷(3回分):342千円 企画展図録印刷製本(3回分):317千円 展示ディスプレイ作成委託料(3回分):808千円	イベント講師謝礼:471千円 企画展図録・ポスター・チラシ印刷(2回分):1,708千円 展示ディスプレイ作成委託料(2回分):736千円	イベント講師謝礼:49千円 企画展図録・ポスター・チラシ印刷(2回分):433千円 展示ディスプレイ作成委託料(2回分):432千円	イベント講師謝礼:291千円 企画展図録・ポスター・チラシ印刷(3回分)687千円 展示ディスプレイ作成委託料(3回分):1,889千円	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源	336,600円	1,771,350円	194,000円	
		一般財源	2,647,514円	5,016,147円	1,864,717円	3,639,421円
	財源合計[C](=[B])	2,984,114円	6,787,497円	2,058,717円	3,639,421円	

■後期基本計画(令和5年度(以降))における予算措置の有無

有無の選択	有	「有」の場合、令和5年度の予算額を記載	3,479,000	円
-------	---	---------------------	-----------	---

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H30	R1	R2	R3	R4
企画展・特別展入館者数	第2展示室で開催する企画展・特別展の入館者数	人	目標値		5200.0	5400.0	5600.0	5800.0
			実績値	5047.0	3817.0	3712.0	1477.0	2337.0

■KPIが達成できなかった理由等【達成している場合は記載不要】

新型コロナウイルス感染症における集客の伸び悩みがあったことに加えて、本施設における企画展以外の「地域」の活用が減少していることがKPIを達成できていない理由と考えられる。以前は、地域住民や各団体が本施設を生涯学習施設やコミュニティ創造の場として活用していたが、本施設の地域の拠点としての役割が、企画展の地域性の乖離などを理由に減少したことが理由として想定できる。また、企画展そのものが毎年ルーティン化しており、魅力を失いつつある点も考慮する必要がある。

■全内容チェック(確認者:課長)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
評価責任者	清水 敬 <input checked="" type="checkbox"/>	田中正樹 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>	矢嶋 亘 <input checked="" type="checkbox"/>

3. 事業評価 (CHECK)

項目	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
必要性(市民ニーズに照らして市関与の必要)	4	4	4	4
有効性(事業実施に伴い成果が出るか)	5	5	5	5
効率性(コストを低減し無駄なく実施してるか)	4	4	4	4
公平性(一部受益者のみでなく公益的か)	2	2	2	3
達成度(目標が実現できているか)	1	1	1	1
平均得点	3.2	3.2	3.2	3.4

自己評価
担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。
低い ← 高い
1 2 3 4 5

■予算執行状況を踏まえ、現在の状況や問題点などについて、担当の所見を記入してください。

令和1年度	企画展の内容により、関心を持って来館してくれる人が左右され、評価が一定しないが、増田誠展や郷土の画家展など都留市に関連のある企画展を開催して行きたい。また、特別展については、調査研究に時間がかかるため、今後も開館記念に合わせた開催をして行きたい。
令和2年度	令和2年度は、特別展として、全国的にも人気の高い「刀剣展」を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入館者数の大幅な増加にはつながらなかった。コロナ禍にあっても、動画等を活用し、企画展の内容を全国に伝えることに努め、多様な方法によりPR活動を実施していく。
令和3年度	令和3年度は、夏季企画展として、将棋の駒展を開催したが、夏季に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、臨時休館を余儀なくされるなど入館者数の増加につなげることができなかった。コロナ禍にあっても、動画等を活用し、企画展の内容を全国に伝えることに努め、多様な方法によりPR活動を実施していく。

■中期基本計画の終了を踏まえ、現在の状況やこれまでの課題について、担当の所見を記入してください。

令和4年度	令和4年度は、夏季企画展として、根付×将棋の駒展を、冬に増田誠新収蔵展を開催したが、これまでの展示のルーティン化、また、外部からだけでなく地域に対する教育普及の観点不足しており、入館者数の増加には至らなかった。企画展そのものに「地域性」が欠如しており、本施設の位置づけや役割があいまいになっている点を考慮し、今後の博物館運営のあり方を改めて再考していく必要がある。
-------	--

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするか○を1つ付けてください	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加	削減	維持	増加
成果の方向性	拡大										○	
	維持	○		○		○						
	縮小											
	休止・廃止											
具体的な事業費名(増減がある場合のみ記載)												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

令和3年度予算に向けて	市民企画との協働での企画展をこれからも実施するが、マンネリ化に注意する。また、都留市の歴史文化の調査研究を継続するとともに多種多様な企画展が開催できるよう、いろいろな分野についても調査を行う。
令和4年度予算に向けて	増田誠展や郷土の画家展など都留市に関連のある企画展と、刀剣展や将棋の駒などの全国的にも人気が高く集客の見込める企画展等の2つの視点を踏まえた内容の企画展の開催を進めていく。
令和5年度予算に向けて	今後も継続して、増田誠展や郷土の画家展など都留市に関連のある企画展と、刀剣展や将棋の駒などの全国的にも人気が高く集客の見込める企画展等の2つの視点を踏まえた内容の企画展の開催を進めていく。

■後期基本計画の実施に向け、目標や手段手法を記入してください。【事業が終了する場合は記載不要】

※記載する内容は後期基本計画の行政評価シートに記載することを想定してください。
※記載にあたっては後期基本計画の各課指標も参考としてください。

集客力にかかわらず、本施設が生涯学習の場として地域住民のよりどころとして広く活用できるよう、市民に促しを図っていく。また、企画展内容についても、そもそも本施設は「外から稼ぐ」施設ではなく、生涯学習を行う施設であることから、企画展内容についても見直しを図り、地域の歴史や文化の掘り起こしやシビックプライドの醸成、ひいては「市民学芸員」の醸成など、人間形成の「拠点」としての施設としての運用の検討を図っていく。とりわけ、中期基本計画機関の展示や関連イベントは博物館の中だけで取り組みを実施している傾向にあるため、今後は街歩きイベントや学校訪問など、施設を拠点に人材が外部で生涯学習の場を提供する取り組みなど、流動的な運用を図る。